

# 第 12 回 川越市市民意識調査 報告書

平成 28 年 3 月

川 越 市



# 川越市民憲章

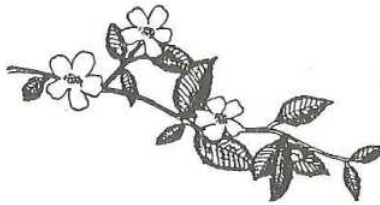
先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうるおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

市の木（かし）



市の花（山吹）



市の鳥（雁<sup>かり</sup>）







## はじめに

市民意識調査は、市民の皆様の市政全般にわたる意識や意向、要望等の実態を把握するために、3年毎に実施しております。調査結果につきましては、今後の市政運営に反映させるとともに、まちづくりのための貴重な資料として活用してまいります。

本市は、「小江戸川越」と称され、城下町の面影を残し、年間650万人が訪れる観光都市、商工業がバランスよく発展した産業の中核都市、東京圏にありながら多くの田畑が残る田園都市、そして県南西部の中心となる35万人都市として、多彩な魅力にあふれています。また、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、本市では、オリンピックのゴルフ競技が開催される予定となっており、さらなる飛躍が期待されております。

その一方で、少子高齢化やライフスタイルの変化に伴って、さまざまな課題が生じており、市政に対する意見や要望も複雑で多様化してきております。厳しい財政状況が見込まれる中、これらの課題に対して的確に応えていくためには、効率的かつ効果的な行財政運営に努めるとともに、市民の皆様の立場に立った市政運営を行うことが重要であると考えております。

私は、これまでも「タウンミーティング」や「市政懇談会」を開催して市民の皆様から直接御意見等を伺うとともに、「市民意見箱」を設置して市民の意識・意向の把握に努め、自由で開かれた風通しのよい市政の推進を図るよう努めてまいりました。

今後、一層の市民参加を進め、市民の皆様の一人ひとりが「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」を実感していただけるようなまちづくりを進めてまいります。

結びに、調査に御協力いただきました多くの市民の皆様に、心から御礼を申し上げます。

平成28年3月

川越市長 川合善明



# 目次

I	調査の概要	1
II	調査票と回答	9
III	調査結果の分析	25
1	都市基盤・生活基盤	
1-1	主に利用する最寄りの駅	25
1-2	最寄りの駅への手段	28
1-3	川越市の将来像	30
1-4	推進すべき道路交通施策	33
2	産業・観光	
2-1	川越市の観光への満足度	37
2-2	川越市の観光スポット、伝統行事の周知状況	38
2-3	観光振興のために必要な施策	41
2-4	品物別の主な購入先	44
2-5	市内商店街への要望	48
2-6	農業に期待すること	53
3	教育・文化・スポーツ	
3-1	してみたい国際交流活動	55
3-2	興味のある文化・スポーツイベント	58
3-3	文化活動の頻度	60
3-4	文化活動への取組	63
3-5	文化に対する考え方	64
3-6	生涯学習活動の取組状況	66
3-7	生涯学習情報の取得方法	68
3-8	生涯学習活動を行う目的	69
3-9	スポーツ・運動の頻度	71
3-10	スポーツ・運動1回あたりの時間／はじめてからの期間／スポーツ・運動をする場所	73
3-11	運動習慣を身に付けるために必要なこと	76
3-12	スポーツ・運動をしない理由	78
3-13	望まれるスポーツ施設	81
3-14	望まれるスポーツ教室	82

## 4 保健・医療・福祉

4-1	健康づくりで関心のあること	83
4-2	主食、主菜、副菜のそろった昼食の頻度	84
4-3	主食、主菜、副菜で食べていないもの	85
4-4	主食、主菜、副菜がそろわない理由	86
4-5	老後の生活への不安	87
4-6	老後の過ごし方	90
4-7	地域包括支援センターの認知度、利用状況	92
4-8	療養生活への不安	93
4-9	かかりつけ医のいる家族の有無	94
4-10	かかりつけ医のいる家族	95
4-11	特定健康診査の認知度	96
4-12	特定健康診査の受診率向上のための取組	98
4-13	がん検診の受診状況	100
4-14	がん検診を受診していない理由	103
4-15	定期的な歯科健診の受診状況	105
4-16	歯科健診を受診しない理由	106
4-17	かかりつけ歯科医の有無	107
4-18	精神障害者のために充実すべきこと	108

## 5 環境

5-1	川越市の環境への満足度	111
5-2	環境に関する情報の入手先	114
5-3	ごみ減量のための方策	117
5-4	実行している省エネ活動	119
5-5	まちの緑化への活動内容	122
5-6	まちの緑化への施策	125

## 6 地域社会と市民生活

6-1	防災対策	128
6-2	水・食料の備蓄量	131
6-3	家族等との安否確認手段	133
6-4	関心のある人権問題	135
6-5	人権意識を高めていくために必要な取組	138
6-6	男女平等に関する意識	141
6-7	「男は仕事、女は家庭」という考え方について	149
6-8	市民活動への参加意向	151



6-9	参加したい公益活動の分野	152
6-10	市民活動のために必要な支援	153
6-11	市民センター・連絡所での手続きの認知度	154

## 7 市政全般

7-1	「広報川越」の閲覧状況	155
7-2	市の情報の入手方法	157
7-3	インターネット利用状況	159
7-4	市の情報提供に対する満足度	162
7-5	必要な市の行政情報	163
7-6	市民・行政が協働したまちづくりの実感	167
7-7	地域の生活環境の満足度	168
7-8	市職員のイメージについて	171
7-9	よくなってきた市の施策／力を入れるべき市の施策	174
7-10	市への定住意向	182
7-11	希望する市税納付方法	185
7-12	東京オリンピック・パラリンピックのゴルフ競技の認知度	186
7-13	東京オリンピック・パラリンピックへの関わり方	187

8	市政運営に対する意見・まちづくりへの要望	188
---	----------------------	-----



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、市民の行政に対する意向・要望・生活環境・重点施策・定住意識等の実情を的確に把握し、今後のまちづくりをすすめていくための基礎資料とすることを目的としています。なお、この調査は昭和 56 年度以降 12 回目となっています。

## 2 調査の内容

- |                |               |
|----------------|---------------|
| (1) 都市基盤・生活基盤  | (5) 環境        |
| (2) 産業・観光      | (6) 地域社会と市民生活 |
| (3) 教育・文化・スポーツ | (7) 市政全般      |
| (4) 保健・医療・福祉   |               |

## 3 調査の設計

調査地域	川越市全域
調査対象	川越市在住の 18 歳以上の市民
標本数	3,000 人
抽出方法	川越市住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布－郵送回収法
調査期間	平成 27 年 10 月 28 日（調査票発送）～11 月 30 日

## 4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・誤差を考慮し、N が 10 未満のものについてはコメントしていません。

- 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次の公式によって算出されます。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 回収数  
 P = 回答率

今回の調査の実際の質問にあてはめてみると、「あなたは、最寄りの駅へ行くのに主にどんな手段で行きますか。」(問2)という質問に答えた人は1,580人であり、そのうち、43.5%の人が「徒歩」と答えた。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$2 \sqrt{\frac{295,565-1,580}{295,565-1} \times \frac{0.435(1-0.435)}{1,580}} \approx 0.025$$

したがって、±2.5%が誤差の範囲となります。つまり、この回答に対する川越市民の真の値は41.0%~46.0%の間と考えられます。

#### 今回の調査の標本誤差早見表

回答比率	90% (または10%)	80% (または20%)	70% (または30%)	60% (または40%)	50%
標本誤差	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.5%

- 図表及び文章中、選択肢を一部省略している場合があります。

#### 各回答比率における標本誤差早見表

回答の比率 基数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,580	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.5%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
400	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

## 5 集計結果の有意性について

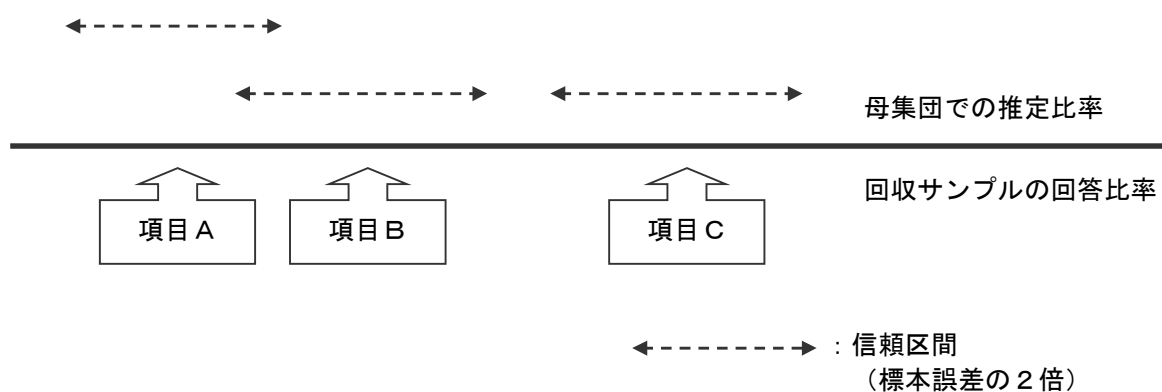
今回の調査は「標本調査」であり調査対象となる母集団への標本誤差が必ず生じます。そのため、どの程度までアンケート調査結果に基づく評価ができるのかという有意性が重要な問題となってきます。

今回調査では、有効サンプルが1,580票であり、回答比率がちょうど50%の場合、標本誤差は±2.5%となります。したがって、アンケート調査結果で得た50%という集計結果を、実際の母集団にあてはめるには標本誤差±2.5%の誤差が生じることになり、母集団の傾向として評価する際には、50%ではなく50±2.5% (=47.5%~52.5%)という一定の幅を持った値(信頼区間)として取り扱う必要があります。その結果、その信頼区間に基づいて母集団の評価をする場合、少なくとも評価対象となる項目の回答比率の差が5.0% (=標本誤差の2倍)以上でなければ意味をなさない、つまり有意性を持たないこととなります。(下図参照)

そのため、アンケート調査結果に有意性を持たせ、母集団へ効果的に反映させるためには、ある程度の回収サンプル数が必要とされており、例えば、100票そこそこの場合、その調査結果の標本誤差は、回答比率50%において±10.0%となり、信頼区間は20.0%にも上ることとなります。このような状況では評価どころではなく、アンケート調査自体が意味をなしません。こういった事態を招かないためにも、通常の標本調査においては、回収サンプル数が1,000票は必要と考えられます。

今回のアンケート調査の場合、回収サンプル数が1,580票であり、評価に当たっての前提条件はクリアされていることが分かります。ただし、標本誤差が生じるので、評価・分析にあたっては信頼区間(今回調査の場合は5.0%程度)未満の差異は切り捨てて考える必要があります。

〈項目Bは項目Aよりも有意に高いといえない場合〉



※この場合、項目Cについては、項目A、項目Bそれぞれよりも有意に高いといえる。

## 6 回収結果

### (1) 市全体の回収

内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有効回収数	回収率(%)
市全体	295,565	100.0%	3,000	1,580	52.7%

### (2) 性別、性年齢別の回収結果

内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有効回収数	回収率(%)
市全体	295,565	100.0%	3,000	1,580	52.7%
男 性	147,492	49.9%	1,500	682	45.5%
女 性	148,073	50.1%	1,500	880	58.7%
無回答	—	—	—	18	—

男 性	内 訳 区 分	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有効回収数	回収率(%)
	全 体	147,492	100.0%	1,500	682	45.5%
	18・19歳	3,510	2.4%	38	9	23.7%
	20～29歳	19,690	13.3%	250	64	25.6%
	30～39歳	24,198	16.4%	292	77	26.4%
	40～49歳	28,926	19.6%	312	138	44.2%
	50～59歳	20,728	14.1%	190	99	52.1%
	60～69歳	23,754	16.1%	238	152	63.9%
	70歳以上	26,686	18.1%	180	143	79.4%
	無回答	—	—	—	—	—

女 性	内 訳 区 分	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有効回収数	回収率(%)
	全 体	148,073	100.0%	1,500	880	58.7%
	18・19歳	3,378	2.3%	33	6	18.2%
	20～29歳	17,960	12.1%	250	86	34.4%
	30～39歳	22,105	14.9%	282	151	53.5%
	40～49歳	26,400	17.8%	259	166	64.1%
	50～59歳	19,620	13.3%	180	112	62.2%
	60～69歳	25,464	17.2%	266	200	75.2%
	70歳以上	33,146	22.4%	230	158	68.7%
無回答	—	—	—	1	—	

(3) 地区別回収結果

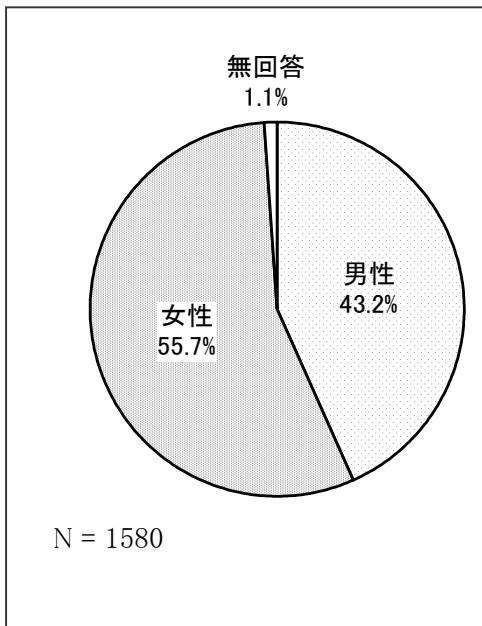
区 分	内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有効回収数	回収率(%)
本庁地区		89,625	30.3%	731	362	49.5%
芳野地区		4,717	1.6%	101	42	41.6%
古谷地区		9,469	3.2%	137	66	48.2%
南古谷地区		19,586	6.6%	215	120	55.8%
高階地区		44,316	15.0%	399	210	52.6%
福原地区		16,683	5.6%	192	81	42.2%
大東地区		28,957	9.8%	283	147	51.9%
霞ヶ関地区		26,640	9.0%	266	189	71.1%
川鶴地区		5,240	1.8%	105	85	81.0%
霞ヶ関北地区		15,416	5.2%	178	66	37.1%
名細地区		25,321	8.6%	255	96	37.6%
山田地区		9,595	3.2%	138	76	55.1%
無回答		—	—	—	40	—
計		295,565	100.0%	3,000	1,580	52.7%

【地区別区分図】

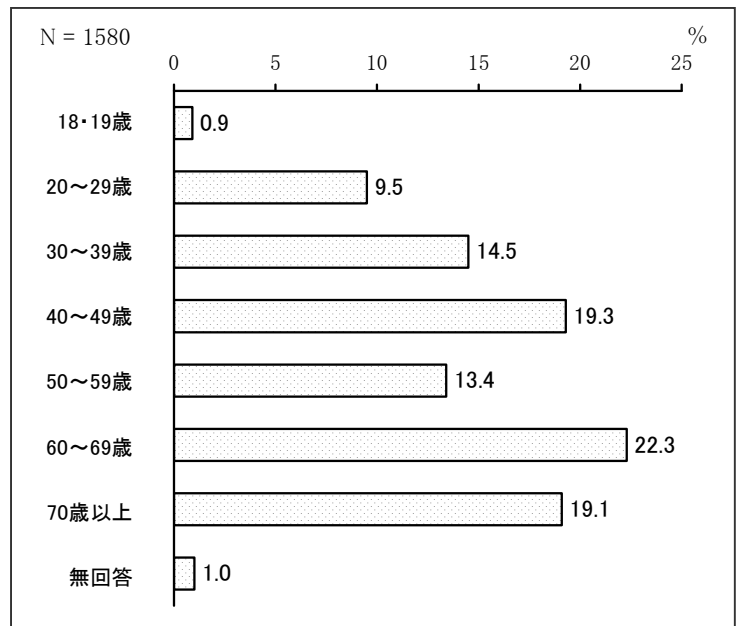


## 7 回答者の属性

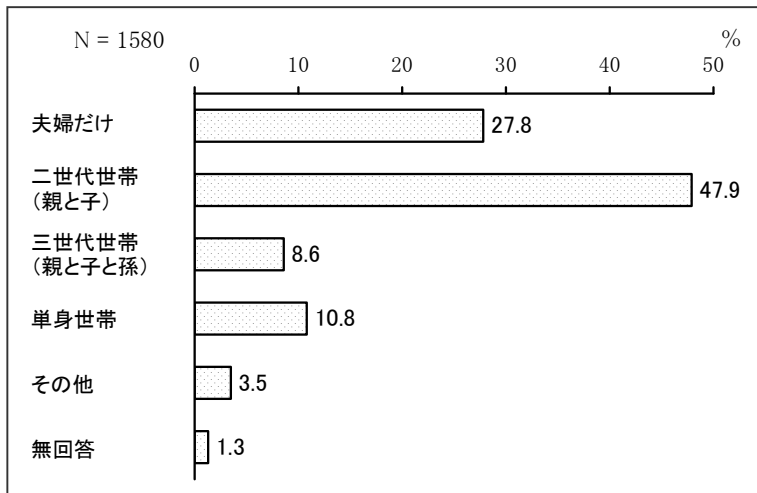
(1) 性別



(2) 年齢

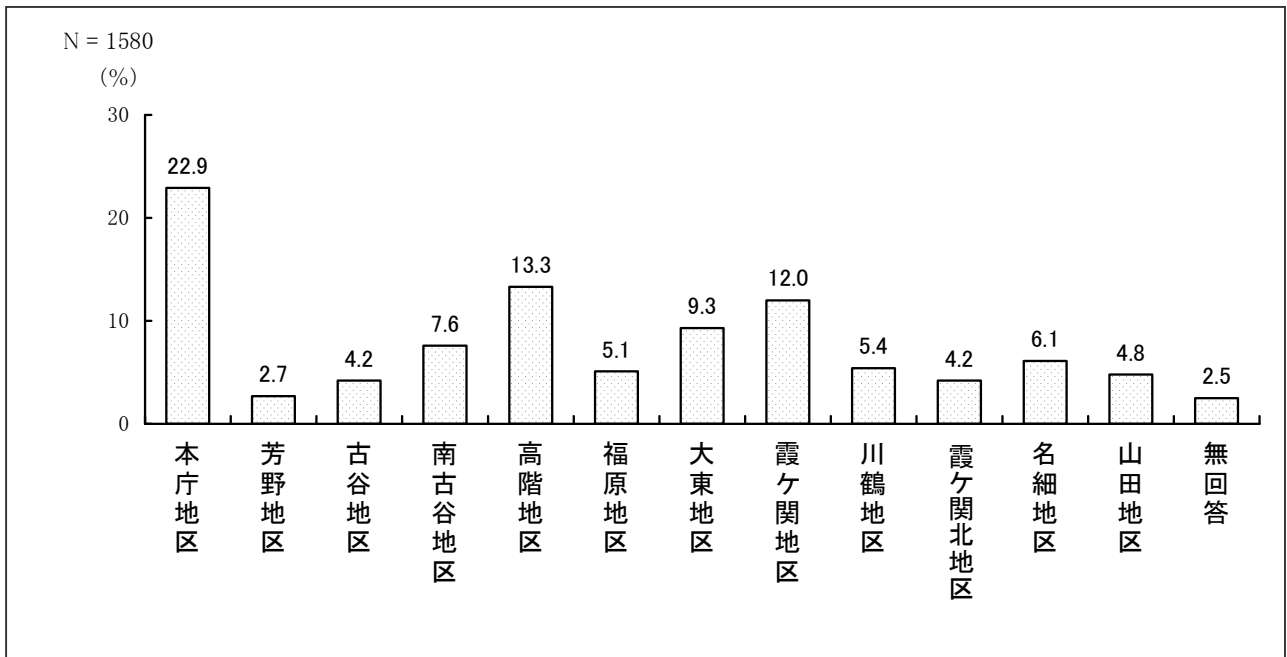


(3) 家族構成

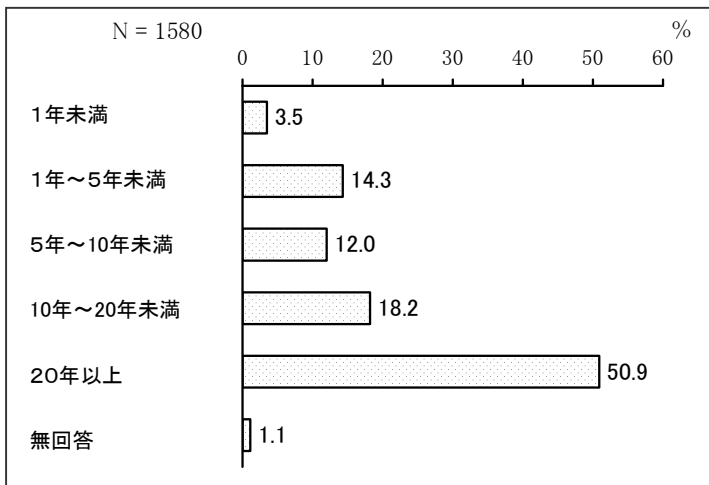




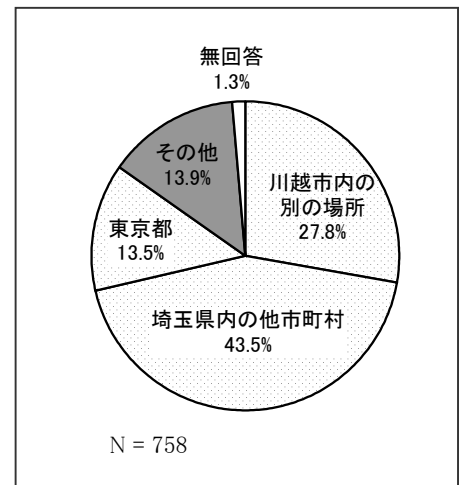
(4) 居住地区



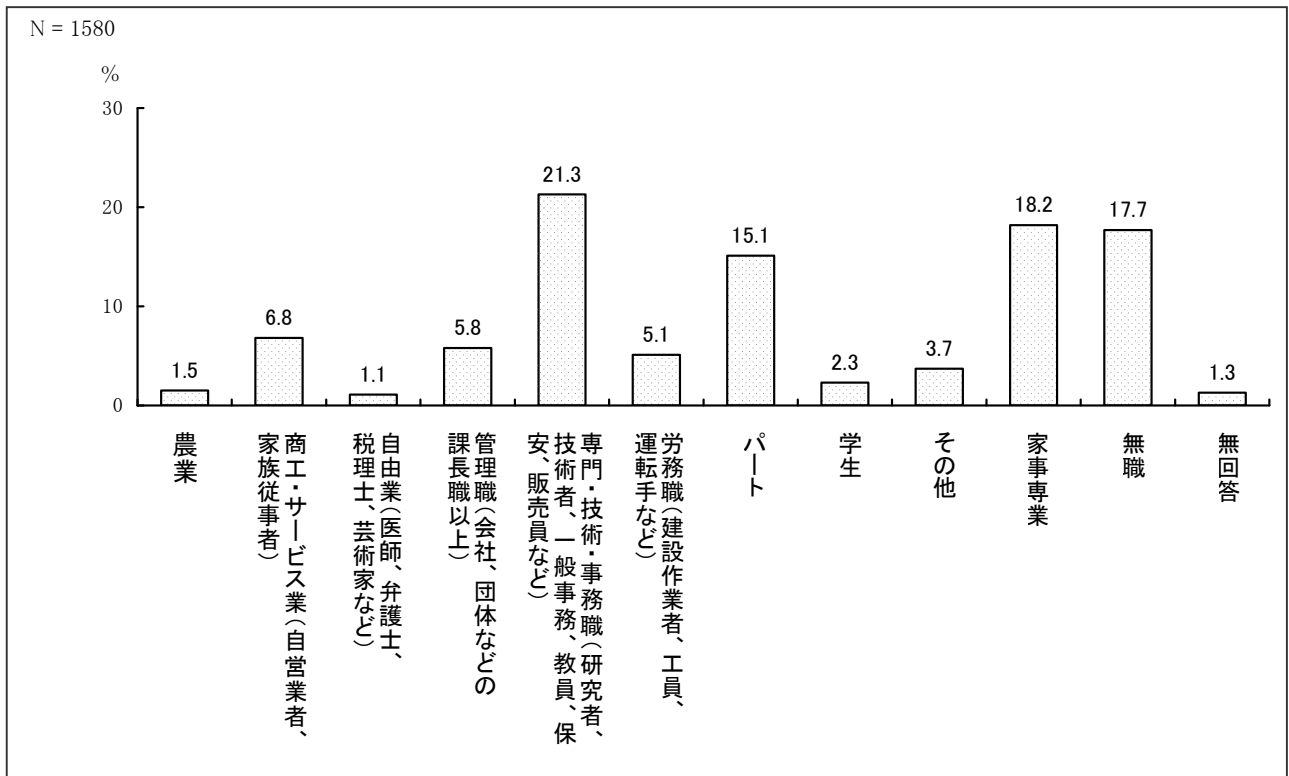
(5) 居住年数



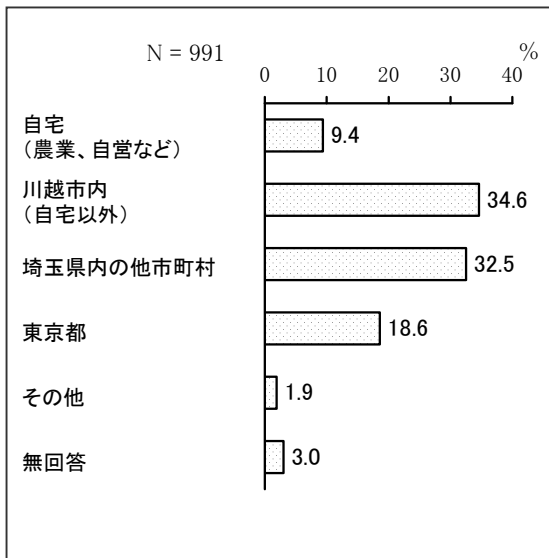
(6) 転入前居住地



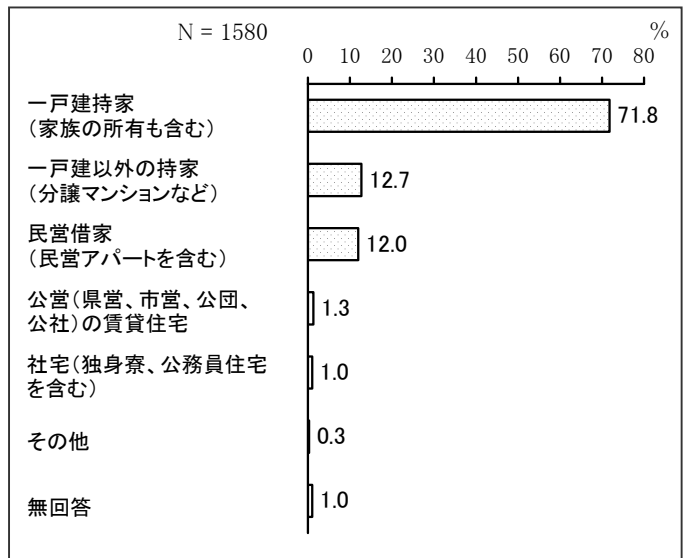
(7) 職業



(8) 通勤・通学先



(9) 居住形態



## Ⅱ 調査票と回答

# 川越市市民意識調査

### アンケート調査ご協力をお願い

日頃皆様には、市政の発展のために深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、市では10月下旬から11月下旬にかけて市民意識調査を行います。

この調査は、生活環境に関する意識、市政に対するご意見など市民生活の全般にわたり、皆様のご意見をお伺いし、それを今後の行政施策への資料とするために行うもので、この種の調査は昭和56年度以来12回目です。

この調査は、住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の中から、3,000人を無作為に選ばせていただき、お願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご意見がいただけますようご協力をお願い申し上げます。

平成27年10月

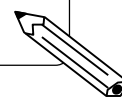
川越市長 川合 善明

- ◎ 調査結果はコンピュータで統計的に処理しますので、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

### ご記入にあたってのおねがい

1. 対象となったご本人がお答えください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
4. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
5. 質問によって、○をつける数を「1つ」「いくつでも」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えくださるようお願いいたします。
6. 「その他」にあてはまる場合は、( ) 内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

ご記入がおわりましたら…



ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて11月30日(月)までにご投函ください。(切手を貼る必要はありません)

なお、調査の内容、考え方、記入の仕方などについて、ご不明な点がございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 川越市市民部広聴課 広聴担当  
〒350-8601 川越市元町一丁目3番地1 (本庁舎3階)  
TEL (049) 224-5011 (直通)  
FAX (049) 222-5454

都市基盤・生活基盤についてお伺いします

問1 あなたが主に利用する最寄りの駅はどこですか。(○は1つ)

J R川越線	1. 南古谷	9.1	2. 川越	9.6	3. 西川越	0.9
	4. 的場	3.4	5. 笠幡	3.3	6. 武蔵高萩	0.2
東武東上線	7. 上福岡	4.5	8. 新河岸	12.2	9. 川越	15.3
	10. 川越市	6.2	11. 霞ヶ関	9.6	12. 鶴ヶ島	9.2
西武新宿線	13. 本川越	3.0	14. 南大塚	5.9	15. 新狭山	0.6
	16. その他の駅	1.1				

無回答 5.9

問2 あなたは、最寄りの駅へ行くのに主にどんな手段で行きますか。(○は1つ)

1. 徒歩	43.5	3. 自転車又はオートバイ	24.7	5. その他	1.0
2. バス	13.6	4. 自家用自動車	15.0		

無回答 2.2

問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたらよいと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。(○は2つ以内)

1. 緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち	8.3	11. 人と人とのつながりを感じる地域 コミュニティ活動の活発なまち	15.2
2. 多くの人働く工業のまち	1.8	12. 交通事故、犯罪及び火災のない安全性の 高いまち	30.3
3. 活力あふれる商業のまち	7.0	13. 県西部の中心都市	7.3
4. 農業を大切にすまち	4.2	14. 住環境の整備された住宅のまち	7.2
5. 歴史的遺産を活かした観光のまち	24.4	15. 環境保全を推進する地球にやさしいまち	3.7
6. スポーツの盛んな健康づくりのまち	4.3	16. 市民と行政がともに知恵と力を出し 合う協働のまち	8.0
7. 子育てのしやすいまち	14.8	17. その他	1.3
8. 子ども、お年寄り、障害のある方などに 思いやりのあるまち	33.3		
9. 公園や広場など多いうるおいのあるまち	12.3		
10. 教育や文化の香り高い教養のまち	7.8		

無回答 1.1

問4 あなたは、ゆとりや豊かさが実感できる市民生活を確保するために、どのような方針に重点をおいて道路交通政策を推進すべきだと思いますか。

次の中から2つ以内で選んでください。(○は2つ以内)

1. 都市間を結ぶ幹線道路や、高速道路へのアクセス性の強化を図る	10.6
2. 日常生活を支える身近な道路整備の推進を図る	45.9
3. 歩行者や自転車交通を優先した、安全で人にやさしい交通政策の推進を図る	47.5
4. 路線バスの案内など、誰もが利用しやすい交通の利用促進策の推進を図る	20.3
5. 駅や公共施設といった人・車が集中する場所への連絡路の充実を図る	19.1
6. 駐車場の整備や交差点改良など、渋滞緩和に重点をおいた交通政策の推進を図る	30.0
7. 交通規制など既存の道路を活かした交通政策の推進を図る	4.4
8. その他	2.0

無回答 1.1

産業・観光についてお伺いします

問5 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。

次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

1. 満足	12.8	2. やや満足	34.6	3. ふつう	41.4	4. やや不満	8.4	5. 不満	1.6
-------	------	---------	------	--------	------	---------	-----	-------	-----

無回答 1.2

問6 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが見たことがありますか。  
各項目ごとに1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

	行ったことがある	機会があれば行ってみたい	知っているが行ったことがない	知らない	無回答
ア) 蔵造りの町並み・時の鐘	95.8	1.1	2.3	0.1	0.8
イ) 菓子屋横丁	92.8	2.2	3.6	0.3	1.2
ウ) 市立川越まつり会館	48.2	12.4	28.5	8.7	2.2
エ) 蔵造り資料館	42.9	14.0	29.1	10.9	3.0
オ) 小江戸蔵里(川越市産業観光館)	50.4	12.0	15.1	19.2	3.3
カ) 大沢家住宅	22.5	16.3	23.1	34.8	3.3
キ) 旧山崎家別邸	20.6	17.5	22.3	35.7	3.8
ク) 本丸御殿	69.0	7.7	10.9	10.5	2.0
ケ) 市立博物館	57.8	11.8	20.1	8.2	2.1
コ) 市立美術館	44.9	17.0	24.4	11.3	2.5
サ) 氷川神社	87.0	4.4	5.9	0.9	1.8
シ) 三芳野神社	39.1	11.0	16.5	29.7	3.7
ス) 喜多院	92.1	2.9	3.0	1.2	0.8
セ) 中院	57.3	10.4	9.7	19.9	2.6
ソ) 仙波東照宮	52.0	11.3	10.5	22.8	3.4
タ) 川越水上公園	86.0	3.2	8.6	0.7	1.5
チ) 伊佐沼	85.9	3.7	6.1	3.2	1.1
ツ) 川越まつり	90.9	3.5	3.2	0.4	2.0
テ) 石原のささら獅子舞	3.8	17.7	19.1	55.1	4.4
ト) 老袋の弓取式	1.8	15.8	16.6	61.8	4.0
ナ) 老袋の万作	2.2	14.7	15.1	63.7	4.3
ニ) 南大塚の餅つき踊り	4.2	13.5	17.8	60.4	4.0
ヌ) ほろ祭	4.4	12.3	10.7	67.4	5.2
ネ) 初大師(喜多院)	59.6	8.9	12.1	17.0	2.3
ノ) 小江戸川越花火大会	62.9	13.4	18.2	3.4	2.1
ハ) 春まつり(舟運)	17.3	23.1	24.2	32.0	3.4

問7 あなたは、ますます観光客が多く訪れる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(○は2つ以内)

1. 駐車場の整備	40.8	7. 観光施設のバリアフリー化	7.7
2. トイレの整備	22.0	8. 乳幼児用の設備や施設の整備	5.7
3. 観光スポットへのアクセスの向上	26.8	9. 観光スポットの整備	17.7
4. 来訪者に対する案内情報の発信	15.6	10. 農業観光の充実	2.5
5. 国内外への観光情報の発信	17.7	11. その他	6.3
6. 休憩施設の整備	19.1	12. わからない	2.0

無回答 1.1

問8 あなたは、次の品物を主にどこで買いますか。品物別（小型店・大型店別）にそれぞれに該当する地域（1～18）を1つずつ選んでください。（それぞれ○は1つずつ）

※小型店とは・・・個人商店、コンビニエンスストア

大型店とは・・・スーパー、デパート、ショッピングモール、ホームセンター

品物	地域	市内										市外						その他（通販、宅配等）	自分では買わない	無回答
		本庁地区の店	古谷地区の店	南古谷地区の店	高階地区の店	福原地区の店	大東地区の店	霞ヶ関、川鶴地区の店	霞ヶ関北地区の店	名細地区の店	山田、芳野地区の店	さいたま市の店	鶴ヶ島市、坂戸市の店	狭山市、所沢市の店	ふじみ野市の店	その他の県内の店	都内の店			
ア) 食料品	小型店	108	16	32	69	14	35	56	34	16	22	0.1	22	0.4	1.3	0.5	0.3	0.9	34	506
	大型店	254	1.3	10.1	7.3	0.8	5.9	10.1	5.7	1.1	4.9	0.1	6.3	1.0	4.9	2.0	0.2	1.6	34	7.8
ウ) 日用雑貨品	小型店	112	1.1	30	55	1.3	34	55	24	1.1	15	0.1	23	0.6	1.6	0.7	0.4	1.2	50	521
	大型店	253	1.8	90	58	0.9	4.6	8.0	34	0.8	40	0.5	120	1.2	68	2.8	0.8	1.0	2.3	8.9
オ) 日用衣料品	小型店	11.1	0.6	1.9	3.7	0.7	1.5	4.2	1.6	0.4	0.9	0.6	1.6	0.8	1.6	1.5	2.2	3.1	7.7	54.5
	大型店	31.6	0.7	5.1	4.8	0.4	2.3	6.3	2.8	0.3	3.2	2.2	5.9	2.2	5.8	5.8	6.1	3.5	2.5	8.5
キ) 高級衣料品	小型店	8.8	0.1	0.4	0.4	0.1	0.2	0.9	0.3	0.1	0.5	0.6	0.5	0.2	0.6	1.6	7.1	2.7	19.0	55.9
	大型店	31.3	0.3	1.3	0.8	0.1	0.9	1.4	0.8	0.1	1.1	2.5	1.3	0.6	2.1	5.8	20.1	3.7	15.8	10.1
ケ) 電気製品	小型店	8.4	0.6	1.8	1.3	0.4	0.6	2.5	1.8	0.4	1.0	0.7	1.7	1.2	1.3	1.4	1.0	5.3	11.2	57.3
	大型店	29.9	2.7	4.2	0.9	0.3	2.8	3.7	2.3	0.4	2.4	1.5	10.8	5.3	4.6	5.6	4.6	6.2	3.9	8.0
サ) 家具類	小型店	7.7	0.3	1.2	0.4	-	0.8	1.6	0.5	0.2	0.5	0.6	2.5	0.5	1.1	1.6	1.3	4.6	15.5	59.1
	大型店	27.8	2.0	3.2	0.7	0.3	3.8	3.0	1.3	0.3	1.8	1.9	10.5	2.2	2.9	8.3	4.7	7.2	9.6	8.9
ス) 贈答品 (3,000円以上)	小型店	9.7	0.4	1.5	0.9	0.3	0.5	2.2	0.7	0.3	0.4	0.2	1.3	0.6	1.0	1.2	3.5	4.1	14.2	56.8
	大型店	40.7	0.6	2.0	1.2	0.1	1.4	2.5	1.3	0.1	1.2	1.8	2.9	1.3	3.2	4.3	10.6	6.1	9.4	9.1

問9 あなたは、市内の商店街にどんな商業関連施設の設置や事業をしてほしいですか。

① 商店街施設について

(○は2つ以内)

1. 緑地、街路樹、広場	24.6	5. 公衆便所	14.1	9. その他	2.5
2. 休憩所、水飲み場	16.8	6. 商店街街路灯	5.1	10. 特にない、わからない	12.1
3. 駐車場、自転車置場	44.7	7. 歩行者専用道路	20.9		
4. 商店街案内板	5.6	8. アーケード	12.0		

無回答 1.3

② 商店街で実施してもらいたい事業、サービスについて

(○は2つ以内)

1. 空きビン、空き缶のリサイクル事業 (デポジット)	21.9	5. ナイトバザール	12.4
2. 宅配サービス事業	17.8	6. 共同売り出し	21.5
3. カード事業	6.3	7. その他	3.7
4. スタンプ事業	7.5	8. 特にない、わからない	35.7

無回答 2.2

問10 あなたが農業に期待することは何ですか。

(○はいくつでも)

1. 安全安心な農産物の提供	74.2	5. 川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実	19.6
2. 農産物直売機会の充実	43.8	6. 田園風景の保存	21.2
3. 農業にふれあえる機会の充実	8.4	7. その他	2.4
4. 川越産農産物のブランド化	22.4		

無回答 1.4

教育・文化・スポーツについてお伺いします

問11 あなたは、どんな国際交流をしてみたいと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内)

1. 外国人との交流行事やサークル活動	24.6	6. 外国の歴史や文化を学ぶ	26.5
2. ホームステイを受け入れる	6.1	7. 国際ボランティア活動へ参加する	6.5
3. 観光で海外旅行に行く	35.4	8. 地域の外国人への支援活動をする	8.0
4. 外国人の友人を作る	17.8	9. その他	0.8
5. 外国語を習得する	35.3	10. 特になし	24.1

無回答 1.4

問12 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。

次の中から2つ以内で選んでください。(○は2つ以内)

1. クラシックコンサートやオペラ鑑賞	21.4
2. 落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞	21.1
3. 文化人などの講演会	10.3
4. 著名な画家などの美術展	13.5
5. プロ選手などのスポーツ観戦	28.9
6. 知識や技能、教養を高めるための講座や教室	22.1
7. 日頃の活動を発表できる市民参加の音楽祭・文化祭	6.9
8. 市民参加のスポーツ大会	10.8
9. 地域の伝統行事や祭り	24.2
10. その他	4.0

無回答 2.9

問13 ①あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。

次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

\*「文化活動」とは、クラシック音楽、ポピュラー音楽、邦楽、民俗芸能、演芸、文芸、美術等における活動（文化財・歴史的遺産の保存・活用活動は含みません）を想定しています。

1. ほとんど毎日	2.0	2. 週に3～5日	1.9	3. 週に2日	1.6
4. 週に1日	3.0	→ ★②にお答えください			
5. 月に1～3日	9.6				
6. ほとんど行っていない、または行っていない	79.7				

無回答 2.2

② ★①で4.と5.と答えた方におたずねします。

現状に対する考え方を教えてください。(○は1つ)

1. 現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない	61.1
2. 行いたい、家庭のライフスタイルに合わせて減少している	19.2
3. 行いたい、ある事情について落ち着いたら積極的に取り組んでいきたい	14.1
4. もっと減らしていきたい、減っていく可能性がある	1.5
5. その他	2.5
6. わからない	0.5

無回答 1.0

問14 文化に対するあなたの考え方を教えてください。(○は1つ)

1. 趣味として行うもの	28.0
2. 時間や経済的なゆとりがあるから行うもの	12.0
3. 教養として心を豊かにするために行うもの	45.1
4. 興味がない	4.5
5. その他	1.5
6. わからない	5.7

無回答 3.2

問 15 ①あなたは、日ごろ次のような生涯学習をおこなっていますか。 (○はいくつでも)

※「生涯学習」とは、自己の啓発や充実のため、生活の向上のためや職業上の能力の向上のため、自発的に行う学習活動のことを想定しています。

1. 公民館の講座や教室 (体操教室なども含む)	10.4	★②と③にお答えください
2. 図書館・博物館・美術館の講座や教室	5.4	
3. その他、市が行っている講座や教室	4.2	
4. 県や国が行っている講座や教室	1.8	
5. 公民館などで自主的・自発的に行っているサークル活動	7.6	
6. 大学等のオープンカレッジ	2.1	
7. 民間のカルチャーセンター・スポーツクラブなどの講座や教室	9.9	
8. 自宅で活動 (通信教育・本・CDソフトなどを使った自主的な学習)	16.5	
9. インターネットなど	17.8	
10. ラジオやテレビ	15.9	
11. その他	2.1	
12. 特にやっていない	45.8	

無回答 1.6

② ★①で 1.～10. のいずれかに答えた方におたずねします。

あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。  
次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも)

1. 川越市広報	43.7	6. 家族・友人・知人からの紹介	32.3	11. インターネット	44.1
2. 公民館だより	16.5	7. 新聞記事や折り込み広告	24.0	12. その他の手段	3.8
3. 生涯学習情報誌マナビガイド04	0.4	8. ポスターやチラシ	14.4	13. わからない	0.5
4. 川越市のホームページ	3.2	9. ダイレクトメール	3.4		
5. 自治会の回覧	15.0	10. テレビ番組	21.1		

無回答 1.6

③ ★①で 1.～10. のいずれかに答えた方におたずねします。

あなたの生涯学習を行う主な目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも)

1. 趣味を広げたり、教養を高めるため	58.7	5. ボランティア活動に生かすため	3.9
2. 健康・体力づくりのため	40.1	6. 地域の人との親睦を深めたり、仲間づくりのため	19.3
3. 家庭生活や日常生活を充実させるため	34.2	7. 自由時間を有効に活用するため	27.5
4. 現在の仕事や、転職などに必要な知識・技能を身につけるため	20.6	8. セカンドライフを充実したものにするため	14.8
		9. その他	1.7

無回答 2.6

問 16 あなたは、スポーツや運動をどの程度していますか。

①頻度はどの程度ですか。

(○は1つ)

1. ほとんど毎日	8.3	2. 週に3～5日	13.3	→ ★②と③と④にお答えください
3. 週に2日	9.6	4. 週に1日	6.6	
5. 月に1～3日	9.4			→ ★⑤にお答えください
6. ほとんどしていない	51.6			→ ★⑥にお答えください

無回答 1.3

② ★①で 1.～4. と答えた方におたずねします。

1回の時間はどの程度ですか。

(○は1つ)

1. 30分未満	14.6	2. 30分以上1時間未満	39.9	3. 1時間以上	44.6
----------	------	---------------	------	----------	------

無回答 1.0

③ ★①で 1.～4. と答えた方におたずねします。

スポーツや運動を初めてからどの程度期間が経過していますか。

(○は1つ)

1. 6カ月未満	7.5	3. 1年以上	82.6
2. 6カ月以上1年未満	5.5	4. わからない	2.2

無回答 2.2



④ **★①で1.～4.と答えた方におたずねします。**

あなたは、スポーツや運動をどこで行なっていますか。

次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも)

1. 小・中学校の施設	3.4	3. 公共の施設	26.3	5. 自宅周辺	50.9
2. 高校・大学の施設	1.8	4. 民間のスポーツ施設	25.8	6. その他	12.6

無回答 2.7

⑤ **★①で「5.月に1～3日」と答えた方におたずねします。**

健康を保つための運動習慣を身に付けるために、どのようなことがあるとよいと思いますか。

次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも)

1. 自分に合った運動方法や運動量がわかる	40.5	5. 身近に参加しやすい運動教室がある	26.4
2. 運動の指導者がいる	18.2	6. ウォーキング大会などのイベントで	
3. 運動をする仲間がいる	35.1	運動するきっかけがある	10.8
4. 身近に運動をする場所がある	56.8	7. その他	4.7

無回答 0.7

⑥ **★①で「6.ほとんどしていない」と答えた方におたずねします。**

スポーツや運動をほとんどしていない理由は何ですか。

次の中から1つだけ選んでください。

(○は1つ)

1. 時間がとれない	39.0	6. 病弱でできない	6.5
2. 疲れていて運動どころではない	13.0	7. 参加できる催し物がない	1.6
3. 運動する施設や場所がない	3.6	8. よい指導者がいない	0.2
4. 運動したいと思わない	7.0	9. その他	4.3
5. 一緒に運動する仲間がいない	2.6	10. 特に理由はない	19.4

無回答 2.8

問17 ①あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。

次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも)

1. 体育館	27.6	4. プール	29.6	7. サッカー場	8.9	10. その他	12.0
2. テニスコート	11.9	5. 野球場	8.5	8. フットサル場	6.5		
3. 武道場	5.8	6. ソフトボール場	2.1	9. 多目的グラウンド	40.7		

無回答 11.8

②また、あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。

次の中からあてはまるものすべてをお選びください。

(○はいくつでも)

1. 健康体操	36.7	6. ヨーガ	24.4	11. スキー	4.9	16. 3B体操	3.4
2. スイミング	19.7	7. テニス	11.3	12. 太極拳	10.2	17. スケート	4.2
3. 卓球	7.8	8. エアロビクス	5.9	13. ウォーキング	22.3	18. その他	10.9
4. 剣道	2.6	9. バドミントン	7.2	14. ゴルフ	11.5		
5. 柔道	2.2	10. 弓道	5.6	15. バレーボール	3.2		

無回答 10.1

保健・医療・福祉についてお伺いします

問18 ふだんの健康づくりで、あなたの関心のあることは何ですか。

次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

(○はいくつでも)

1. 食生活・食育	69.7	4. 生活習慣病予防	41.7	7. 節酒・禁酒 (20歳以上の方)	5.4
2. 運動	46.1	5. 歯と口の健康	29.9	8. 体重管理	35.4
3. 休養・こころの健康	36.1	6. タバコの減煙・禁煙 (20歳以上の方)	7.8	9. その他	0.6

無回答 1.8

問19 ①あなたの昼食は、主食、主菜、副菜がどのくらいの頻度でそろっていますか。(○は1つ)

※主食とは(ごはん、パン、麺類などの料理)

主菜とは(魚介類、肉類、卵、大豆・大豆製品を主材料にした料理)

副菜とは(野菜類、海草類、きのこ類を主材料にした料理)

1. ほとんど毎日そろっている	50.4
2. 週に3～5日そろっている	21.3
3. 週に2日そろっている	10.8
4. そろっていない	13.9
5. 食べない	1.5

→ ★②にお答えください

無回答 2.2

②-1 ★①で2.～4.と答えた方におたずねします。

「主食・主菜・副菜」のうち、食べていないものはどれですか。(○は1つ)

1. 主食	4.5	2. 主菜	17.4	3. 副菜	68.2	無回答	9.9
-------	-----	-------	------	-------	------	-----	-----

②-2 また、「主食・主菜・副菜」がそろわない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 必要だと感じない	9.9	4. 作るのが面倒だから	43.4
2. 時間がない	27.1	5. 飲食店や購入先のメニューがない	13.5
3. 費用がかかる	21.9	6. その他	9.8
無回答 3.9			

問20 あなたは、老後の生活について不安を感じますか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。(○は1つ)

1. 住居のことで不安を感じる	2.6	5. 家族などの人間関係のことで不安を感じる	6.1
2. 健康のことで不安を感じる	25.7	6. その他	1.6
3. 収入のことで不安を感じる	40.9	7. 特に不安は感じない	13.2
4. いきがいのことで不安を感じる	4.4	無回答	5.5

問21 あなたは、老後の過ごし方についてどのようにお考えですか。

自分の考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

1. 自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい	47.0	4. 社会福祉のための奉仕活動や地域活動に参加したい	2.7
2. 研究や学習・勉強に取り組みたい	2.4	5. 健康の維持・増進に努めたい	23.3
3. できるだけ働きたい	15.8	6. 特に考えていない	7.2
無回答 1.6			

問22 高齢者の総合的な相談窓口として設置している、「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、同センターを利用(相談)したことがありますか。(○は1つ)

1. センターの存在を知っていて、利用したこともある	5.8
2. センターの存在は知っているが、利用したことはない	25.3
3. センターの存在は知っているが、どのように利用してよいのか分からない	8.8
4. センターの存在を知らない	59.2
無回答 0.9	

問23 あなたが自宅で療養生活を送ることになった場合に不安に思うことは何ですか。

次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。(○は1つ)

1. 緊急時や救急時の対応が分からない	7.8	5. 通院できないときの対応が分からない	7.5
2. 介護サービスの利用方法が分からない	10.2	6. 適切な医療が受けられるのか分からない	23.5
3. 利用できる介護サービスが分からない	16.9	7. 特に不安なことはない	14.4
4. 日常生活の世話をしてくれる人がいない	16.0	無回答	3.6

問24 ①あなたやご家族の中で、病気になったときに決まって診察を受ける医師(かかりつけ医)がいる方はいますか。(○は1つ)

1. いる	53.4	★②にお答えください	2. いない	45.3
無回答 1.4				

② ★①で「1. いる」と答えた方におたずねします。

「かかりつけ医」がいる方は、どなたですか。(○はいくつでも)

1. 自分	70.1	3. 配偶者	40.9	5. その他	2.7
2. 子ども	30.7	4. 親	20.2	無回答	0.9

問25 あなたは「特定健康診査」を知っていますか。(○は1つ)

※特定健康診査は、高血圧症や糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する目的で行われている健診(メタボ健診)で、40歳以上の方が対象です。

1. 知っている	59.5	2. 内容は知らないが言葉は聞いたことがある	17.6	3. 知らない	21.5
無回答 1.5					

問26 多くの方に特定健康診査を受けてもらうために、どのようにすべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 健診の必要性を啓発する	28.0	6. 土日に健診が受けられる	48.9
2. 健診を受けるために仕事を休める	21.0	7. 健診を受けると特典がもらえる	10.5
3. メタボ以外の健診項目がある	18.0	8. 待ち時間が短い	33.2
4. 各種がん検診もセットで一度に受けられる	48.8	9. その他	1.8
5. 市指定以外の病院を受診できる	22.7		

無回答 2.7

問27 がん検診の受診状況についてお尋ねします。

① 平成26年4月1日～平成27年3月31日に次の検診を受けたことがありますか。

胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）(〇は1つ)

1. 受けていない	62.5	→ ★②にお答えください	
2. 市の検診を受けた	8.4	3. 市以外の検診（人間ドックを含む）を受けた	26.3

無回答 2.8

肺がん検診（胸部X線撮影）

(〇は1つ)

1. 受けていない	41.8	→ ★②にお答えください	
2. 市の検診を受けた	10.5	3. 市以外の検診（人間ドックを含む）を受けた	25.6

無回答 22.1

② ★①で「1. 受けていない」と答えた方におたずねします。

がん検診を受診しない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

1. 自分は健康だから関係ない	10.3	5. 検診に出かけるのが面倒	20.1
2. 受診方法がわからない	15.8	6. 結果に不安がある	6.0
3. 経費がかかる	24.0	7. 症状があれば診察を受ける	35.4
4. 受診したいが時間がない	20.6	8. がん治療を受けている	1.1

無回答 5.3

問28 ①あなたは、定期的に歯科健診を受けていますか。

(〇は1つ)

1. 受けていない	51.8	→ ★②にお答えください			
2. 3か月に1回ぐらい	12.7	3. 6か月に1回ぐらい	15.6	4. 1年に1回ぐらい	18.4

無回答 1.6

② ★①で「1. 受けていない」と答えた方におたずねします。

歯科健診を受診しない理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

1. 自分は健康だから関係ない	3.2	4. 出かけるのが面倒	14.8
2. 経費がかかる	19.5	5. 症状があれば診察を受ける	66.1
3. 受診したいが時間がない	20.1	6. その他（ ）	5.7

無回答 0.7

③あなたは、定期的に歯の治療や相談、健診などを受ける歯科医師（かかりつけ歯科医）がいますか。

(〇は1つ)

1. いる	61.5	2. いない	35.9
-------	------	--------	------

無回答 2.5

問29 精神に障害がある方のために特に充実していく必要があると思われるものは何ですか。

次の中から3つ以内で選んでください。

(〇は3つ以内)

1. 普及啓発活動	13.0	6. ボランティアの育成	13.6
2. 相談体制の充実	51.1	7. 健常者との交流の機会の整備	13.2
3. 働く機会の充実	34.6	8. 暮らしやすい街づくり	27.2
4. 通所施設の充実	30.0	9. その他	0.7
5. 協力組織の育成	23.5	10. わからない	9.7

無回答 2.8

環境についてお伺いします

問30 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。  
次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

1. 満足	5.8	2. やや満足	22.7	3. ふつう	56.8	4. やや不満	9.9	5. 不満	2.8
無回答									1.8

問31 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内)

1. テレビ	67.7	4. 雑誌	6.5	7. 市が発行する冊子	8.9
2. ラジオ	9.1	5. 広報川越	47.2	8. 公民館などの講座	1.6
3. 新聞	38.5	6. インターネット	31.0	9. その他	1.4
無回答					1.6

問32 あなたは、ごみを減らすために、どのようにすべきだと思いますか。  
次の中から2つ選んでください。(○は2つ以内)

1. ごみ処理の有料化を拡大すべきである	9.4	
2. 可燃ごみの中の生ごみや廃食用油を分別収集して、資源化すべきである	29.5	
3. 古紙・古布等の資源ごみの排出機会を拡大すべきである(定時収集の拡大や定時収集化など)	45.1	
4. スーパー等のレジ袋を有料化すべきである	12.7	
5. 企業にごみが出ない製品づくりを働きかける	49.0	
6. その他	4.2	
無回答		2.8

問33 あなたは、省エネのためにどのようなことを行っていますか。  
次の中からあてはまるものをすべてで選んでください。(○はいくつでも)

1. 冷暖房機器の設定温度を控えめにしている	68.4	
2. テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている	28.0	
3. 使っていない部屋の明かりを消すようにしている	85.6	
4. 冷蔵庫は中身をつめすぎないようにしている	27.8	
5. 洗濯は風呂の残り湯を使うようにしている	32.8	
6. 入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている	46.8	
7. 自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている	30.7	
8. 緑のカーテンを設置している	11.5	
9. 電化製品を購入する際には、統一省エネラベルを意識している	27.5	
10. その他	1.5	
11. 省エネは特に心がけていない	1.9	
無回答		1.0

問34 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。  
また、②今後どのようなことをしたいですか。(○はいくつでも)

項 目	① していること	② したいこと
1. 庭や家のまわりで木や花を育てる	54.9	15.3
2. ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる	35.6	13.2
3. 生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する	9.6	12.4
4. 市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる	5.9	14.4
5. 近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする	1.2	12.4
6. 地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する	0.6	12.7
7. 特になにもない	15.9	10.3
無回答	20.7	49.1

問35 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内)

1. 公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	71.8	
2. 樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	33.2	
3. 緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	22.0	
4. 市民農園の整備を推進してほしい	13.7	
5. 樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	12.0	
6. ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい	10.1	
7. その他	3.4	
無回答		4.1

地域社会と市民生活についてお伺いします

問36 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。

(○は3つ以内)

1. 市民の防災意識を高めること	49.4
2. 自主防災組織を育成すること	15.4
3. 飲料水や食料などの生活物資を確保すること	51.8
4. 下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること	23.9
5. 農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）	5.6
6. 避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること	45.6
7. 救急・医療体制を充実させること	43.2
8. 消防車、防火水槽などの消防力を充実させること	9.1
9. その他	1.1

無回答 2.3

問37 東日本大震災以降、個人で3日以上の水や食料の備蓄が必要といわれておりますが、あなたは何日分準備していますか。

(○は1つ)

1. 1日分準備している	15.1	3. 3日以上準備している	25.4
2. 2日分準備している	19.8	4. 準備していない	38.4

無回答 1.3

問38 あなたは、家族等との安否確認手段を決めていますか。

(○はいくつでも)

1. 予定避難場所を決めている	32.5
2. 災害用伝言板サービスを利用することになっている	6.5
3. 災害用伝言ダイヤルを利用することになっている	8.4
4. 特に決めていない	57.7
5. その他	1.4

無回答 1.1

問39 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあるものはどのようなものですか。

(○はいくつでも)

1. 女性にかかる人権問題	31.1	8. アイヌの人々にかかる人権問題	3.5
2. 子どもにかかる人権問題	33.9	9. 刑を終えて出所した人にかかる人権問題	7.5
3. 高齢者にかかる人権問題	35.8	10. 犯罪被害者等にかかる人権問題	20.2
4. 障害のある人にかかる人権問題	32.5	11. インターネットによる人権侵害	35.4
5. 同和問題	4.9	12. 性同一性障害者、性的指向の異なる人にかかる人権問題	11.3
6. 外国人にかかる人権問題	7.8	13. その他	1.1
7. HIV感染者、ハンセン病患者などにかかる人権問題	6.7	14. 特にない	13.5

無回答 3.0

問40 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取り組みが必要だとお考えですか。

(○はいくつでも)

1. 慣習や社会の仕組みを改善していく	45.4	9. 民間運動団体を充実させる	5.3
2. 家庭の中で取り組んでいく	28.7	10. 人権意識は向上しており、取り組む必要はない	0.9
3. 学校教育の中で教えていく	55.6	11. 個人の意識の問題であり、介入する必要はない	4.2
4. 市町村が啓発活動を積極的に行う	21.0	12. その他	0.9
5. 自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う	15.4	13. 取り組んでも変わらない	1.2
6. 企業や職場での啓発活動を行う	18.7	14. わからない	11.0
7. 講演会・シンポジウムなどを開催する	9.4		
8. 人権に関する作文や絵画などのコンクールを行う	3.7		

無回答 2.3

問41 あなたは、男女の地位が平等になっていると思いますか。各項目ごとに1つだけ選んでください。(○は1つずつ)

項目	男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
ア) 家庭生活で	8.8	32.4	40.4	5.1	2.2	7.9	3.2	
イ) 学校教育の場で	2.7	10.8	54.1	2.5	0.8	23.5	5.6	
ウ) 職場の中で	18.2	38.0	19.5	5.7	1.5	12.3	4.7	
エ) 地域社会において	8.8	36.5	28.6	4.7	1.9	14.6	4.9	
オ) 社会通念・習慣・しきたりなどで	19.2	44.8	17.5	2.6	1.0	10.3	4.6	
カ) 法律や制度において	9.3	28.0	37.1	4.0	1.6	15.2	4.7	
キ) 社会全体において	14.4	43.7	18.7	4.7	1.5	13.1	3.9	

問42 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

1. そう思う	11.9	3. どちらともいえない	40.3
2. そうは思わない	44.9	4. わからない	1.6

無回答 1.3

問43 ①あなたは、市民活動に参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)  
 ※「市民活動」とは、「営利を目的とせず、社会や地域の課題の解決に向けて自発的・自主的・継続的に行う活動(宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除く)」を想定しています。

1. 現在、参加している	7.1	→ ★②にお答えください	
2. 今は参加していないが、今後は是非活動したい	3.2		
3. 今は参加していないが、今後機会があれば参加したい	27.4		
4. 参加したいとは思わない	34.6	5. わからない	24.7

無回答 3.0

② ★①で1.～3.と答えた方におたずねします。

あなたが参加している、または参加したいと思う公益活動の分野をお選びください。(○はいくつでも)

1. 保健・医療・福祉の推進	23.8	7. 防犯・交通安全活動	18.8	13. 科学の振興	4.5
2. 生涯学習の推進	22.5	8. 人権・平和活動	6.4	14. 経済・観光の活性化	8.7
3. まちづくりの推進	21.3	9. 国際交流の推進	14.1	15. 職業支援活動	5.9
4. 文化・スポーツの振興	29.5	10. 男女共同参画の推進	3.7	16. 消費者保護活動	4.2
5. 環境・美化活動	25.0	11. 子育て・青少年の健全育成	19.5	17. 市民活動の支援	9.9
6. 災害対策活動	13.9	12. 情報化社会の推進	5.0	18. その他	2.0

無回答 1.3

問44 市民活動を行う、または参加する場合、どのような支援があればよいと思いますか。次の中から2つだけ選んでください。(○は2つ以内)

1. 身近に活動する場所があること	60.9
2. 活動の案内や団体の情報が簡単に手に入る	35.8
3. 活動に必要な知識や技術を身に付ける研修・講座等があること	23.9
4. 活動に関する相談受付や募集の企画への協力が得られること	9.2
5. 他の団体と交流が図れるなど、活動の幅が広がること	6.4
6. その他	2.5

無回答 9.1

問45 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑の登録、また住所変更(転入・転出など)や戸籍の届出(婚姻・出生など)は、市役所本庁舎以外にも、各市民センター(旧出張所)・連絡所でも手続きができることをご存知ですか。

1. 知っている	91.6	2. 知らなかった	7.0
----------	------	-----------	-----

無回答 1.4

市政全般についてお伺いします

問46 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。(○は1つ)

1. よく読む	41.6	2. ところどころ読む	49.0	3. 読まない	8.8
					無回答
					0.6

問47 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(○はいくつでも)

1. 市のホームページ	22.8	4. 広報川越	85.4	
2. 市のツイッター	0.8	5. その他	5.4	
3. メール配信サービス	2.4			
				無回答
				2.0

問48 あなたは、自宅・職場・学校などでインターネットを利用していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. パソコンで利用している	54.8	5. その他の機器(ゲーム機、テレビ等)だけで利用している	3.1	
2. 携帯電話(フィーチャーフォン)で利用している	10.1	6. 現在利用していないが今後利用したい	8.7	
3. スマートフォンで利用している	47.1	7. 今後も利用するつもりがない	12.2	
4. タブレット端末を利用している	13.4			
				無回答
				2.6

問49 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)

※「情報提供」とは、「広報川越」や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による公文書の公開などを想定しています。

1. 分かりやすく提供されている	14.6	3. あまり分かりやすく提供されていない	15.8	
2. おおむね、分かりやすく提供されている	61.8	4. 分かりやすく提供されていない	4.2	
				無回答
				3.5

問50 あなたが今必要としている市からの情報は何か。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ)

1. 医療や健康づくりに関する情報	41.4	8. ゴミ・廃棄物の処理やリサイクル情報	26.1	
2. 福祉サービスに関する情報	22.4	9. 市の施策・計画に関する情報	14.1	
3. スポーツ施設と利用法の情報	9.6	10. 地域のお祭りやレクリエーションの場の情報	11.7	
4. 文化施設や催し物の情報	16.9	11. 市民のボランティア・サークル活動の情報	4.2	
5. 生涯学習講座に関する情報	7.8	12. マイナンバーの情報	30.1	
6. 災害時の対応の情報	27.2	13. その他	1.9	
7. 交通渋滞や道路工事等の情報	11.7	14. 特にない	6.3	
				無回答
				2.3

問51 市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)

1. 市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	4.5	
2. ある程度、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	39.2	
3. 市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない	45.3	
4. 市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない	6.3	
		無回答
		4.7

問52 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。ア)～チ)の項目ごとに1つずつ選んでください。(○は1つずつ)

		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
保 健	ア) ごみの回収	43.2	39.6	11.6	3.7	1.8
	イ) 排水のはけぐあい	33.2	38.7	17.4	8.2	2.5
	ウ) 予防接種・定期健康診断	26.8	50.9	14.1	3.0	5.1
	エ) 休日や夜間の急病の時の安心さ	13.0	40.2	32.1	9.8	4.9
安 全	オ) 子どもが外で遊ぶときの安全性	6.8	38.8	38.0	10.9	5.4
	カ) 高齢者の外出や散歩の安全性	7.0	38.3	40.5	9.7	4.5
	キ) 自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	12.0	46.7	30.1	7.0	4.2
	ク) 夜道の明るさ(防犯灯)	7.8	29.5	37.0	23.4	2.4
	ケ) まわりの道路の安全性	5.8	28.5	40.3	23.0	2.5

		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
利便	コ) 日用品・食料品等の買物の便利さ	34.7	40.5	15.2	7.0	2.6
	サ) 通勤・通学時の便利さ	21.6	38.2	23.7	10.0	6.5
	シ) 公園・広場等の利用のしやすさ	13.0	40.4	29.3	12.5	4.8
	ス) 公民館・集会場等の利用のしやすさ	11.8	46.6	28.7	7.5	5.4
快適	セ) ばい煙・排気ガスからの快適さ	14.2	48.4	26.3	6.1	5.1
	ソ) 工場・車等の振動、騒音からの快適さ	19.0	44.1	23.7	8.7	4.5
	タ) 周囲のにおいの状態からの快適さ	21.9	49.7	17.5	6.6	4.3
	チ) プライバシーの保持	18.9	58.0	15.8	3.2	4.1

問53 市役所職員のイメージについてどう思いますか。

それぞれのイメージについて評価してください。

(○は1つずつ)

	良 い	どちらかといえば良 い	どちらかといえば悪 い	悪 い	無回答
ア) 親 切	20.4	60.5	11.5	3.2	4.4
イ) 融通がきく	9.2	46.7	29.2	9.0	5.8
ウ) 能率的	10.6	50.3	26.1	7.2	5.9
エ) 積極的	9.3	46.5	30.6	7.3	6.2
オ) サービス心	12.2	49.8	24.4	7.7	5.8
カ) 身だしなみ	22.7	63.1	7.4	1.8	5.1
キ) 態 度	18.0	57.0	14.9	4.9	5.2
ク) 言葉づかい	20.6	63.6	9.1	1.6	5.0

問54 市政全般について、よくなってきた施策、また、あなたが力を入れてほしい施策をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

	よくなってきた	力を入れてほしい		よくなってきた	力を入れてほしい
1. 市民参加の行政	4.1	2.4	19. 住宅	2.9	2.7
2. 市の行政に対する情報提供	10.3	2.4	20. 就労の支援	1.1	11.2
3. 行財政改革の推進	1.4	3.8	21. 農業振興	1.1	3.6
4. インターネットを活用した行政サービス	12.2	4.5	22. 商工業振興	1.5	2.3
5. 保育所・幼稚園	5.2	14.5	23. 観光による地域振興	26.7	5.1
6. 社会福祉	5.2	10.7	24. 地球温暖化対策の推進	0.4	4.6
7. 保健・医療	7.5	14.4	25. 環境衛生	2.5	3.5
8. 文化・スポーツ活動の振興	9.5	3.7	26. 自然環境の保全	1.1	5.8
9. 社会教育の充実	1.0	1.1	27. 河川・水路の改良整備	6.6	7.0
10. 歴史的環境の保全	16.4	2.5	28. コミュニティの育成	0.7	2.1
11. 学校教育の内容・施設・環境の整備	4.3	9.7	29. 男女共同参画	0.1	1.3
12. 中心市街地の基盤整備と活性化	16.7	4.1	30. 交通安全	2.3	12.8
13. 周辺地域の基盤整備と活性化	2.7	7.7	31. 防犯	2.3	20.8
14. 土地利用 (用途地域の見直しなど)	1.8	5.3	32. 防災体制の充実	1.1	9.1
15. 道路、交通網の整備	10.8	21.4	33. 消防・救急体制の整備	2.5	7.8
16. 水道事業	2.5	0.6	34. 消費者対策	0.4	3.8
17. 下水道整備	6.5	6.3	35. 葬祭施設(やすらぎのさと)の充実	13.0	6.7
18. 公園・緑地の整備	8.4	11.9	36. 特にない	7.9	2.8

無回答 21.3 14.9



問55 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。

次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(○は1つ)

1. 住み続けたい	57.7	3. どちらかという市外に転出したい	7.7
2. どちらかという住み続けたい	30.4	4. 市外に転出したい	2.0

無回答 2.2

問56 あなたが市税（国民健康保険税を含む）を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。

(○は2つ以内)

1. 金融機関及びゆうちょ銀行・郵便局の窓口	34.1	4. コンビニエンス・ストア	46.5
2. 市役所収税課・各市民センターの窓口	7.3	5. インターネット(パソコン・スマートフォン等を使用)を利用したクレジットカードによる納付	11.9
3. 口座振替	41.7	<b>*現在は未採用です。</b>	

無回答 2.7

問57 2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。

① あなたは、川越市でゴルフ競技が開催される予定であることを知っていますか。

次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(○は1つ)

1. 知っていた	66.9	2. 何らかの競技が開催されると聞いたことがある	5.6	3. 知らない	26.0
----------	------	--------------------------	-----	---------	------

無回答 1.5

② あなたは、東京オリンピックにはどのような形で関わりたいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(○は1つ)

1. 競技会場で観戦したい	23.3	4. 外国の方との交流を図りたい	4.0
2. テレビなどで観戦したい	38.4	5. 特に考えていない	26.3
3. ボランティアとして参加したい	4.7	6. その他	1.2

無回答 2.2

## 基本項目（フェイスシート）

F1 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性	43.2	2. 女性	55.7
-------	------	-------	------

無回答 1.1

F2 あなたの年齢はいくつですか。

1. 18・19歳	0.9	3. 30～39歳	14.5	5. 50～59歳	13.4	7. 70歳以上	19.1
2. 20～29歳	9.5	4. 40～49歳	19.3	6. 60～69歳	22.3		

無回答 1.0

F3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。

1. 夫婦だけ	27.8	3. 三世帯世帯（親と子と孫）	8.6	5. その他	3.5
2. 二世帯世帯（親と子）	47.9	4. 単身世帯	10.8		

無回答 1.3

F4 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

1. 本庁地区	22.9	4. 南古谷地区	7.6	7. 大東地区	9.3	10. 霞ヶ関北地区	4.2
2. 芳野地区	2.7	5. 高階地区	13.3	8. 霞ヶ関地区	12.0	11. 名細地区	6.1
3. 古谷地区	4.2	6. 福原地区	5.1	9. 川鶴地区	5.4	12. 山田地区	4.8

無回答 2.5

F5 あなたは、川越市の現在の場所に何年くらい住んでいらっしゃいますか。

1. 1年未満	3.5	2. 1年～5年未満	14.3	→★ F6 にお答えください
3. 5年～10年未満	12.0	4. 10年～20年未満	18.2	
5. 20年以上	50.9			

無回答 1.1

F6 ★F5で1.～4.のいずれかに答えた方におたずねします。

現在の場所に移る前はどこにお住みでしたか。

1. 川越市内の別の場所	27.8	3. 東京都	13.5
2. 埼玉県内の他市町村	43.5	4. その他	13.9

無回答 1.3

F7 あなたの住宅の種類はどれですか。

1. 一戸建持家（家族の所有も含む）	71.8	4. 公営（県営、市営、公団、公社）の賃貸住宅	1.3
2. 一戸建以外の持家（分譲マンションなど）	12.7	5. 社宅（独身寮、公務員住宅を含む）	1.0
3. 民営借家（民営アパートを含む）	12.0	6. その他	0.3
			無回答 1.0

F8 あなたのご職業は何ですか。（複数ある場合は、主となる職業を1つ選んでください）

1. 農業	1.5	6. 労務職（建設作業員、工員、運転手など）	5.1
2. 商工・サービス業（自営業者、家族 従事者）	6.8	7. パート	15.1
3. 自由業（医師、弁護士、税理士、芸術家など）	1.1	8. 学生	2.3
4. 管理職（会社、団体などの課長職以上）	5.8	9. その他	3.7
5. 専門・技術・事務職（研究者、技術者、一般事務、教員、保安、販売員など）	21.3		
10. 家事専業	18.2	11. 無職	17.7
			無回答 1.3

F9 ★F8で1.～9.のいずれかに答えた方におたずねします。

あなたの通勤・通学先はどこですか。（複数ある場合は、主な場所を1つ選んでください）

1. 自宅（農業、自営など）	9.4	4. 東京都	18.6
2. 川越市内（自宅以外）	34.6	5. その他	1.9
3. 埼玉県内の他市町村	32.5		
			無回答 3.0

最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

※ 返信用の封筒に、ご住所・お名前などは記入しないでください。

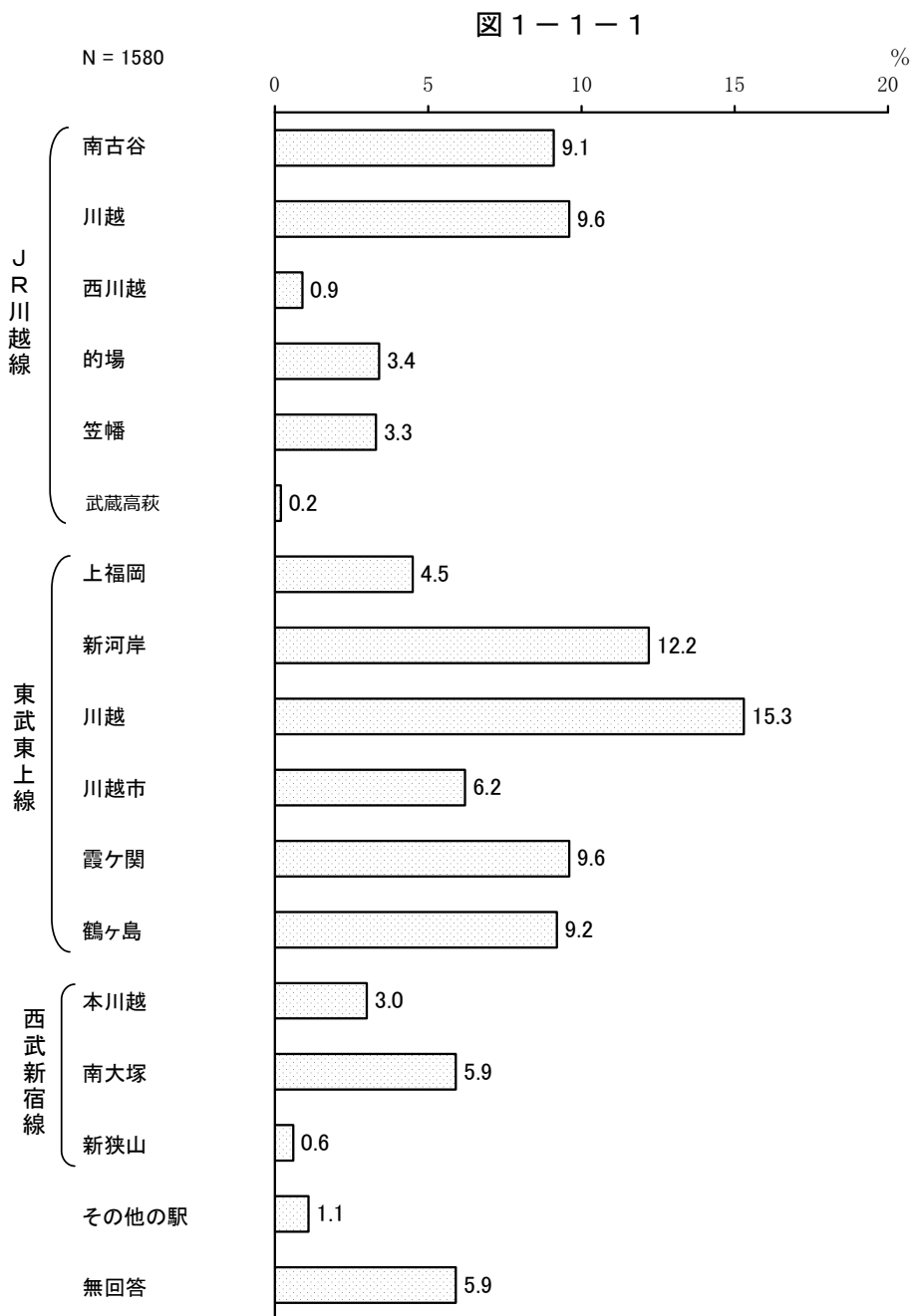
### Ⅲ 調査結果の分析

#### 1 都市基盤・生活基盤

##### 1-1 主に利用する最寄りの駅

◇「川越」駅の利用率（東武東上線 15.3%）が高い

問1 あなたが主に利用する最寄りの駅はどこですか。（○は1つ）



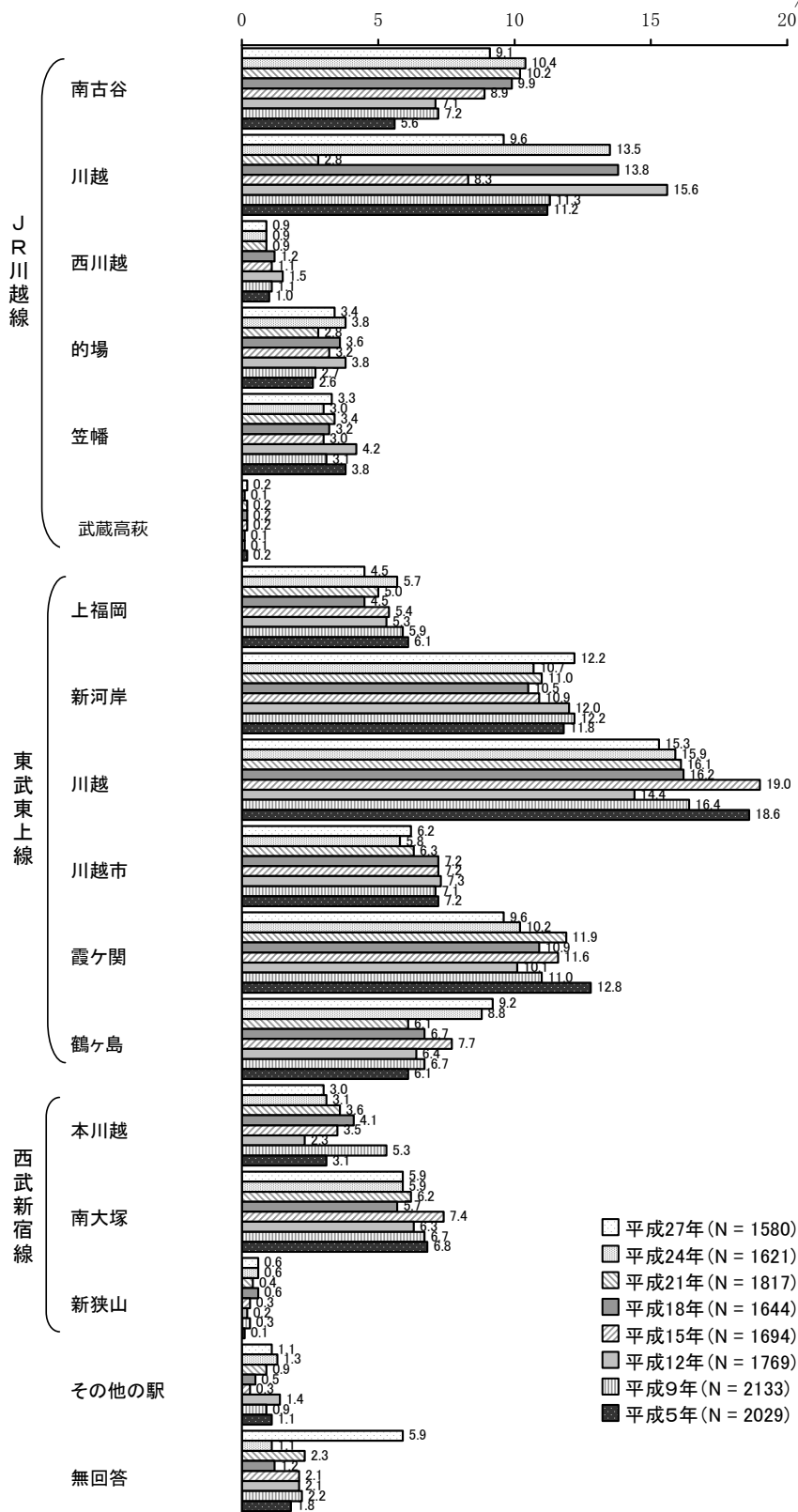
主に利用する最寄り駅をたずねたところ、東武東上線「川越」の割合が15.3%で最も多く、以下、東武東上線「新河岸」(12.2%)、東武東上線「霞ヶ関」(9.6%)、JR川越線「川越」(9.6%)などと続いている。

(図 1-1-1)

【時系列】

今回の結果を時系列でみると、東武東上線「新河岸」が増加している。(図1-1-2)

図1-1-2 時系列 主に利用する最寄り駅%



地区別にみると、古谷地区と南古谷地区ではJR川越線「南古谷」、大東地区では西武新宿線「南大塚」がそれぞれ第1位となっている。それ以外の地区では東武東上線の駅がいずれも第1位となっている。市全体では、東武東上線の利用率の高さがうかがえる。(表1-1-1)

表 1-1-1 地区別 主に利用する最寄り駅

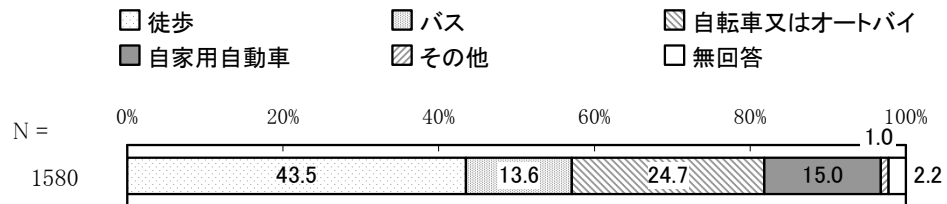
属性 \ 順位	N	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体	全体 1580	川越(東武東上線) 15.3%	新河岸 12.2%	川越(JR川越線) 9.6%	霞ヶ関 9.6%	鶴ヶ島 9.2%
【地区別】						
本庁地区	全体 362	川越(東武東上線) 36.2%	川越(JR川越線) 20.4%	川越市 20.2%	本川越 8.6%	西川越 2.8%
芳野地区	全体 42	川越(東武東上線) 33.3%	川越(JR川越線) 28.6%	南古谷 16.7%	本川越 7.1%	川越市 2.4%
古谷地区	全体 66	南古谷 59.1%	川越(東武東上線) 18.2%	川越(JR川越線) 9.1%	本川越 3.0%	西川越
南古谷地区	全体 120	南古谷 75.8%	新河岸 10.0%	上福岡 5.8%	南大塚 1.7%	
高階地区	全体 210	新河岸 71.4%	上福岡 22.4%	川越(JR川越線) 1.9%	川越(東武東上線) 1.4%	南古谷 0.5%
福原地区	全体 81	川越(東武東上線) 24.7%	川越(JR川越線) 21.0%	新河岸 21.0%	上福岡 17.3%	南大塚 4.9%
大東地区	全体 147	南大塚 55.1%	川越(東武東上線) 17.0%	川越(JR川越線) 11.6%	新狭山 6.8%	川越市 3.4%
霞ヶ関地区	全体 189	霞ヶ関 38.1%	笠幡 23.8%	的場 22.2%	鶴ヶ島 5.3%	武蔵高萩 1.6%
川鶴地区	全体 85	鶴ヶ島 78.8%	笠幡 5.9%	川越(東武東上線) 3.5%	霞ヶ関 2.4%	川越(JR川越線) 1.2%
霞ヶ関北地区	全体 66	霞ヶ関 66.7%	的場 13.6%	鶴ヶ島 13.6%	笠幡 1.5%	南古谷
名細地区	全体 96	鶴ヶ島 57.3%	霞ヶ関 28.1%	川越(東武東上線) 2.1%	川越(JR川越線) 1.0%	南古谷
山田地区	全体 76	川越(東武東上線) 30.3%	川越市 19.7%	川越(JR川越線) 18.4%	本川越 11.8%	西川越 2.6%

## 1-2 最寄りの駅への手段

◇「徒歩」が43.5%

問2 あなたは、最寄りの駅へ行くのに主にどんな手段で行きますか。(○は1つ)

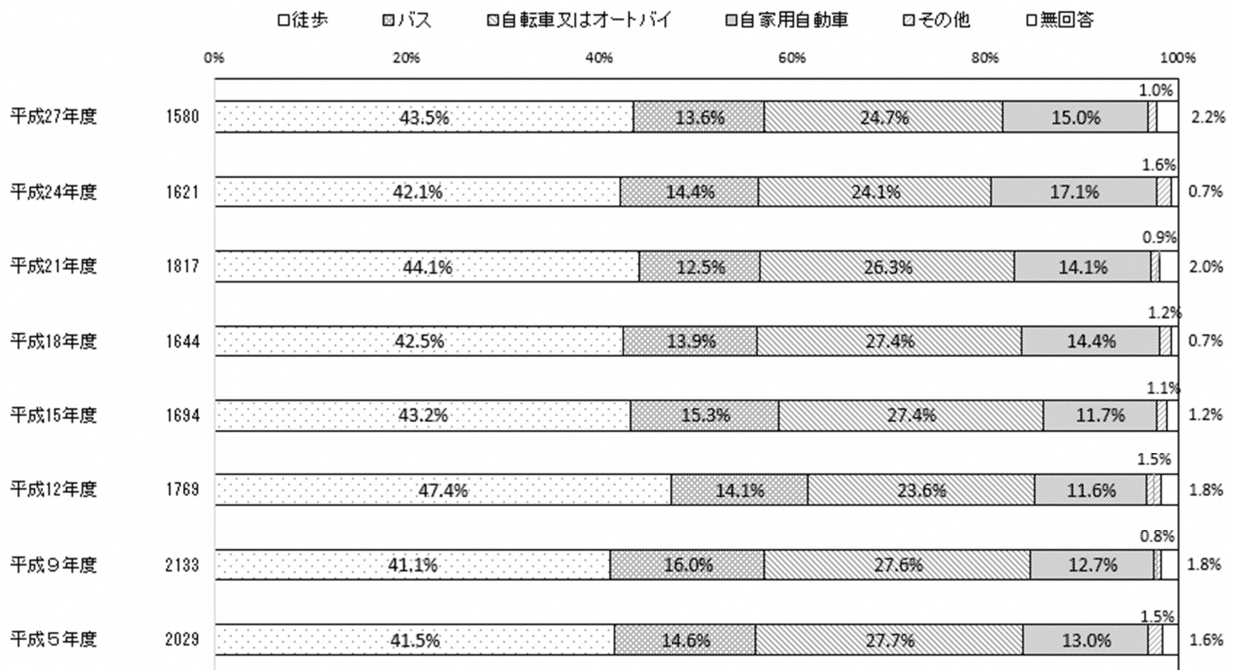
図1-2-1



最寄り駅への主な交通手段をたずねたところ、「徒歩」(43.5%)が最も多く、40%を超えている。以下、「自転車又はオートバイ」(24.7%)、「自家用自動車」(15.0%)、「バス」(13.6%)の順となっている。(図1-2-1)

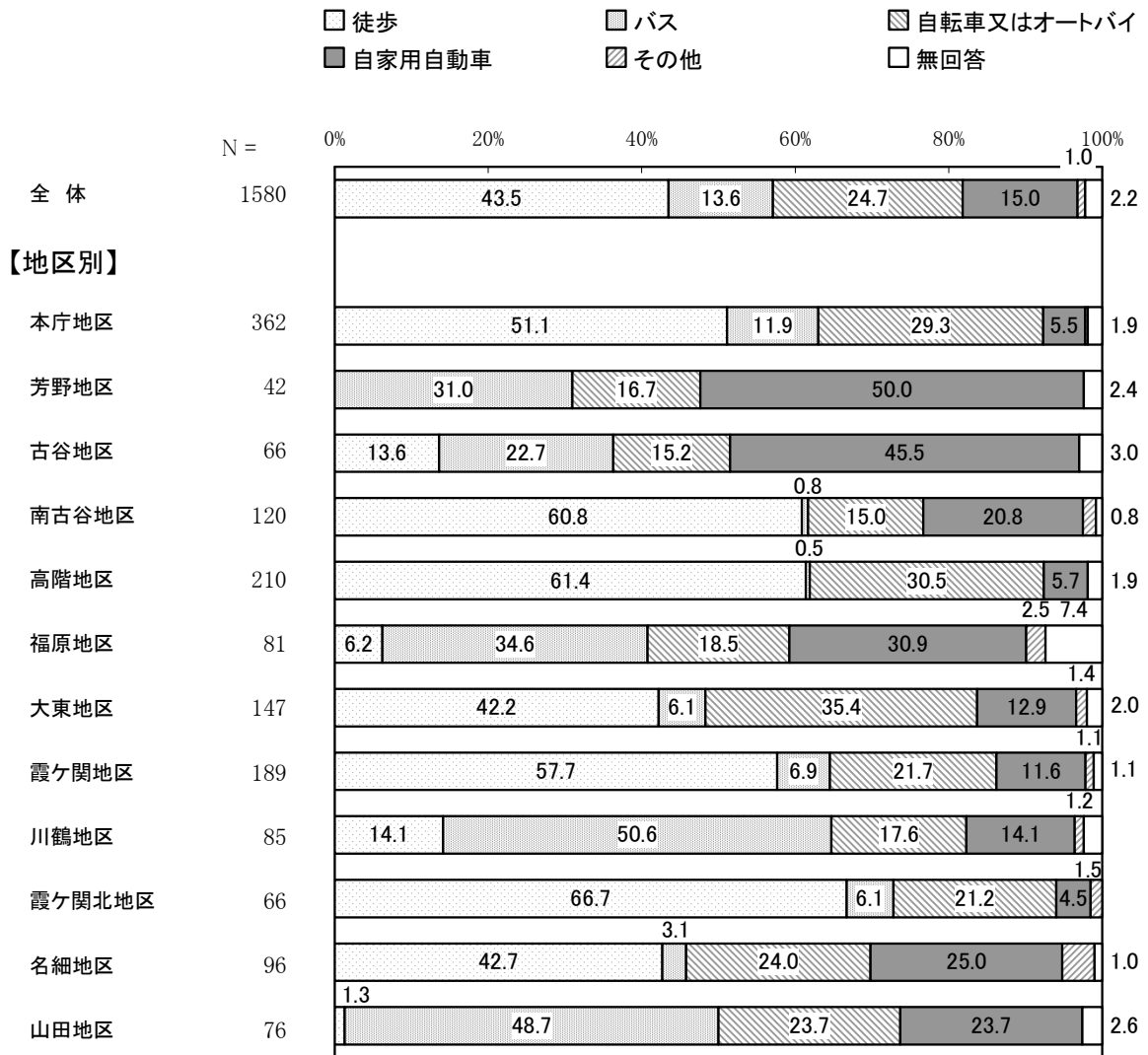
時系列でみると、「自家用自動車」は前回と比べて2.1ポイント減少している。(図1-2-2)

図1-2-2 時系列 最寄り駅への手段



地区別にみると、「徒歩」は霞ヶ関北地区が60%半ばで最も高く、本庁地区、南古谷地区、高階地区、大東地区、霞ヶ関地区、名細地区でも他の手段と比べて最も割合が高くなっている。「バス」は川鶴地区が約50%、山田地区が40%半ばで多く、「自家用自動車」は芳野地区が50%と最も多くなっている。(図1-2-3)

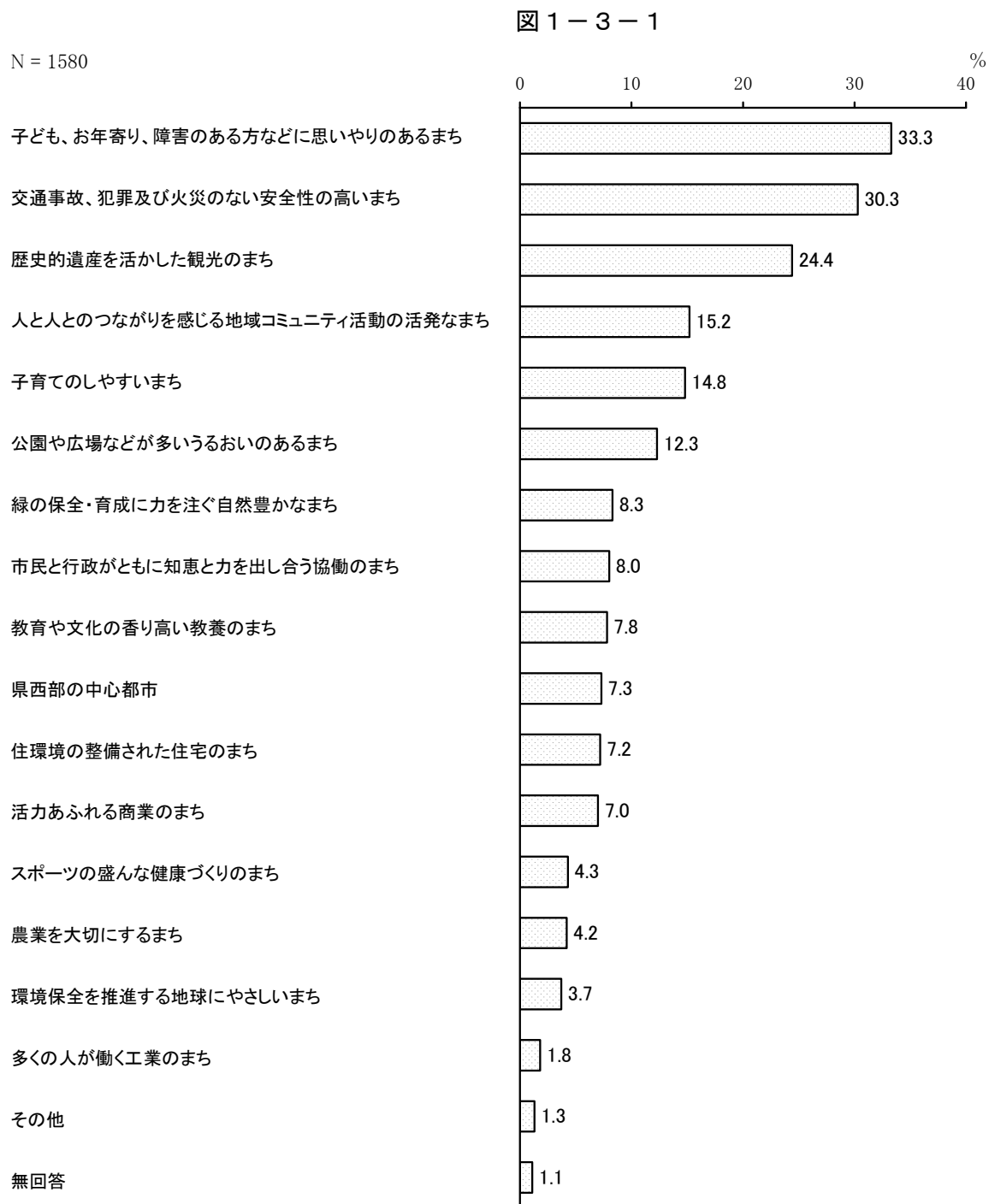
図1-2-3 地区別 最寄り駅への手段



### 1-3 川越市の将来像

◇「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」が 33.3%

問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたらよいと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。(〇は2つ以内)



川越市の将来像をたずねたところ、「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」(33.3%)が最も高く、30%を超えている。以下、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」(30.3%)、「歴史的遺産を活かした観光のまち」(24.4%)などの順となっている。

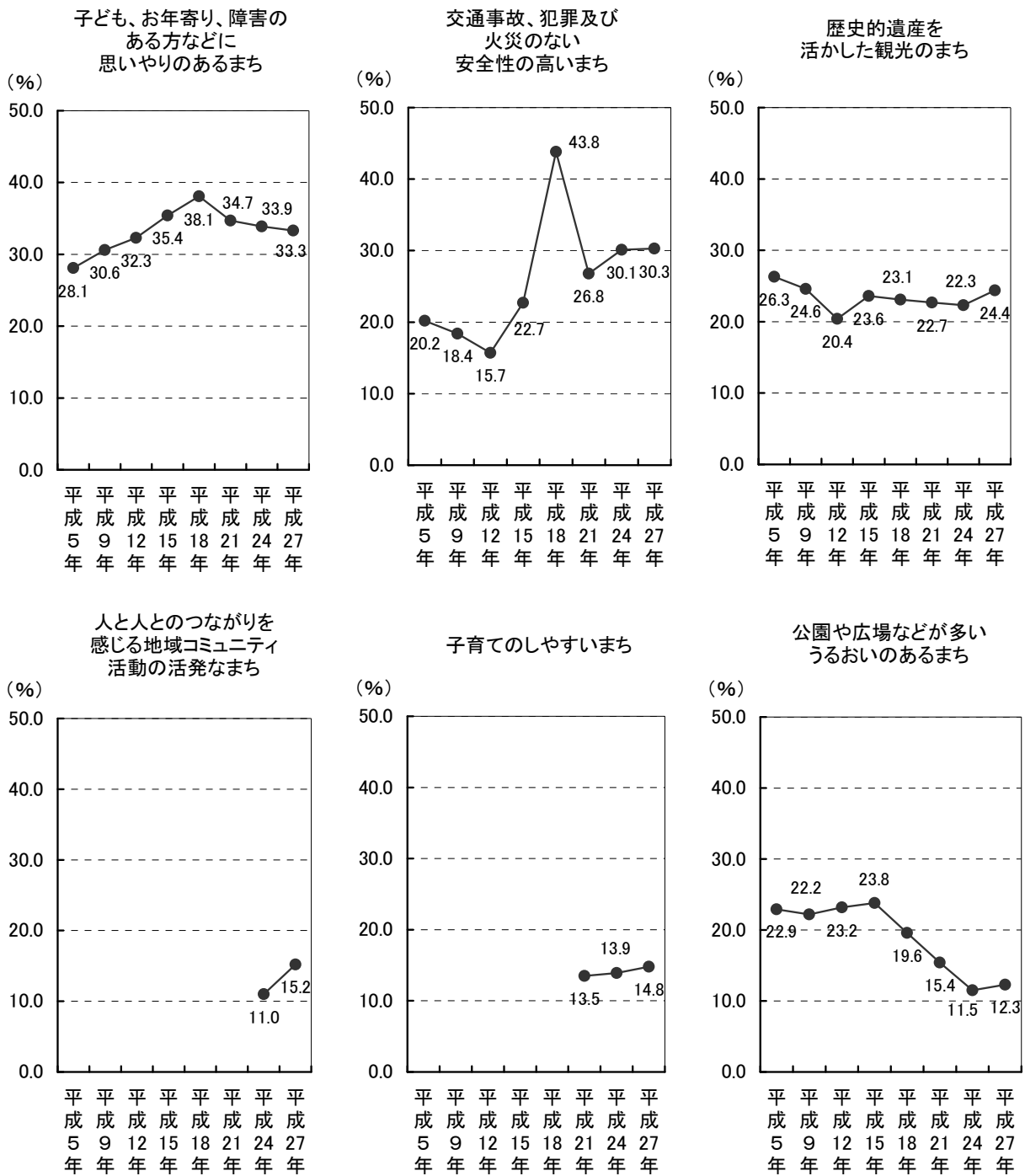
(図 1-3-1)



上位6項目を時系列でみると、「歴史的遺産を生かした観光のまち」は前回調査より2.1ポイント、「人と人とのつながりを感じる地域コミュニティ活動の活発なまち」が4.2ポイント増加している。「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は平成18年以降減少傾向となっている。

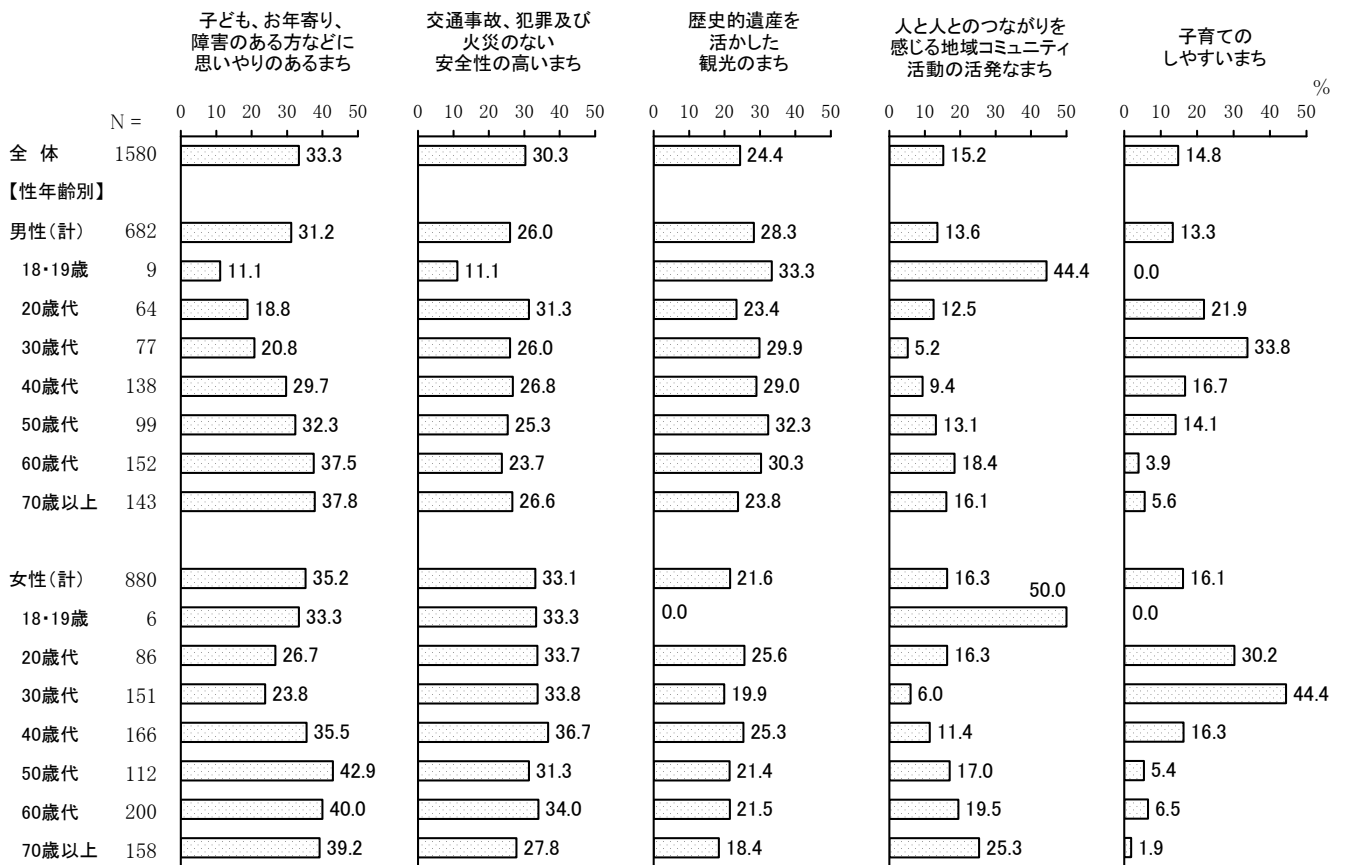
(図1-3-2)

図1-3-2 時系列 川越市の将来像



上位5項目を性・年齢別にみると、「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は女性の50歳代、60歳代が40%台で多くなっている。「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」は女性40歳代が30%半ばを超えており、「子育てのしやすいまち」は女性30歳代が40%半ばで多くなっている。(図1-3-3)

図1-3-3 性・年齢別 川越市の将来像

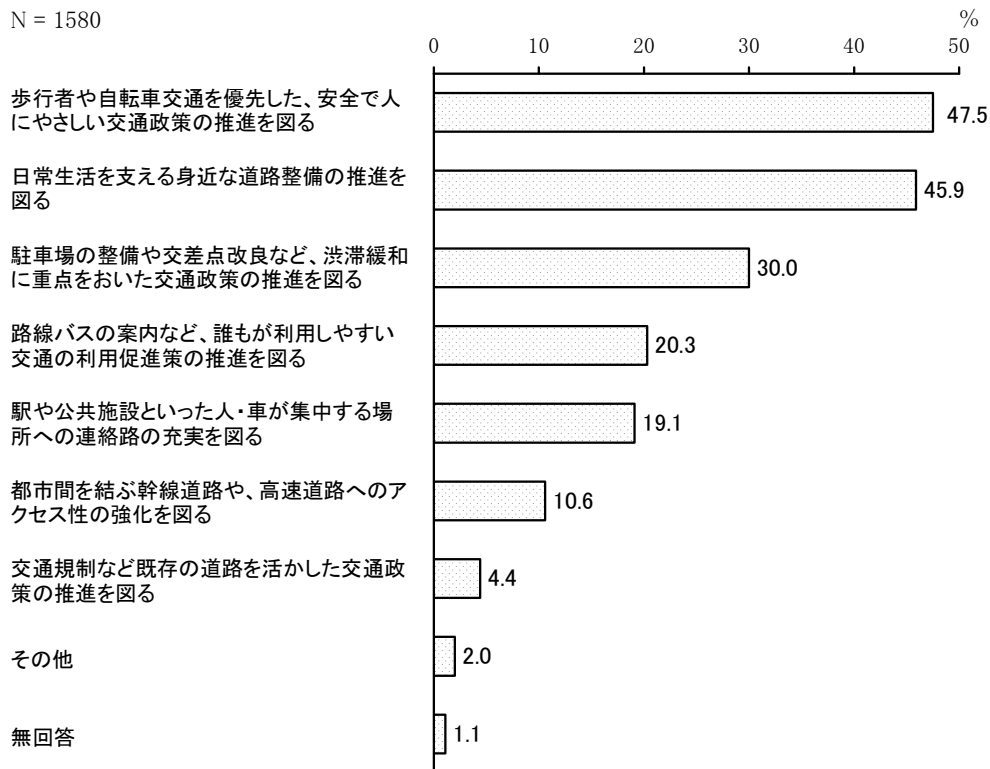


## 1-4 推進すべき道路交通施策

◇「歩行者や自転車交通を優先した、安全で人にやさしい交通政策の推進を図る」が47.5%

問4 あなたは、ゆとりや豊かさが実感できる市民生活を確保するために、どのような方針に重点をおいて道路交通政策を推進すべきだと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。(〇は2つ以内)

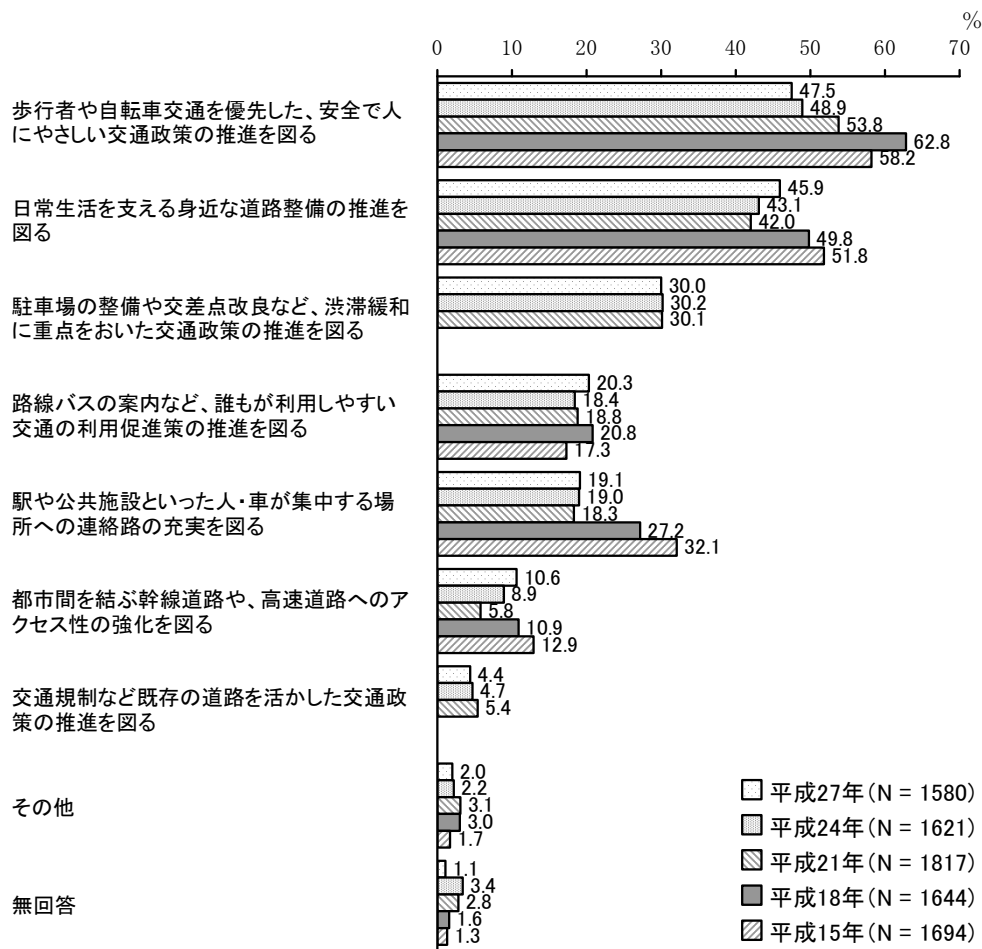
図1-4-1



推進すべき道路交通政策をたずねたところ、「歩行者や自転車交通を優先した、安全で人にやさしい交通政策の推進を図る」(47.5%)が最も多く、50%近くとなっている。以下、「日常生活を支える身近な道路整備の推進を図る」(45.9%)、「駐車場の整備や交差点改良など、渋滞緩和に重点をおいた交通政策の推進を図る」(30.0%)などの順となっている。(図1-4-1)

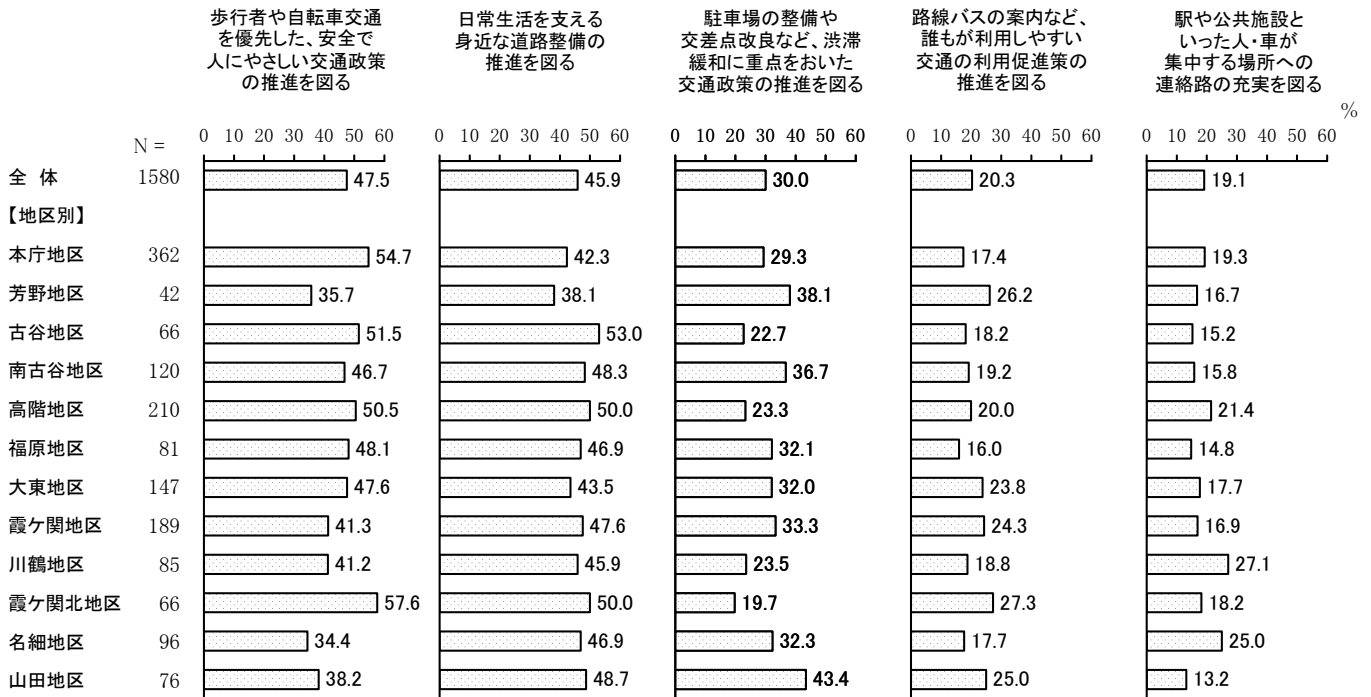
時系列でみると、前回調査と比べ、「日常生活を支える身近な道路整備の推進を図る」で2.8ポイント増加している。一方、「歩行者や自転車交通を優先した、安全で人にやさしい交通政策の推進を図る」は平成18年以降減少傾向にある。(図1-4-2)

図1-4-2 時系列 推進すべき道路交通施策



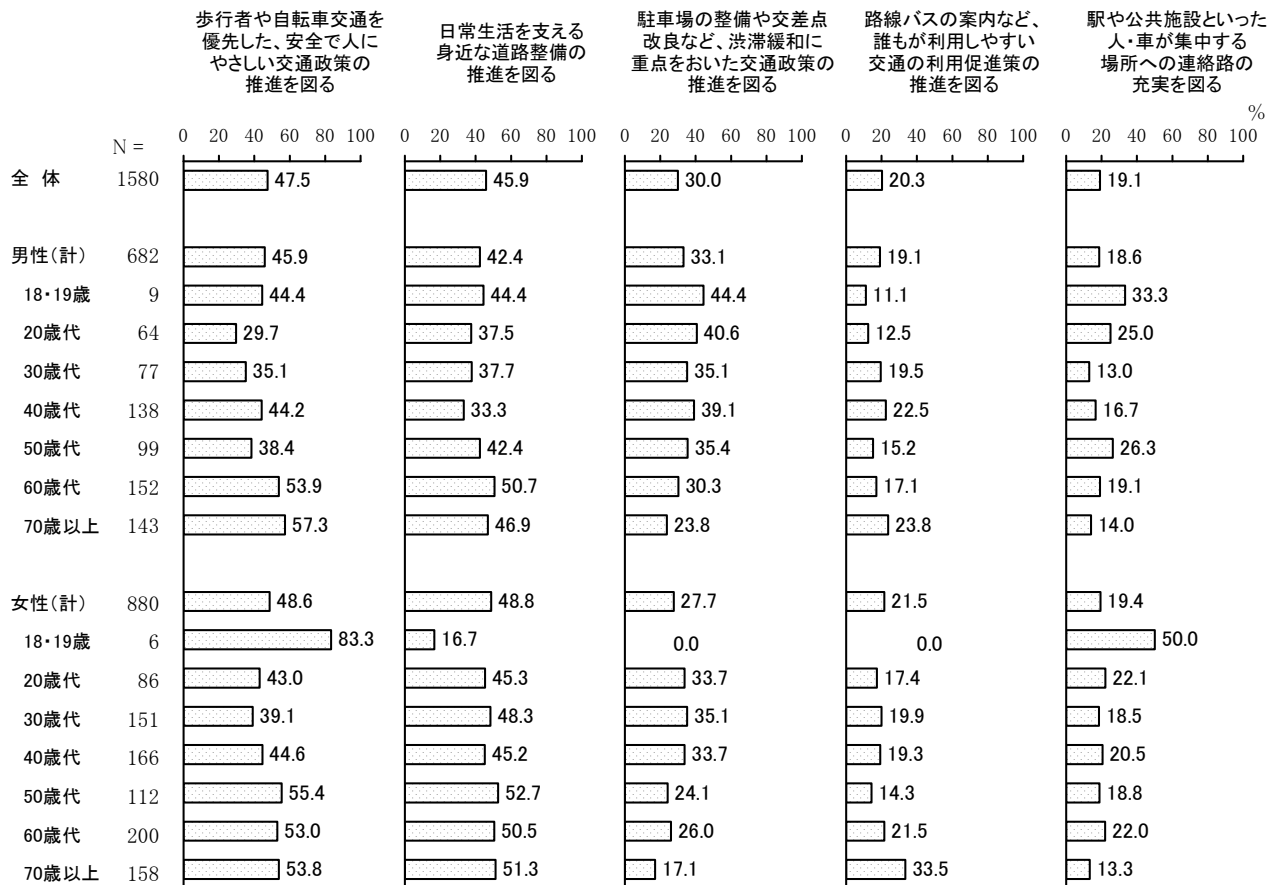
上位5項目について地区別にみると、「歩行者や自転車交通を優先した、安全で人にやさしい交通政策の推進を図る」は本庁地区、霞ヶ関北地区がともに50%半ばで多くなっている。「日常生活を支える身近な道路整備の推進を図る」は古谷地区で50%を超えている。「駐車場の整備や交差点改良など、渋滞緩和に重点をおいた交通政策の推進を図る」は山田地区が40%を超えており多くなっている。(図1-4-3)

図1-4-3 地区別 推進すべき道路交通施策



上位5項目について性・年齢別にみると、「駐車場の整備や交差点改良など、渋滞緩和に重点をおいた交通政策の推進を図る」は男性20歳代が40%台で多くなっている。「路線バスの案内など、誰もが利用しやすい交通の利用促進策の推進を図る」は女性70歳以上が30%を超えて多くなっている。(図1-4-4)

図1-4-4 性・年齢別 推進すべき道路交通施策



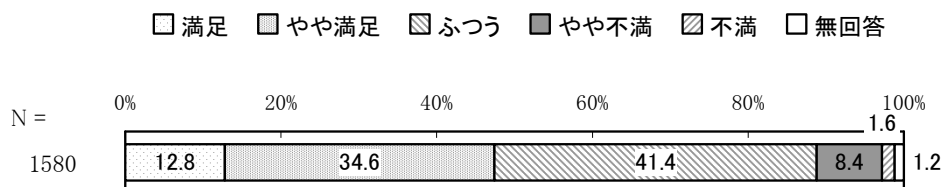
## 2 産業・観光

### 2-1 川越市の観光への満足度

◇ “満足” が 47.4%

問5 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

図 2-1-1



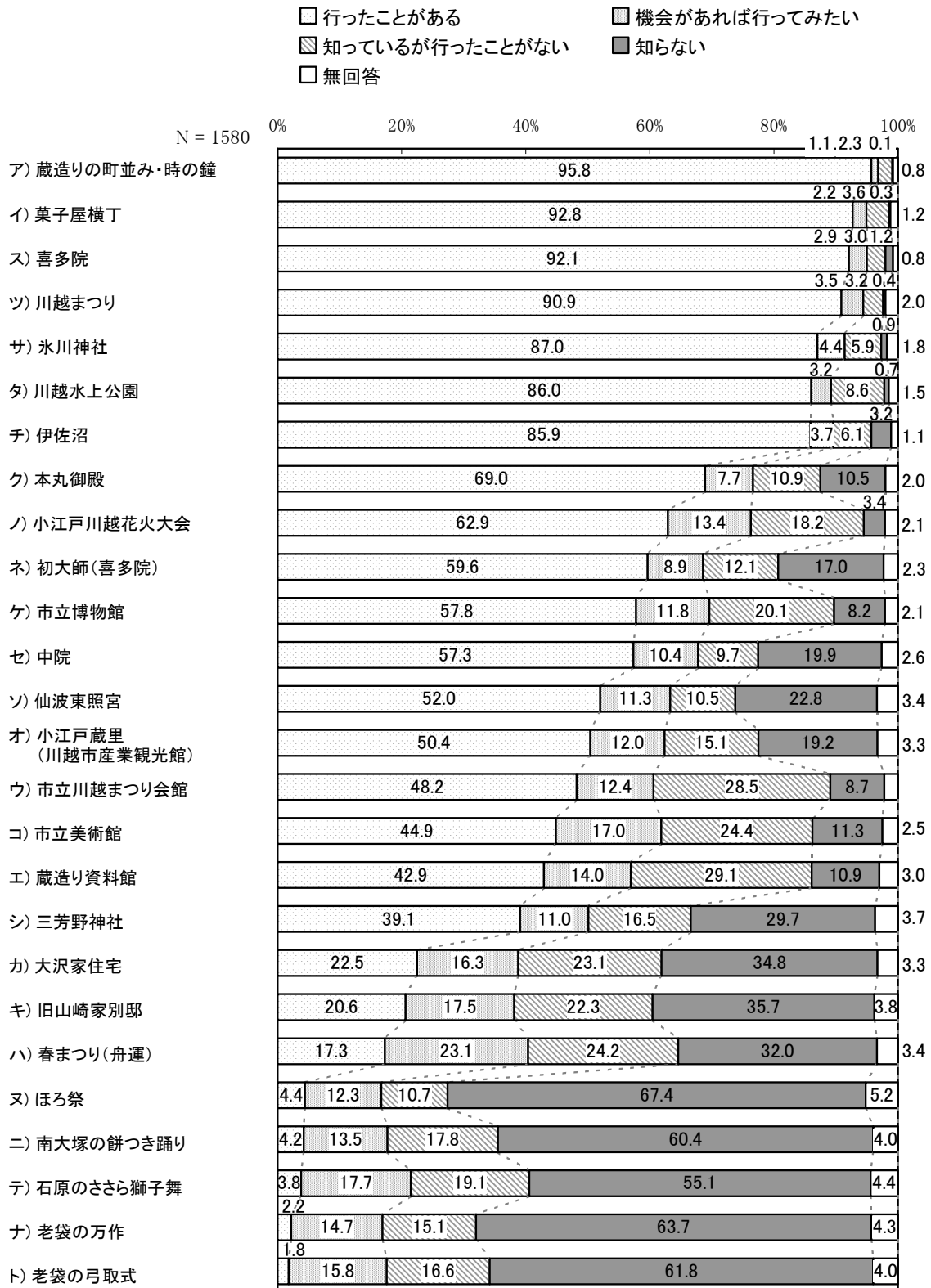
川越市の観光への満足度をたずねたところ、「満足」(12.8%)と「やや満足」(34.6%)をあわせた“満足”の割合が47.4%、「ふつう」(41.4%)、「やや不満」(8.4%)と「不満」(1.6%)をあわせた“不満”の割合が10.0%となっている。(図2-1-1)

## 2-2 川越市の観光スポット、伝統行事の周知状況

◇「行ったことがある」は「蔵造りの町並み・時の鐘」、「菓子屋横丁」、「喜多院」「川越まつり」が90%以上

問6 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが見たことがありますか。各項目ごとに1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

図2-2-1

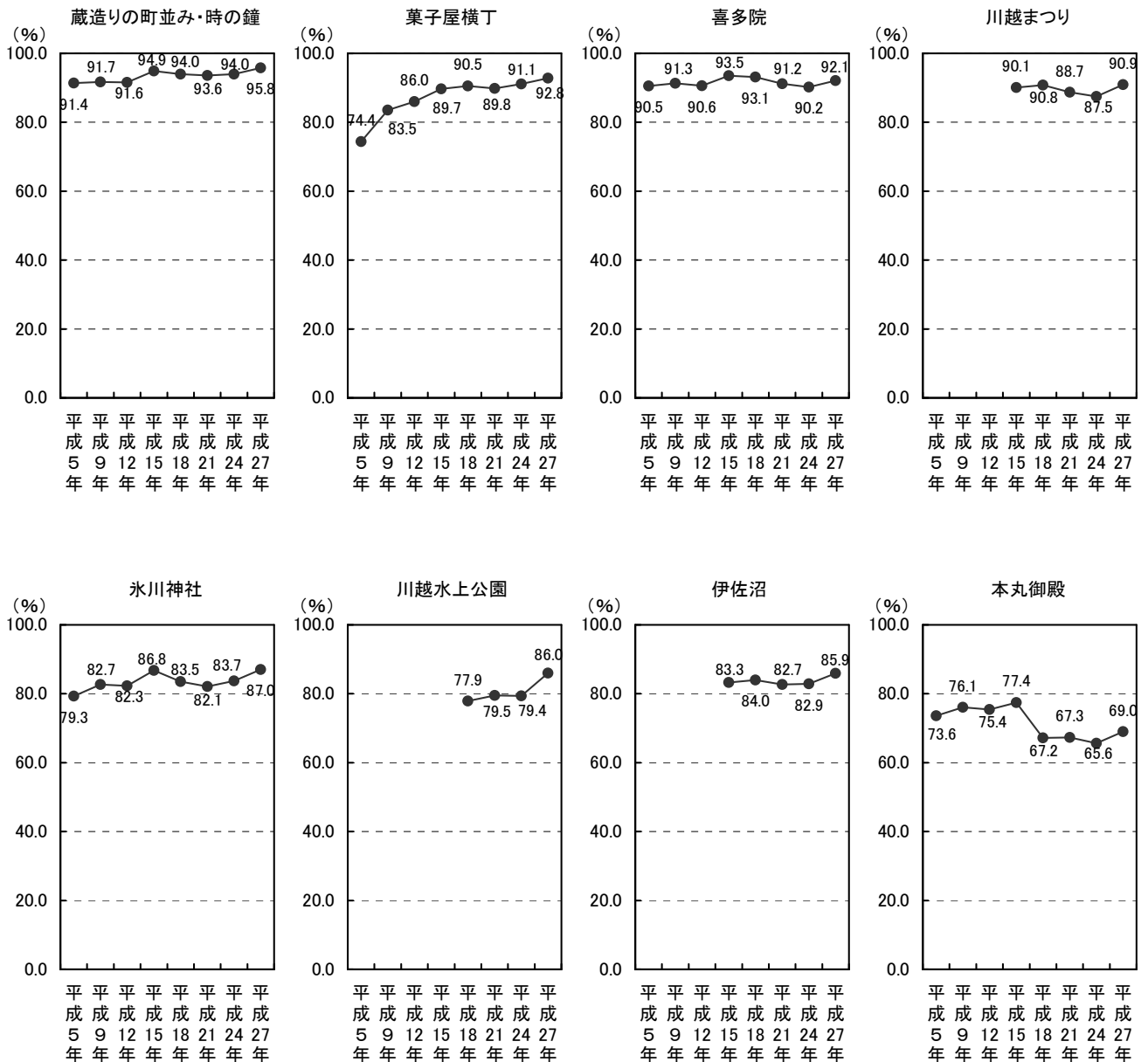




川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況をたずねたところ、「行ったことがある」は、『蔵造りの町並み・時の鐘』（95.8%）、『菓子屋横丁』（92.8%）、『喜多院』（92.1%）、『川越まつり』（90.9%）の4項目が90%を超えており、14項目が50%を超えている。「機会があれば行ってみたい」は、『春まつり（舟運）』（23.1%）が20%を超えて最も多くなっている。「知っているが行ったことがない」は、『市立川越まつり会館』（28.5%）、『蔵造り資料館』（29.1%）が30%近くで多くなっている。「知らない」は、『老袋の弓取式』（61.8%）、『老袋の万作』（63.7%）、『南大塚の餅つき踊り』（60.4%）、『ほろ祭』（67.4%）の4項目が60%を超えて多くなっている。（図2-2-1）

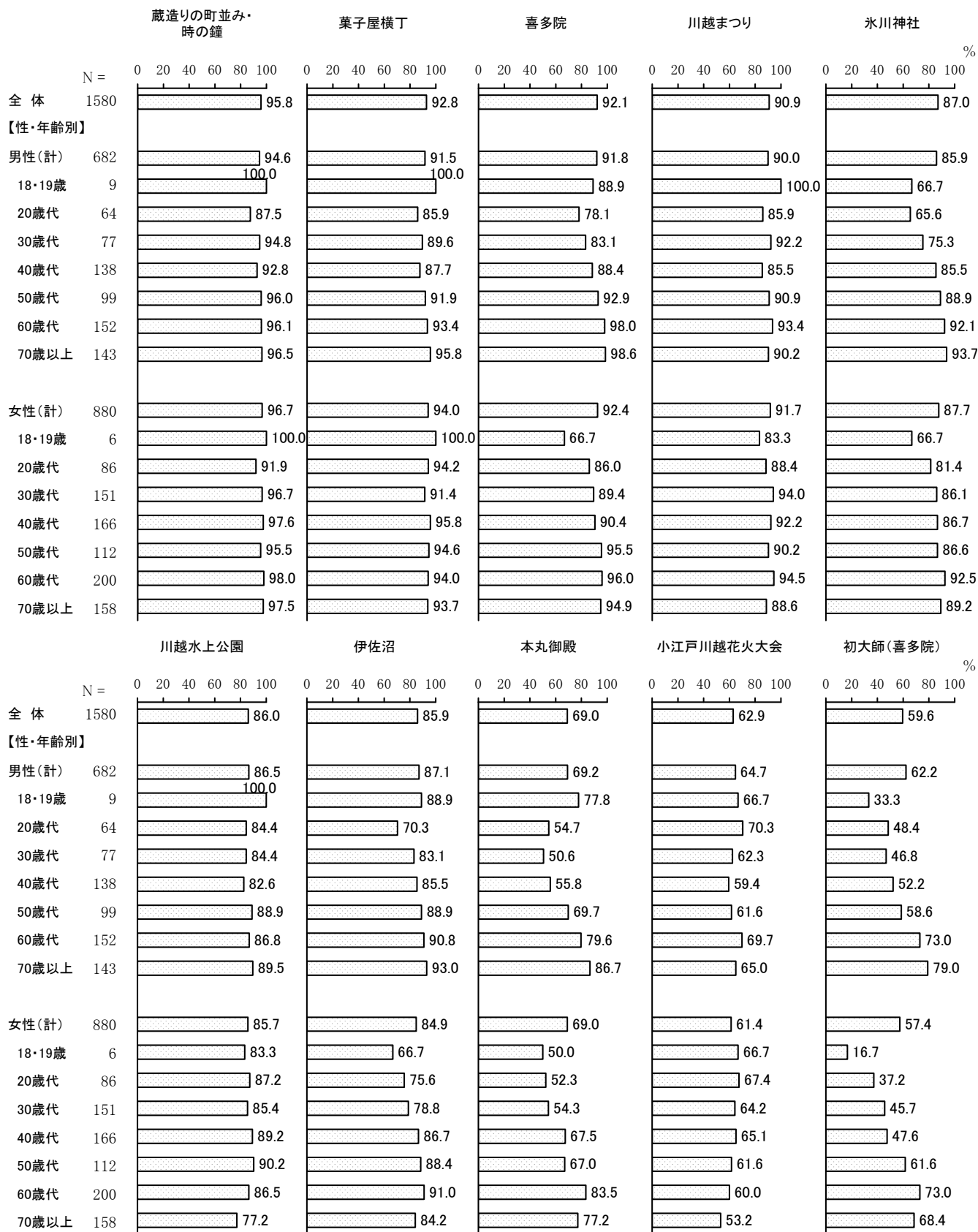
「行ったことがある」の割合の上位8項目を時系列でみると、「川越水上公園」が前回調査と比べて6.6ポイント増加している。（図2-2-2）

図2-2-2 時系列 川越市の観光スポット、伝統行事の周知状況



「行ったことがある」の割合を性・年齢別にみると、「本丸御殿」と「初大師（喜多院）」では男女ともにおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。（図2-2-3）

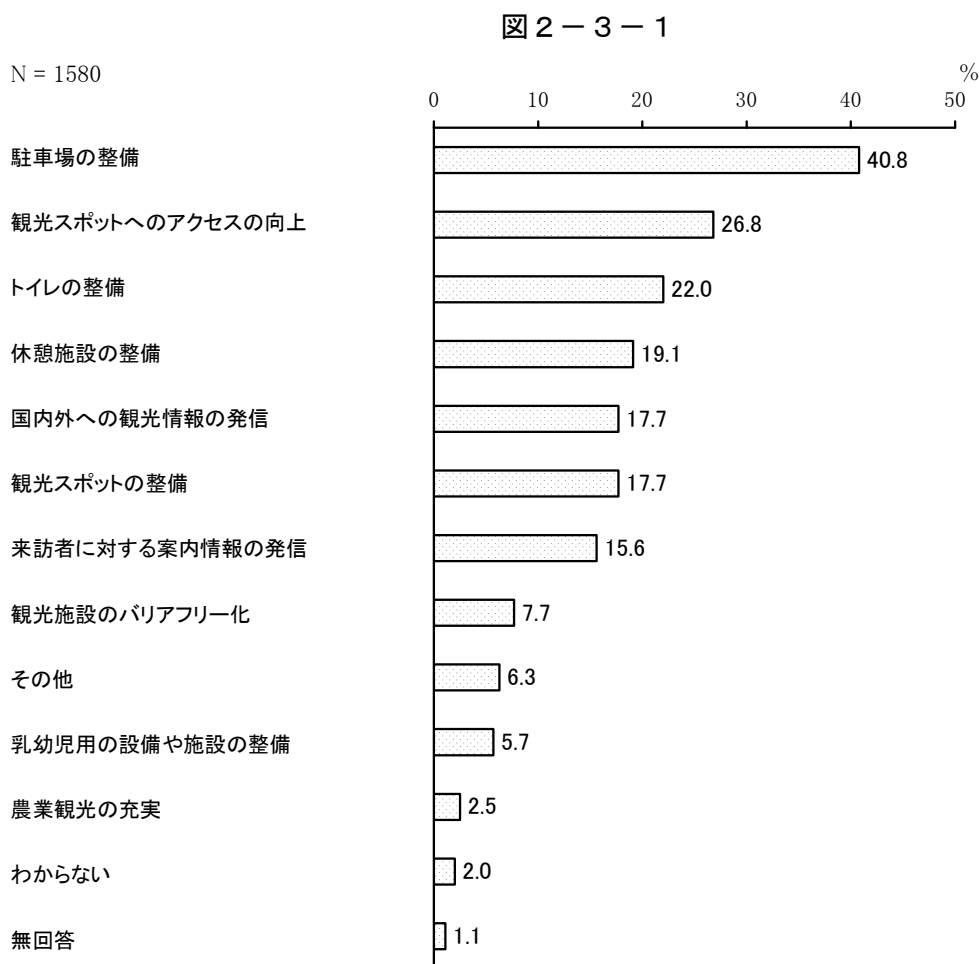
図2-2-3 時系列 川越市の観光スポット、伝統行事の周知状況



## 2-3 観光振興のために必要な施策

◇「駐車場の整備」が40.8%

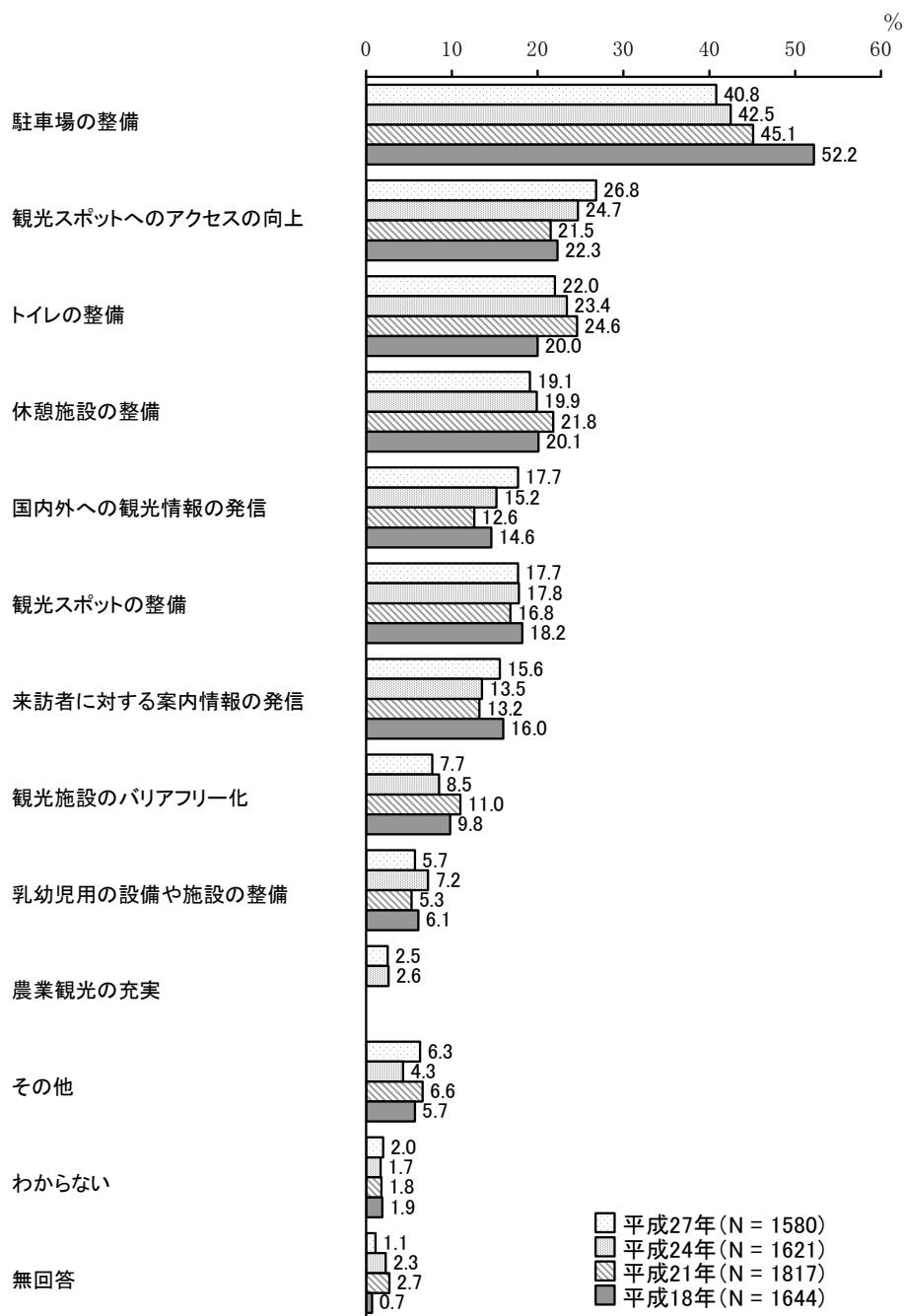
問7 あなたは、ますます観光客が多く訪れる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。(〇は2つ以内)



観光振興のために必要な施策をたずねたところ、「駐車場の整備」(40.8%)が最も多く、40%を超えている。以下、「観光スポットへのアクセスの向上」(26.8%)、「トイレの整備」(22%)、「休憩施設の整備」(19.1%)などの順となっている。(図2-3-1)

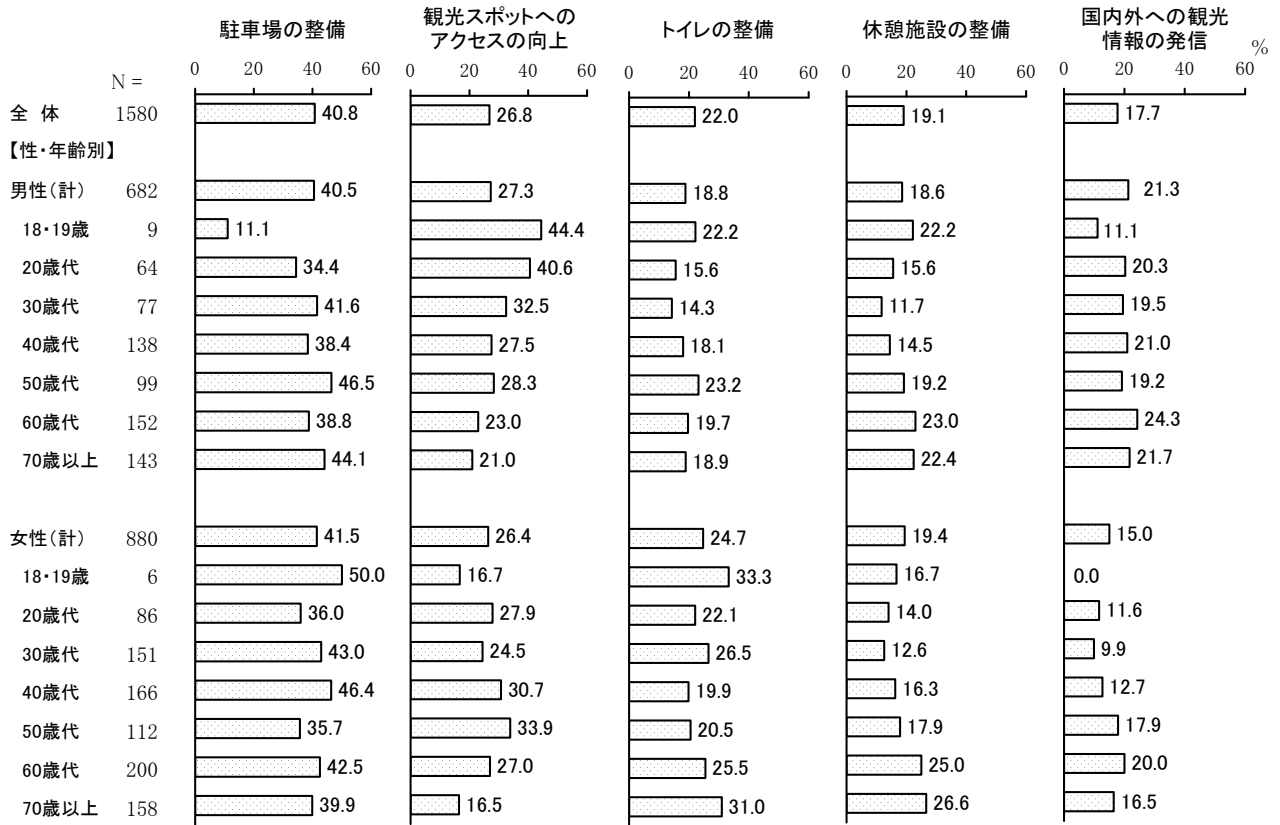
時系列でみると、「駐車場の整備」は減少傾向にある。(図2-3-2)

図2-3-2 時系列 観光振興のために必要な施策



上位5項目を性・年齢別にみると、「観光スポットへのアクセスの向上」は男性20歳代が40%を超えて多くなっている。「トイレの整備」は女性70歳以上が30%を超えて多く、「休憩施設の整備」は女性70歳以上が30%近くで多くなっている。(図2-3-3)

図2-3-3 性・年齢別 観光振興のために必要な施策

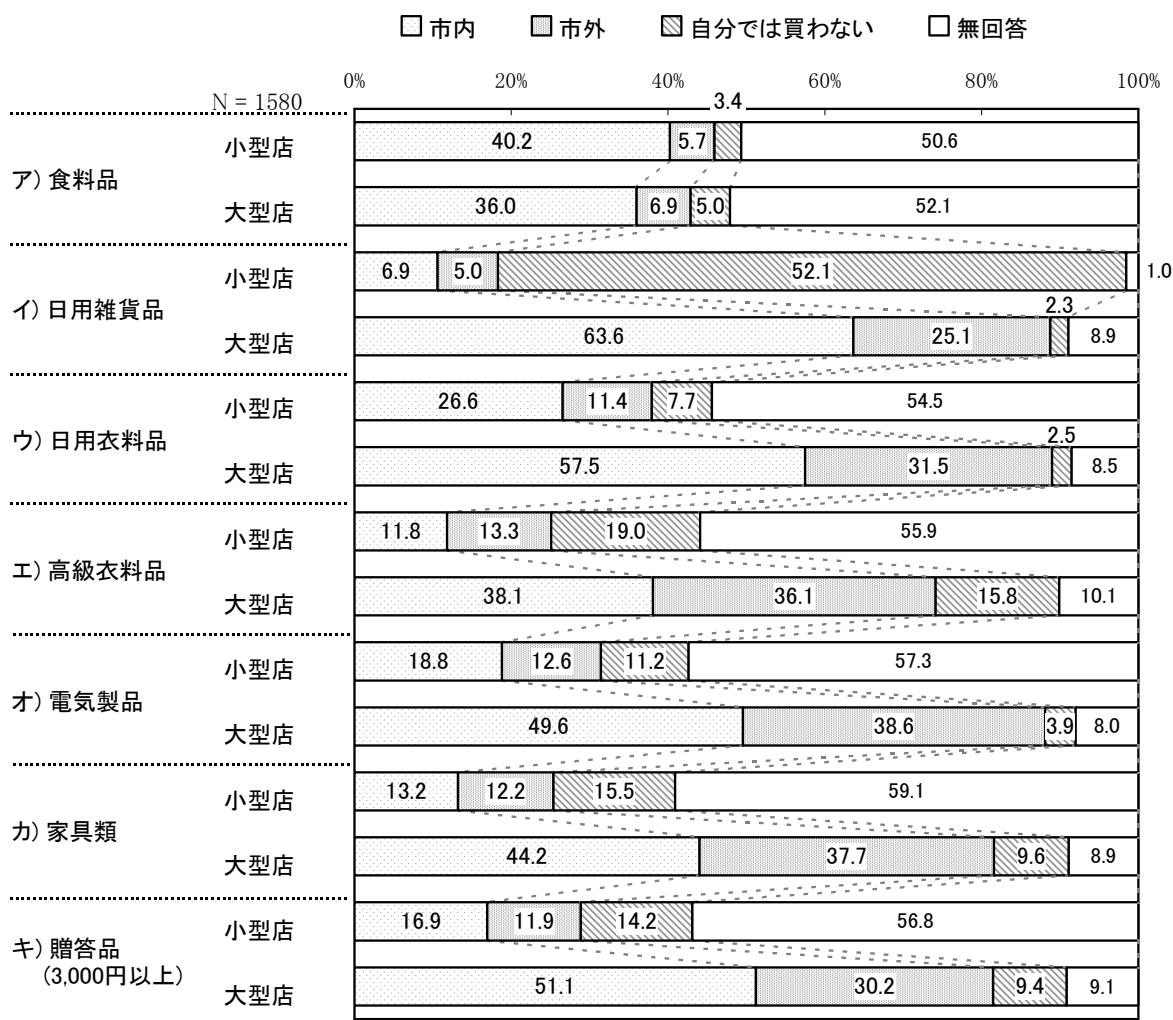


## 2-4 品物別の主な購入先

◇市内小型店での買物は『食料品』が40.2%、『日用衣料品』が26.6%

問8 あなたは、次の品物を主にどこで買いますか。品物別（小型店・大型店別）にそれぞれに該当する地域（1~18）を1つずつ選んでください。（それぞれ〇は1つずつ）

図2-4-1



品物の主な購入先をたずねたところ、市内小型店での買物は、『食料品』（40.2%）が最も多く、約40%となっている。以下、『日用衣料品』（26.6%）、『電気製品』（18.8%）、『贈答品（3000円以上）』（16.9%）などの順となっている。

市外大型店での買物は、『電気製品』（38.6%）が最も多く、約40%となっている。以下、『家具類』（37.7%）、『高級衣料品』（36.1%）、『日用衣料品』（31.5%）、『贈答品（3000円以上）』（30.2%）などの順となっている。（図2-4-1）

地区別に各品目の買物動向をみると、『食料品』は古谷地区、高階地区、福原地区で市内小型店ででの買い物が50%近くと多くなっている。市外大型店の買い物は名細地区が最も多く、次いで川鶴地区が多くなっている。

『日用雑貨品』は古谷地区と福原地区、芳野地区、高階地区で市内小型店の買い物が40%台と多くなっている。市外大型店の買い物は名細地区が60%半ばで、川鶴地区で50%を超えている。

『日用衣料品』は古谷地区で市内小型店の買い物が30%半ばと多くなっている。市外大型店の買い物は本庁地区、芳野地区、霞ヶ関北地区、山田地区以外のすべての地区で30%を超えている。

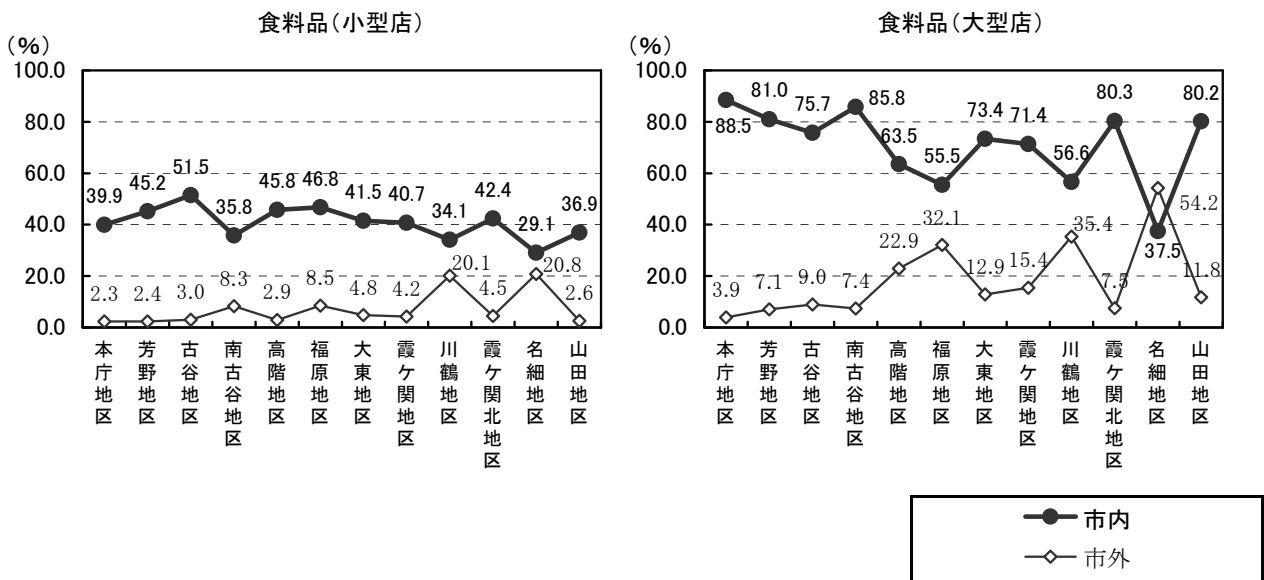
『高級衣料品』は古谷地区で市内小型店の買い物が20%を超えて多くなっている。市外大型店の買い物は名細地区、川鶴地区、霞ヶ関地区、高階地区が40%を超えている。

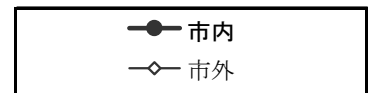
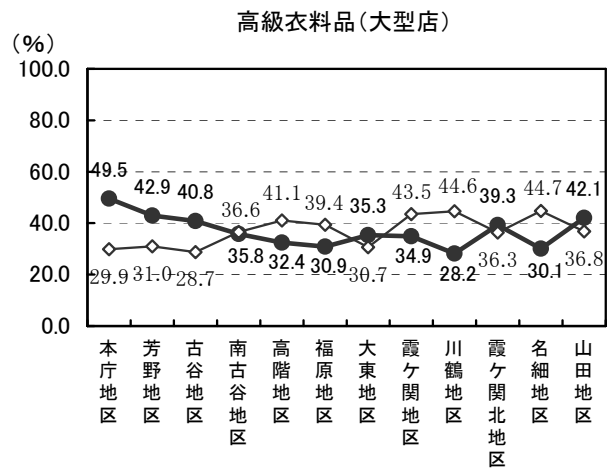
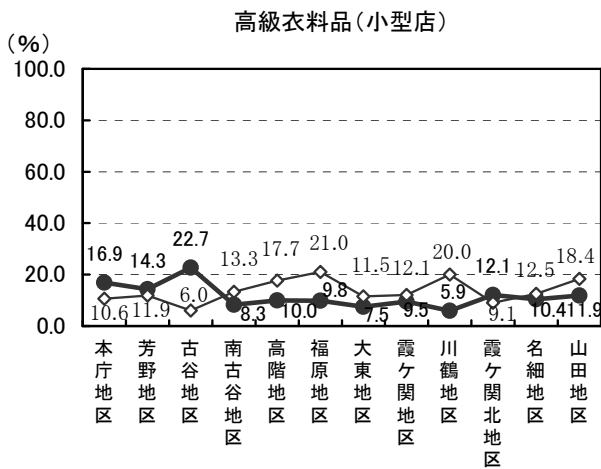
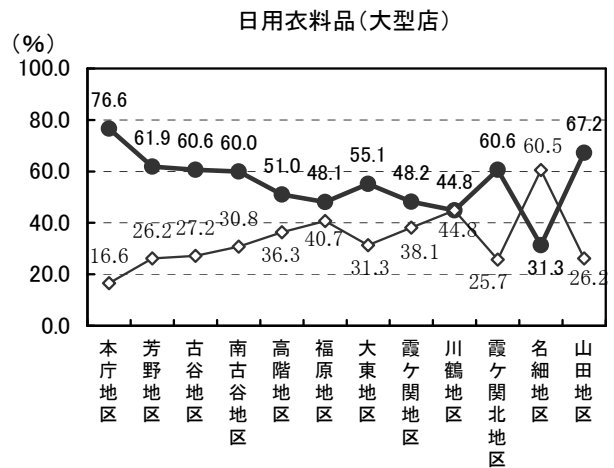
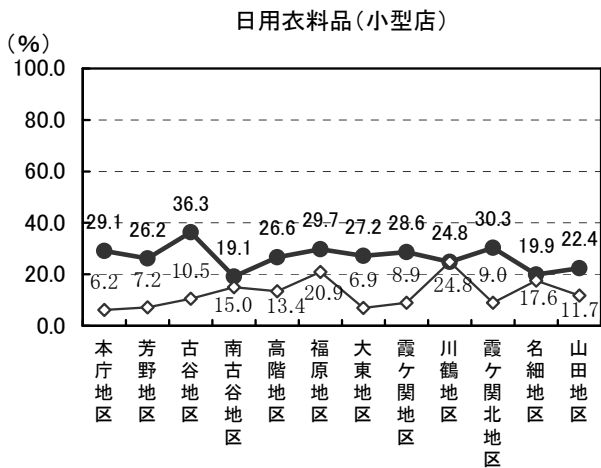
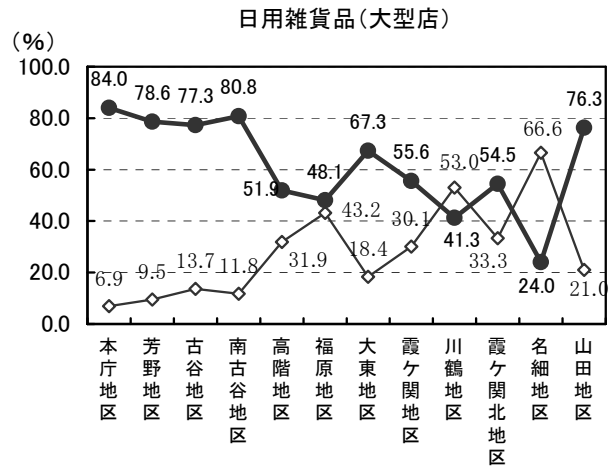
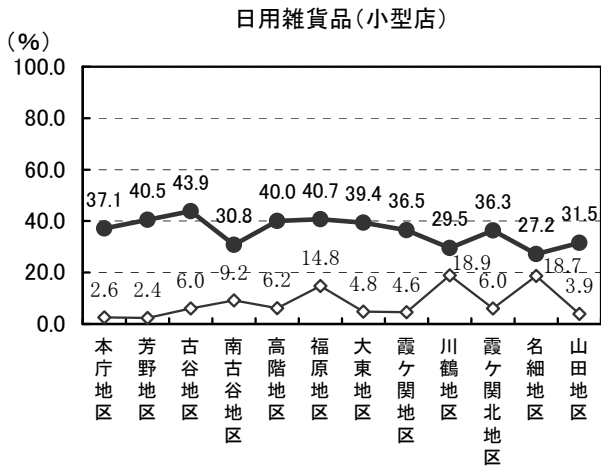
『電気製品』は山田地区で市内小型店の買い物が20%半ばと多くなっている。市外大型店の買い物は名細地区、川鶴地区で70%前後と高く、霞ヶ関地区と霞ヶ関北地区でも50%を超えている。

『家具類』は古谷地区で市内小型店の買い物が20%半ばと多くなっている。市外大型店の買い物は名細地区、川鶴地区、霞ヶ関北地区で60%前後と高くなっている。

『贈答品（3000円以上）』は、古谷地区で市内小型店の買い物が30%近くと多くなっている。市外大型店の買い物は名細地区で50%近く、川鶴地区、南古谷地区、霞ヶ関地区、福原地区でも40%近くとなっている。（図2-4-2）

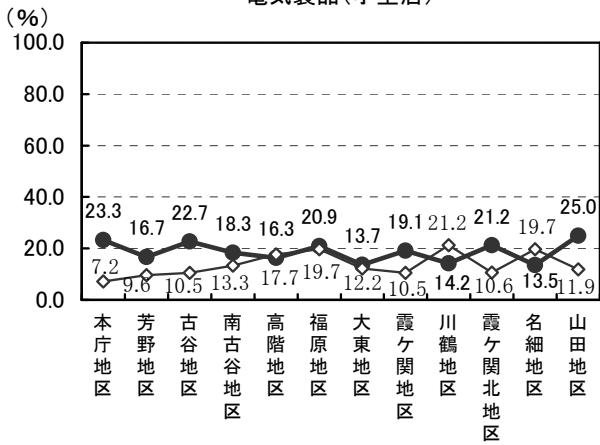
図2-4-2 地区別 品物別の主な購入先



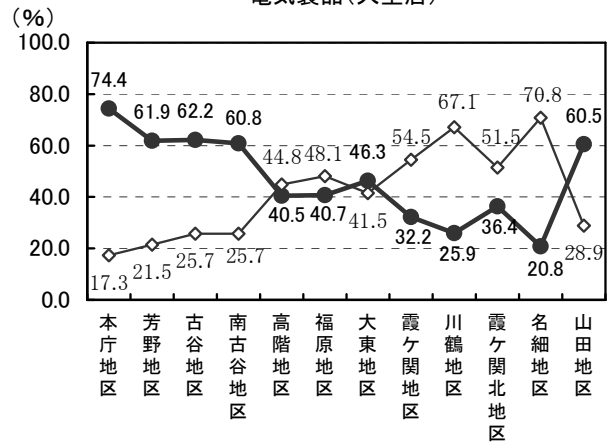




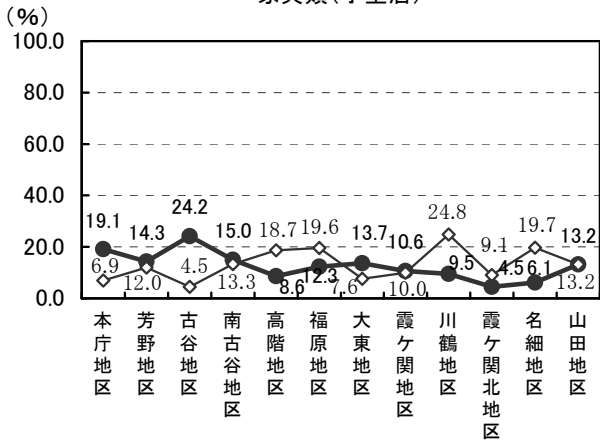
電気製品(小型店)



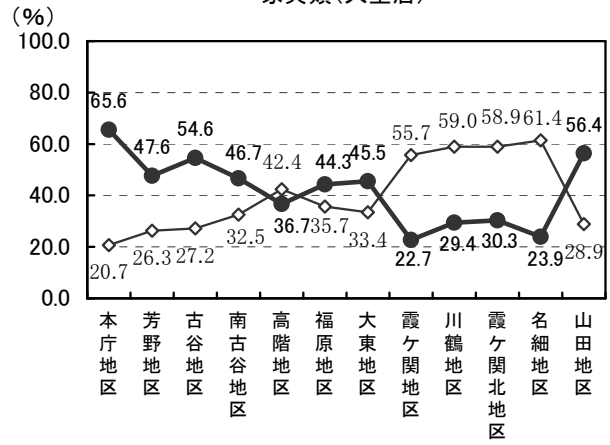
電気製品(大型店)



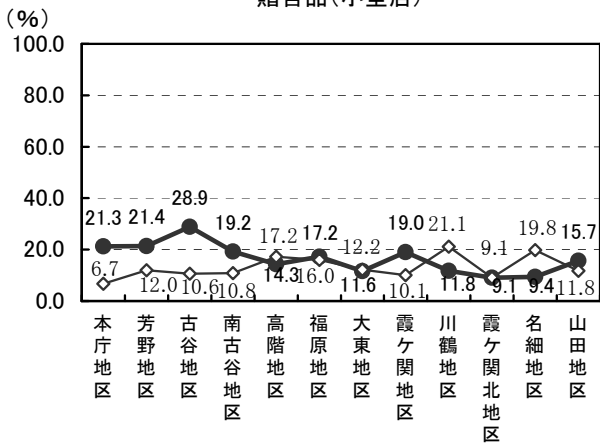
家具類(小型店)



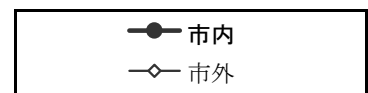
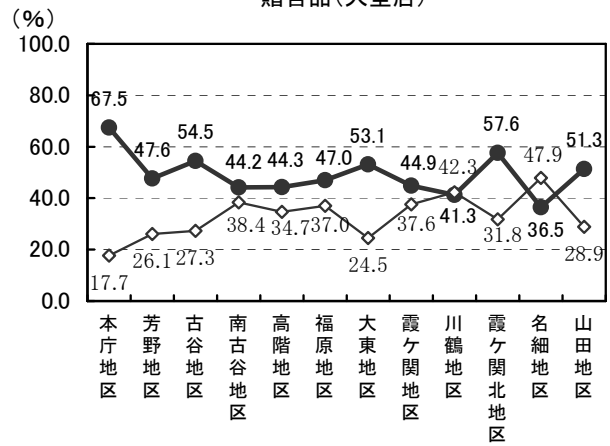
家具類(大型店)



贈答品(小型店)



贈答品(大型店)



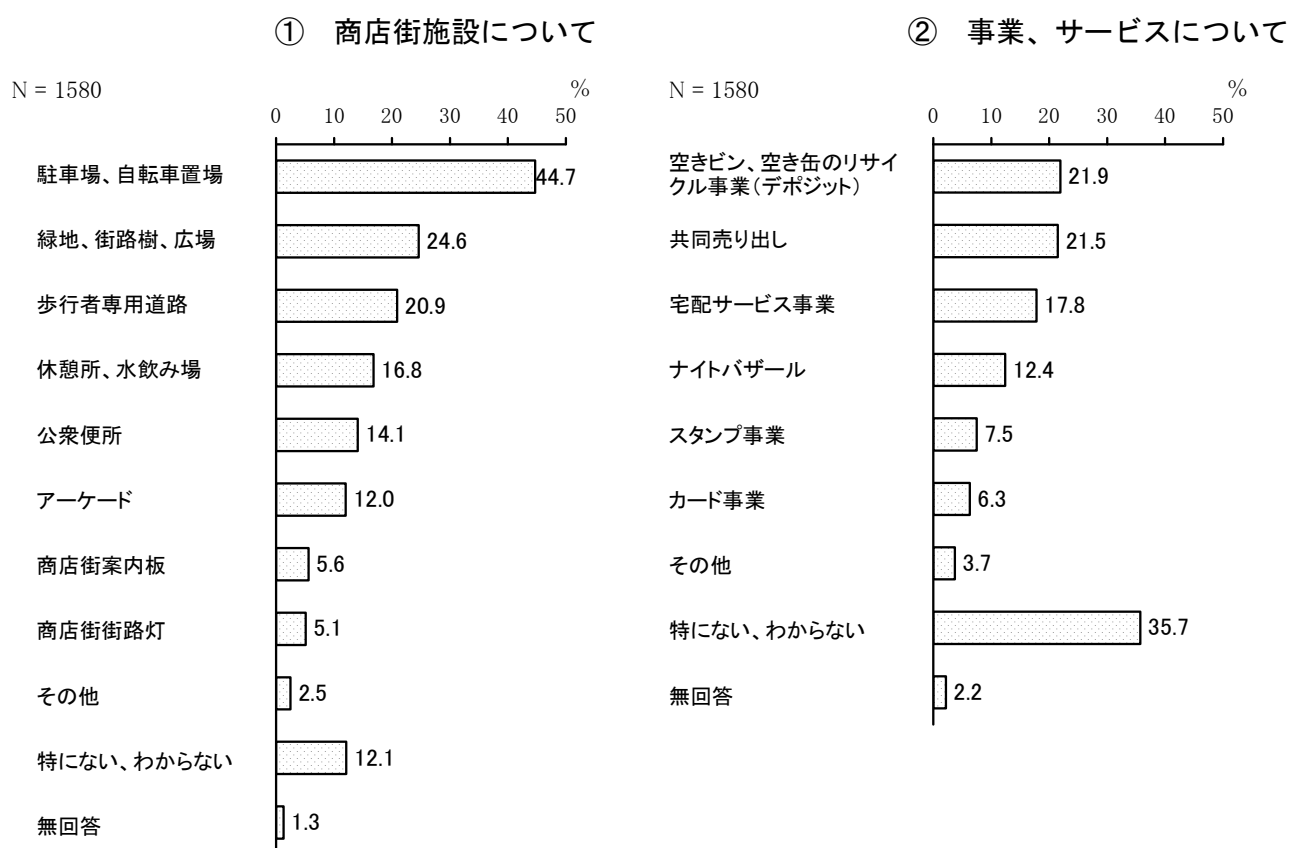
## 2-5 市内商店街への要望

◇商店街施設についての要望は「駐車場、自転車置場」が44.7%  
事業、サービスについての要望は「空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット)」が21.9%。

問9 あなたは、市内の商店街にどんな商業関連施設の設置や事業をしてほしいですか。  
(○は2つ以内)

- ① 商店街施設について
- ② 商店街で実施してもらいたい事業、サービスについて

図2-5-1



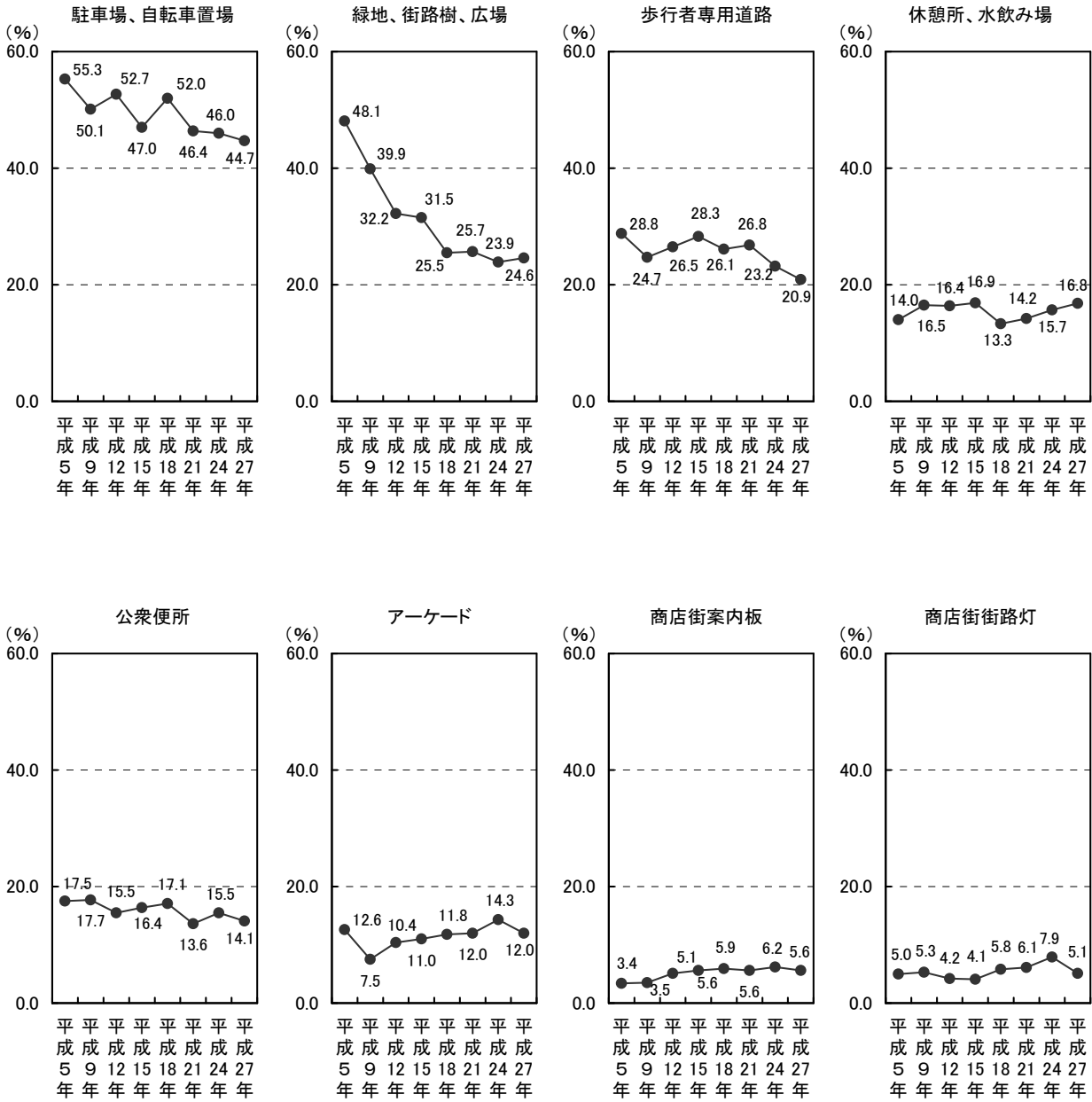
市内商店街への要望を、「商店街施設について」と「事業、サービスについて」に分けてたずねたところ、「商店街施設について」の要望は、「駐車場、自転車置場」(44.7%)が最も多く、40%半ばとなっている。以下、「緑地、街路樹、広場」(24.6%)、「歩行者専用道路」(20.9%)などの順となっている。

「事業、サービスについて」の要望は、「特にない、わからない」を除くと、「空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット)」(21.9%)が最も多く、20%半ばとなっている。以下、「共同売り出し」(21.5%)、「宅配サービス事業」(17.8%)などの順となっている。(図2-5-1)

① 商店街施設についての要望

時系列でみると、「緑地、街路樹、広場」はおおむね減少傾向となっている。(図2-5-2)

図2-5-2 時系列 商店街施設についての要望



地区別にみると、すべての地区で「駐車場、自転車置場」が第1位にあげられている。第2位には、南古谷地区、高階地区、福原地区、大東地区、霞ヶ関地区、川鶴地区で「緑地、街路樹、広場」が、古谷地区、山田地区、霞ヶ関北地区、名細地区で「歩行者専用道路」があげられている。

年齢別にみると、18・19歳を除くすべての年代で「駐車場、自転車置場」が第1位にあげられている。第2位には、18・19歳から60歳代の年代では「緑地、街路樹、広場」、70歳以上では「歩行者専用道路」があげられている。(表2-5-1)

表 2-5-1 地区別/年齢別 商店街施設についての要望

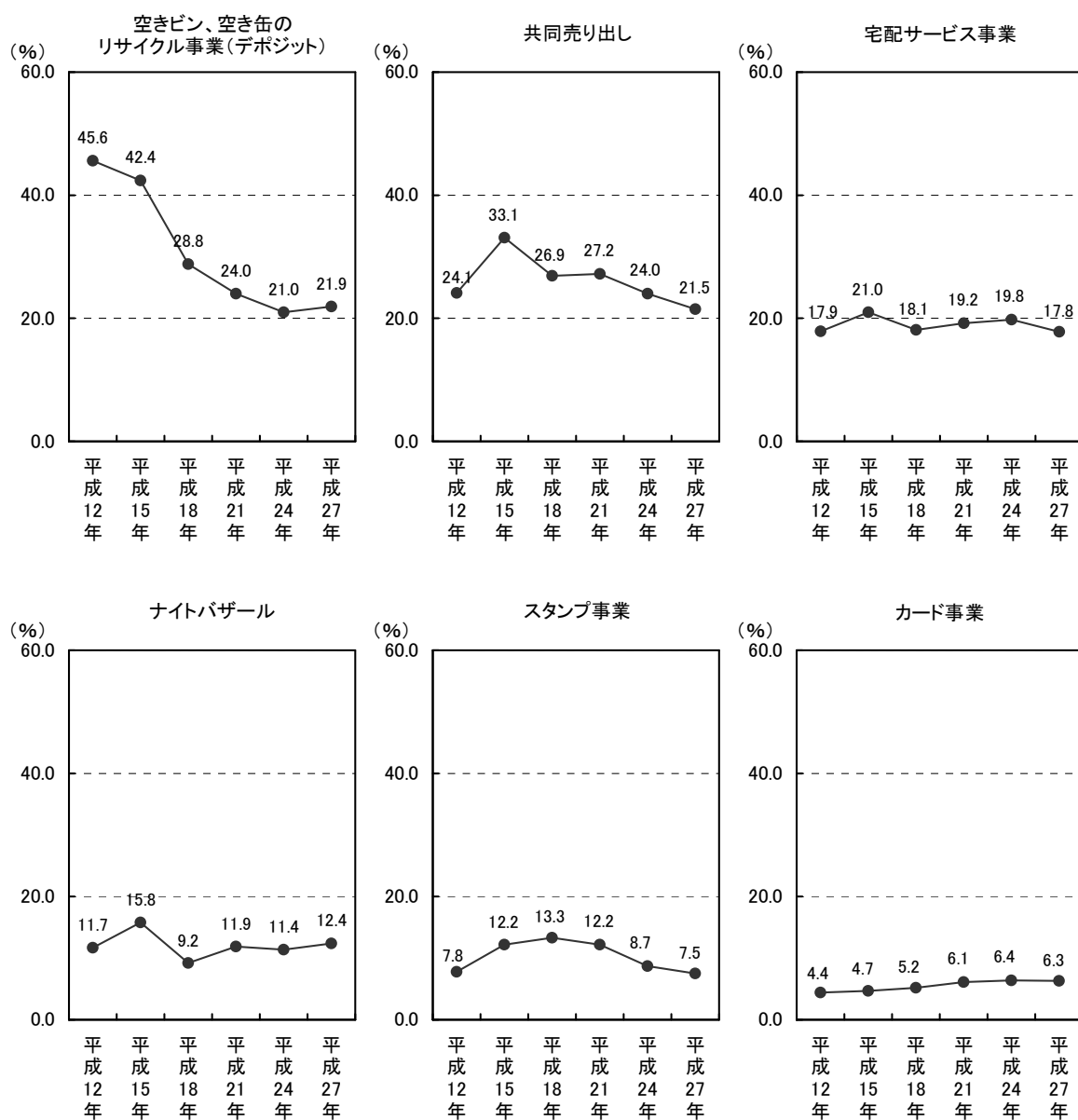
属性	順位	N	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		1580	駐車場、自転車置場 44.7%	緑地、街路樹、広場 24.6%	歩行者専用道路 20.9%	休憩所、水飲み場 16.8%	公衆便所 14.1%
【地区別】							
本庁地区		362	駐車場、自転車置場 44.2%	緑地、街路樹、広場 30.7%	歩行者専用道路 23.2%	休憩所、水飲み場 18.5%	アーケード 13.3%
芳野地区		42	駐車場、自転車置場 59.5%	休憩所、水飲み場 23.8%	緑地、街路樹、広場 21.4%	歩行者専用道路 11.9%	公衆便所 7.1%
古谷地区		66	駐車場、自転車置場 53.0%	歩行者専用道路 24.2%	休憩所、水飲み場 21.2%	アーケード 15.2%	緑地、街路樹、広場 13.6%
南古谷地区		120	駐車場、自転車置場 45.0%	緑地、街路樹、広場 29.2%	歩行者専用道路 21.7%	休憩所、水飲み場 16.7%	公衆便所 8.3%
高階地区		210	駐車場、自転車置場 47.1%	緑地、街路樹、広場 27.1%	公衆便所 21.4%	歩行者専用道路 18.6%	休憩所、水飲み場 17.1%
福原地区		81	駐車場、自転車置場 34.6%	緑地、街路樹、広場 24.7%	歩行者専用道路 22.2%	公衆便所 21.0%	アーケード 18.5%
大東地区		147	駐車場、自転車置場 42.9%	緑地、街路樹、広場 19.7%	歩行者専用道路 17.0%	休憩所、水飲み場 13.6%	公衆便所 12.2%
霞ヶ関地区		189	駐車場、自転車置場 40.7%	緑地、街路樹、広場 23.8%	歩行者専用道路 20.1%	公衆便所 14.3%	アーケード 13.2%
川鶴地区		85	駐車場、自転車置場 40.0%	緑地、街路樹、広場 23.5%	休憩所、水飲み場 22.4%	公衆便所 18.8%	歩行者専用道路 18.8%
霞ヶ関北地区		66	駐車場、自転車置場 45.5%	歩行者専用道路 21.2%	緑地、街路樹、広場 18.2%	休憩所、水飲み場 16.7%	アーケード 13.6%
名細地区		96	駐車場、自転車置場 43.8%	歩行者専用道路 22.9%	休憩所、水飲み場 19.8%	緑地、街路樹、広場 18.8%	公衆便所 13.5%
山田地区		76	駐車場、自転車置場 52.6%	歩行者専用道路 25.0%	緑地、街路樹、広場 22.4%	公衆便所 14.5%	休憩所、水飲み場 7.9%
【年齢別】							
18・19歳		15	公衆便所 26.7%	緑地、街路樹、広場 20.0%	休憩所、水飲み場 20.0%	歩行者専用道路 20.0%	駐車場、自転車置場 13.3%
20～29歳		150	駐車場、自転車置場 38.0%	緑地、街路樹、広場 30.7%	歩行者専用道路 15.3%	休憩所、水飲み場 14.0%	商店街街路灯 13.3%
30～39歳		229	駐車場、自転車置場 41.5%	緑地、街路樹、広場 30.1%	アーケード 15.3%	歩行者専用道路 14.8%	休憩所、水飲み場 10.0%
40～49歳		305	駐車場、自転車置場 50.8%	緑地、街路樹、広場 19.7%	歩行者専用道路 19.7%	休憩所、水飲み場 16.1%	アーケード 15.4%
50～59歳		211	駐車場、自転車置場 48.8%	緑地、街路樹、広場 27.0%	歩行者専用道路 20.4%	休憩所、水飲み場 14.2%	公衆便所 14.2%
60～69歳		353	駐車場、自転車置場 50.1%	緑地、街路樹、広場 25.5%	歩行者専用道路 23.5%	休憩所、水飲み場 20.1%	公衆便所 15.9%
70歳以上		301	駐車場、自転車置場 37.2%	歩行者専用道路 27.6%	休憩所、水飲み場 21.3%	緑地、街路樹、広場 19.9%	公衆便所 17.9%

② 商店街で実施してもらいたい事業、サービスについて

時系列でみると、「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」は減少傾向にあったものの、若干増加している。また、「共同売り出し」は前回調査と比べて2.5ポイント、「宅配サービス事業」は前回調査と比べて2.0ポイント、それぞれ減少している。

(図2-5-3)

図2-5-3 時系列 事業、サービスについて



地区別にみると、「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」はすべての地区で第1位にあげられている。また、「宅配サービス事業」はすべての地区で第2位となっている。

年齢別にみると、18・19歳、20歳代から30歳代、50歳代では「空きビン、空き缶のリサイクル事業（デポジット）」、40歳代、60歳代、70歳以上では「共同売り出し」、40歳代以上の年代では「共同売り出し」が第1位にあげられている。

(表2-5-2)

表 2-5-2 地区別/年齢別 事業、サービスについて

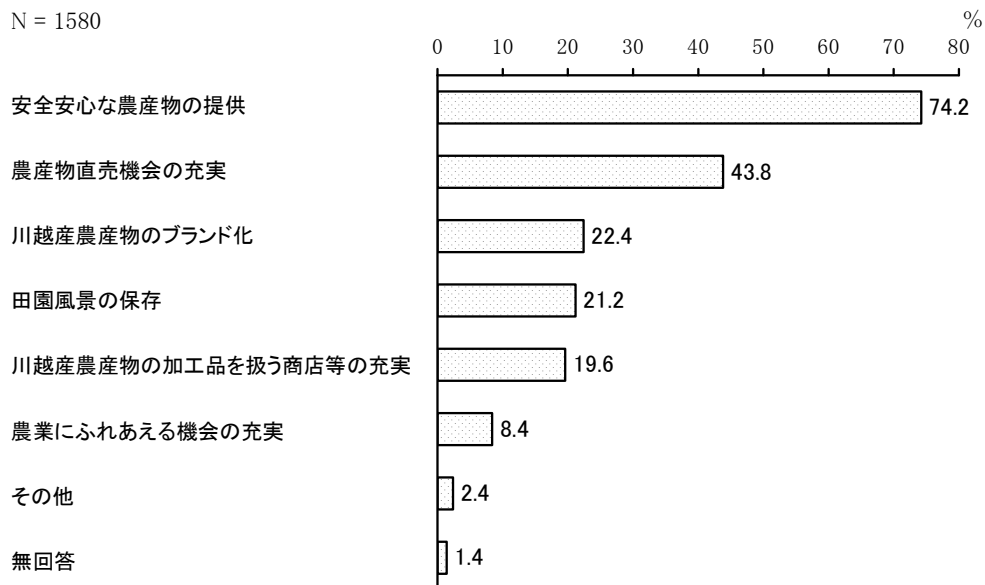
属性	順位	N	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		1580	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 21.9%	共同売り出し 21.5%	宅配サービス事業 17.8%	ナイトバザール 12.4%	スタンプ事業 7.5%
【地区別】							
本庁地区		362	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 20.7%	宅配サービス事業 16.9%	カード事業 5.8%	スタンプ事業 8.8%	ナイトバザール 18.2%
芳野地区		42	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 23.8%	宅配サービス事業 14.3%	カード事業 11.9%	スタンプ事業 4.8%	ナイトバザール 19.0%
古谷地区		66	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 19.7%	宅配サービス事業 21.2%	カード事業 6.1%	スタンプ事業 10.6%	ナイトバザール 7.6%
南古谷地区		120	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 27.5%	宅配サービス事業 12.5%	カード事業 5.0%	スタンプ事業 5.8%	ナイトバザール 8.3%
高階地区		210	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 21.9%	宅配サービス事業 18.6%	カード事業 5.2%	スタンプ事業 5.7%	ナイトバザール 10.5%
福原地区		81	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 19.8%	宅配サービス事業 16.0%	カード事業 8.6%	スタンプ事業 12.3%	ナイトバザール 11.1%
大東地区		147	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 20.4%	宅配サービス事業 16.3%	カード事業 5.4%	スタンプ事業 4.8%	ナイトバザール 10.9%
霞ヶ関地区		189	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 24.3%	宅配サービス事業 18.0%	カード事業 8.5%	スタンプ事業 7.4%	ナイトバザール 10.6%
川鶴地区		85	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 23.5%	宅配サービス事業 23.5%	カード事業 5.9%	スタンプ事業 10.6%	ナイトバザール 7.1%
霞ヶ関北地区		66	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 25.8%	宅配サービス事業 22.7%	カード事業 4.5%	スタンプ事業 9.1%	ナイトバザール 4.5%
名細地区		96	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 17.7%	宅配サービス事業 16.7%	カード事業 4.2%	スタンプ事業 6.3%	ナイトバザール 13.5%
山田地区		76	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 19.7%	宅配サービス事業 17.1%	カード事業 7.9%	スタンプ事業 6.6%	ナイトバザール 17.1%
【年齢別】							
18・19 歳		15	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 40.0%	宅配サービス事業 20.0%	ナイトバザール 13.3%	カード事業 6.7%	
20～29 歳		150	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 22.0%	宅配サービス事業 16.7%	ナイトバザール 15.3%	共同売り出し 9.3%	カード事業 8.0%
30～39 歳		229	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 18.8%	ナイトバザール 12.2%	宅配サービス事業 11.8%	スタンプ事業 11.8%	共同売り出し 9.6%
40～49 歳		305	共同売り出し 19.3%	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 18.7%	ナイトバザール 15.1%	宅配サービス事業 14.8%	スタンプ事業 9.5%
50～59 歳		211	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 24.2%	共同売り出し 23.2%	ナイトバザール 19.0%	宅配サービス事業 16.1%	カード事業 7.6%
60～69 歳		353	共同売り出し 29.5%	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 24.1%	宅配サービス事業 20.1%	ナイトバザール 9.6%	スタンプ事業 6.5%
70 歳以上		301	共同売り出し 29.2%	宅配サービス事業 23.6%	空きビン、空き缶のリサイクル事業(デポジット) 22.9%	ナイトバザール 7.0%	スタンプ事業 4.3%

## 2-6 農業に期待すること

◇「安全安心な農産物の提供」が74.2%

問10 あなたが農業に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

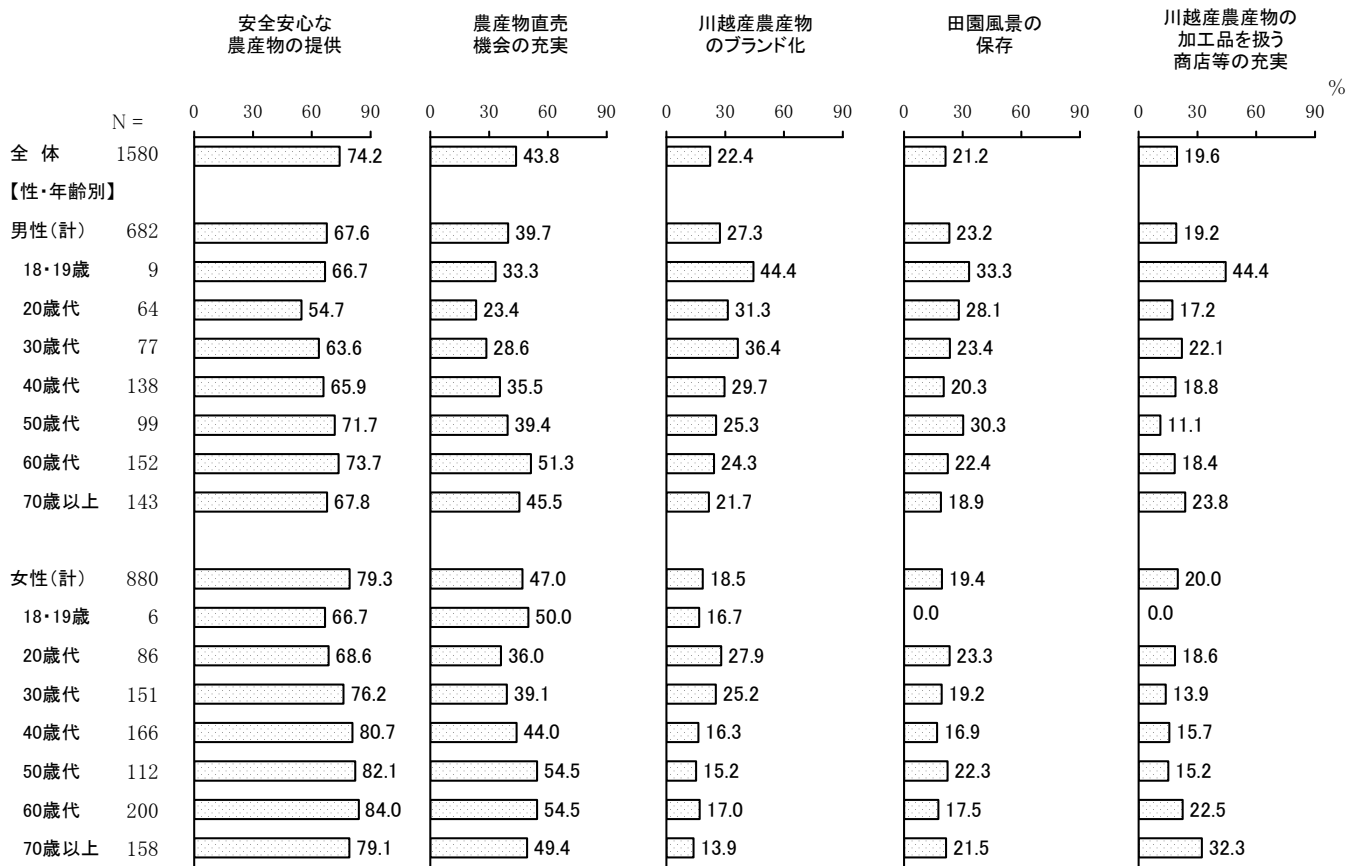
図2-6-1



農業政策に期待することをたずねたところ、「安全安心な農産物の提供」(74.2%)が最も多く、70%半ばとなっている。以下、「農産物直売機会の充実」(43.8%)、「川越産農産物のブランド化」(22.4%)、「田園風景の保存」(21.2%)などの順となっている。(図2-6-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「安全安心な農産物の提供」は女性40歳代から60歳代が80%を超えて多くなっている。「農産物直売機会の充実」は男性60歳代、女性50歳代、60歳代が50%を超えて多くなっている。「川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実」は、女性70歳以上が30%を超えて多くなっている。(図2-6-2)

図2-6-2 性・年齢別 農業政策に期待すること





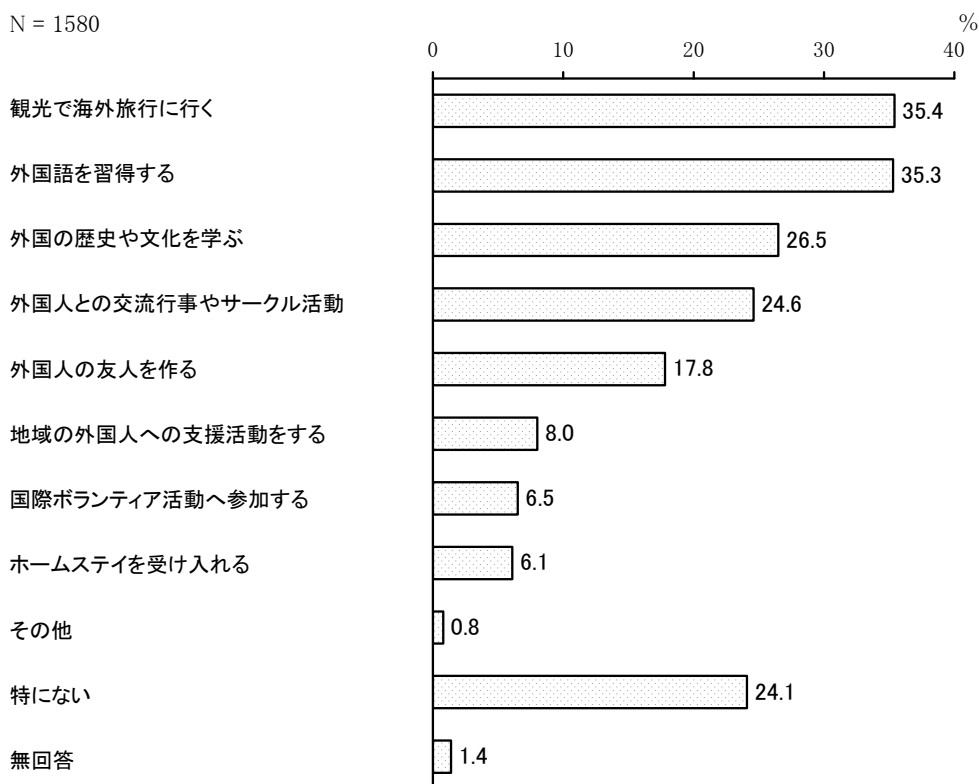
### 3 教育・文化・スポーツ

#### 3-1 してみたい国際交流活動

◇「観光で海外旅行に行く」が 35.4%、「外国語を習得する」が 35.3%

問 11 あなたは、どんな国際交流をしてみたいと思いますか。

図 3-1-1



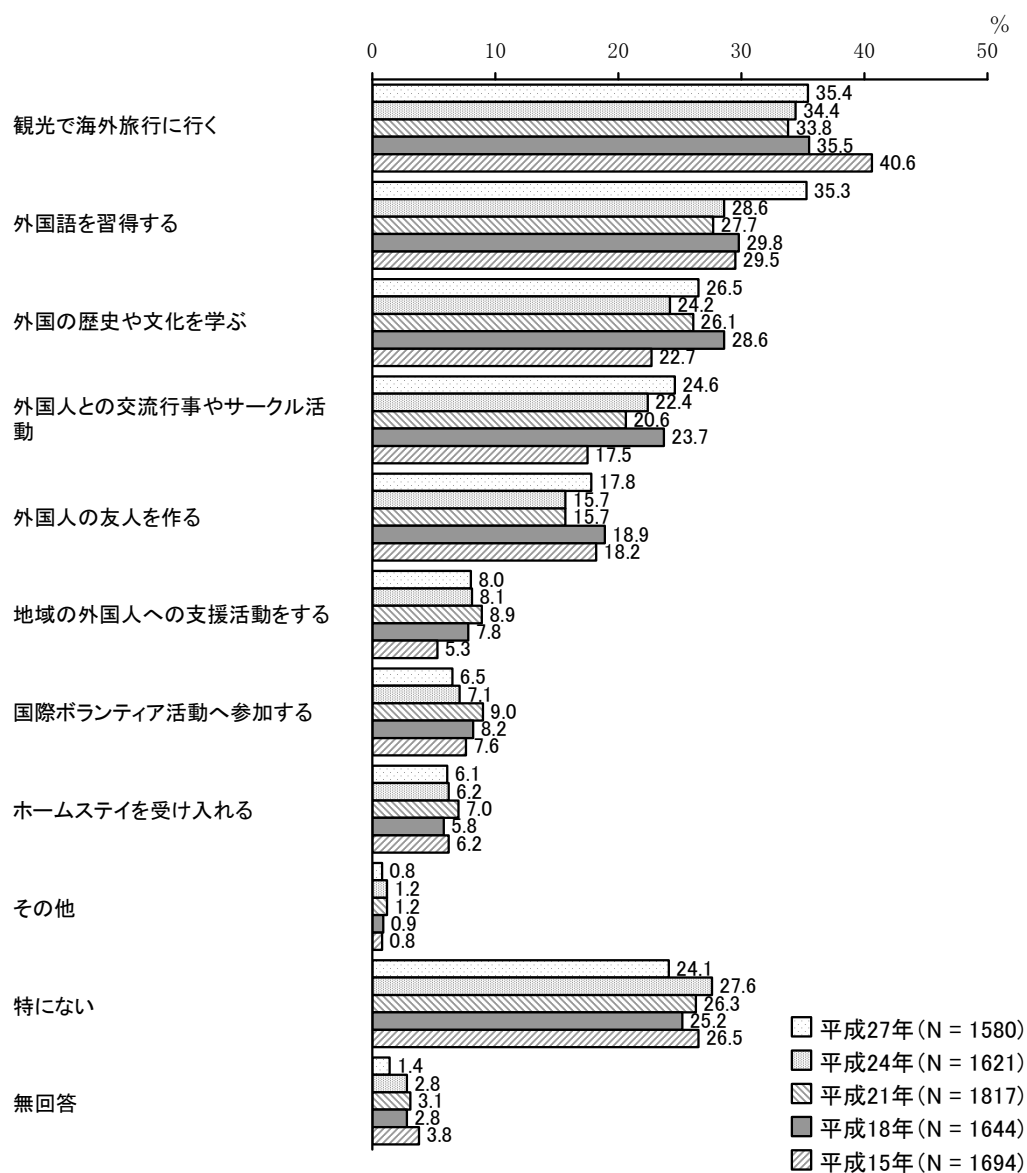
してみたい国際交流活動をたずねたところ、「観光で海外旅行に行く」(35.4%)が最も多く、次いで「外国語を習得する」(35.3%)とともに30%半ばとなっている。以下、「外国の歴史や文化を学ぶ」(26.5%)、「外国人との交流行事やサークル活動」(24.6%)などの順となっている。

(図 3-1-1)

時系列でみると、「外国語を習得する」は前回調査と比べて6.7ポイント増加している。

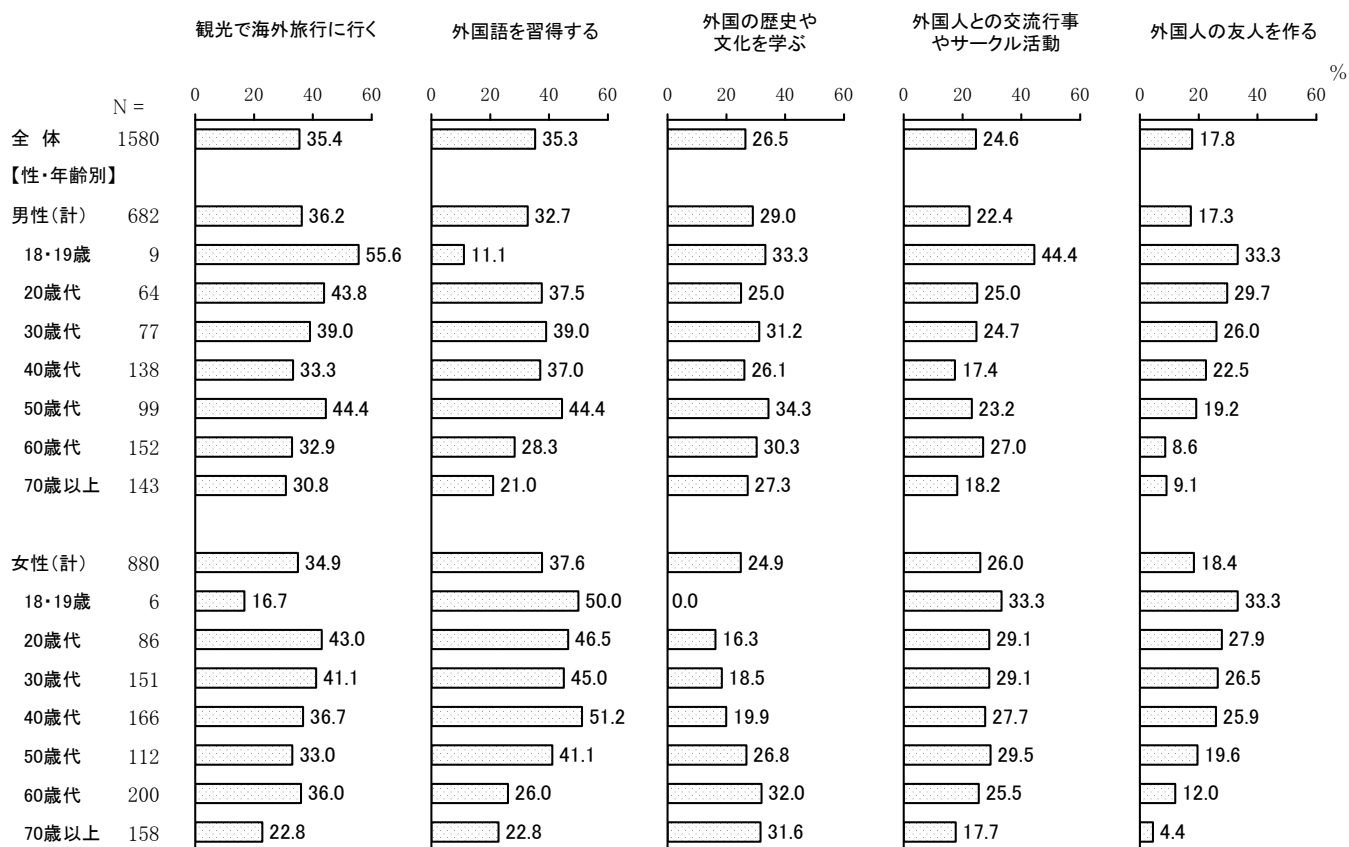
(図3-1-2)

図3-1-2 時系列 してみたい国際交流活動



上位5項目を性・年齢別にみると、「観光で海外旅行に行く」は男性20歳代と50歳代、女性20歳代、30歳代が40%半ばで多くなっている。「外国語を習得する」は女性40歳代が50%を超えている。「外国人との交流行事やサークル活動」は女性20歳代から50歳代で30%近くと多くなっている。「外国人の友人を作る」は男性20歳代、30歳代、女性20歳代、30歳代がいずれも30%近くで多くなっている。(図3-1-3)

図3-1-3 性・年齢別 してみたい国際交流活動

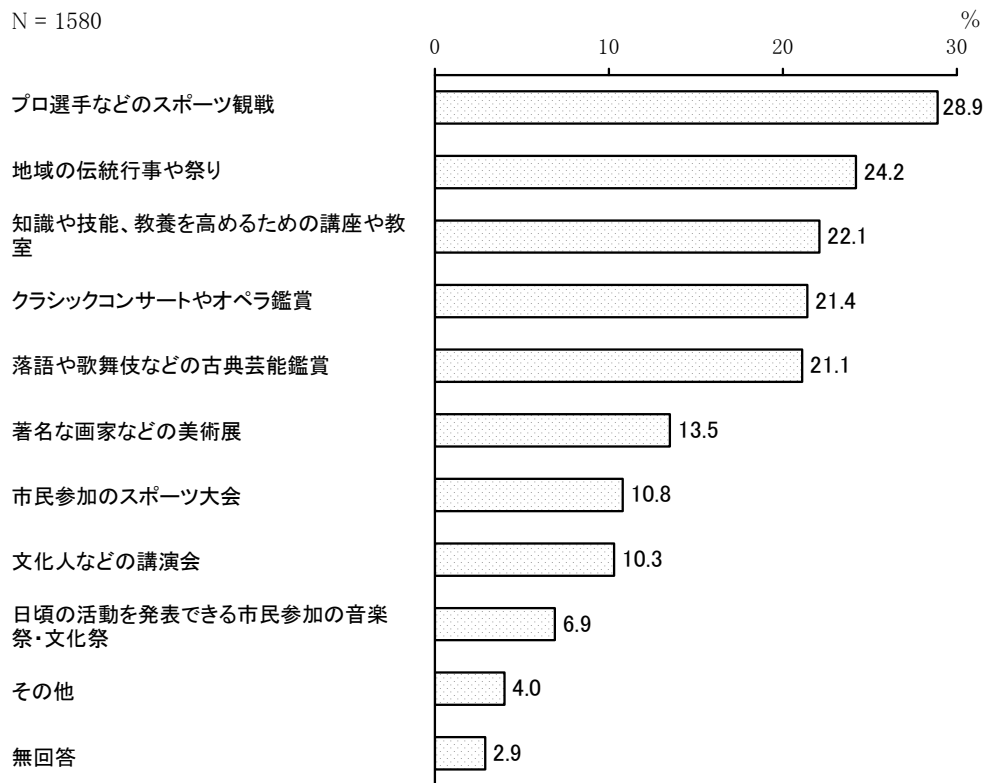


### 3-2 興味のある文化・スポーツイベント

◇「プロ選手などのスポーツ観戦」が28.9%

問12 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。

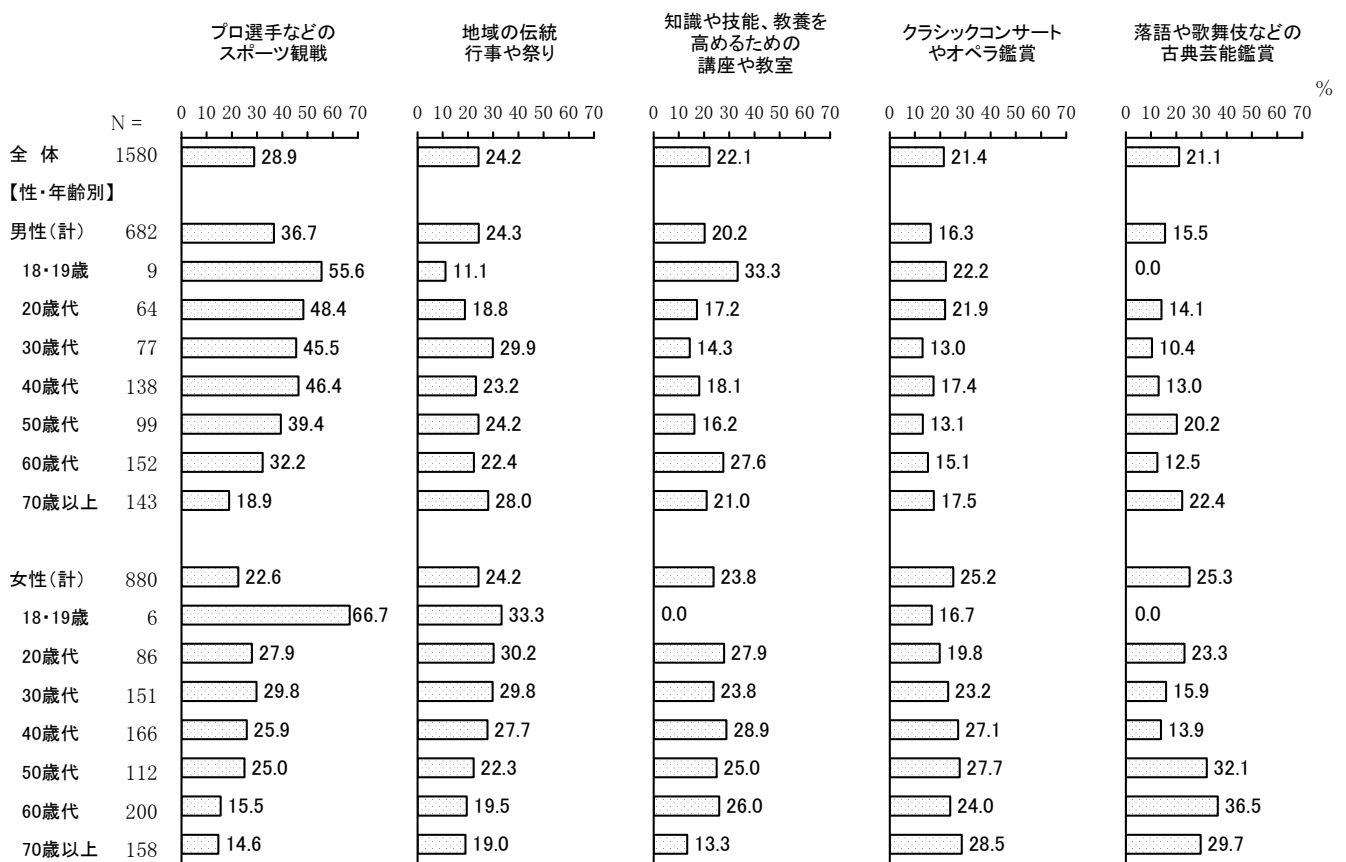
図3-2-1



興味のある文化・スポーツイベントをたずねたところ、「プロ選手などのスポーツ観戦」(28.9%)が最も多く、以下、「地域の伝統行事や祭り」(24.2%)、「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」(22.1%)、「クラシックコンサートやオペラ鑑賞」(21.4%)、「落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞」(21.1%)などの順となっている。(図3-2-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「プロ選手などのスポーツ観戦」は男性20歳代で50%近く、男性30歳代、40歳代が40%半ばと高くなっている。「地域の伝統行事や祭り」は、男性30歳代、女性20歳代、30歳代、40歳代がいずれも30%近くと高くなっている。「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」は、男性60歳代、女性20歳代、40歳代が30%近くと高くなっている。「クラシックコンサートやオペラ鑑賞」は女性が20%半ばと高く、女性40歳代、50歳代、70歳以上が30%近くと高くなっている。「落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞」は、女性50歳代、60歳代が30%を超えて高くなっている。(図3-2-2)

図3-2-2 性・年齢別 興味のある文化・スポーツイベント



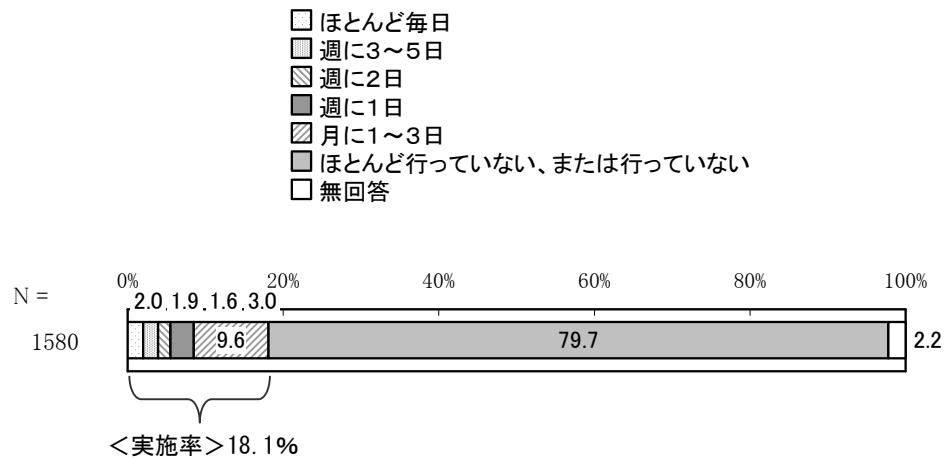
### 3-3 文化活動の頻度

◇＜実施率＞は18.1%

問13 ①あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

#### ① 行っている文化活動

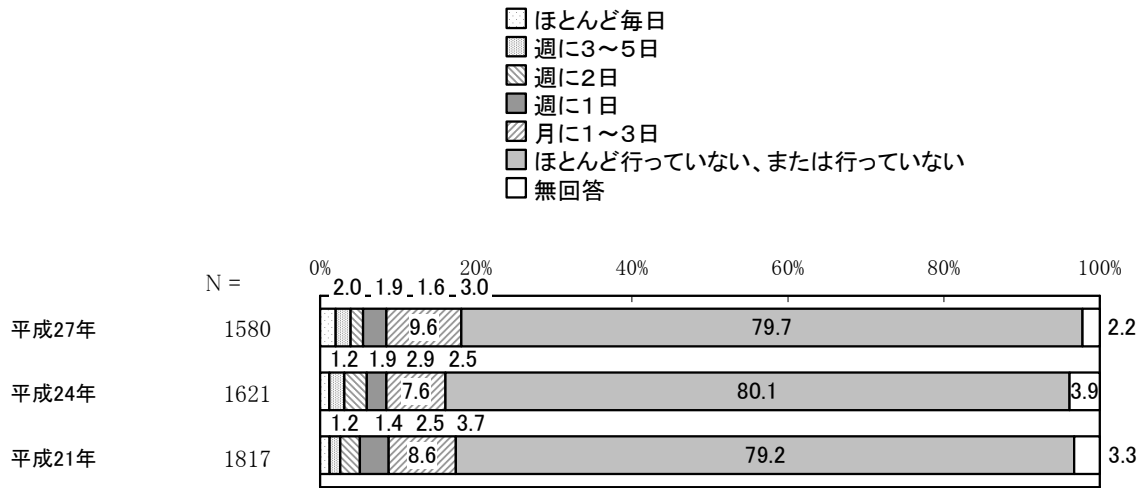
図3-3-1



文化活動の頻度をたずねたところ、「ほとんど行っていない、または行っていない」(79.7%)が最も多く、80%近くとなっている。「ほとんど毎日」(2.0%)、「週に3~5日」(1.9%)、「週に2日」(1.6%)、「週に1日」(3%)、「月に1~3日」(9.6%)を合わせた＜実施率＞は18.1%となっている。(図3-3-1)

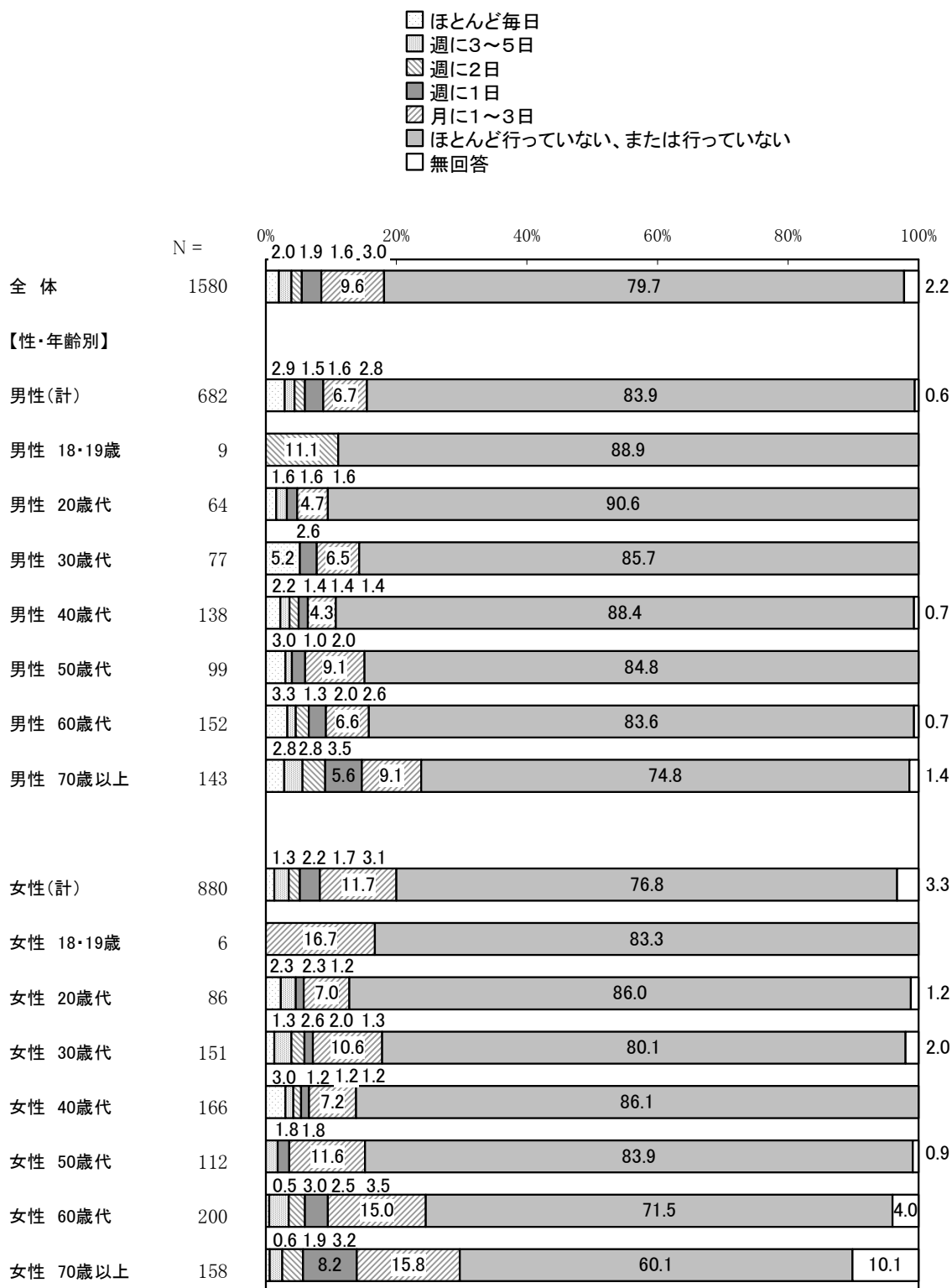
時系列でみると、前回調査とほぼ同じ傾向になっている。(図3-3-2)

図3-3-2 時系列 文化活動の頻度



性・年齢別にみると、＜実施率＞は女性70歳以上（29.7%）が30%近くで最も多くなっている。一方、男性の20歳代では、＜実施率＞が10%未満と最も少なくなっている。（図3-3-3）

図3-3-3 性・年齢別 文化活動の頻度



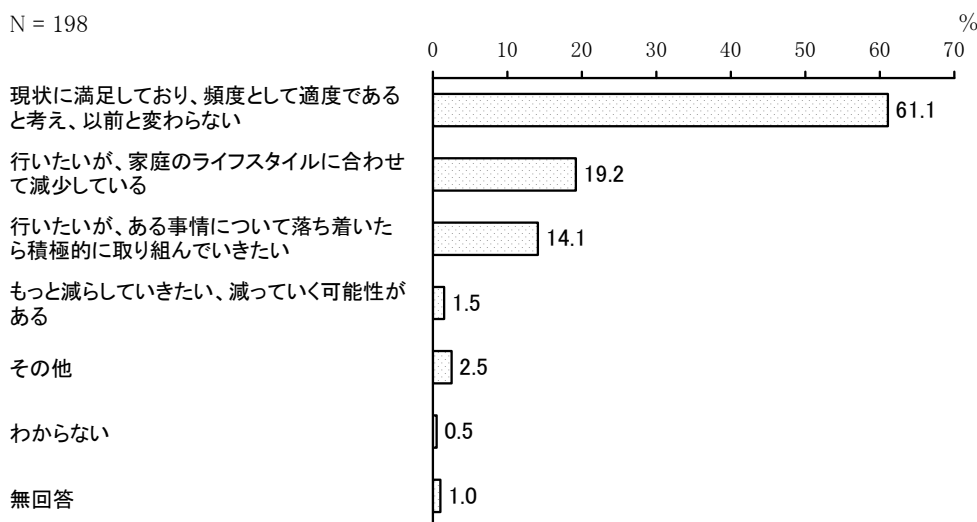


### 3-4 文化活動への取組

◇「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」が61.1%

② ①で4.と5.と答えた方におたずねします。  
現状に対する考え方を教えてください。(○は1つ)

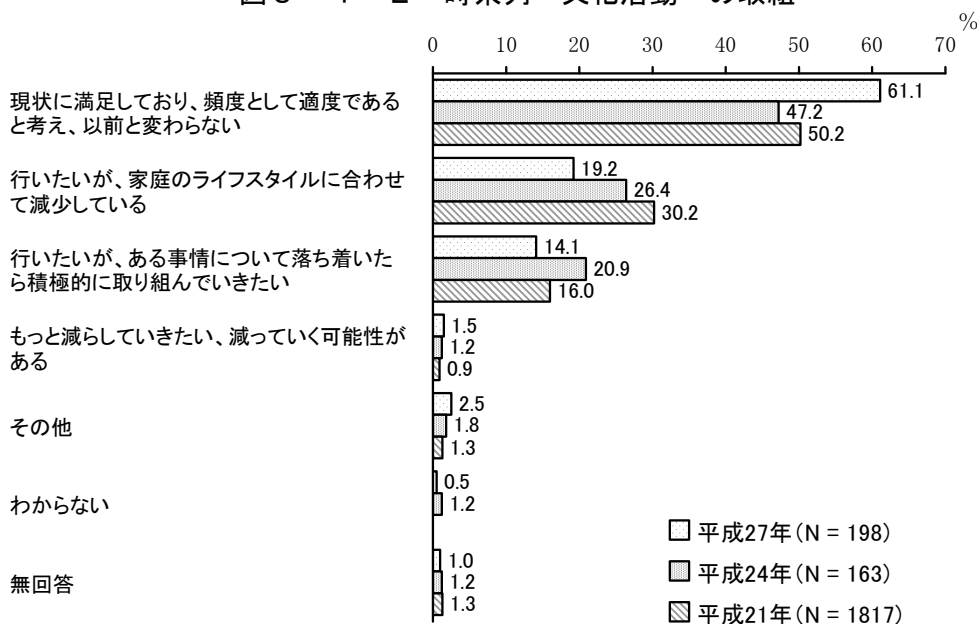
図3-4-1



問12①で「週に1回」「月に1～3日」文化活動を行っているとした人(198人)に、文化活動への取り組みをたずねたところ、「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」(61.1%)が最も多く、60%を超えている。「行いたい、家庭のライフスタイルに合わせて減少している」(19.2%)は20%近くとなっている。(図3-4-1)

時系列でみると、「現状に満足しており、頻度として適度であると考え、以前と変わらない」は前回調査と比べて13.9ポイント増加している。「行いたい、ある事情について落ち着いたら積極的に取り組んでいきたい」は6.8ポイント減少している。(図3-4-2)

図3-4-2 時系列 文化活動への取組

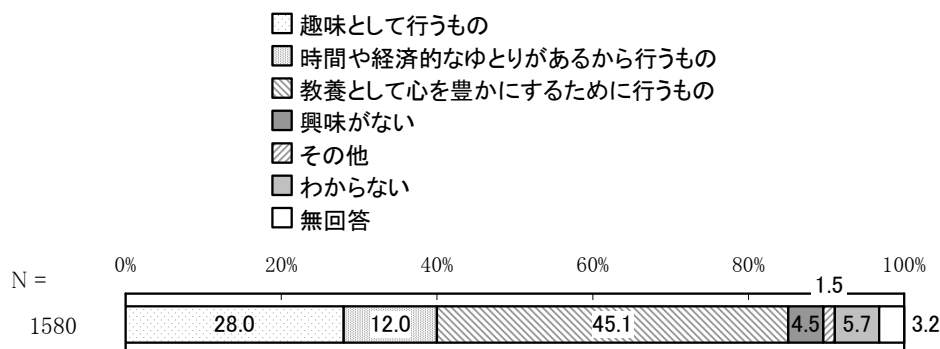


### 3-5 文化に対する考え方

◇「教養として心を豊かにするために行うもの」が45.1%

問14 文化に対するあなたの考え方を教えてください。(○は1つ)

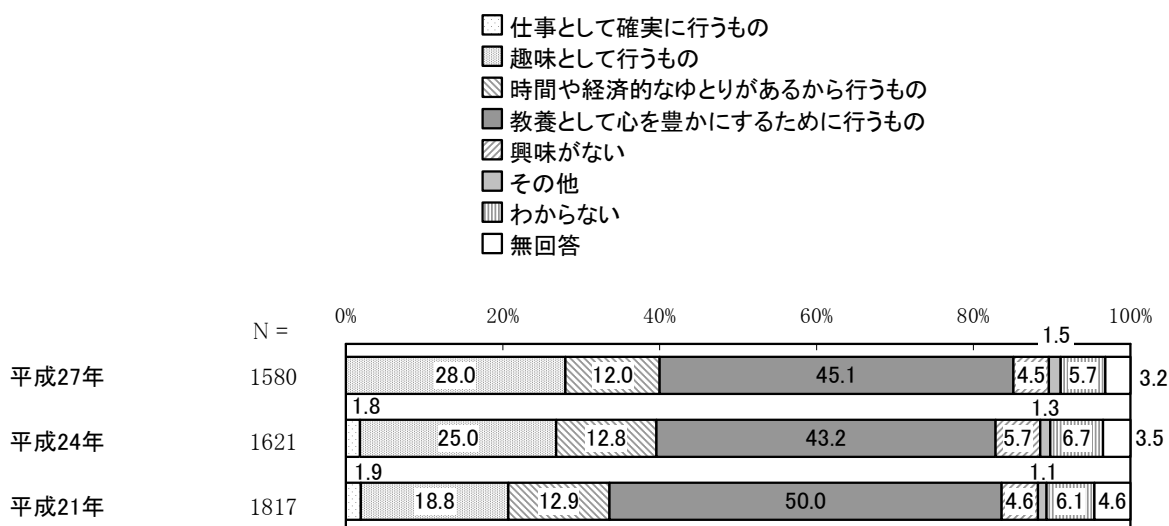
図3-5-1



文化に対する考え方をたずねたところ、「教養として心を豊かにするために行うもの」(45.1%)が最も多く、40%半ばとなっている。以下、「趣味として行うもの」(28.0%)、「時間や経済的なゆとりがあるから行うもの」(12.0%)などの順となっている。(図3-5-1)

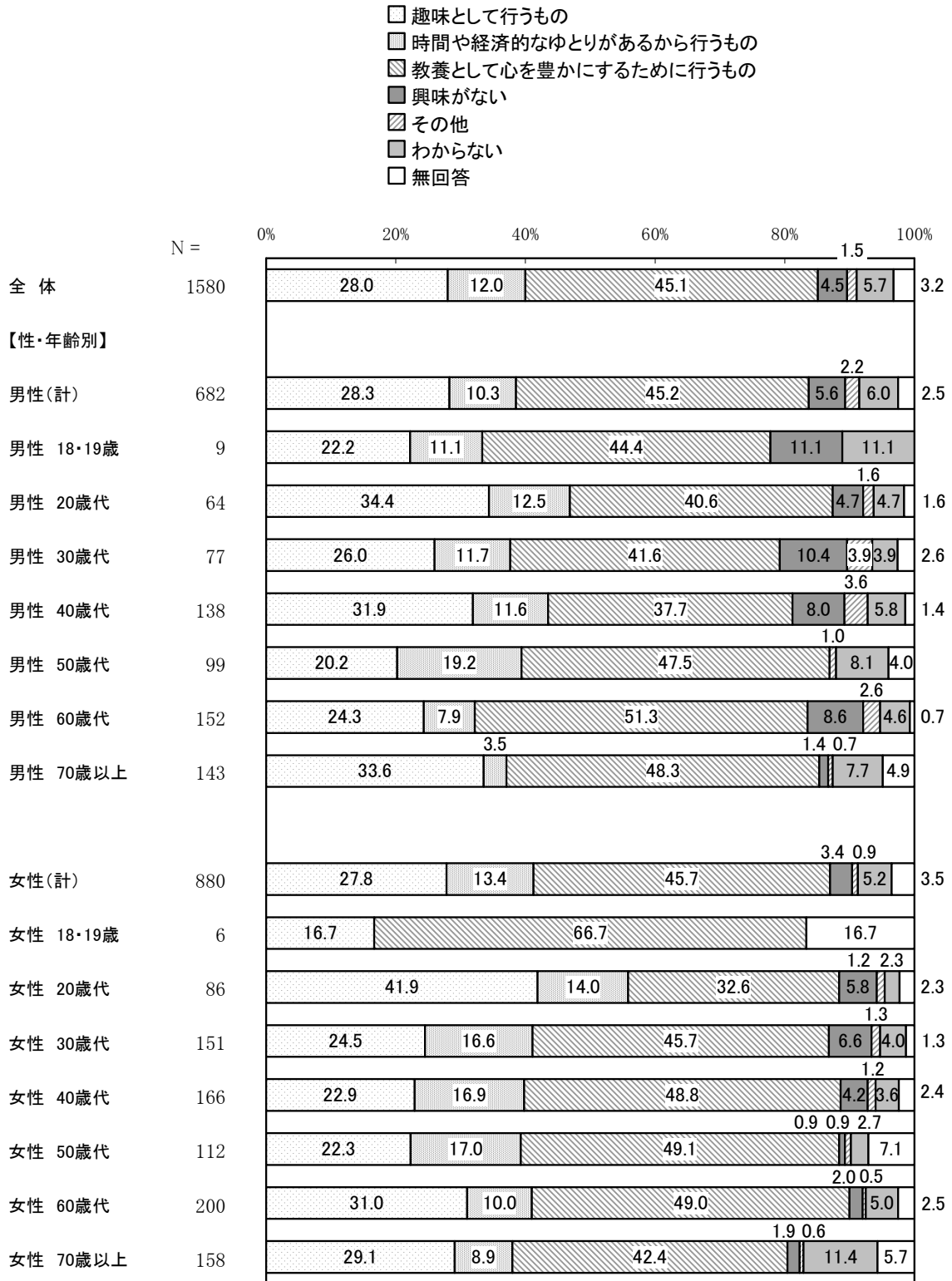
時系列でみると、平成27年調査で選択肢の追加・変更があったため平成24年調査以前との比較は参考にとどまるが、「趣味として行なうもの」は前回調査と比べて3.0ポイント増加している。(図3-5-2)

図3-5-2 時系列 文化に対する考え方



性・年齢別にみると、「趣味として行なうもの」は女性 20 歳代が 40%を超えて最も多くなっている。「教養として心を豊かにするために行うもの」は男性 60 歳代が 50%を超えて最も多くなっている。(図 3-5-3)

図 3-5-3 性・年齢別 文化に対する考え方

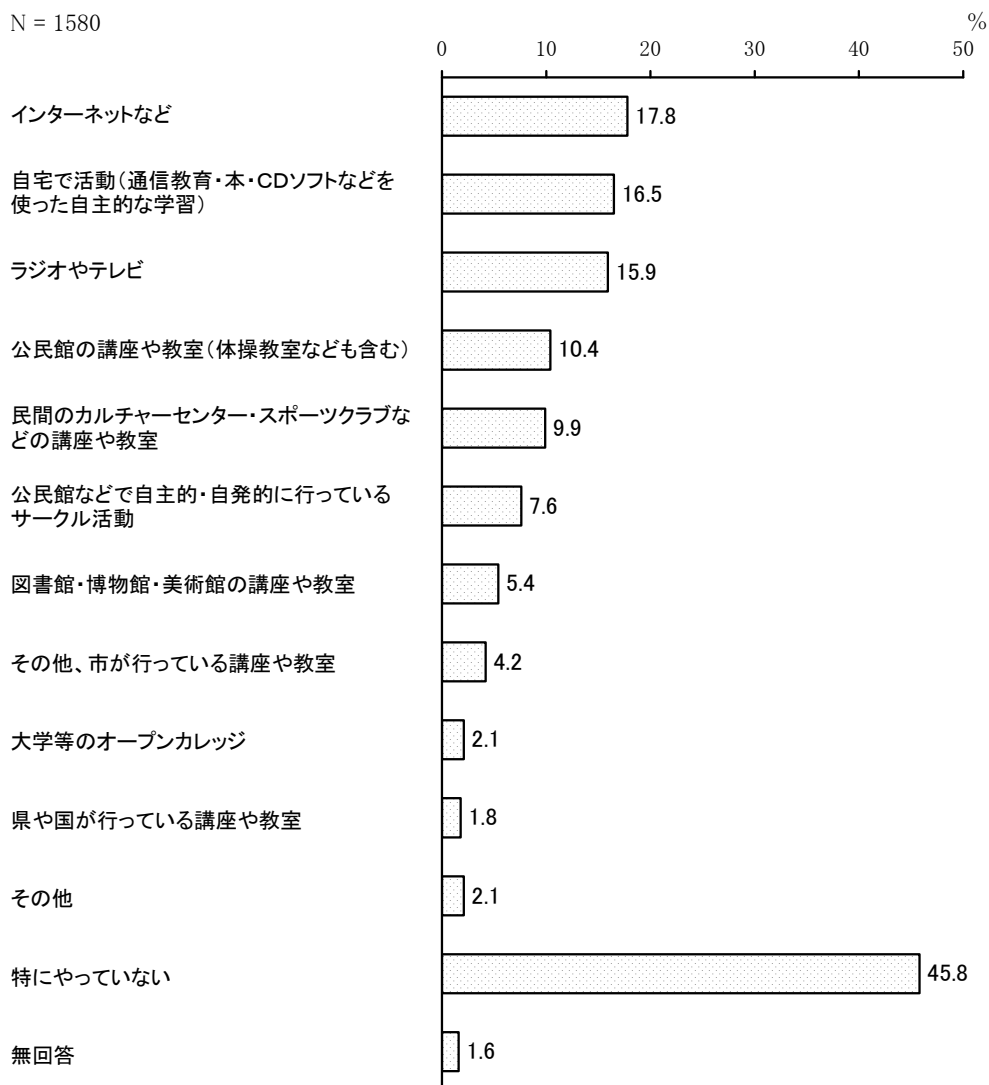


### 3-6 生涯学習活動の取組状況

◇「インターネットなど」が17.8%

問15 ①あなたは、日ごろ次のような生涯学習をおこなっていますか。(〇はいくつでも)

図3-6-1

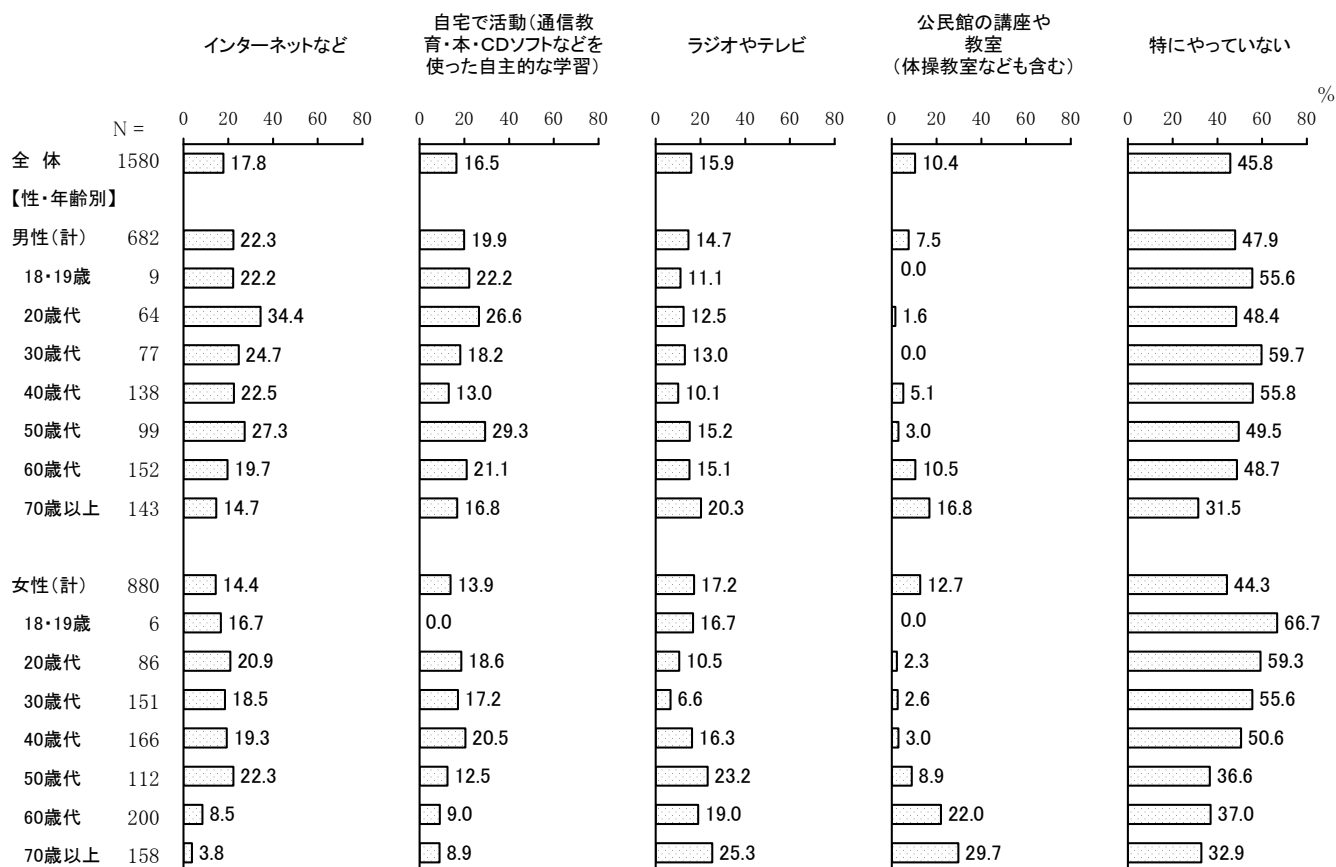


生涯学習活動の取組状況をたずねたところ、「インターネットなど」(17.8%)が最も高く、20%近くとなっている。以下、「自宅で活動(通信教育・本・CDソフトなどを使った自主的な学習)」(16.5%)、「ラジオやテレビ」(15.9%)、「公民館の講座や教室(体操教室なども含む)」(10.4%)などの順となっている。「特にならしていない」(45.8%)は40%半ばとなっている。

(図3-6-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「インターネットなど」は男性20歳代が30%半ばと多く、男性50歳代では「インターネットなど」と「自宅で活動（通信教育・本・CDソフトなどを使った自主的な学習）」がともに30%近くと多くなっている。「ラジオやテレビ」は女性70歳以上が20%半ばで多くなっている。「公民館の講座や教室（体操教室なども含む）」は、女性60歳代と70歳以上が20%を超えて多くなっている。（図3-6-2）

図3-6-2 性・年齢別 生涯学習活動の取組状況

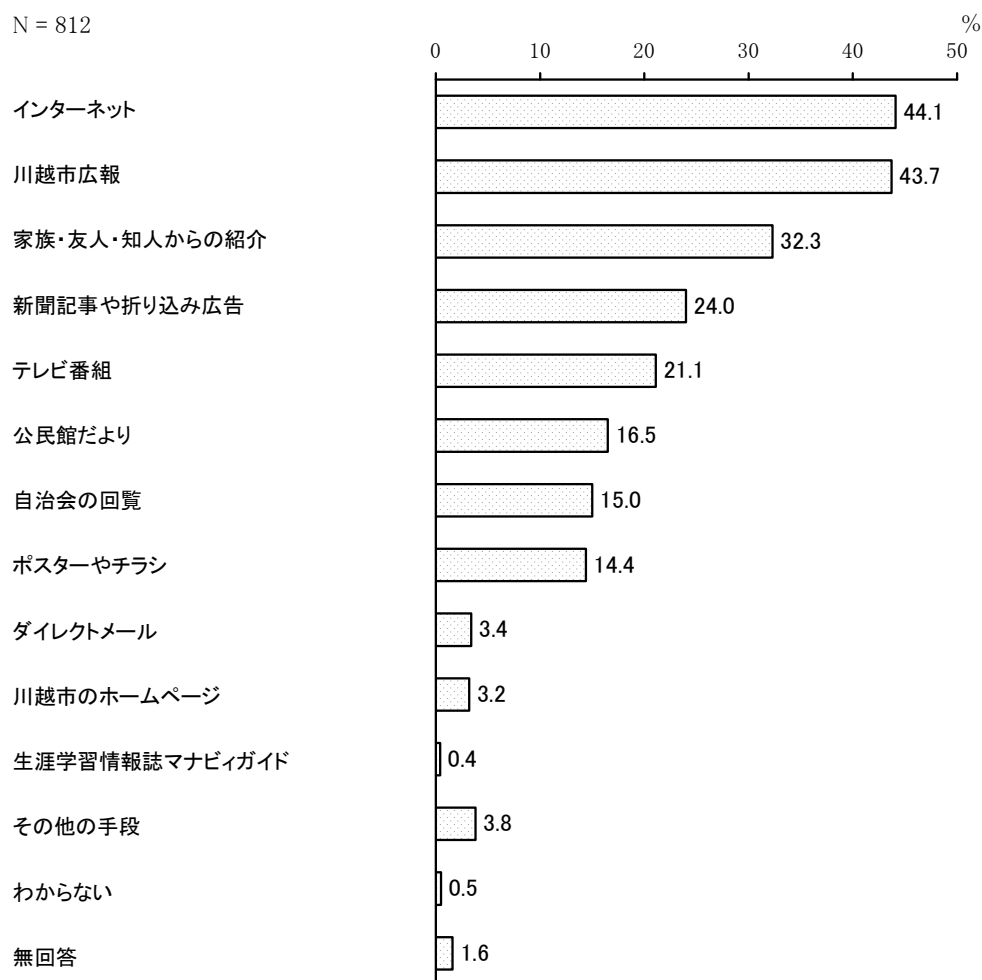


### 3-7 生涯学習情報の取得方法

◇「インターネットなど」が44.1%、「川越市広報」が43.7%

② ①で1.～10.のいずれかに答えた方におたずねします。  
あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)

図3-7-1



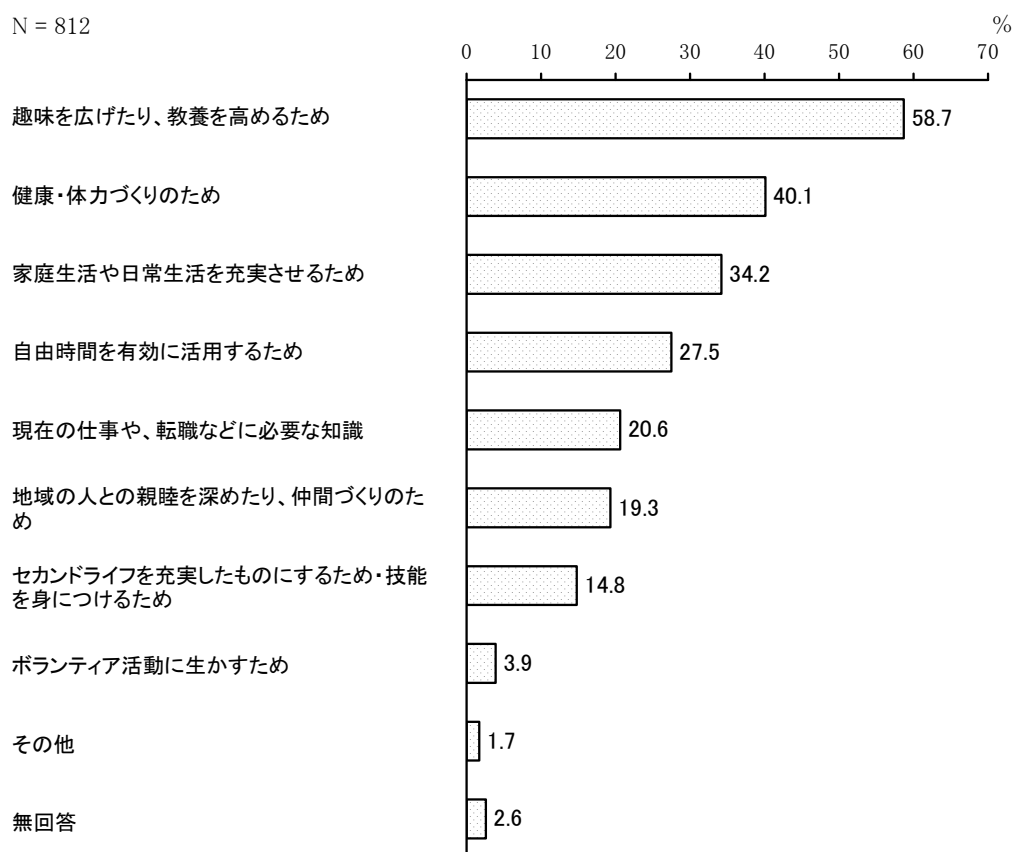
問15①で生涯学習を行っているとした人(812人)に、生涯学習情報の取得方法をたずねたところ、「インターネット」(44.1%)が最も多く、次いで「川越市広報」(43.7%)がともに40%を超えている。以下、「家族・友人・知人からの紹介」(32.3%)、「新聞記事や折り込み広告」(24%)、「テレビ番組」(21.1%)などの順となっている。(図3-7-1)

### 3-8 生涯学習活動を行う目的

◇「趣味を広げたり、教養を高めるため」が58.7%

③ ①で1.～10.のいずれかに答えた方におたずねします。あなたの生涯学習を行う主な目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。  
(○はいくつでも)

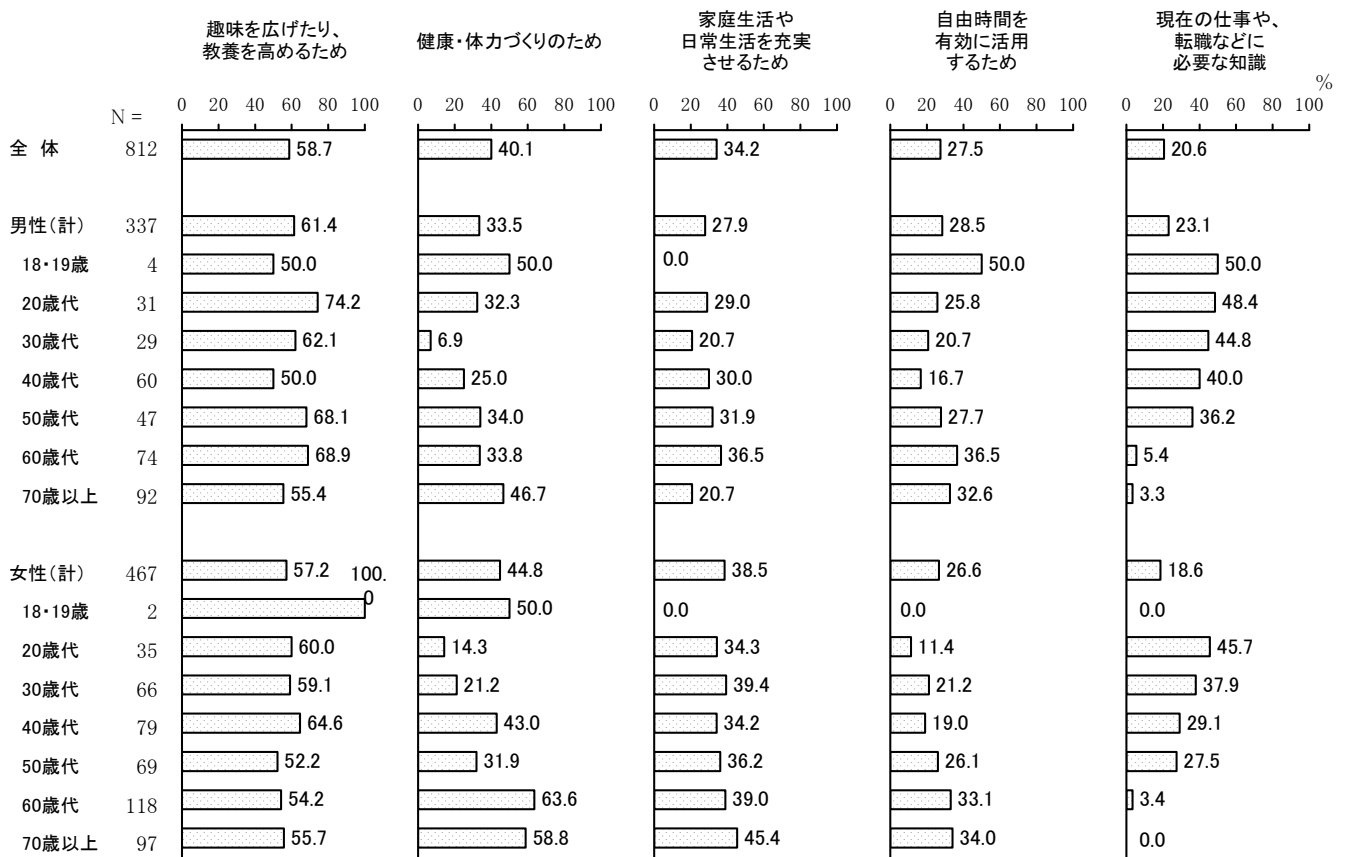
図3-8-1



問15①で生涯学習を行っているとした人(812人)に、生涯学習活動を行う目的をたずねたところ、「趣味を広げたり、教養を高めるため」(58.7%)が最も多く、60%近くとなっている。以下、「健康・体力づくりのため」(40.1%)、「家庭生活や日常生活を充実させるため」(34.2%)、「自由時間を有効に活用するため」(27.5%)、「現在の仕事や、転職などに必要な知識」(20.6%)などの順となっている。(図3-8-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「趣味を広げたり、教養を高めるため」は男性20歳代が70%半ばと多くなっている。「健康・体力づくりのため」は女性60歳代、70歳以上で60%前後と多くなっている。「家庭生活や日常生活を充実させるため」は、男性に比べて女性で多く、女性のすべての年代で30%を超えている。「自由時間を有効に活用するため」は、男女とも60歳以上で30%を超えて多くなっている。「現在の仕事や、転職などに必要な知識」は、男性20歳代、30歳代、女性20歳代でいずれも40%を超えて多くなっている。(図3-8-2)

図3-8-2 性・年齢別 生涯学習活動を行う目的



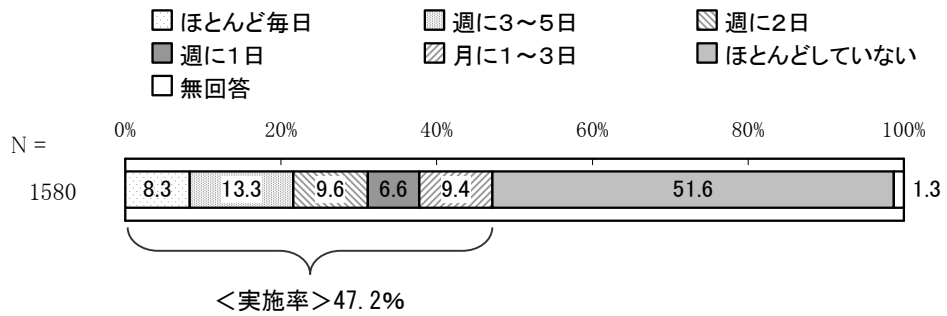


### 3-9 スポーツ・運動の頻度

◇＜実施率＞は、47.2%

問16 あなたは、スポーツや運動をどの程度していますか。  
①頻度はどの程度ですか。(〇は1つ)

図3-9-1

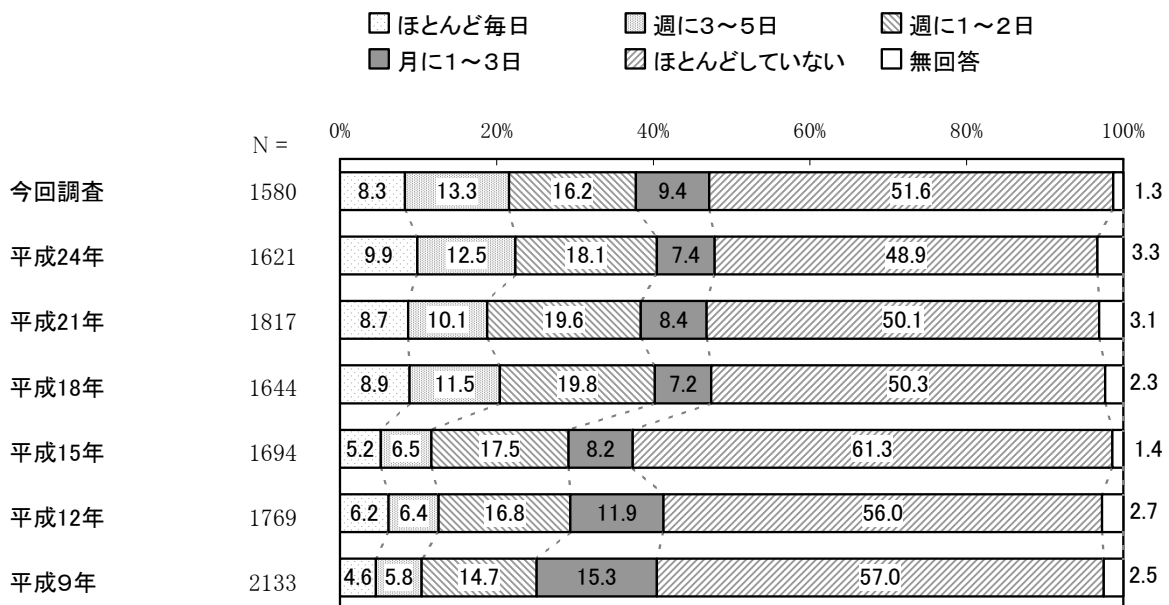


スポーツ・運動の頻度をたずねたところ、「ほとんどしていない」(51.6%)が最も多く、50%を超えている。「ほとんど毎日」(8.3%)、「週に3~5日」(13.3%)、「週に2日」(9.6%)、「週に1日」(6.6%)、「月に1~3日」(9.4%)を合わせた＜実施率＞は47.2%となっている。

(図3-9-1)

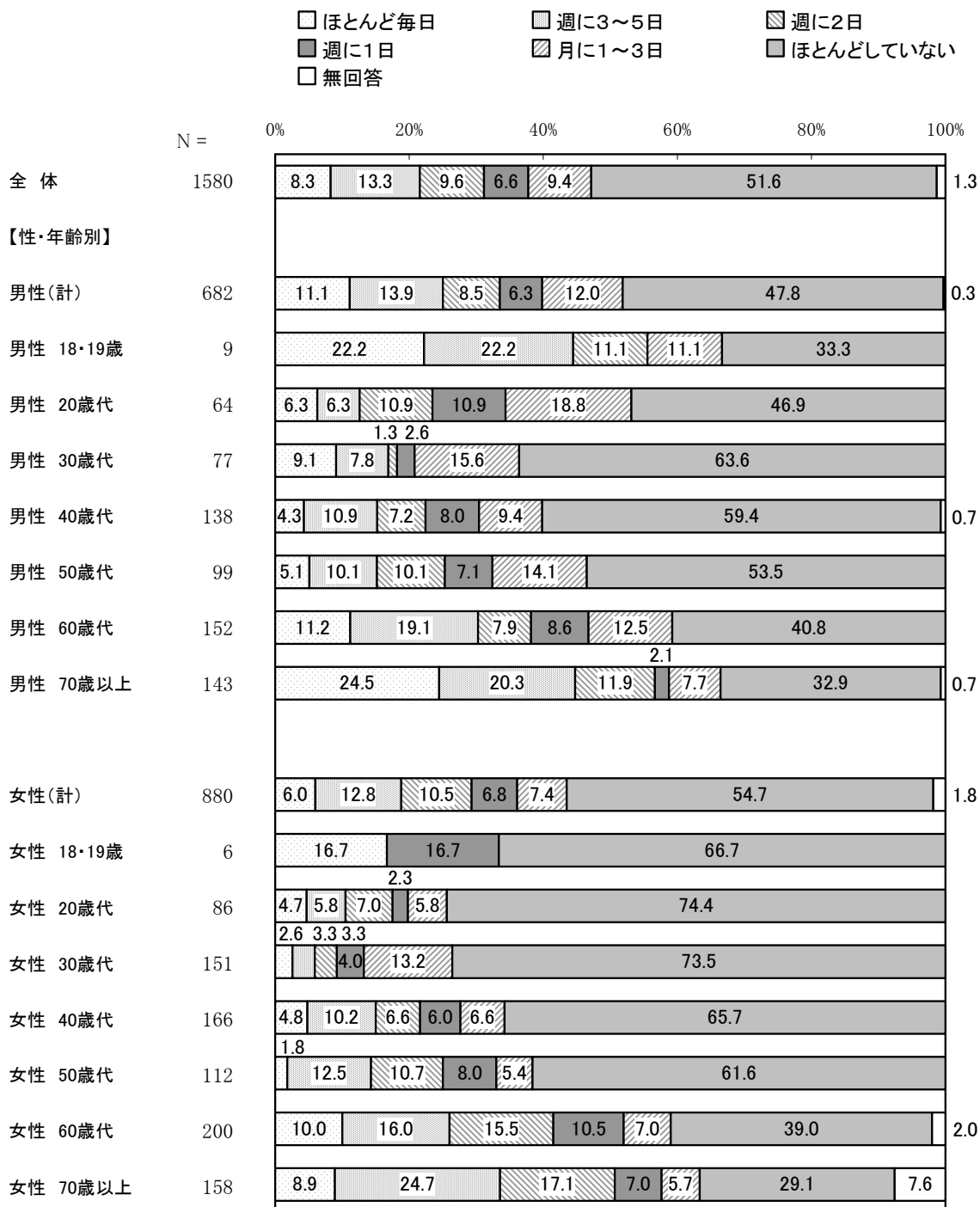
時系列でみると、平成18年調査以降＜実施率＞は50%近くで推移している。(図3-9-2)

図3-9-2 時系列 スポーツ・運動の頻度



性・年齢別にみると、＜実施率＞は男女とも70歳以上が60%を超えて多くなっている。一方、「ほとんどしていない」は女性の20歳代、30歳代の年代がいずれも70%を超えて多くなっている。(図3-9-3)

図3-9-3 性・年齢別 スポーツ・運動の頻度



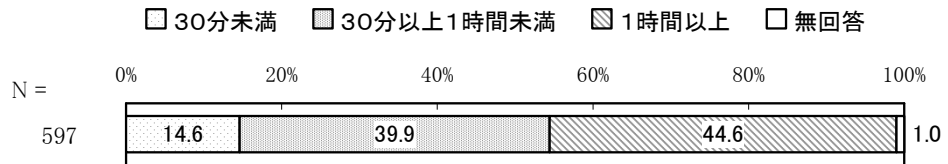
### 3-10 スポーツ・運動1回あたりの時間／はじめてからの期間／スポーツ・運動をする場所

#### (1) 1回あたりの時間

◇1回あたりのスポーツをする時間は「1時間以上」が44.6%

② ①で1.~4.と答えた方におたずねします。1回の時間はどの程度ですか。  
(○は1つ)

図3-10-1

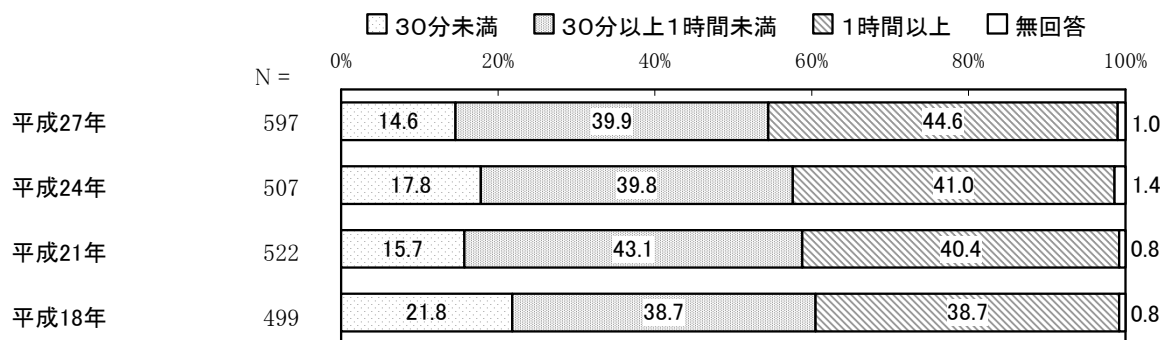


問16①で「週に1日」以上スポーツ・運動をしていると答えた人(597人)に、1回あたりの時間をたずねたところ、「1時間以上」(44.6%)が40%を超えて多くなっている。

(図3-10-1)

時系列でみると、「1時間以上」が増加傾向にある。(図3-10-2)

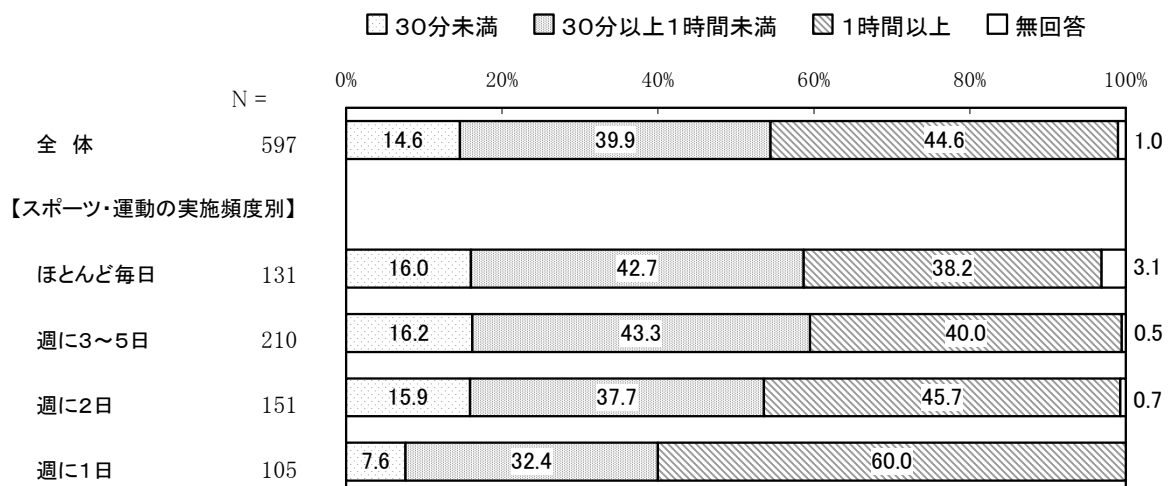
図3-10-2 時系列 1回あたりの時間



スポーツ・運動の実施頻度(問16①・71ページ参照)別にみると、スポーツ・運動の実施頻度が高くなるほど、1回あたりの時間が短い人の割合が多くなる傾向がみられる。

(図3-10-3)

図3-10-3 スポーツ・運動の実施頻度別 1回あたりの時間

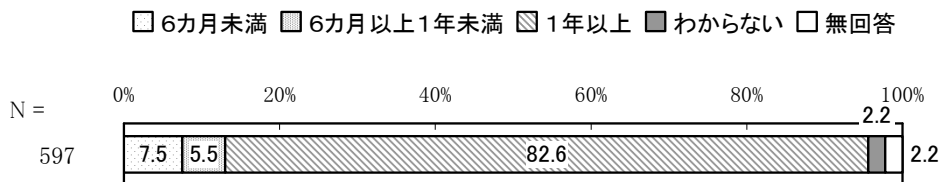


(2) はじめてからの期間

◇「1年以上」が82.6%

③ ①で1.～4.と答えた方におたずねします。  
 スポーツや運動を初めてからどの程度期間が経過していますか。(○は1つ)

図3-10-4



問16①で「週に1日」以上スポーツ・運動をしていると答えた人(597人)に、スポーツをはじめてからの期間をたずねたところ、「1年以上」(82.6%)が最も多く、80%を超えている。「6か月未満」(7.5%)と「6か月以上1年未満」(5.5%)はともに10%未満である。

(図3-10-4)

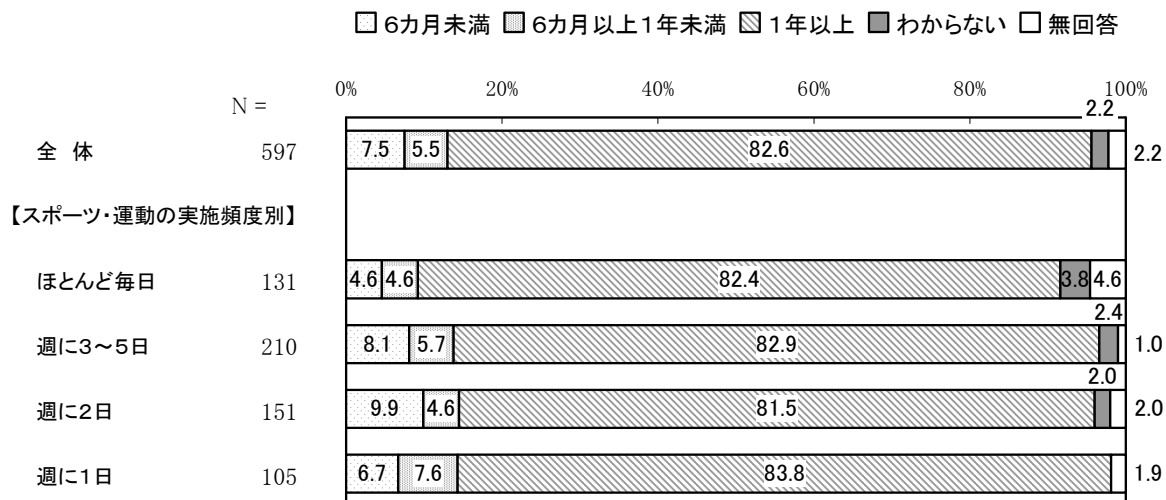
時系列でみると、「1年以上」が増加する傾向にある。(図3-10-5)

図3-10-5 時系列 はじめてからの期間



スポーツ・運動の実施頻度(問16①・71ページ参照)別にみると、実施頻度の違いによる大きな傾向の違いはみられない。(図3-10-6)

図3-10-6 スポーツ・運動の頻度別 はじめてからの期間

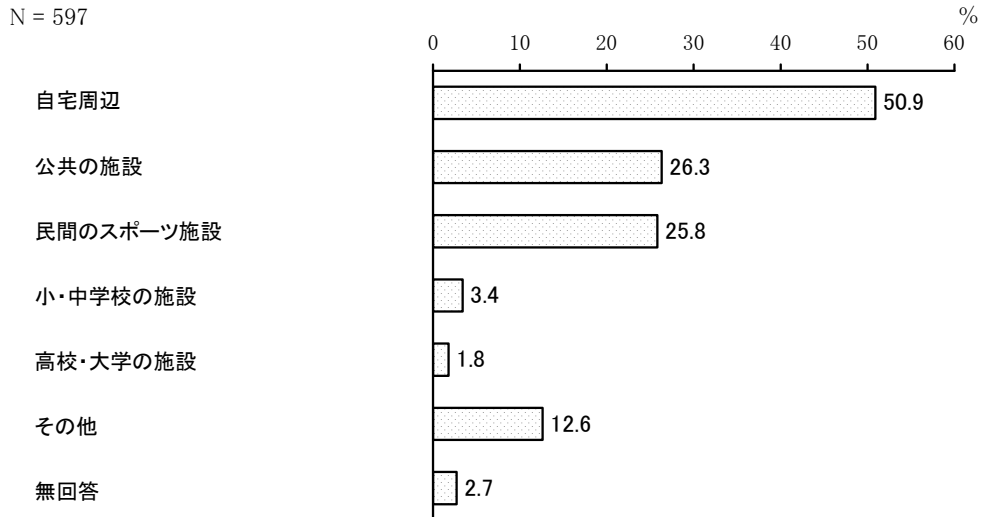


(3) スポーツ・運動をする場所

◇「自宅周辺」が50.9%

④ ①で1.～4.と答えた方におたずねします。あなたは、スポーツや運動をどこで行なっていますか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。  
(〇はいくつでも)

図3-10-7 スポーツ・運動の頻度別 はじめてからの期間



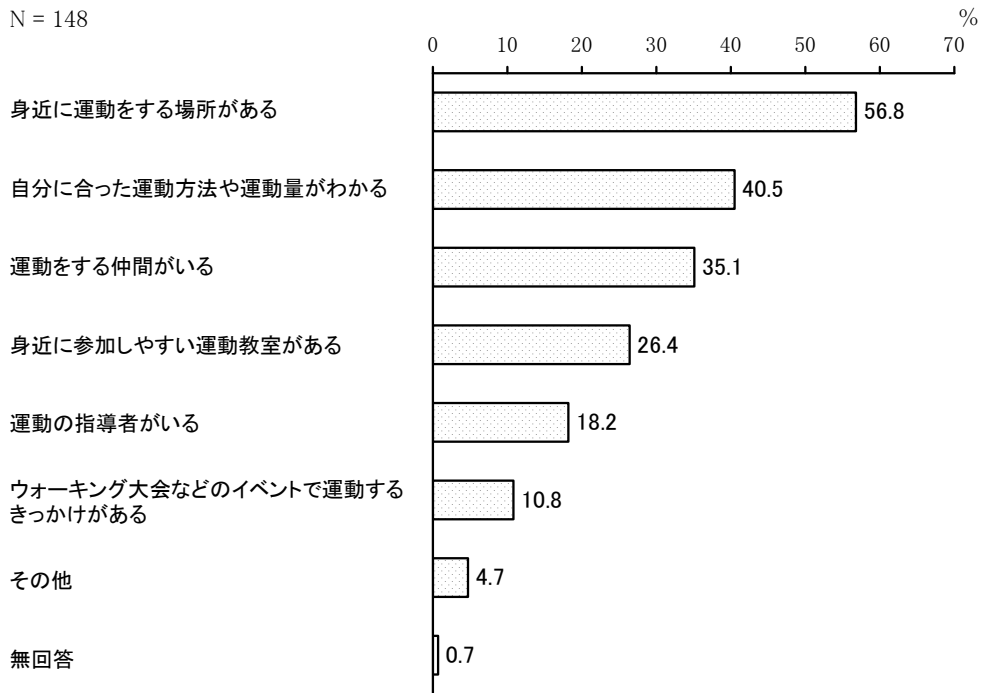
スポーツ・運動をする場所をたずねたところ、「自宅周辺」(50.9%)が最も高く、約50%になっている。以下、「公共の施設」(26.3%)、「民間のスポーツ施設」(25.8%)などの順となっている。(図3-10-7)

### 3-11 運動習慣を身に付けるために必要なこと

◇「身近に運動をする場所がある」が56.8%

⑤ ①で「5.月に1~3日」と答えた方におたずねします。  
健康を保つための運動習慣を身に付けるために、どのようなことがあるとよいと思いますか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)

図3-11-1

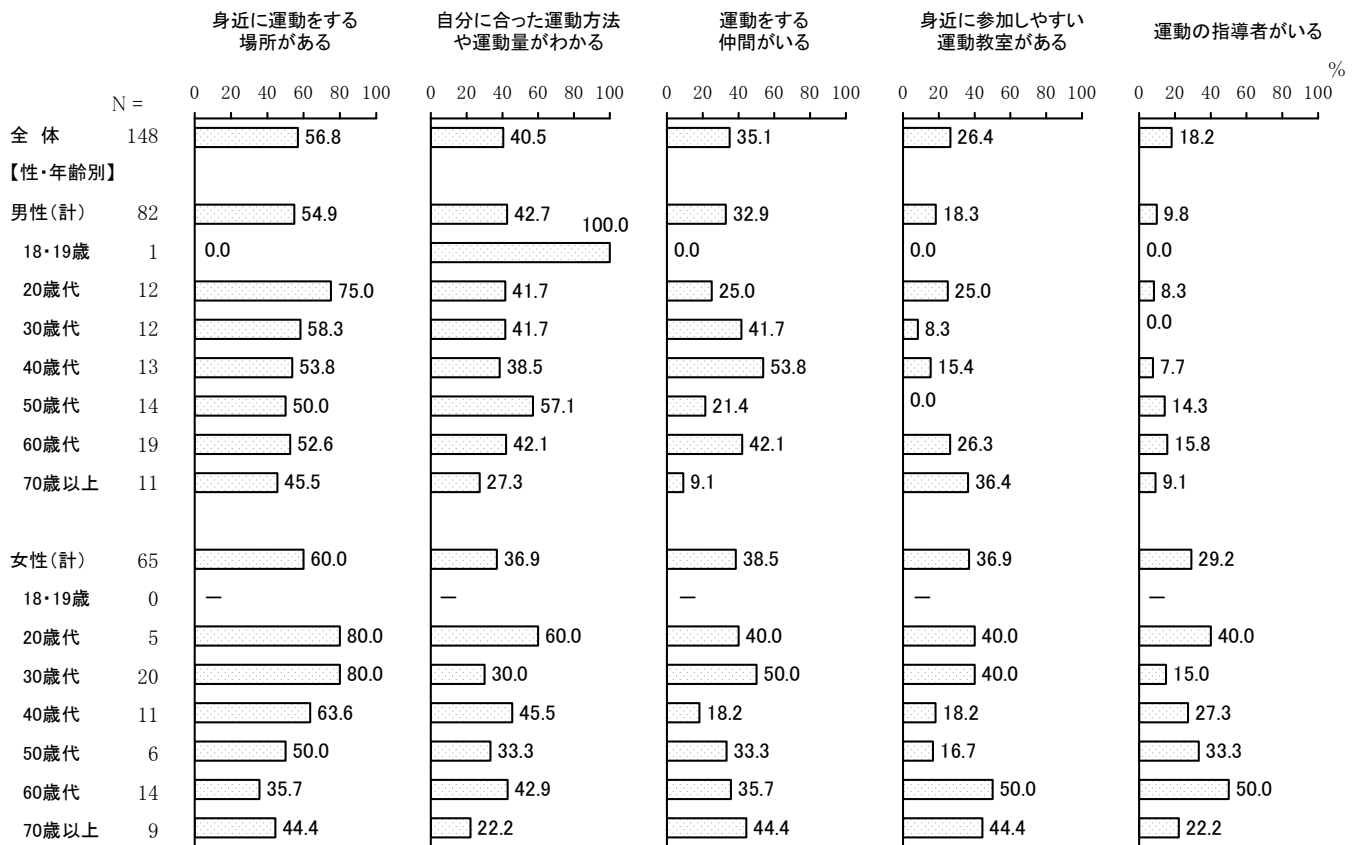


問16①で「月に1~3日」と答えた人(148人)に、運動習慣を身に付けるために必要なことをたずねたところ、「身近に運動をする場所がある」(56.8%)が50%台半ばと最も多くなっている。以下、「自分に合った運動方法や運動量がわかる」(40.5%)、「運動をする仲間がいる」(35.1%)、「身近に参加しやすい運動教室がある」(26.4%)、「運動の指導者がいる」(18.2%)、「ウォーキング大会などのイベントで運動するきっかけがある」(10.8%)などの順となっている。

(図3-11-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「身近に運動をする場所がある」は男性20歳代が70%を超えて最も多く、「運動をする仲間がいる」は男性40歳代が50%を超えて最も多くなっている。「身近に参加しやすい運動教室がある」は女性（36.9%）が男性（18.3%）より18.6ポイント高く、特に女性60歳代が50%と多くなっている。（図3-11-2）

図3-11-2

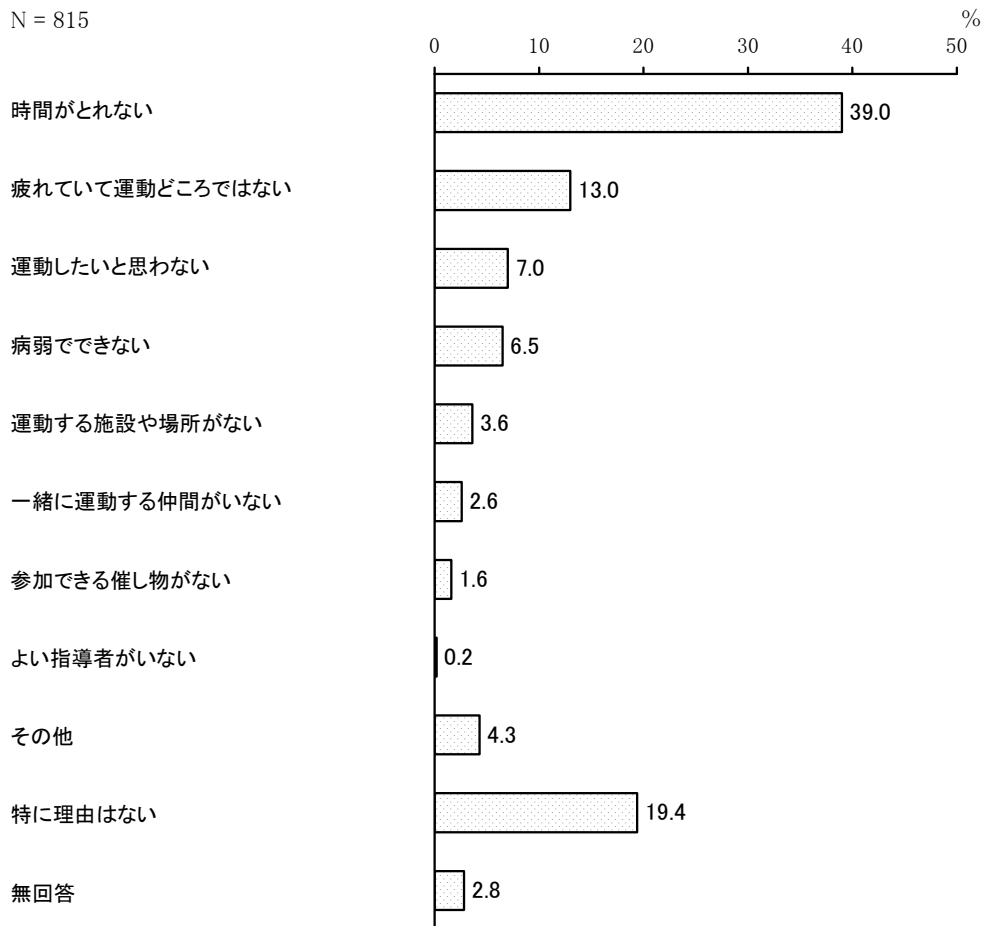


### 3-12 スポーツ・運動をしない理由

◇「時間がとれない」が39.0%

⑥ ①で「6.ほとんどしていない」と答えた方におたずねします。  
スポーツや運動をほとんどしていない理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

図3-12-1

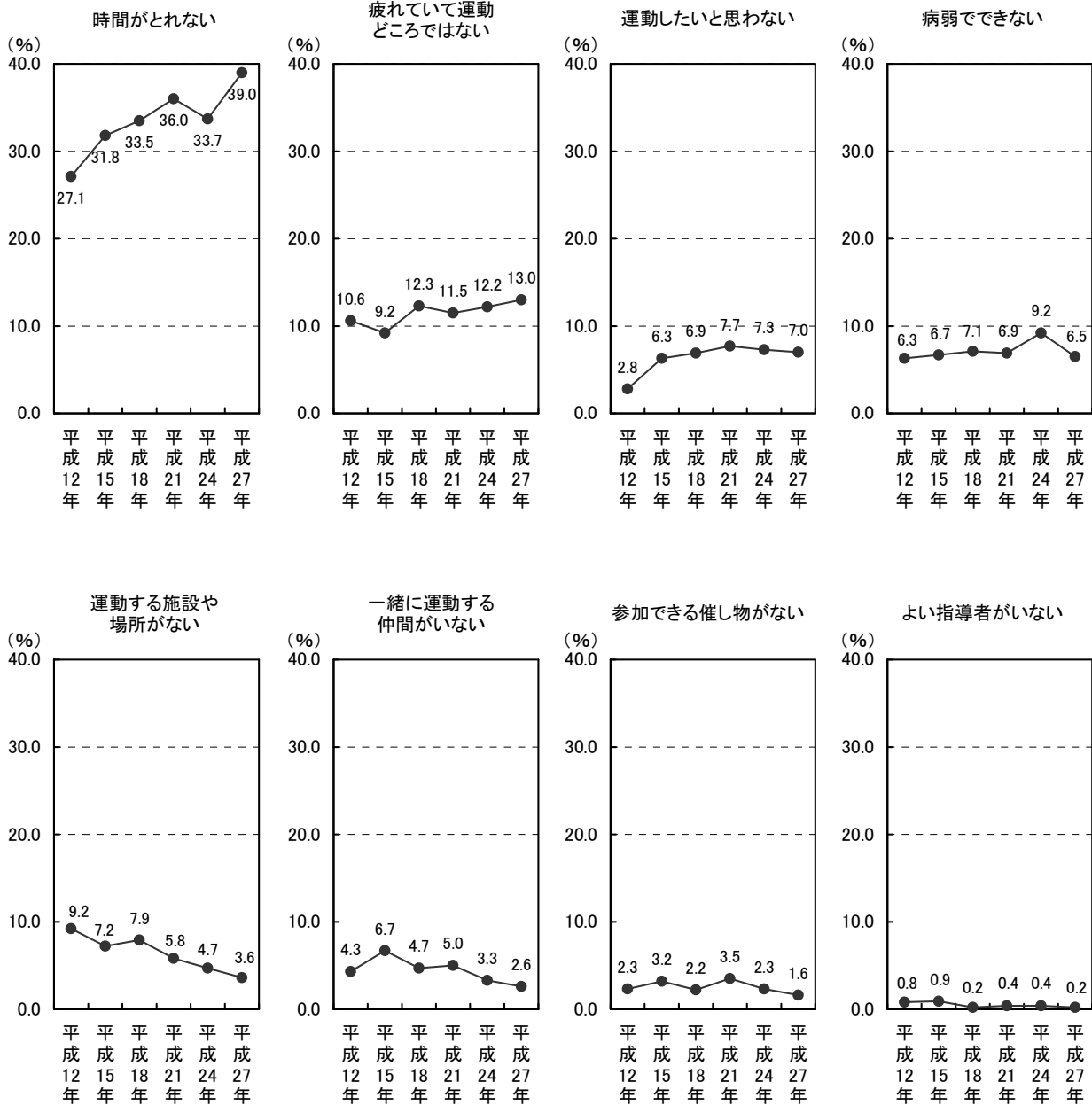


問16①でスポーツ・運動を「ほとんどしていない」と答えた人(815人)に、その理由をたずねたところ、「時間がとれない」(39.0%)が最も多く、40%近くとなっている。以下、「特に理由はない」(19.4%)、「疲れていて運動どころではない」(13.0%)、「運動したいと思わない」(7.0%)などの順となっている。(図3-12-1)



時系列でみると、過去の調査と同様に、「時間がとれない」が最も多い理由となっている。また、「運動する施設や場所がない」はおおむね減少傾向となっている。(図3-12-2)

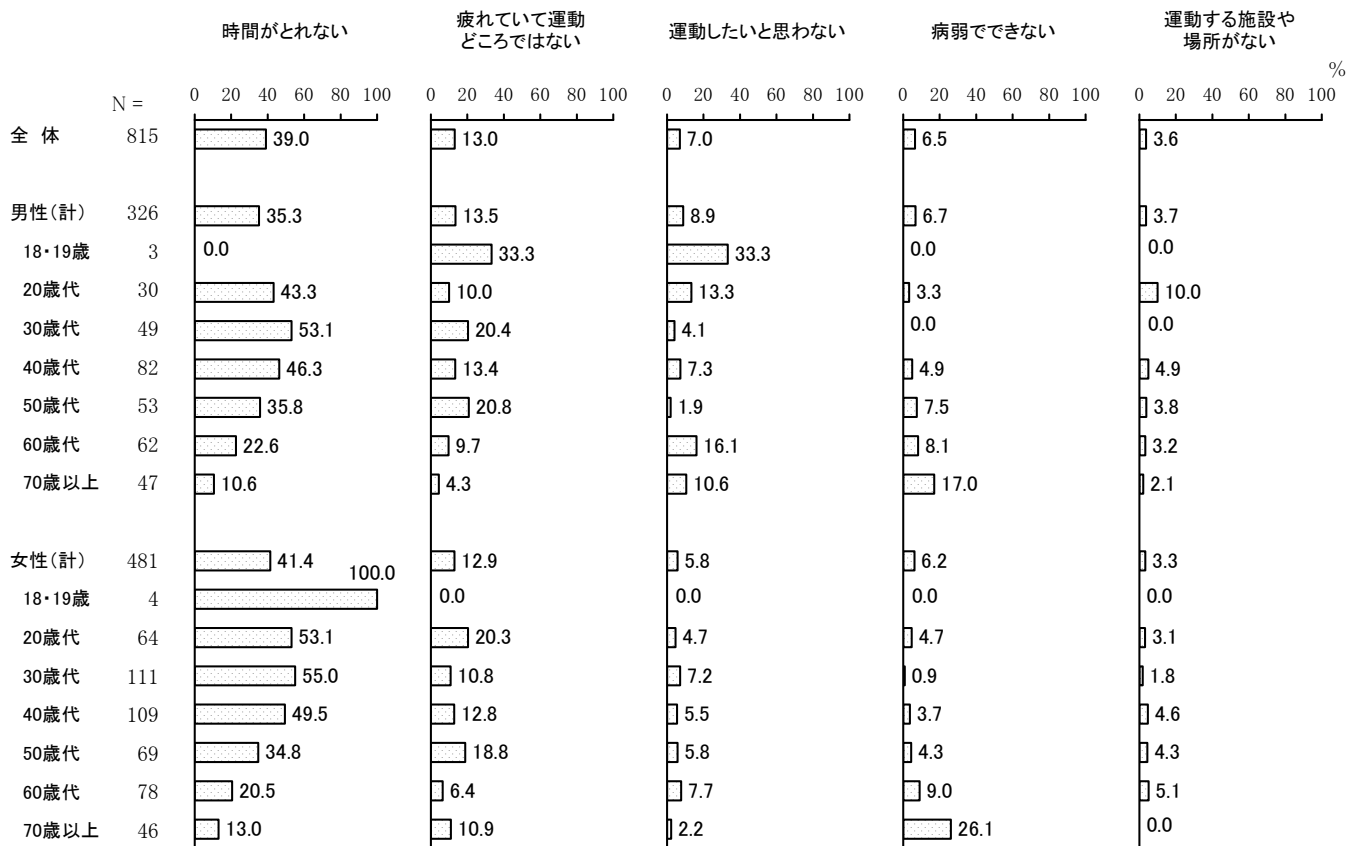
図3-12-2 時系列 スポーツ・運動をしない理由



上位5項目を性・年齢別にみると、「時間がとれない」は男性30歳代が50%を超えて最も多くなっている。「疲れていて運動どころではない」は男性30歳代と50歳代、女性20歳代、50歳代がいずれも20%近くで多く、「病弱でできない」は女性70歳以上が20%後半で多くなっている。

(図3-12-3)

図3-12-3 性・年齢別 スポーツ・運動をしない理由

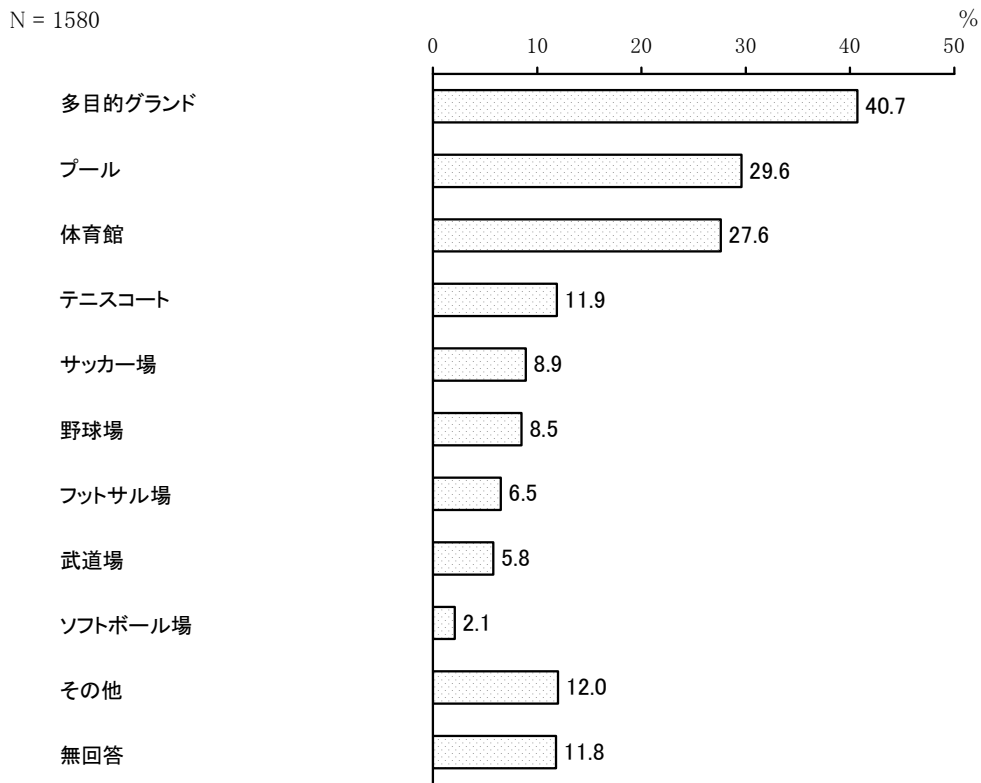


### 3-13 望まれるスポーツ施設

◇「多目的グラウンド」が40.7%

問17 ①あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)

図3-13-1



望まれるスポーツ施設をたずねたところ、「多目的グラウンド」(40.7%)が約40%と最も多くなっている。以下、「プール」(29.6%)、「体育館」(27.6%)などの順となっている。

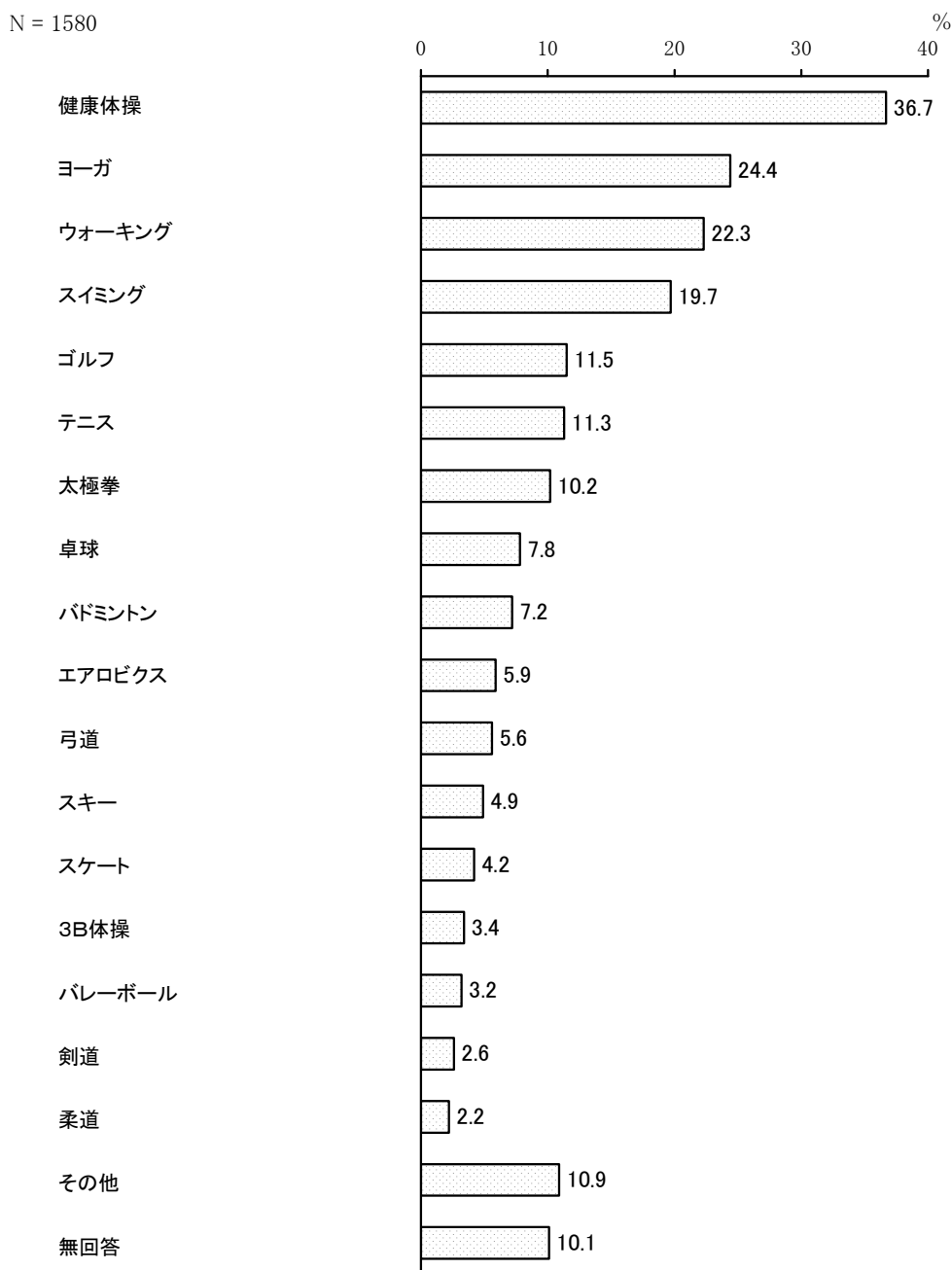
(図3-13-1)

### 3-14 望まれるスポーツ教室

◇「健康体操」が36.7%

② また、あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。次の中からあてはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)

図3-14-1



望まれるスポーツ教室をたずねたところ、「健康体操」(36.7%)が30%後半と最も多くなっている。以下、「ヨガ」(24.4%)、「ウォーキング」(22.3%)、「スイミング」(19.7%)、「ゴルフ」(11.5%)などの順となっている。(図3-14-1)

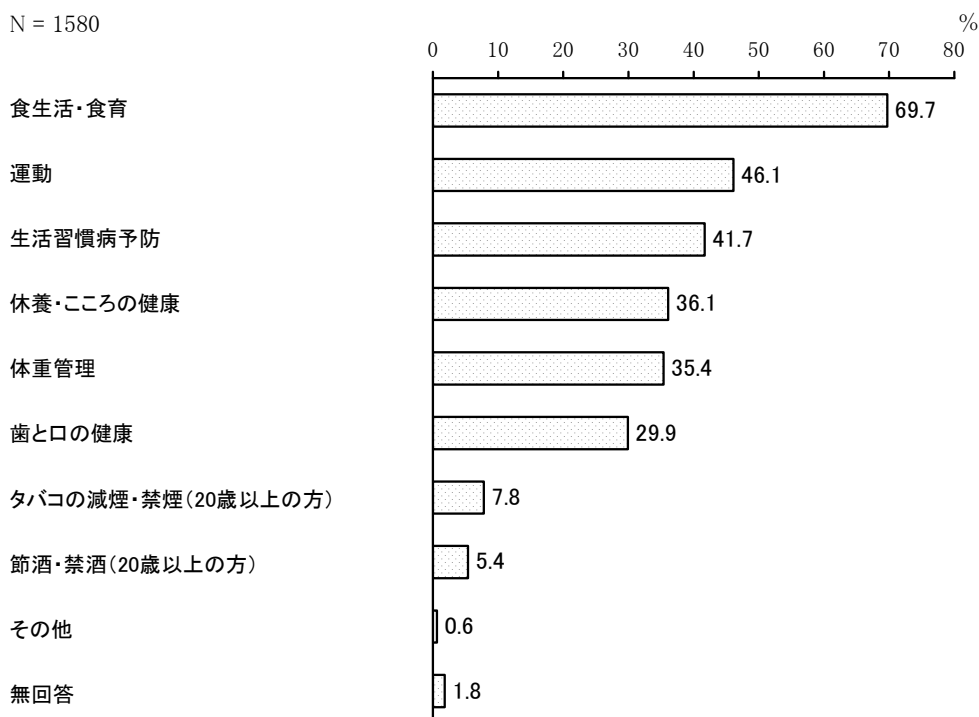
## 4 保健・医療・福祉

### 4-1 健康づくりで関心のあること

◇「食生活・食育」が69.7%

問18 ふだんの健康づくりで、あなたの関心のあることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

図4-1-1



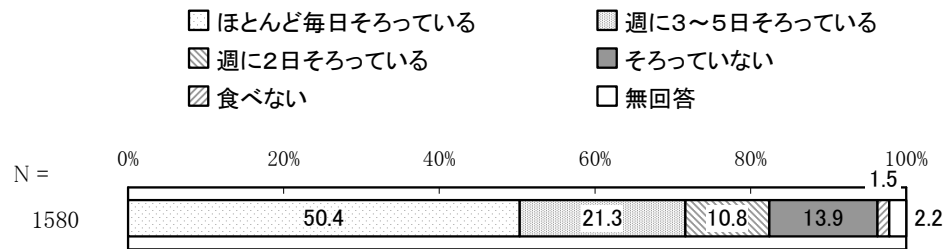
健康づくりで関心のあることをたずねたところ、「食生活・食育」(69.7%)が約70%で最も多くなっている。以下、「運動」(46.1%)、「生活習慣病予防」(41.7%)、「休養・こころの健康」(36.1%)、「体重管理」(35.4%)、「歯と口の健康」(29.9%)などの順となっている。(図4-1-1)

## 4-2 主食、主菜、副菜のそろった昼食の頻度

◇「ほとんど毎日そろっている」が50.4%

問19 ①あなたの昼食は、主食、主菜、副菜がどのくらいの頻度でそろっていますか。  
(○は1つ)

図4-2-1



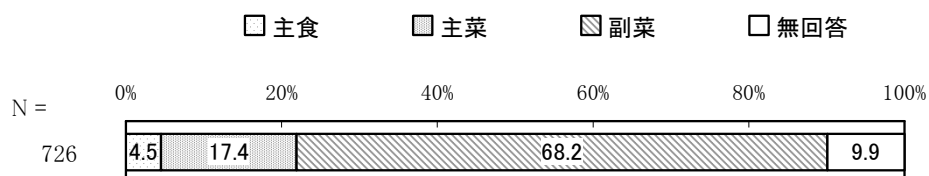
主食、主菜、副菜のそろった昼食の頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日そろっている」(50.4%)が約50%と最も多くなっている。以下、「週に3~5日そろっている」(21.3%)、「そろっていない」(13.9%)、「週に2日そろっている」(10.8%)、「食べない」(1.5%)の順となっている。(図4-2-1)

### 4-3 主食、主菜、副菜で食べていないもの

◇「副菜」が68.2%

②-1 ①で2. ~4. と答えた方におたずねします。「主食・主菜・副菜」のうち、食べていないものはどれですか。(〇は1つ)

図4-3-1



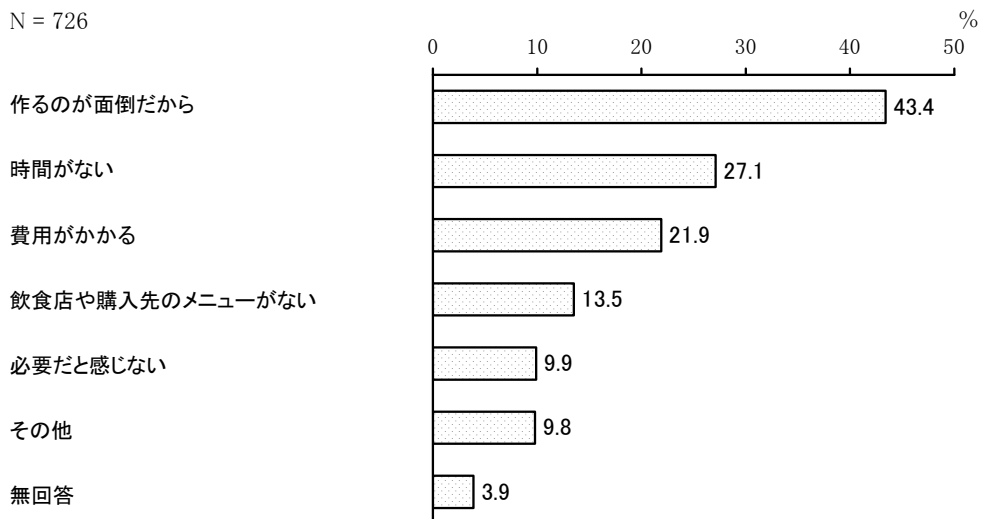
問19①で「週に3~5日そろっている」「週に2日そろっている」「そろっていない」と答えた昼食に主食・主菜・副菜がそろっていない日がある人(726人)に食べていないものをたずねたところ、「副菜」(68.2%)が70%近くと最も多くなっている。以下、「主菜」(17.4%)、「主食」(4.5%)の順となっている。(図4-3-1)

#### 4-4 主食、主菜、副菜がそろわない理由

◇「作るのが面倒だから」が43.4%

##### ②-2 また、「主食・主菜・副菜」がそろわない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図4-4-1



問19①で「週に3～5日そろっている」「週に2日そろっている」「そろっていない」と答えた昼食に主食・主菜・副菜がそろっていない日がある人(726人)に主食・主菜・副菜がそろわない理由をたずねたところ、「作るのが面倒だから」(43.4%)が40%を超えて最も多くなっている。以下、「時間がない」(27.1%)、「費用がかかる」(21.9%)、「飲食店や購入先のメニューがない」(13.5%)、「必要だと感じない」(9.9%)の順となっている。(図4-4-1)

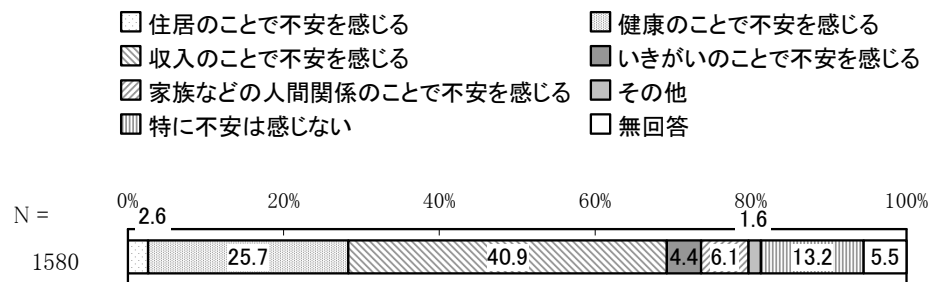


## 4-5 老後の生活への不安

◇「収入のことで不安を感じる」が40.9%

問20 あなたは、老後の生活について不安を感じますか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。(○は1つ)

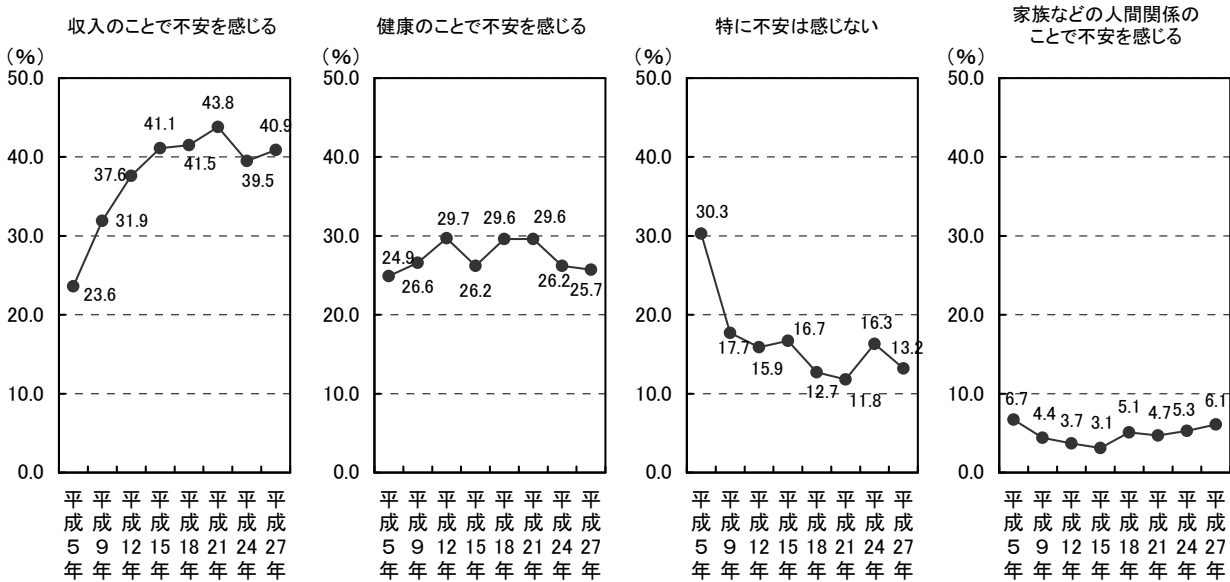
図4-5-1



老後の生活への不安をたずねたところ、「収入のことで不安を感じる」(40.9%)が最も多く、40%近くとなっている。以下、「健康のことで不安を感じる」(25.7%)、「家族などの人間関係のことで不安を感じる」(6.1%)、「いきがいのことで不安を感じる」(4.4%)、「住居のことで不安を感じる」(2.6%)の順となっている。また、「特に不安は感じない」(13.2%)は10%を超えている。(図4-5-1)

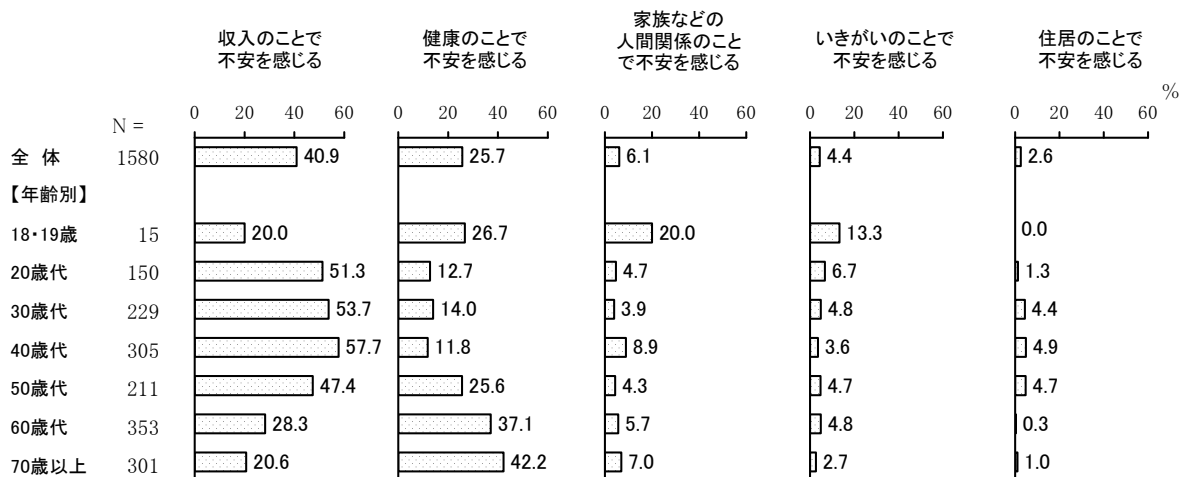
上位4項目を時系列でみると、「特に不安は感じない」は前回調査と比べて3.1ポイント減少している。(図4-5-2)

図4-5-2 時系列 老後の生活への不安



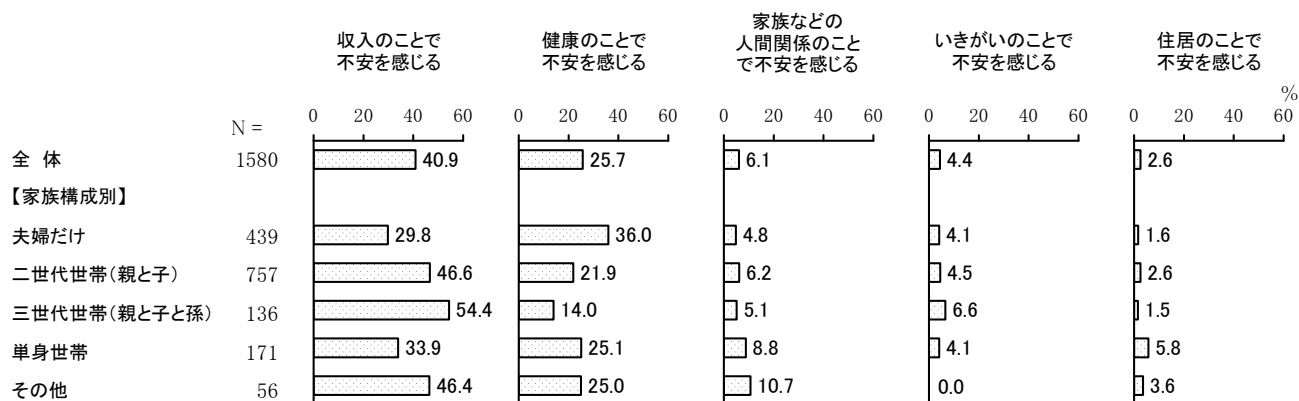
年齢別にみると、「収入のことで不安を感じる」は20歳代から40歳代の年代がいずれも50%台で多くなっている。「健康のことで不安を感じる」は70歳以上が40%を超え、60歳代が30%後半で多くなっている。(図4-5-3)

図4-5-3 年齢別 老後の生活への不安



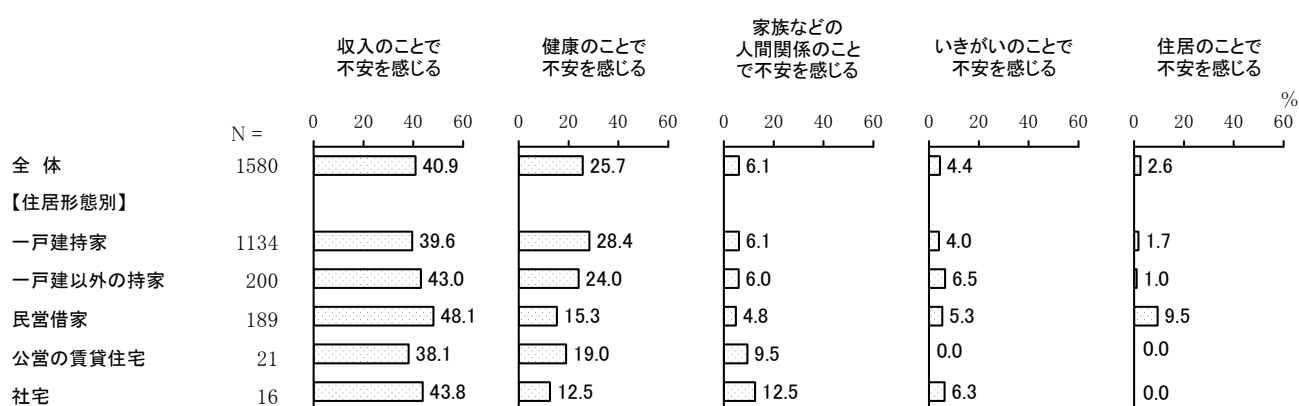
家族構成別にみると、「収入のことで不安を感じる」は三世代世帯（親と子と孫）が50%半ばで多くなっている。「健康のことで不安を感じる」は夫婦だけの世帯が30%半ばで多くなっている。（図4-5-4）

図4-5-4 家族構成別 老後の生活への不安



住居形態別にみると、「収入のことで不安を感じる」は民営借家が50%近くで多くなっている。「健康のことで不安を感じる」は一戸建持家が30%近くで多くなっている。（図4-5-5）

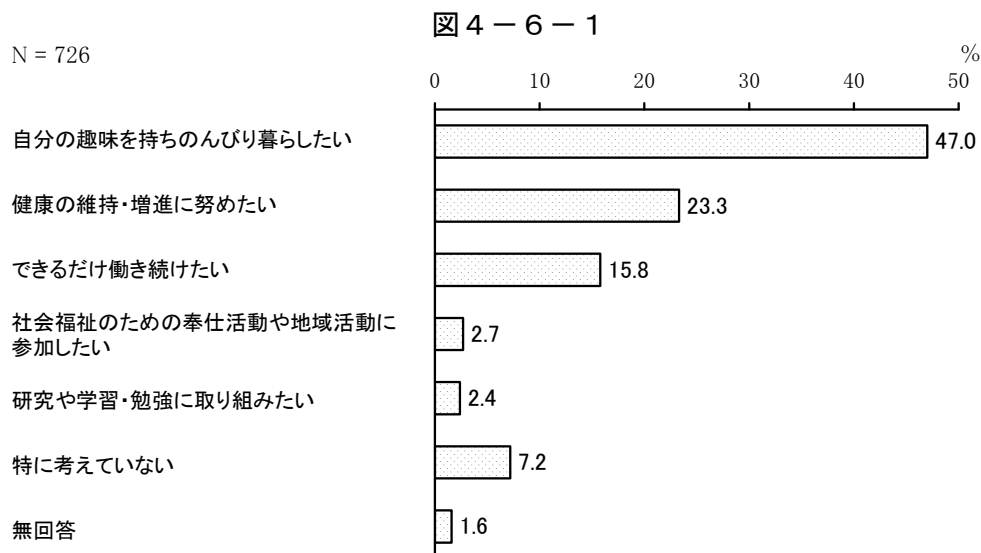
図4-5-5 住居形態別 老後の生活への不安



## 4-6 老後の過ごし方

◇「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」が47.0%

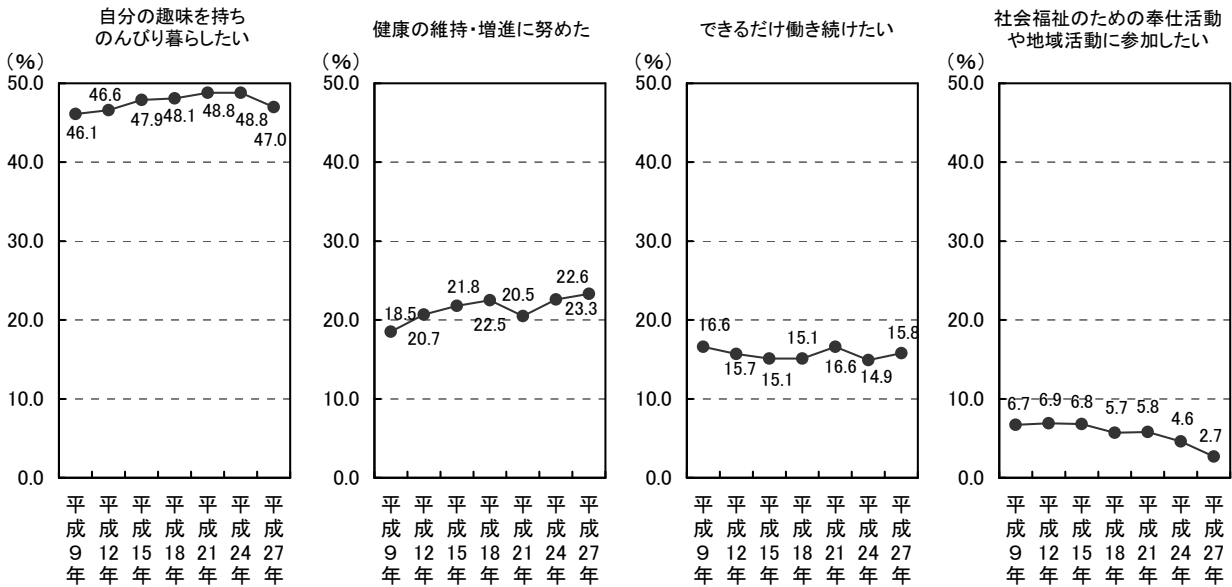
問21 あなたは、老後の過ごし方についてどのようにお考えですか。自分の考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)



老後の過ごし方をたずねたところ、「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」(47.0%)が最も多く、50%近くとなっている。以下、「健康の維持・増進に努めたい」(23.3%)、「できるだけ働き続けたい」(15.8%)、「特に考えていない」(7.2%)などの順となっている。(図4-6-1)

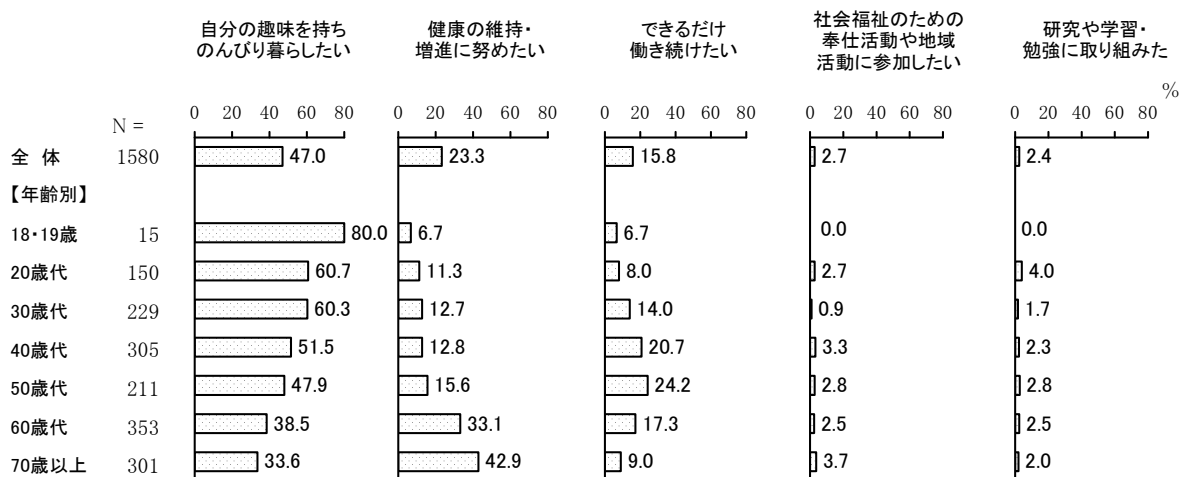
上位4項目を時系列でみると、過去の調査とほぼ同じ傾向となっている。(図4-6-2)

図4-6-2 時系列 老後の過ごし方



年齢別にみると、「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」は低い年代ほど割合が高くなっている。「健康の維持・増進に努めたい」は高い年代ほど割合が高くなっており、特に70歳以上が40%を超えている。(図4-6-3)

図4-6-3 時系列 老後の過ごし方

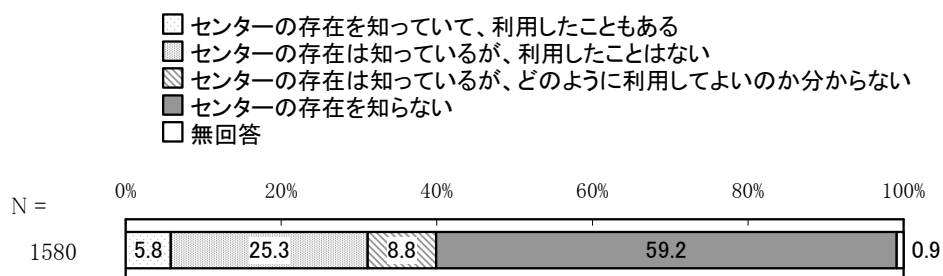


## 4-7 地域包括支援センターの認知度、利用状況

◇「センターの存在を知らない」が59.2%

問22 高齢者の総合的な相談窓口として設置している、「地域包括支援センター」をご存知ですか。また、同センターを利用（相談）したことがありますか。（○は1つ）

図4-7-1



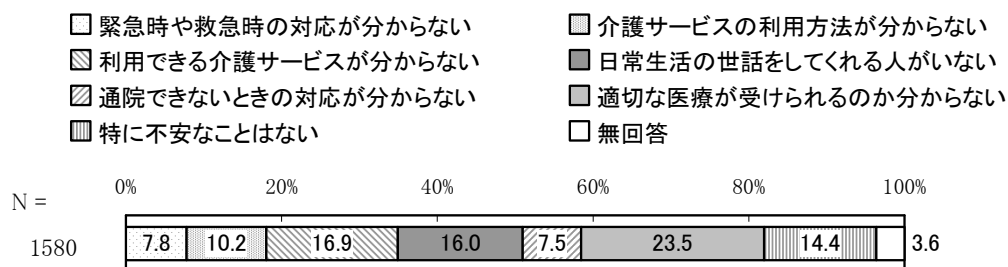
地域包括支援センターの認知度、利用状況をたずねたところ、「センターの存在を知らない」（59.2%）の割合が最も高く、60%近くになっている。「センターの存在は知っているが、利用したことはない」（25.3%）、「センターの存在は知っているが、どのように利用してよいのか分からない」（8.8%）、「センターの存在を知っていて、利用したこともある」（5.8%）をあわせた“センターの存在を知っている”人（39.9%）は40%近くとなっている。（図4-7-1）

## 4-8 療養生活への不安

◇「適切な医療が受けられるのか分からない」が23.5%

問23 あなたが自宅で療養生活を送ることになった場合に不安に思うことは何ですか。次の中から最も近いものを1つだけ選んでください。(○は1つ)

図4-8-1



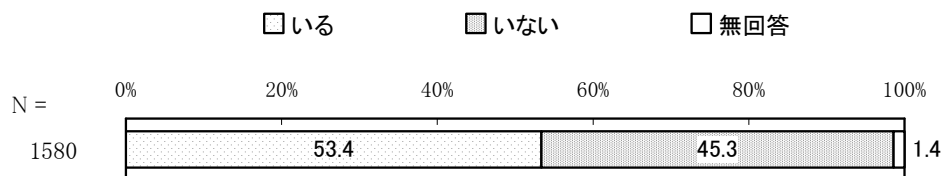
療養生活への不安をたずねたところ、「適切な医療が受けられるのか分からない」(23.5%)が最も高く、20%を超えている。以下、「利用できる介護サービスが分からない」(16.9%)、「日常生活の世話をしてくれる人がいない」(16.0%)、「特に不安なことはない」(14.4%)、「介護サービスの利用方法が分からない」(10.2%)、「緊急時や救急時の対応が分からない」(7.8%)、「通院できないときの対応が分からない」(7.5%)の順となっている。(図4-8-1)

#### 4-9 かかりつけ医のいる家族の有無

◇「いる」が53.4%

問24 ①あなたやご家族の中で、病気になったときに決まって診察を受ける医師（かかりつけ医）がいる方はいますか。（○は1つ）

図4-9-1



かかりつけ医のいる家族の有無についてたずねたところ、かかりつけ医が「いる」(53.4%)が50%を超えて高くなっている。(図4-9-1)

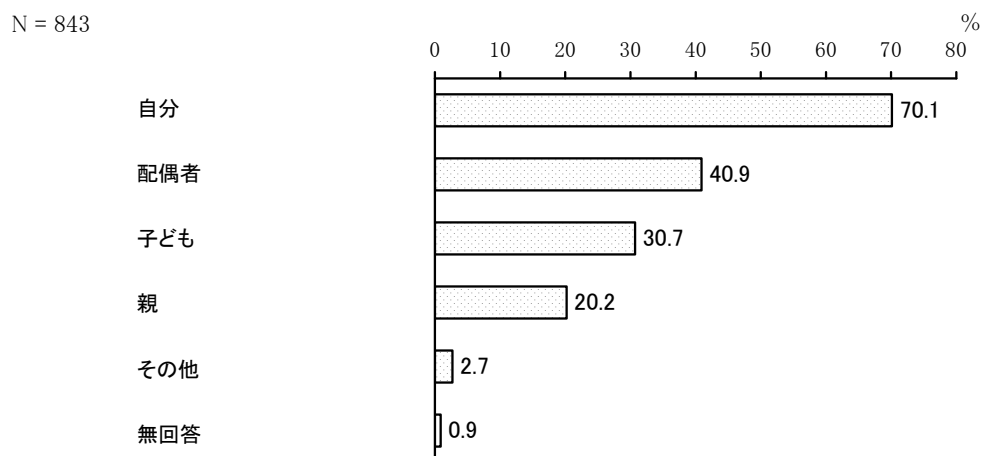


## 4-10 かかりつけ医のいる家族

◇「自分」が70.1%

② ①で「1. いる」と答えた方におたずねします。「かかりつけ医」がいる方は、どなたですか。(〇はいくつでも)

図4-10-1



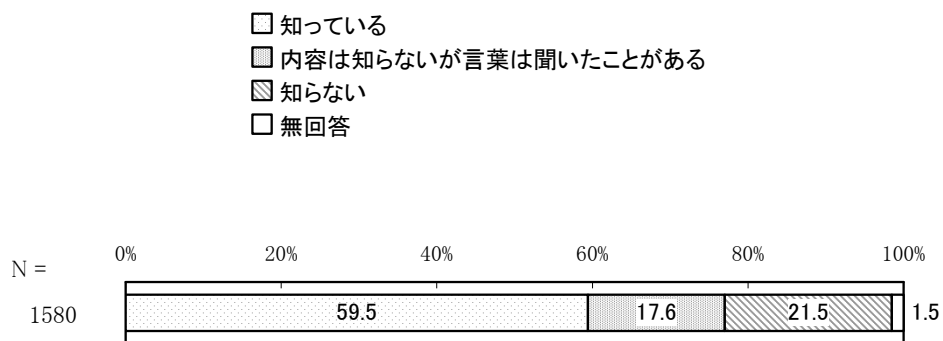
問24①で「いる」と答えた人(843人)に、かかりつけ医がいる家族についてたずねたところ、「自分」(70.1%)が最も多く、約70%となっている。以下、「配偶者」(40.9%)、「子ども」(30.7%)、「親」(20.2%)などの順となっている。(図4-10-1)

## 4-11 特定健康診査の認知度

◇ 「知っている」が59.5%

問 25 あなたは「特定健康診査」を知っていますか。(○は1つ)

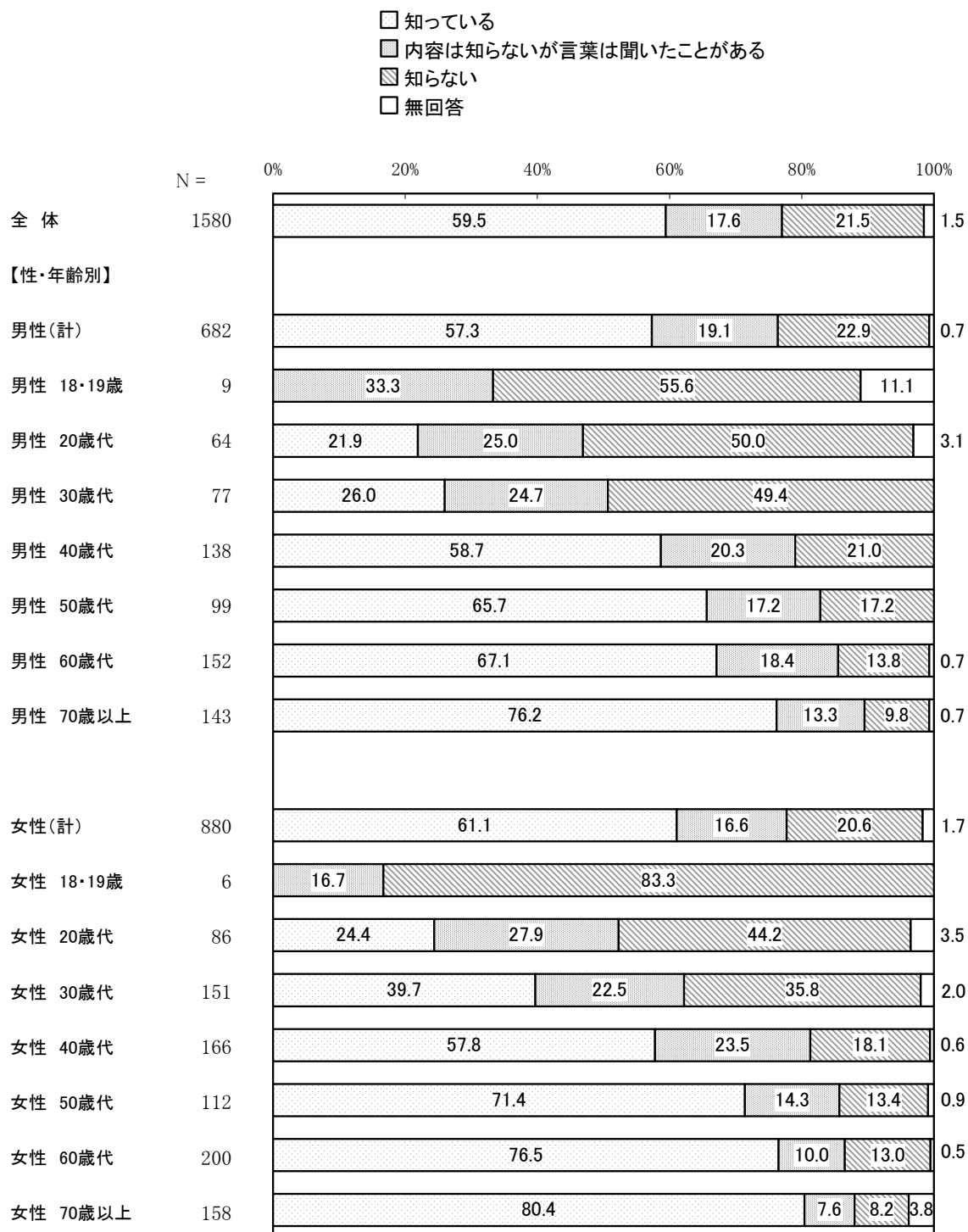
図 4-11-1



特定健康診査を知っているかたずねたところ、「知っている」(59.5%)が最も多く、60%近くとなっている。「内容は知らないが言葉は聞いたことがある」(17.6%)、「知らない」(21.5%)はともに20%前後となっている。(図4-11-1)

性・年齢別にみると、男女とも年代が高くなるにつれ「知っている」割合が多くなる傾向がみられる。(図4-11-2)

図4-11-2

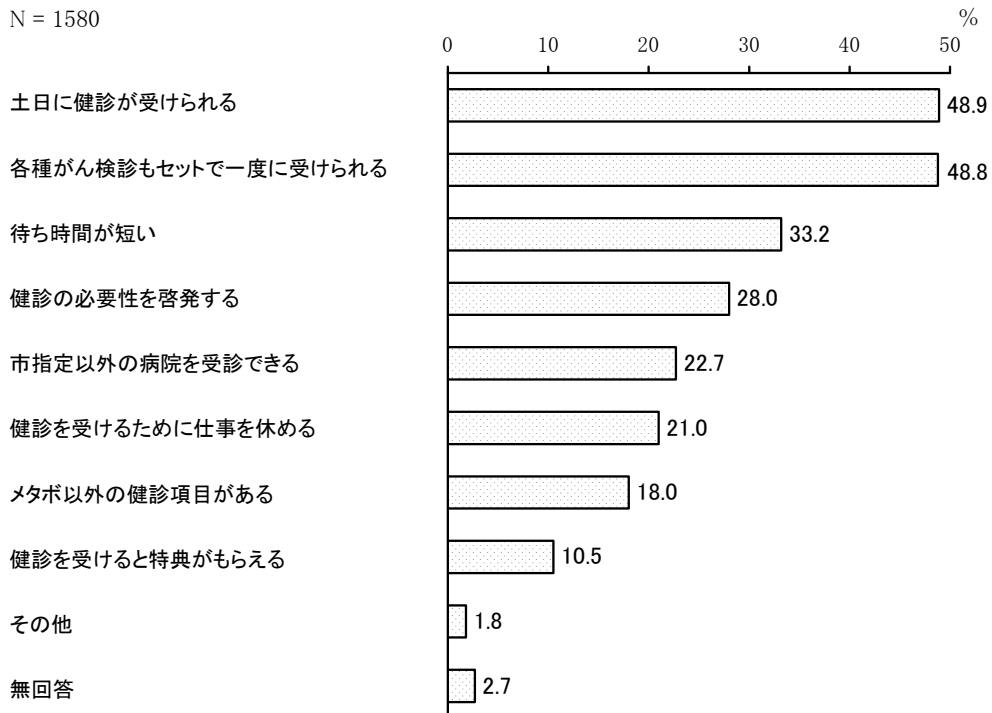


## 4-12 特定健康診査の受診率向上のための取組

◇「土日に健診が受けられる」が48.9%、「各種がん検診もセットで一度に受けられる」が48.8%

問26 多くの方に特定健康診査を受けてもらうために、どのようにすべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

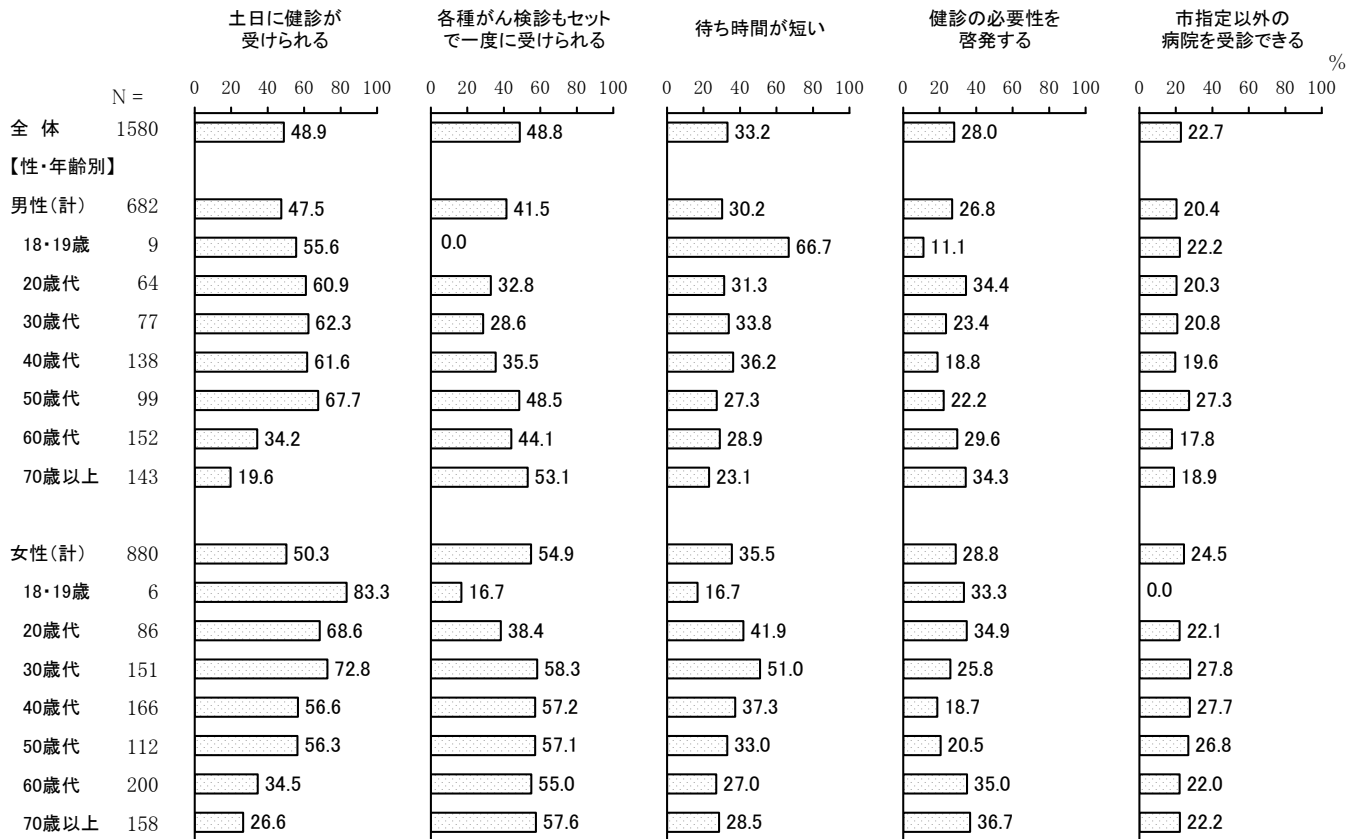
図4-12-1



特定健康診査の受診率向上のための取組をたずねたところ、「土日に健診が受けられる」(48.9%)と「各種がん検診もセットで一度に受けられる」(48.8%)が多く、ともに50%近くとなっている。以下、「待ち時間が短い」(33.2%)、「健診の必要性を啓発する」(28.0%)、「市指定以外の病院を受診できる」(22.7%)などの順となっている。(図4-12-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「土日に健診が受けられる」は女性の20歳代、30歳代が70%近くで多くなっている。「各種がん検診もセットで一度に受けられる」は女性30歳代から50歳代の年代のいずれもが60%近くで多くなっている。「待ち時間が短い」は女性30歳代で50%を超えて多くなっている。(図4-12-2)

図4-12-2



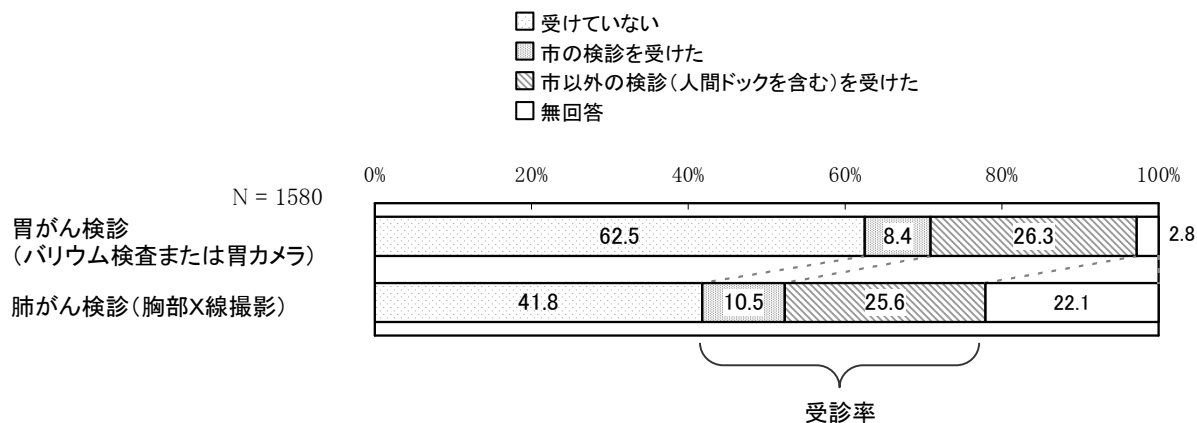
## 4-13 がん検診の受診状況

◇40歳以上の＜受診率＞は、胃がん検診が41.8%、肺がん検診が41.2%

問27 がん検診の受診状況についてお尋ねします。

① 平成26年4月1日～平成27年3月31日に次の検診を受けたことがありますか。

図4-13-1

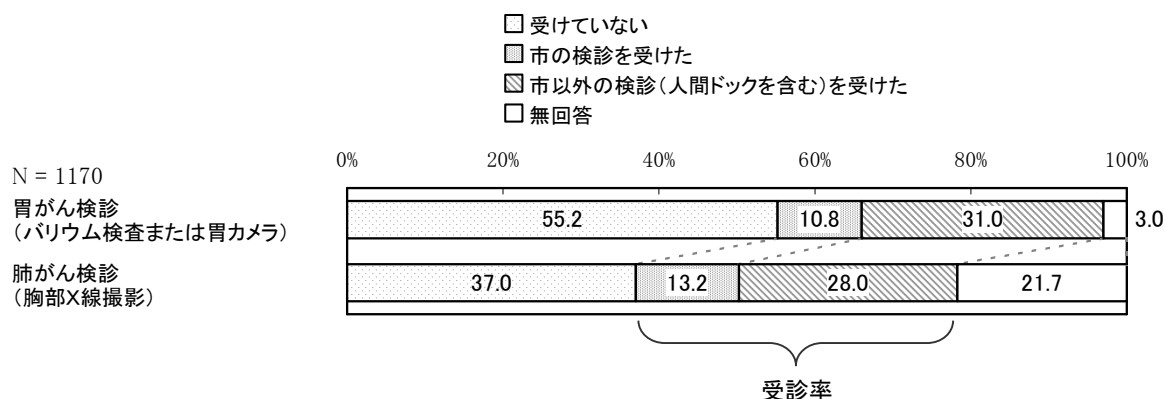


がん検診の受診状況をたずねたところ、「市の検診を受けた」と「市以外の検診(人間ドックを含む)を受けた」の2つを合わせた＜受診率＞は、胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)(34.7%)、肺がん検診(胸部X線撮影)(36.1%)ともに30%半ばとなっている。

(図4-13-1)

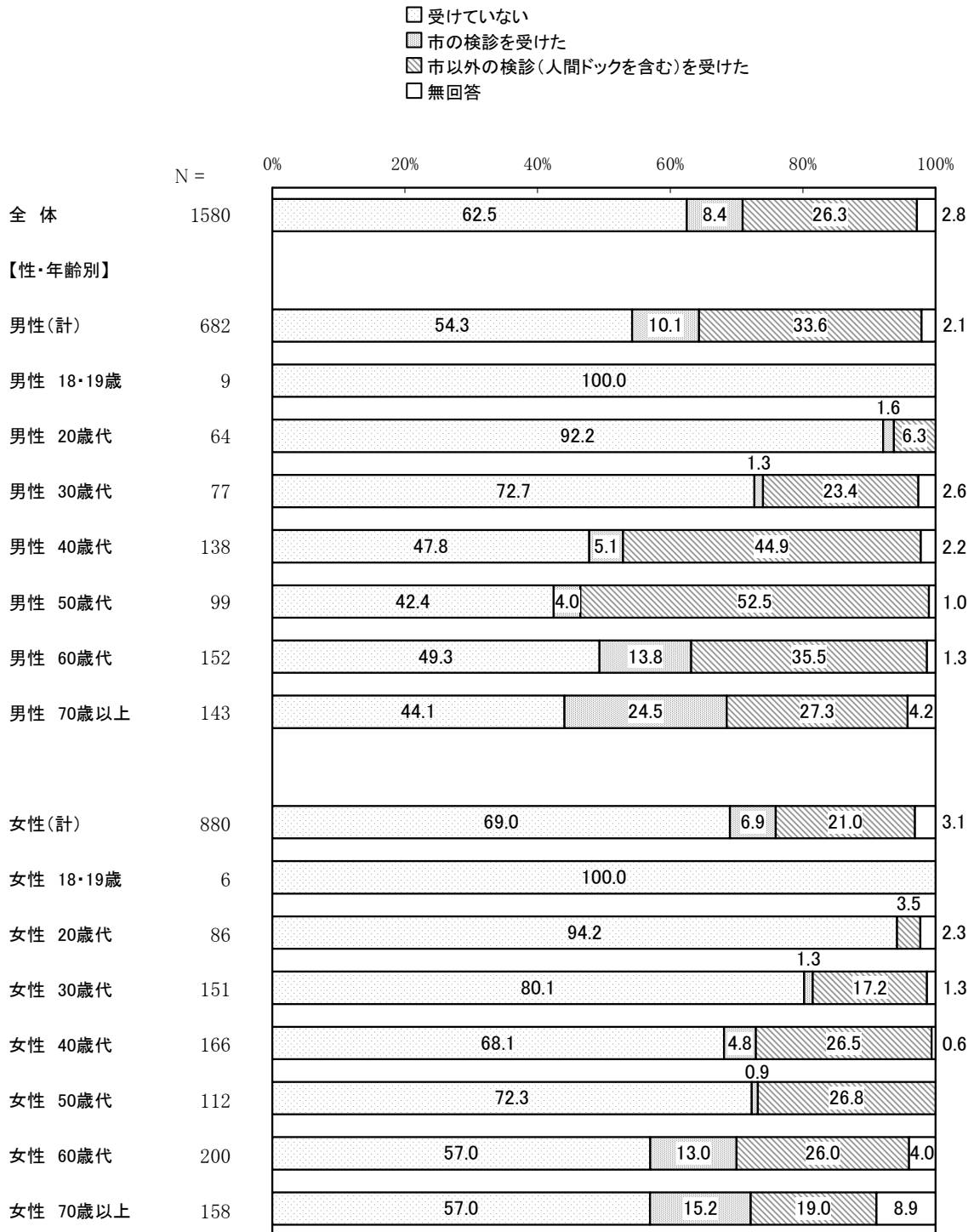
市のがん検診の対象年齢である40歳以上(1,170人)の＜受診率＞は、胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)(41.8%)、肺がん検診(胸部X線撮影)(41.2%)ともに40%を超えている。(図4-13-2)

図4-13-2 40歳以上の方のがん検診の受診状況



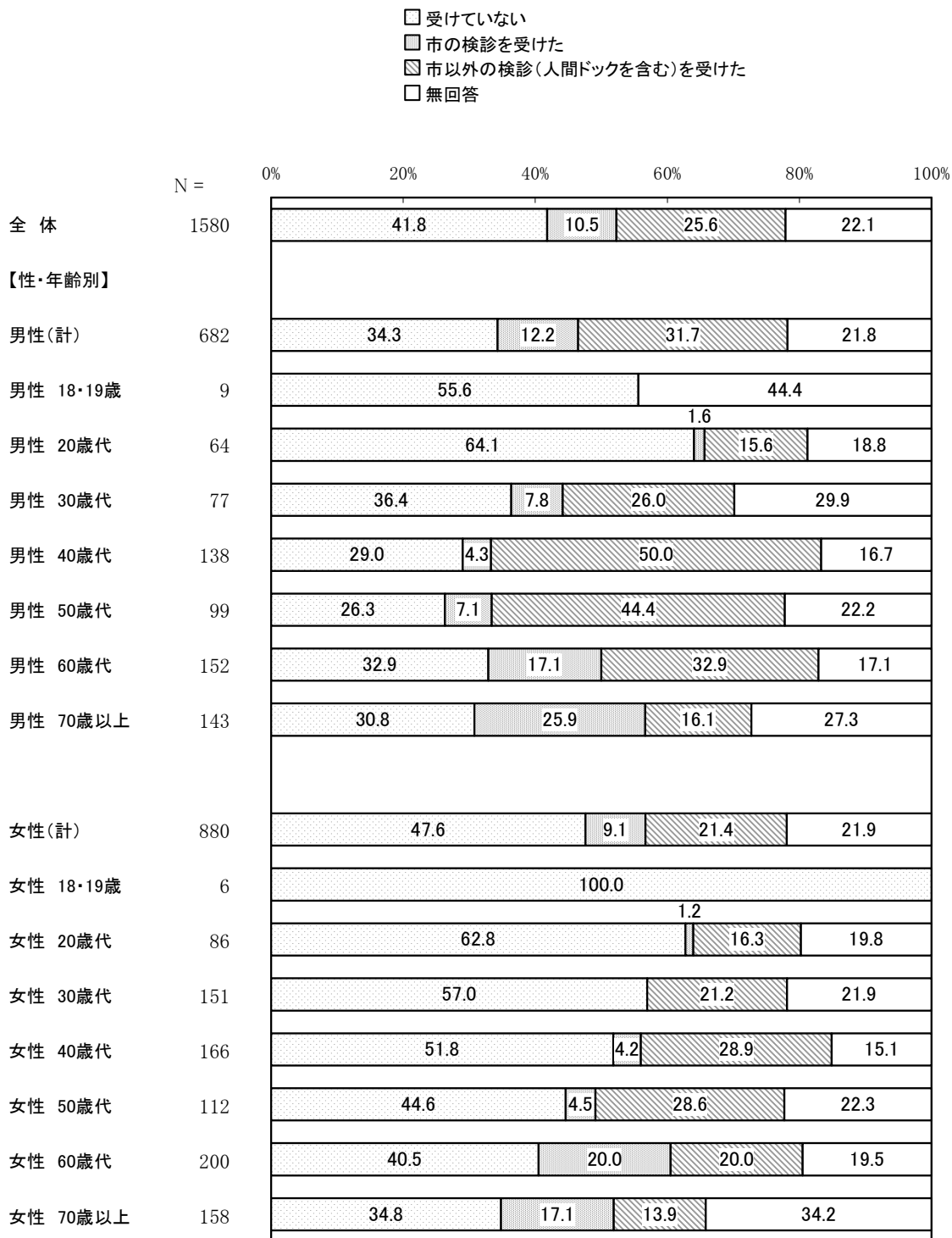
胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）について性・年齢別にみると、「市の検診を受けた」と「市以外の検診（人間ドックを含む）を受けた」の2つを合わせた<受診率>は、男性では、50歳代が60%近くで最も多く、40歳代、60歳代、70歳以上でも50%前後となっている。女性では、60歳代が40%近くで最も多く、40歳代、50歳代、70歳以上でも30%前後となっている。（図4-13-3）

図4-13-3 性・年齢別 胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）の受診状況



肺がん検診（胸部X線撮影）について性・年齢別にみると、「市の検診を受けた」と「市以外の検診（人間ドックを含む）を受けた」の2つを合わせた<受診率>は、男性では、40歳代から60歳代のいずれの年代も50%以上と多くなっている。女性では、60歳代が40%で多くなっている。（図4-13-4）

図4-13-4 性・年齢別 肺がん検診（胸部X線撮影）の受診状況



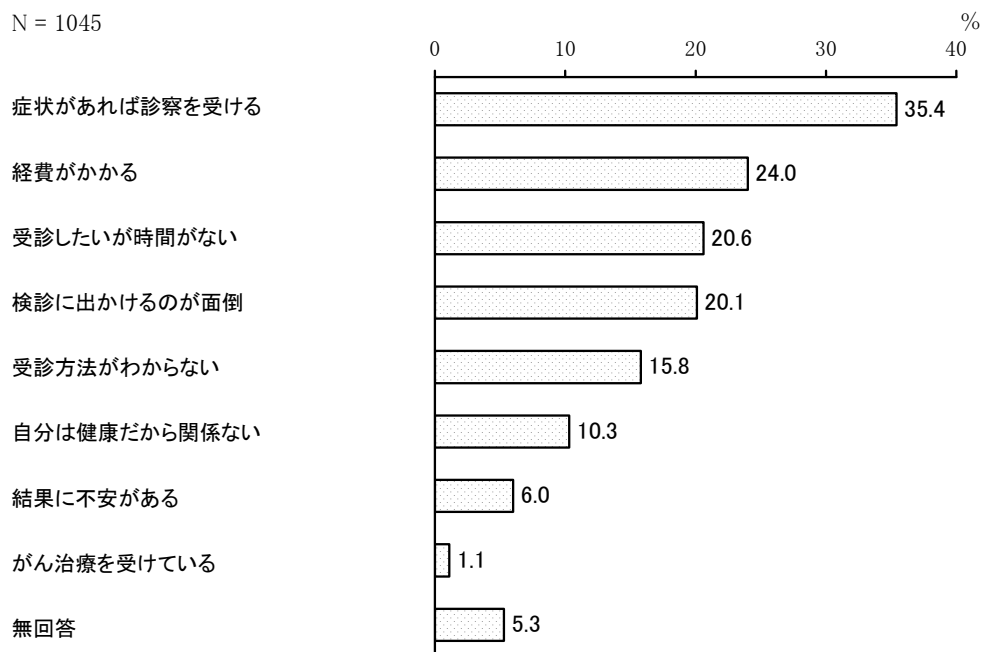


## 4-14 がん検診を受診していない理由

◇「症状があれば診察を受ける」が35.4%

② ①で「1. 受けていない」と答えた方におたずねします。がん検診を受診しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図4-14-1

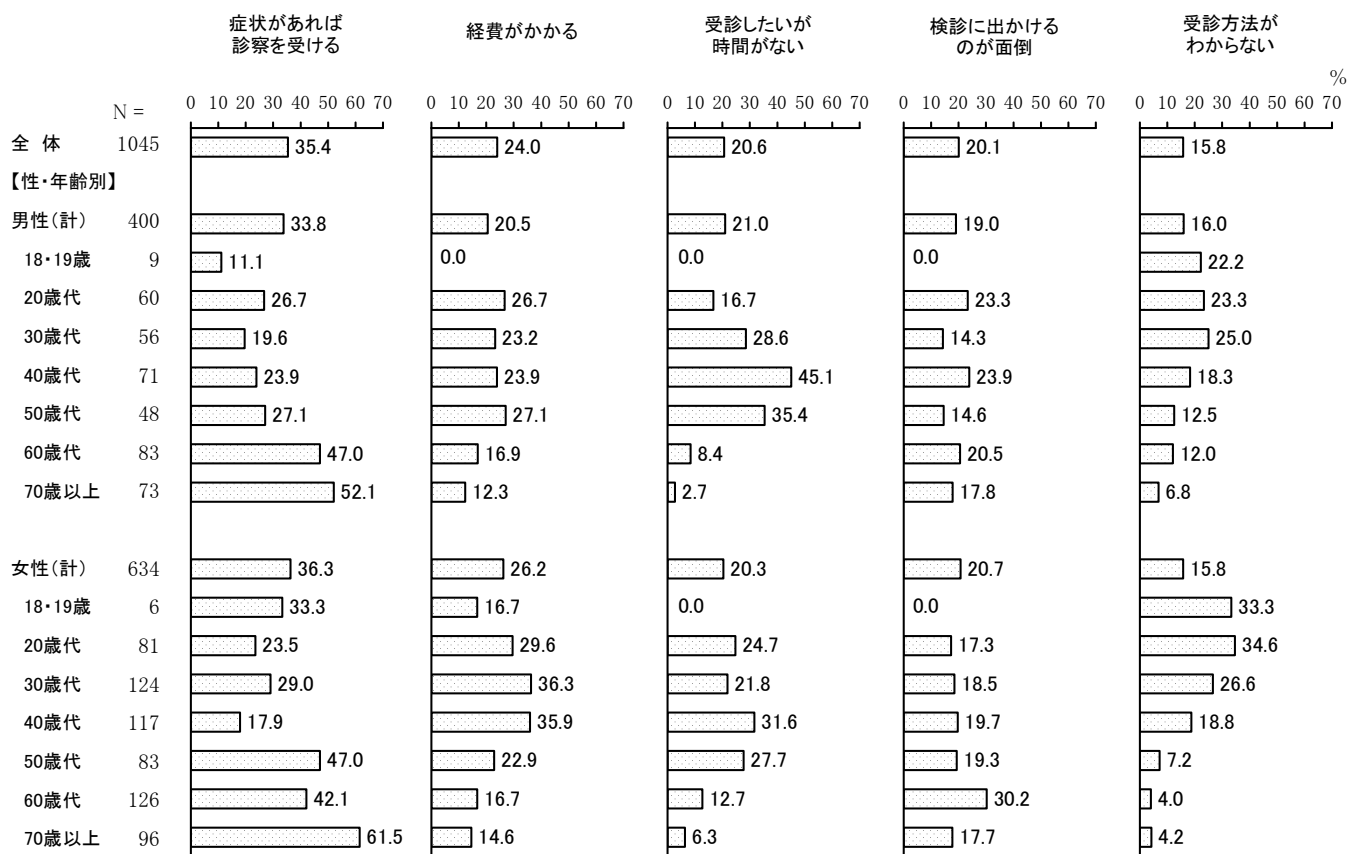


問27①で胃がん検診・肺がん検診いずれかで「受けていない」と答えた人(1,045人)に、その理由をたずねたところ、「症状があれば診察を受ける」(35.4%)が最も多く、30%を超えている。以下、「経費がかかる」(24.0%)、「受診したいが時間がない」(20.6%)、「検診に出かけるのが面倒」(20.1%)、「受診方法がわからない」(15.8%)などの順となっている。

(図4-14-1)

上位5項目を性・年齢別にみると、「症状があれば診察を受ける」は男性70歳以上が50%を超えて多く、女性70歳以上が60%を超えて多くなっている。「経費がかかる」は女性30歳代、40歳代がともに30%半ばで多くなっている。「受診したいが時間がない」は男性40歳代が40%半ばで多く、「検診に出かけるのが面倒」は女性60歳代が約30%と多くなっている。「受診方法がわからない」は女性20歳代で30%を超えて多くなっている。(図4-14-2)

図4-14-2

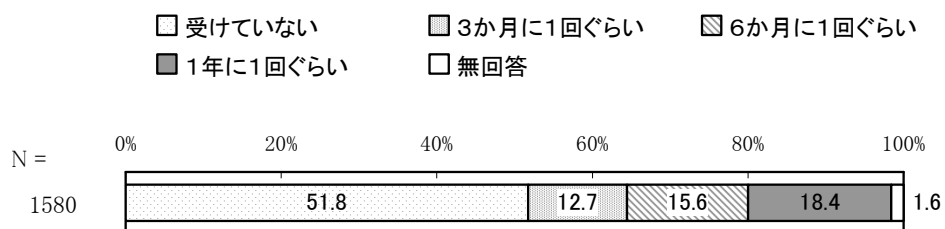


#### 4-15 定期的な歯科健診の受診状況

◇「受けていない」が51.8%

問28 ①あなたは、定期的に歯科健診を受けていますか。(○は1つ)

図4-15-1



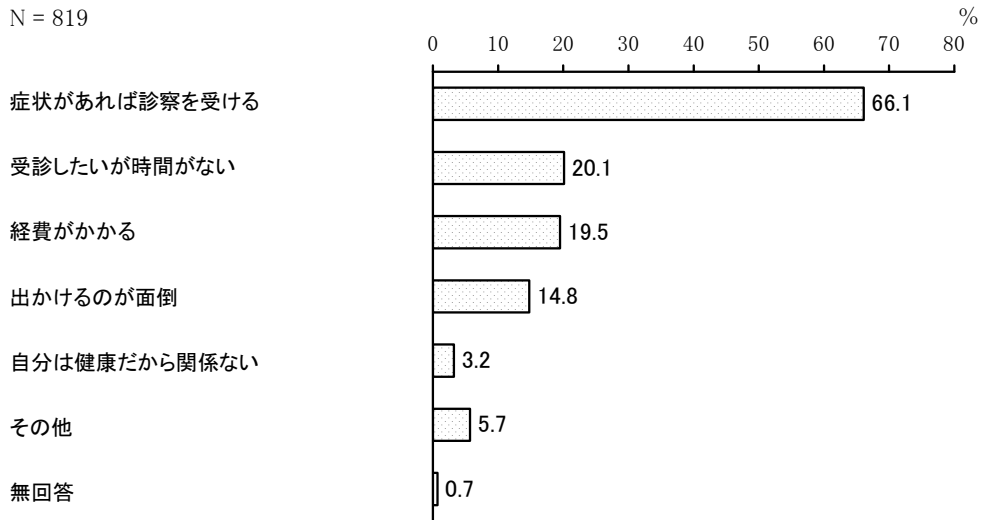
定期的な歯科健診の受診状況をたずねたところ、「受けていない」(51.8%)が50%を超えて最も多く、以下、「1年に1回ぐらい」(18.4%)、「6か月に1回ぐらい」(15.6%)、「3か月に1回ぐらい」(12.7%)の順となっている。(図4-15-1)

## 4-16 歯科健診を受診しない理由

◇「症状があれば診察を受ける」が66.1%

② ①で「1. 受けていない」と答えた方におたずねします。  
歯科健診を受診しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図4-16-1



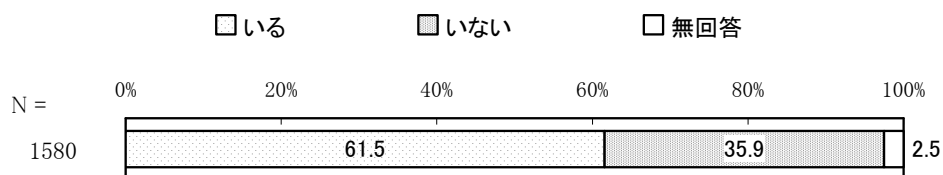
問28①で「受けていない」と答えた人(819人)に、歯科健診を受診しない理由をたずねたところ、「症状があれば診察を受ける」(66.1%)が70%近くと最も多くなっている。以下、「受診したいが時間がない」(20.1%)、「経費がかかる」(19.5%)、「出かけるのが面倒」(14.8%)などの順となっている。(図4-16-1)

#### 4-17 かかりつけ歯科医の有無

◇「いる」が61.5%

③ あなたは、定期的に歯の治療や相談、健診などを受ける歯科医師（かかりつけ歯科医）がいますか。（○は1つ）

図4-17-1



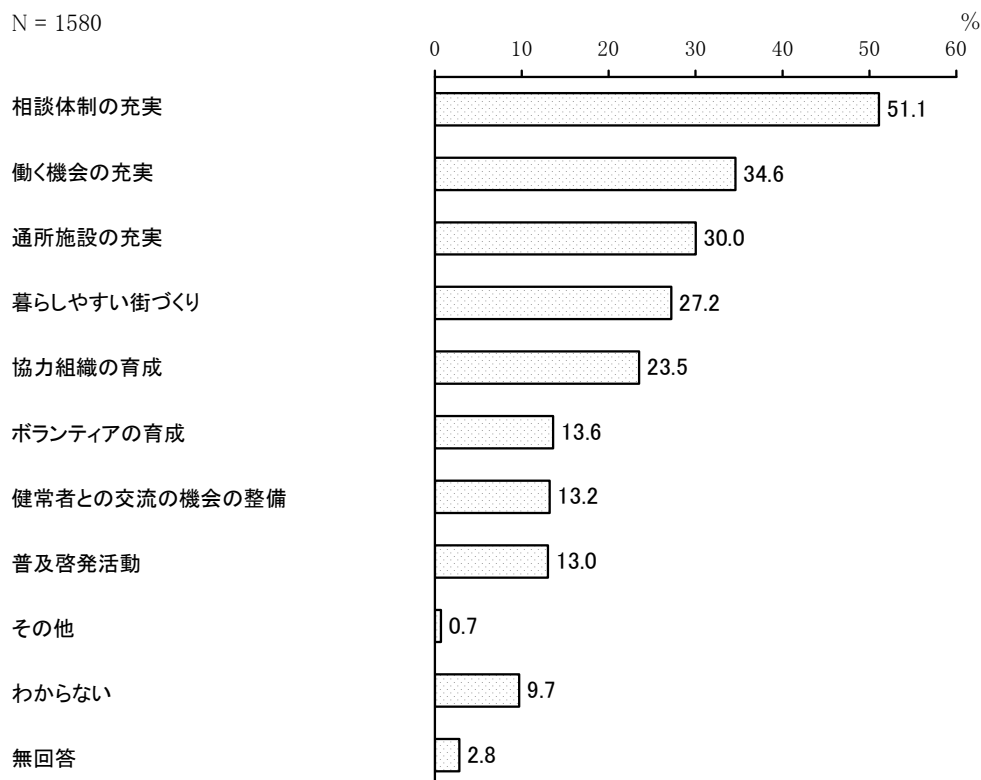
かかりつけ歯科医の有無をたずねたところ、「いる」(61.5%)が60%を超えて多くなっている。(図4-17-1)

## 4-18 精神障害者のために充実すべきこと

◇「相談体制の充実」が51.1%

問29 精神に障害がある方のために特に充実していく必要があると思われるものは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(〇は3つ以内)

図4-18-1

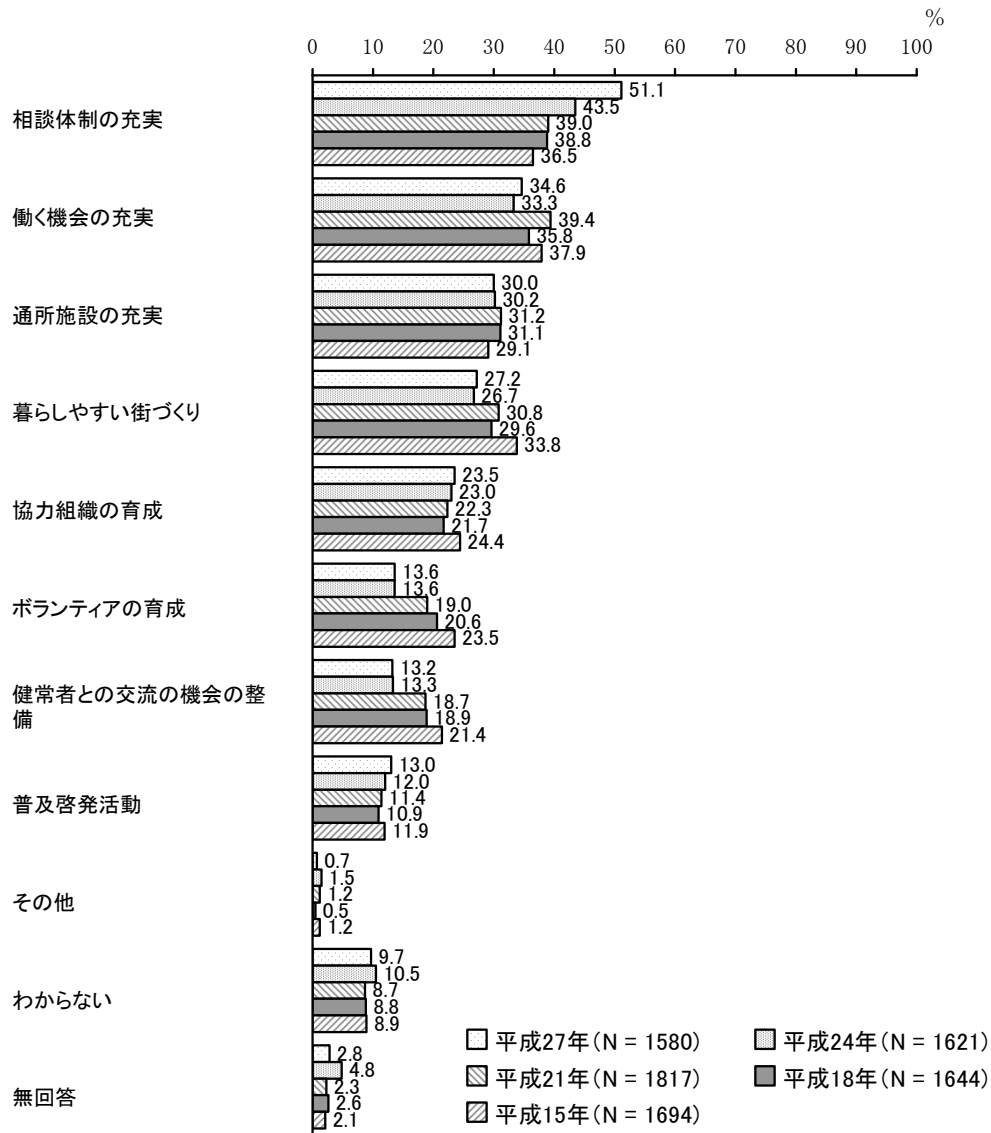


精神障害者のために充実すべきことをたずねたところ、「相談体制の充実」(51.1%)が最も多く、50%を超えている。以下、「働く機会の充実」(34.6%)、「通所施設の充実」(30.0%)、「暮らしやすい街づくり」(27.2%)、「協力組織の育成」(23.5%)などの順となっている。

(図4-18-1)

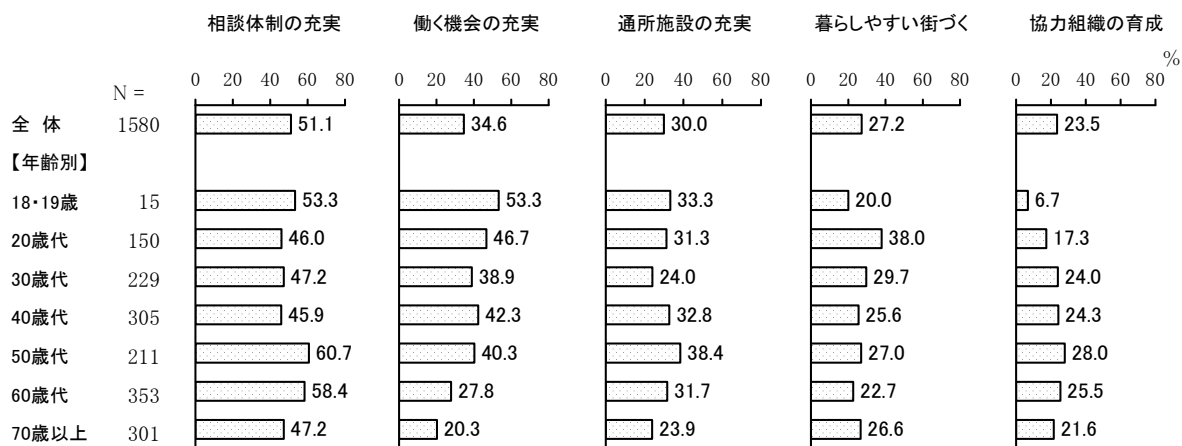
時系列でみると、「相談体制の充実」は増加傾向にあり、前回調査と比べて7.6ポイント増加している。(図4-18-2)

図4-18-2 時系列 精神障害者のために充実すべきこと



上位5項目を年齢別にみると、「相談体制の充実」は50歳代、60歳代がどちらも60%近くで多くなっている。「働く機会の充実」はおおむね低い年代ほど割合が高くなる傾向にある。「通所施設の充実」は50歳代が40%近くで多くなっている。(図4-18-3)

図4-18-3 年齢別 精神障害者のために充実すべきこと





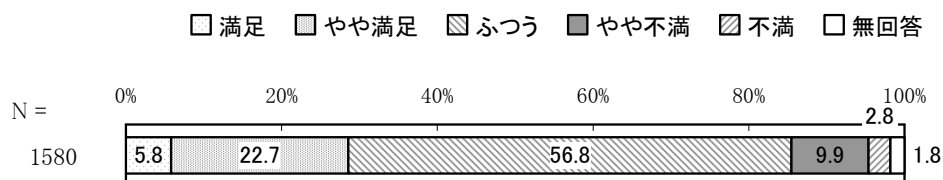
## 5 環境

### 5-1 川越市の環境への満足度

◇「ふつう」が56.8%

問30 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

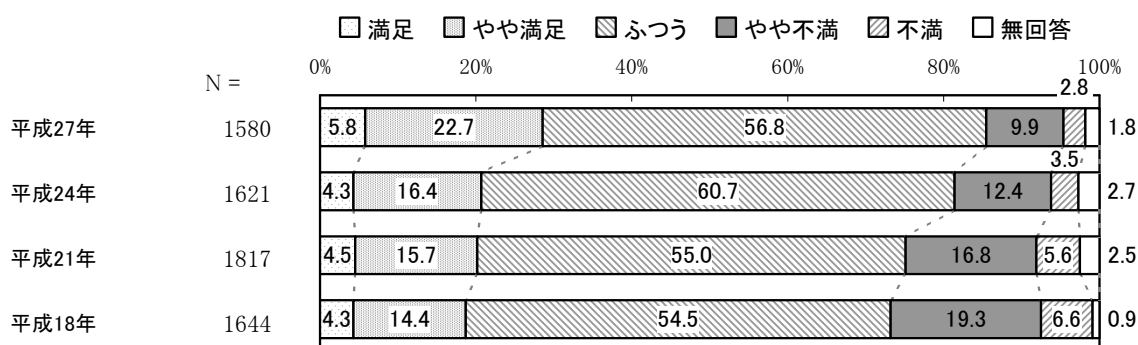
図5-1-1



川越市の環境への満足度をたずねたところ、「満足」(5.8%)と「やや満足」(22.7%)を合わせた<満足>(28.5%)が30%近く、「やや不満」(9.9%)と「不満」(2.8%)を合わせた<不満>(12.7%)が10%を超えており、<満足>が<不満>より15.8ポイント高くなっている。「ふつう」(56.8%)は50%後半となっている。(図5-1-1)

時系列でみると、<満足>の割合は前回調査と比べて7.8ポイント増加し、<不満>は前回調査と比べて3.2ポイント減少している。(図5-1-2)

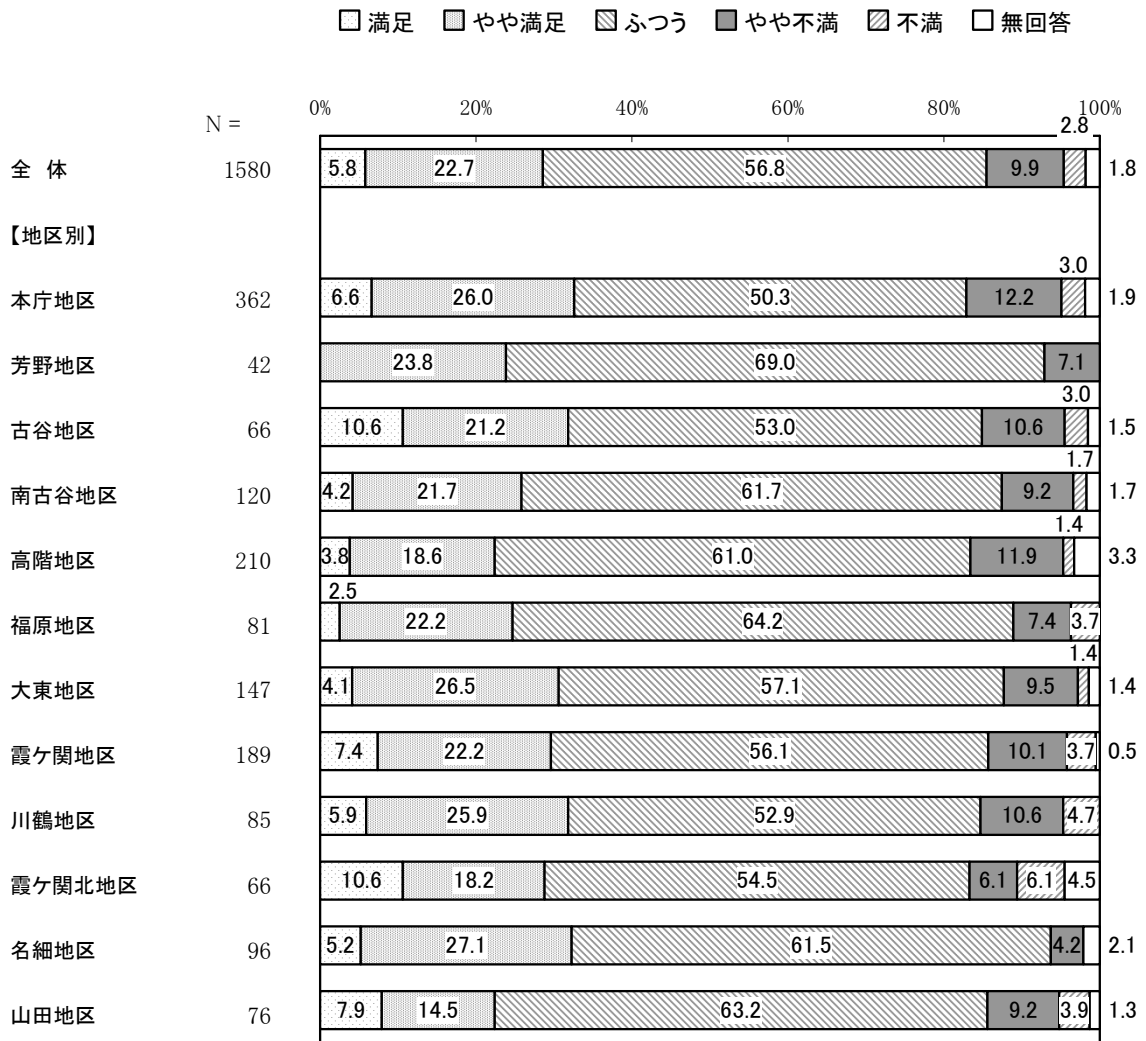
図5-1-2 時系列 川越市の環境への満足度



地区別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた＜満足＞は、本庁地区、名細地区、古谷地区、川鶴地区、大東地区がいずれの地区も30%を超えて多くなっている。「不満」と「やや不満」を合わせた＜不満＞は、本庁地区、川鶴地区が10%半ばで多くなっている。

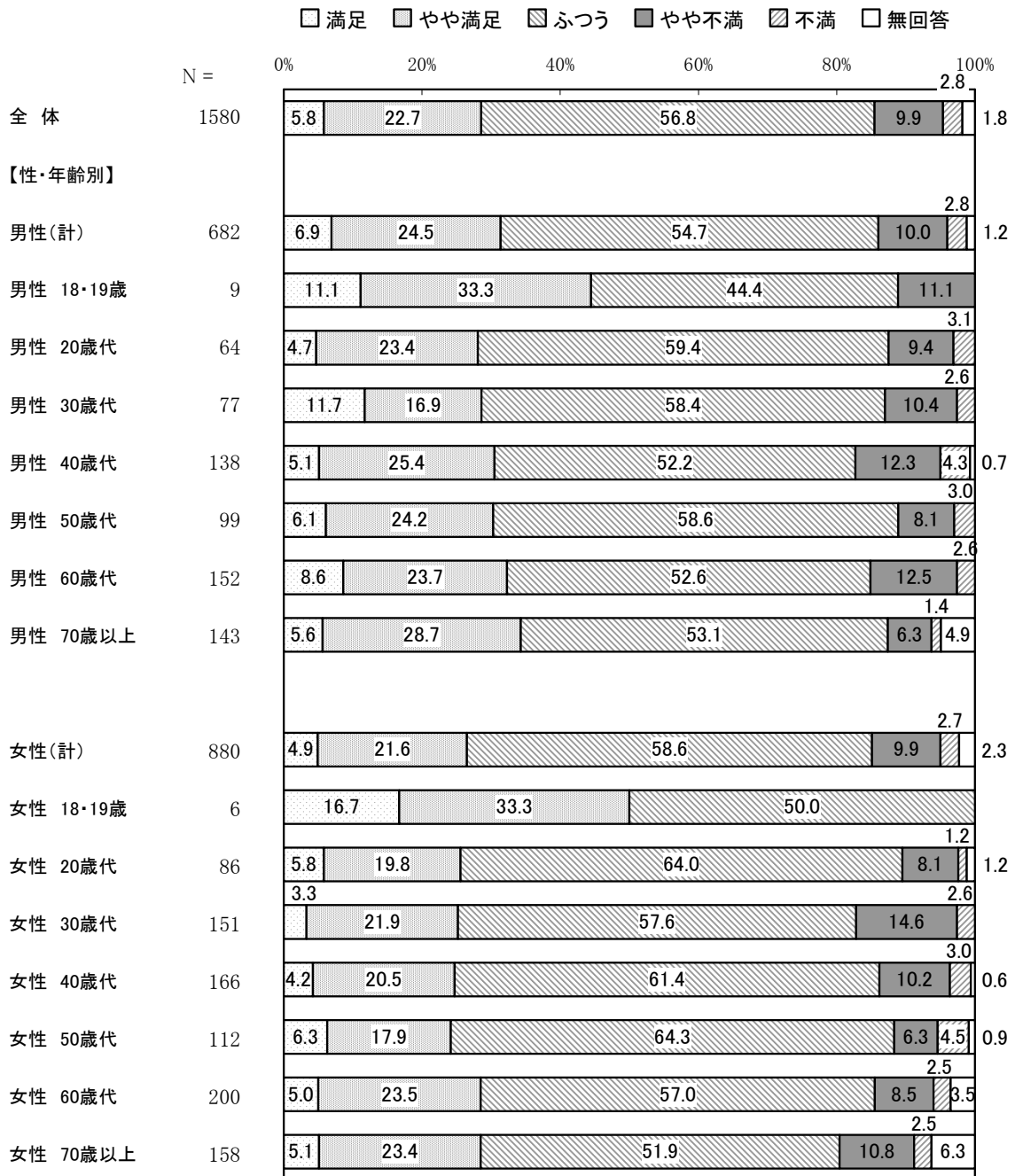
(図5-1-3)

図5-1-3 地区別 川越市の環境への満足度



性・年齢別に見ると、「満足」と「やや満足」を合わせた＜満足＞は、男性（31.4%）が女性（26.5%）より4.9ポイント高くなっており、特に男性70歳以上が30%半ばで多くなっている。「不満」と「やや不満」を合わせた＜不満＞は、男性40歳代、60歳代と女性30歳代がいずれの年代も10%半ばとなっている。（図5-1-4）

図5-1-4 性・年齢別 川越市の環境への満足度

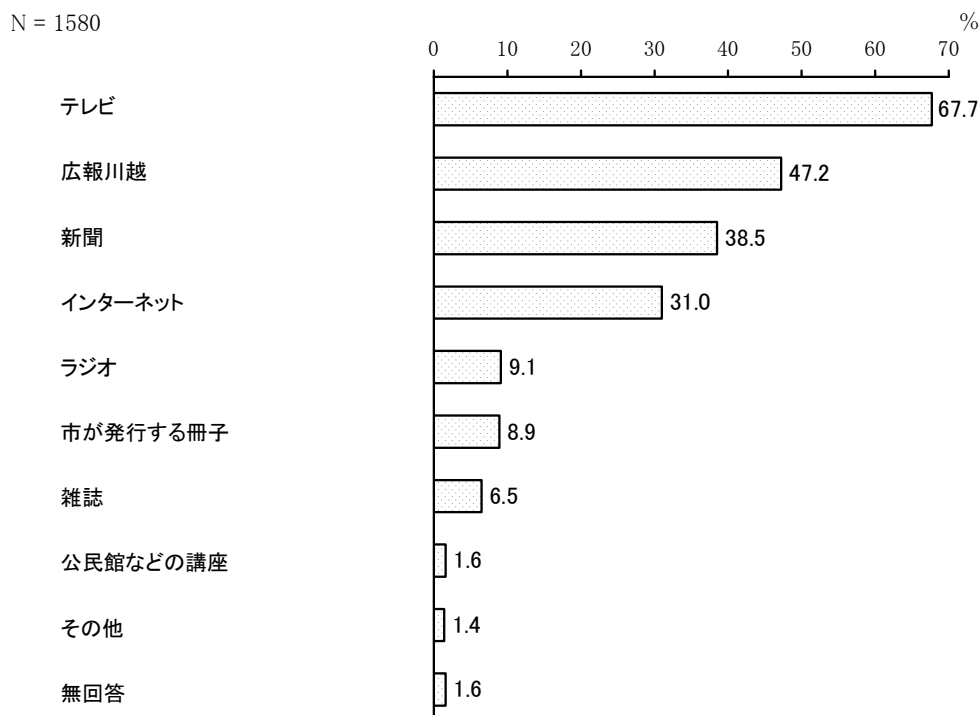


## 5-2 環境に関する情報の入手先

◇「テレビ」が67.7%

問31 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内)

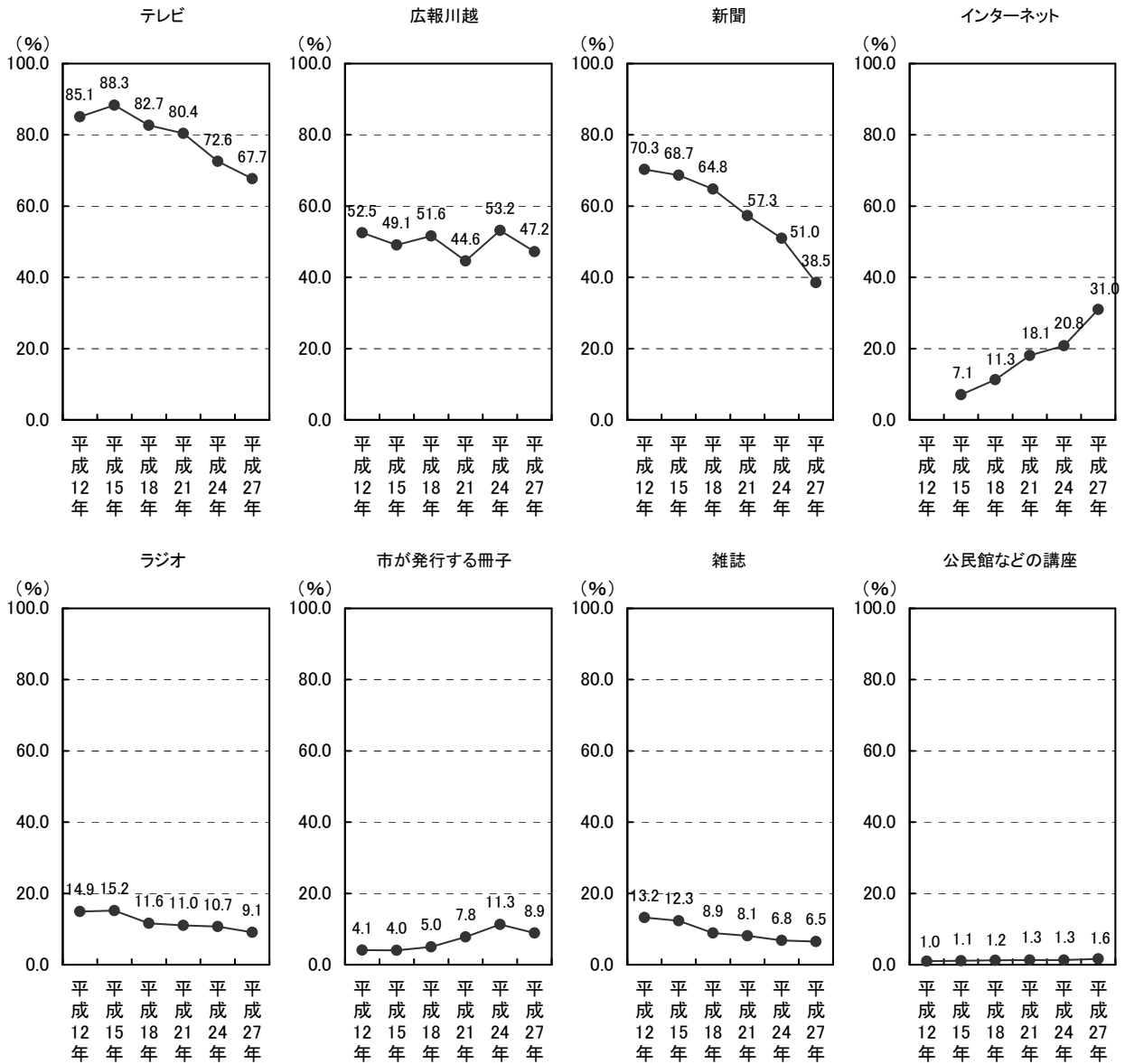
図5-2-1



環境に関する情報の入手先をたずねたところ、「テレビ」(67.7%)が最も多く、70%近くとなっている。以下、「広報川越」(47.2%)、「新聞」(38.5%)、「インターネット」(31.0%)などの順となっている。(図5-2-1)

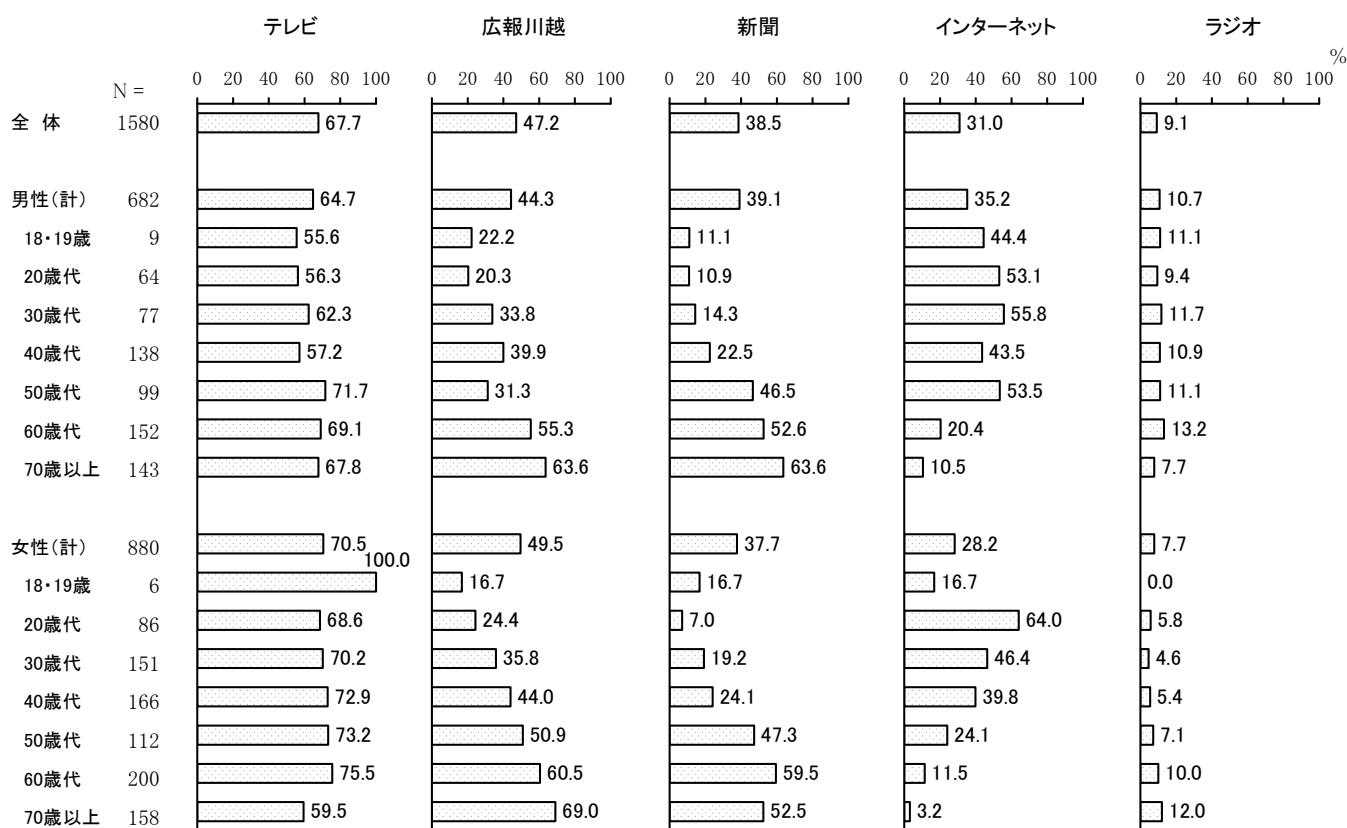
時系列でみると、前回調査と比べて「テレビ」が4.9ポイント、「新聞」が12.5ポイント、それぞれ減少している一方で、前回調査と比べて「インターネット」が10.2ポイント増加している。(図5-2-2)

図5-2-2 時系列 環境に関する情報の入手先



上位5項目を性・年齢別にみると、「広報川越」と「新聞」はともに、おおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向にある。逆に「インターネット」は女性では低い年代ほど割合が高く、女性20歳代で60%半ばと高くなっている。(図5-2-3)

図5-2-3 性・年齢別 環境に関する情報の入手先

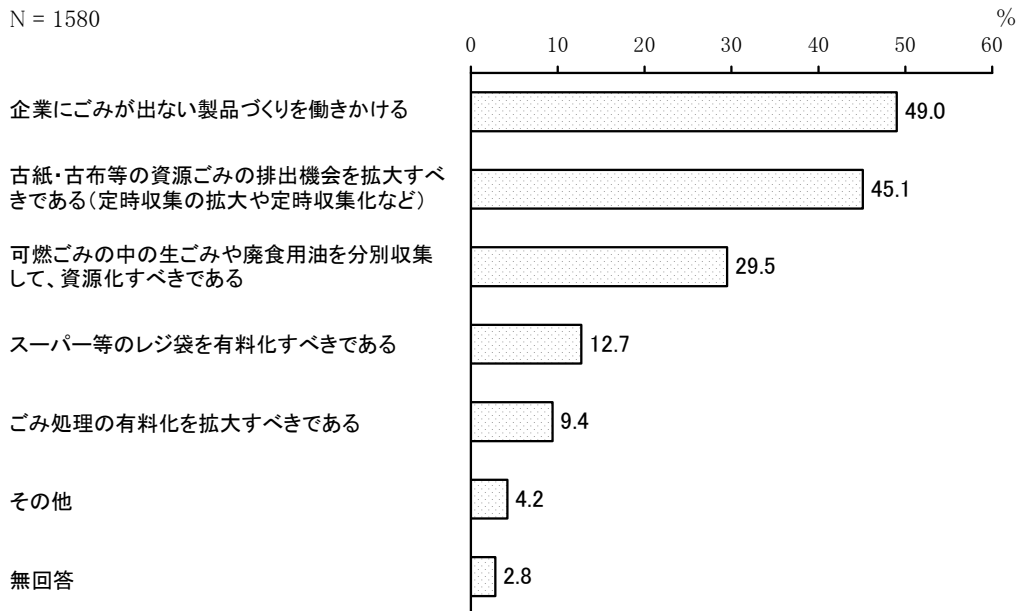


### 5-3 ごみ減量のための方策

◇「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」が49.0%

問32 あなたは、ごみを減らすために、どのようにすべきだと思いますか。次の中から2つ選んでください。(〇は2つ以内)

図5-3-1



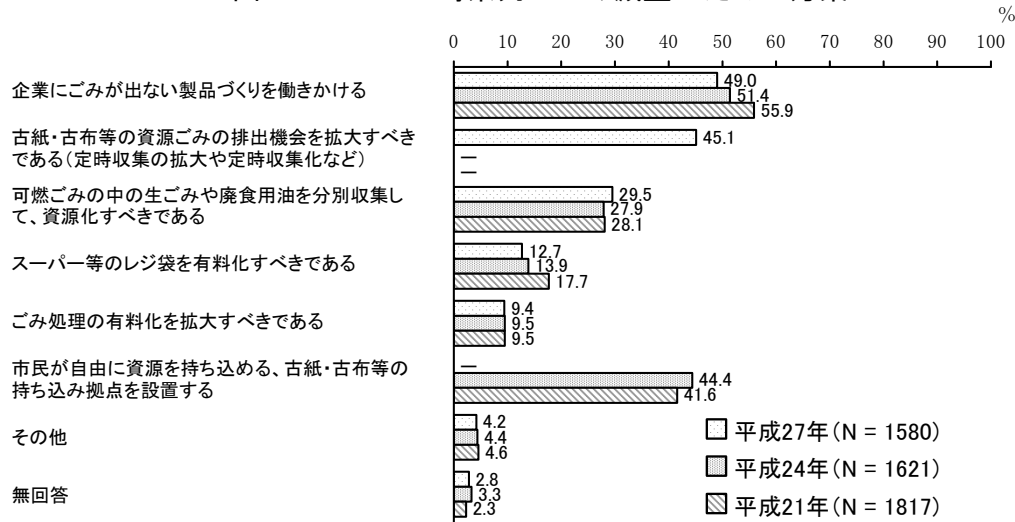
ごみ減量のための方策をたずねたところ、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」(49.0%)が最も多く、50%近くとなっている。以下、「古紙・古布等の資源ごみの排出機会を拡大すべきである(定時収集の拡大や定時収集化など)」(45.1%)、「可燃ごみの中の生ごみや廃食用油を分別収集して、資源化すべきである」(29.5%)、「スーパー等のレジ袋を有料化すべきである」(12.7%)、「ごみ処理の有料化を拡大すべきである」(9.4%)と続いている。

(図5-3-1)

時系列でみると、平成 27 年調査で選択肢の追加・変更があったため平成 18 年調査以前との比較は参考にとどまるが、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」は減少傾向がみられる。

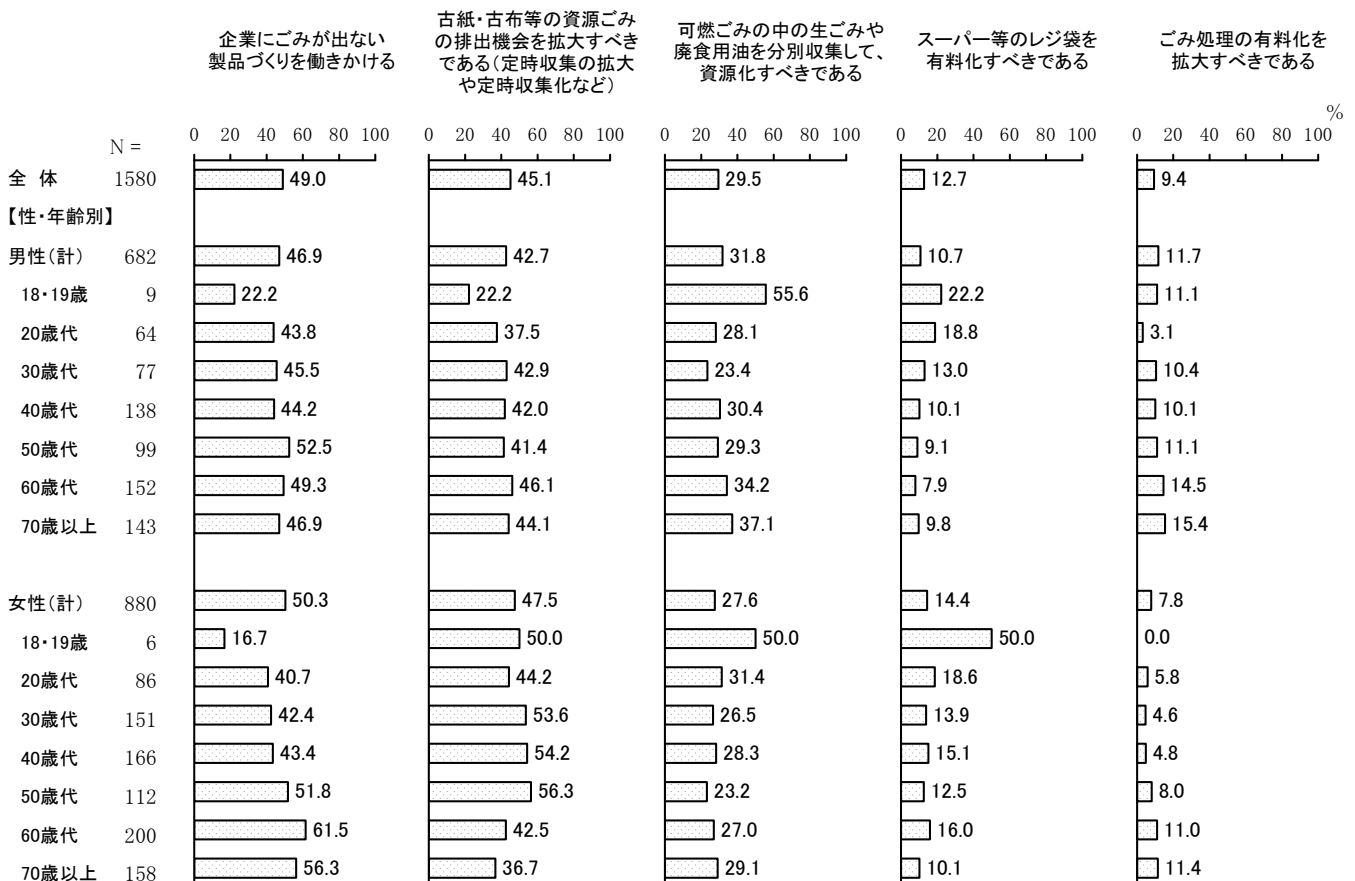
(図 5-3-2)

図 5-3-2 時系列 ごみ減量のための方策



性・年齢別にみると、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」は女性 60 歳代が 60% を超えて多くなっている。(図 5-3-3)

図 5-3-3 時系列 ごみ減量のための方策



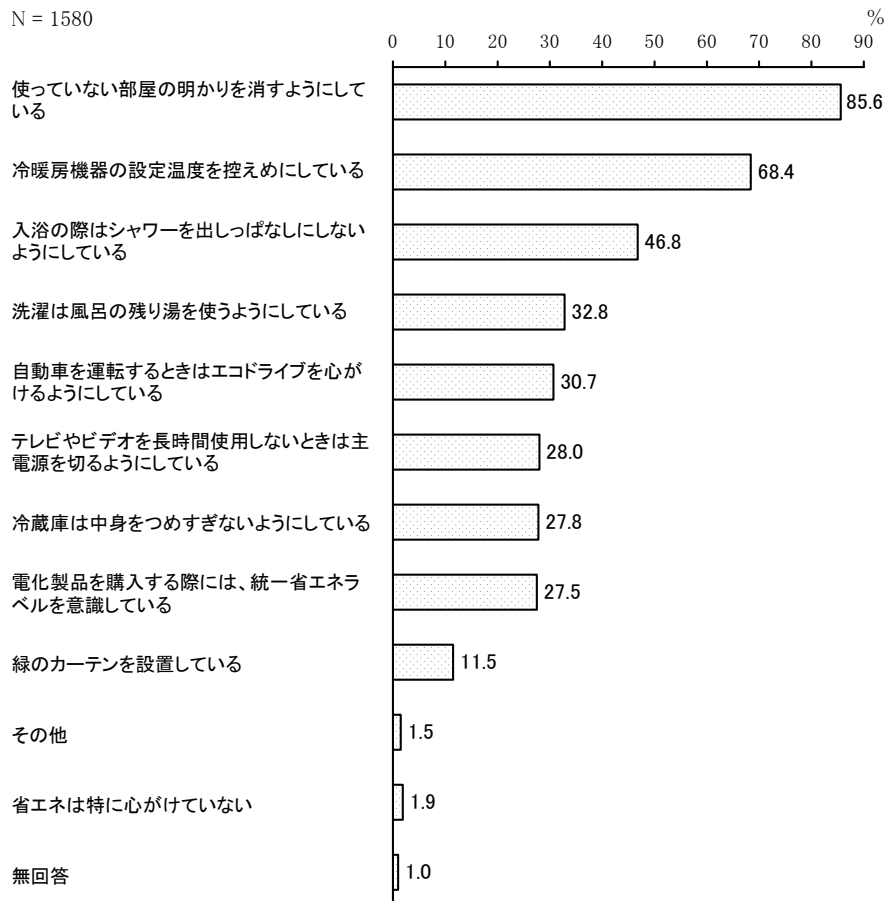


## 5-4 実行している省エネ活動

◇「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」が85.6%

問33 あなたは、省エネのためにどのようなことを行っていますか。次の中からあてはまるものをすべてで選んでください。(○はいくつでも)

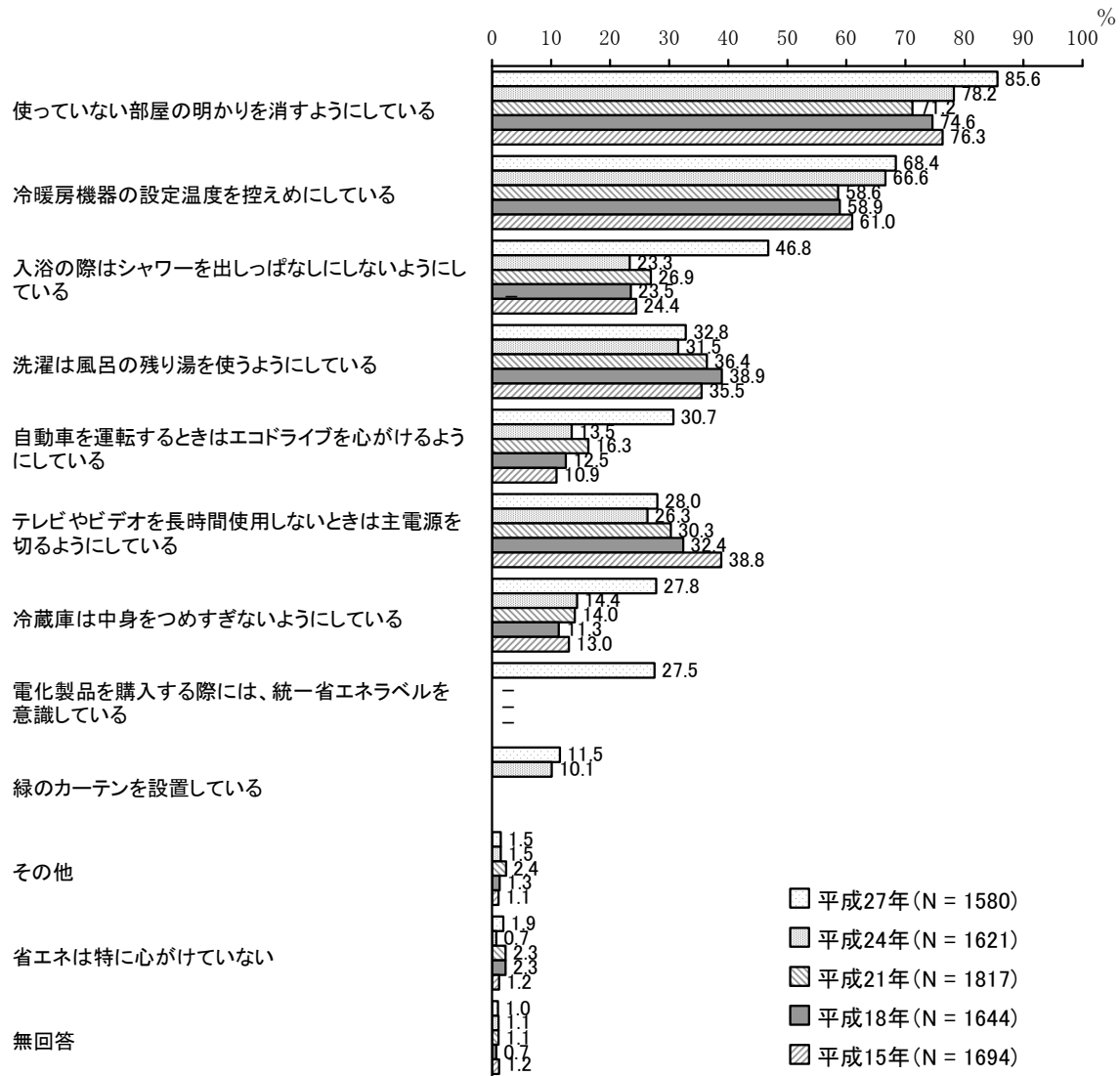
図5-4-1



実行している省エネ活動をたずねたところ、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」(85.6%)が最も多く、80%半ばとなっている。以下、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」(68.4%)、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」(46.8%)、「洗濯は風呂の残り湯を使うようにしている」(32.8%)、「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」(30.7%)、「テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている」(28.0%)などの順となっている。(図5-4-1)

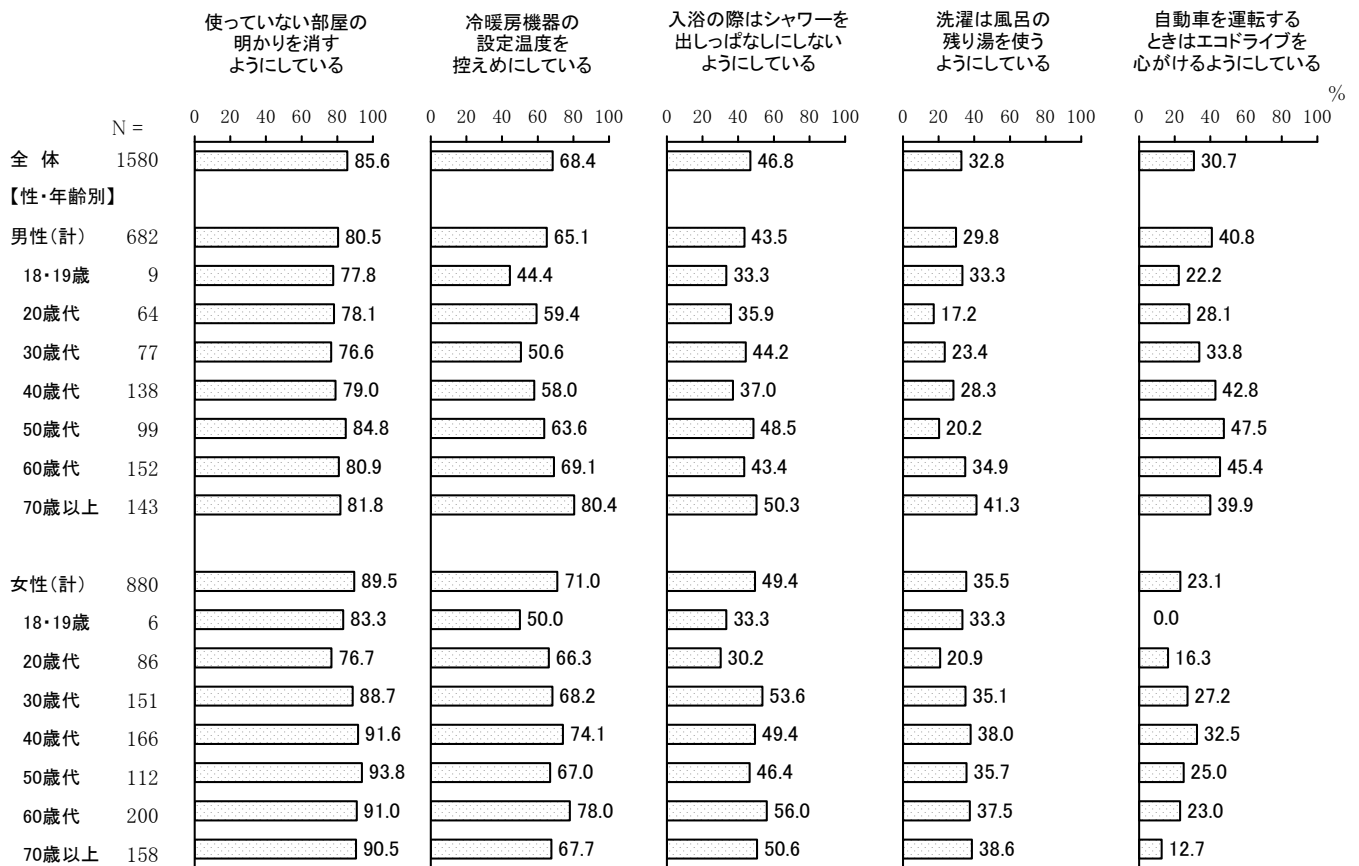
時系列でみると、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」は7.4ポイント、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」は23.5ポイント、「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」は17.2ポイント、「冷蔵庫は中身をつめすぎないようにしている」は13.4ポイント、それぞれ増加している。また、「テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている」は減少傾向となっている。(図5-4-2)

図5-4-2 時系列 実行している省エネ活動



上位5項目を性・年齢別にみると、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」は、男性70歳以上、女性60歳代で80%近くと多くなっている。「自動車を運転するときはエコドライブを心がけるようにしている」は男性（40.8%）が女性（23.1%）に比べ17.7ポイント高くなっている。（図5-4-3）

図5-4-3 性・年齢別 実行している省エネ活動



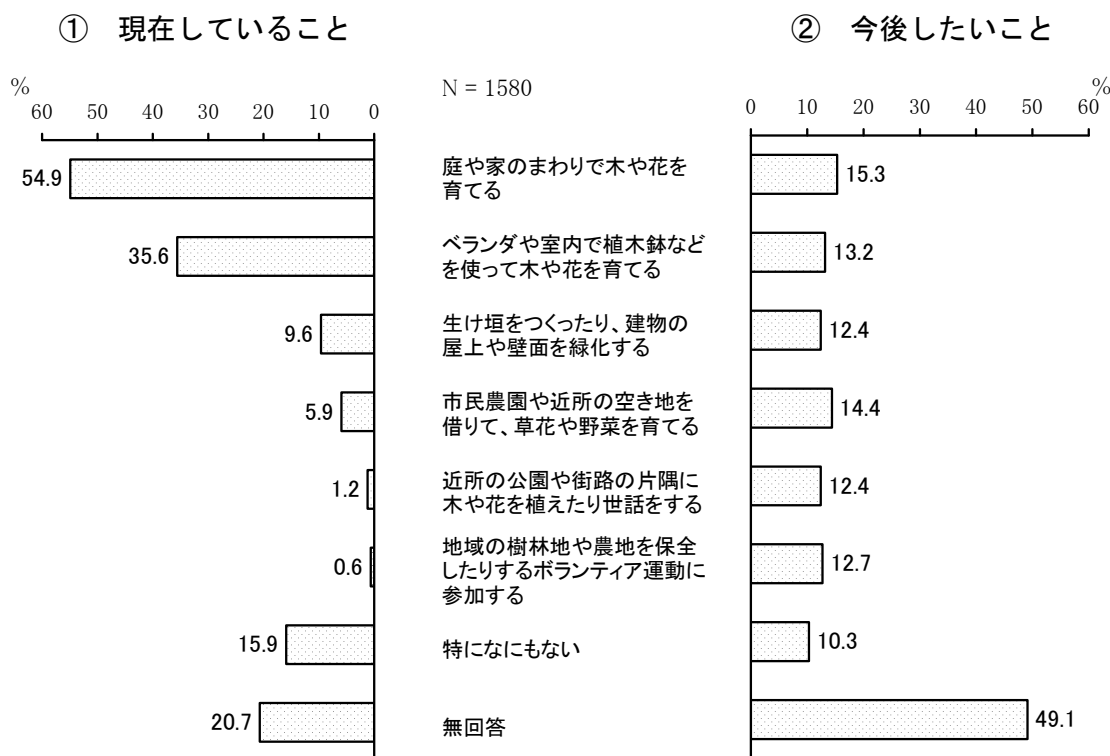
## 5-5 まちの緑化への活動内容

◇現在している活動は「庭や家のまわりで木や花を育てる」が54.9%  
 今後したい活動は「庭や家のまわりで木や花を育てる」が15.3%

問34 あなたは、緑を増やすために、

- ①現在どのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)  
 ②今後どのようなことをしたいですか。(〇はいくつでも)

図5-5-1



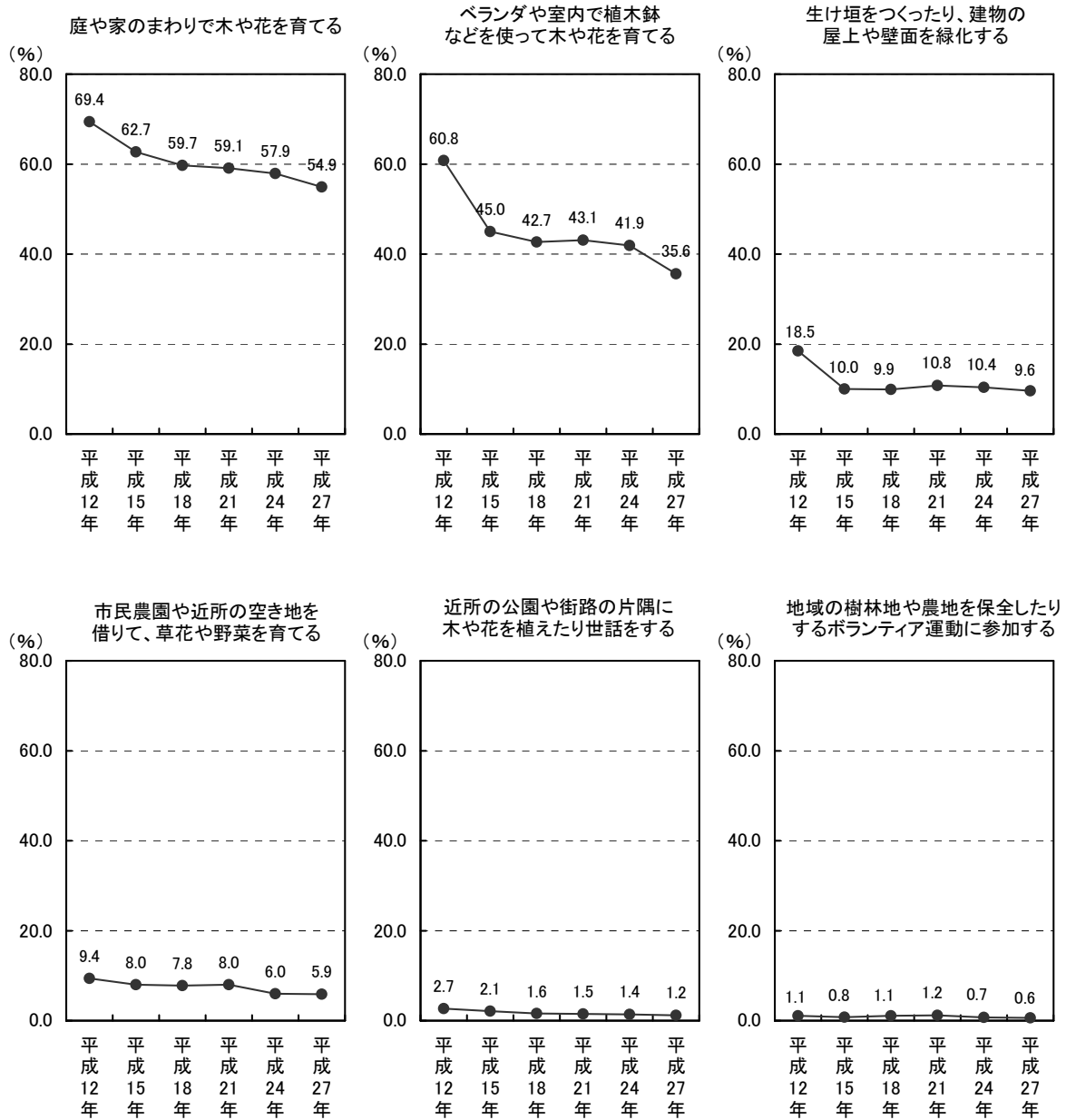
まちの緑化のために〔現在している活動〕と〔今後したい活動〕をたずねたところ、〔現在している活動〕では、「庭や家のまわりで木や花を育てる」(54.9%)が最も多く、50%半ばとなっている。以下、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」(35.6%)、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」(9.6%)などの順となっている。

〔今後したい活動〕では、「庭や家のまわりで木や花を育てる」(15.3%)が最も多く、10%半ばとなっている。以下、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」(14.4%)、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」(13.2%)、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」(12.7%)、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」(12.4%)、「近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする」(12.4%)などの順となっている。(図5-5-1)

## まちの緑化への活動内容

まちの緑化への活動内容について時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」で減少傾向がみられる。(図5-5-2)

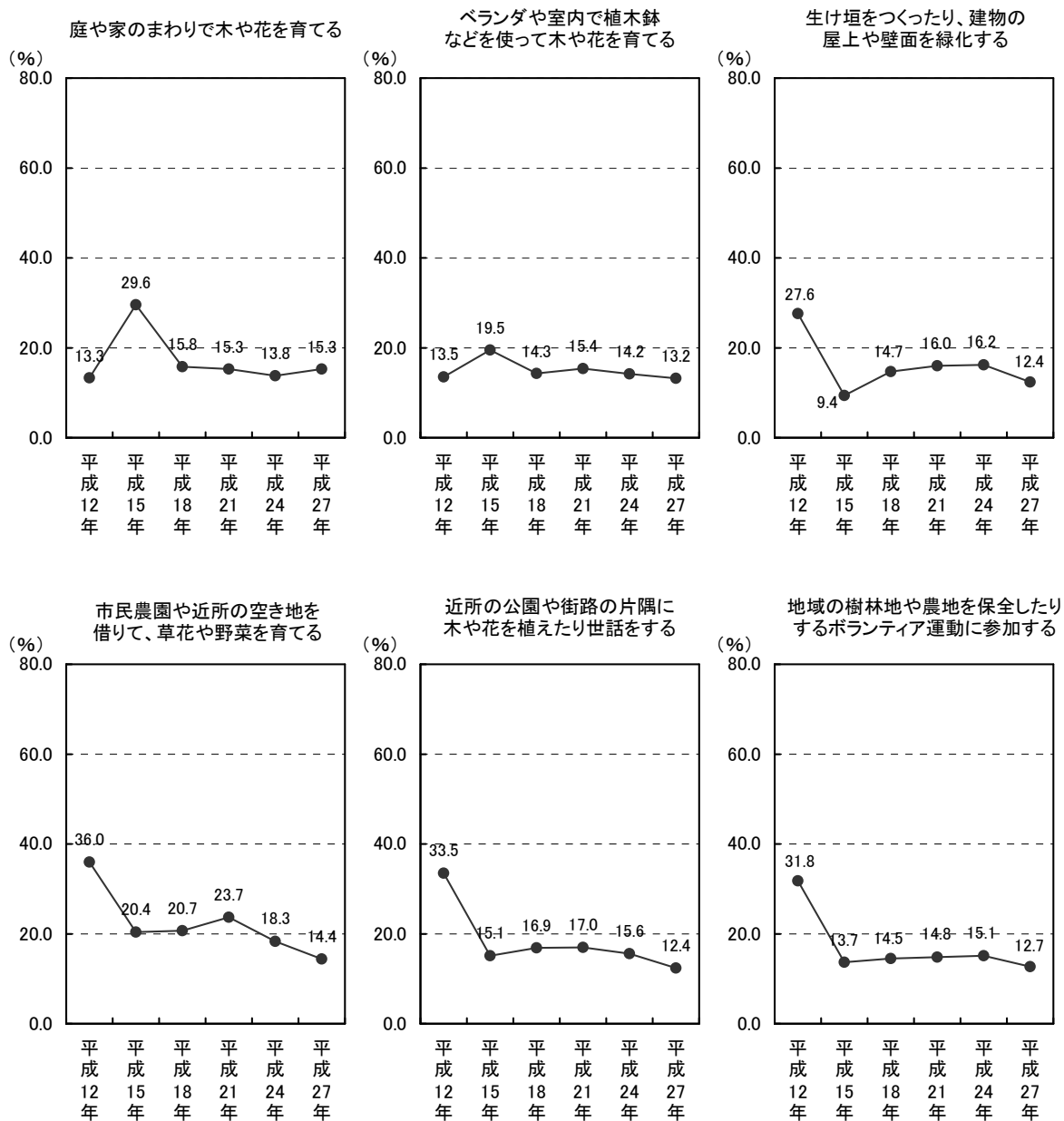
図5-5-2 時系列 まちの緑化への活動内容



## まちの緑化のために今後したい活動

まちの緑化のために今後したい活動について時系列でみると、すべての項目で平成18年調査以降ではおおむね横ばいとなっている。(図5-5-3)

図5-5-3 時系列 まちの緑化のために今後したい活動

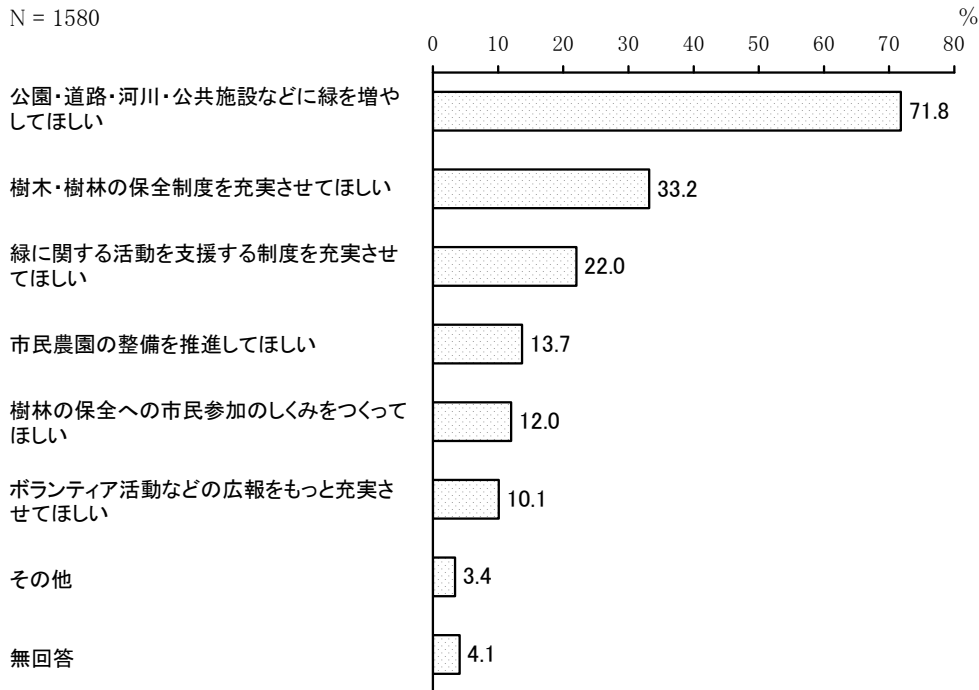


## 5-6 まちの緑化への施策

◇「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が71.8%

問35 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。(○は3つ以内)

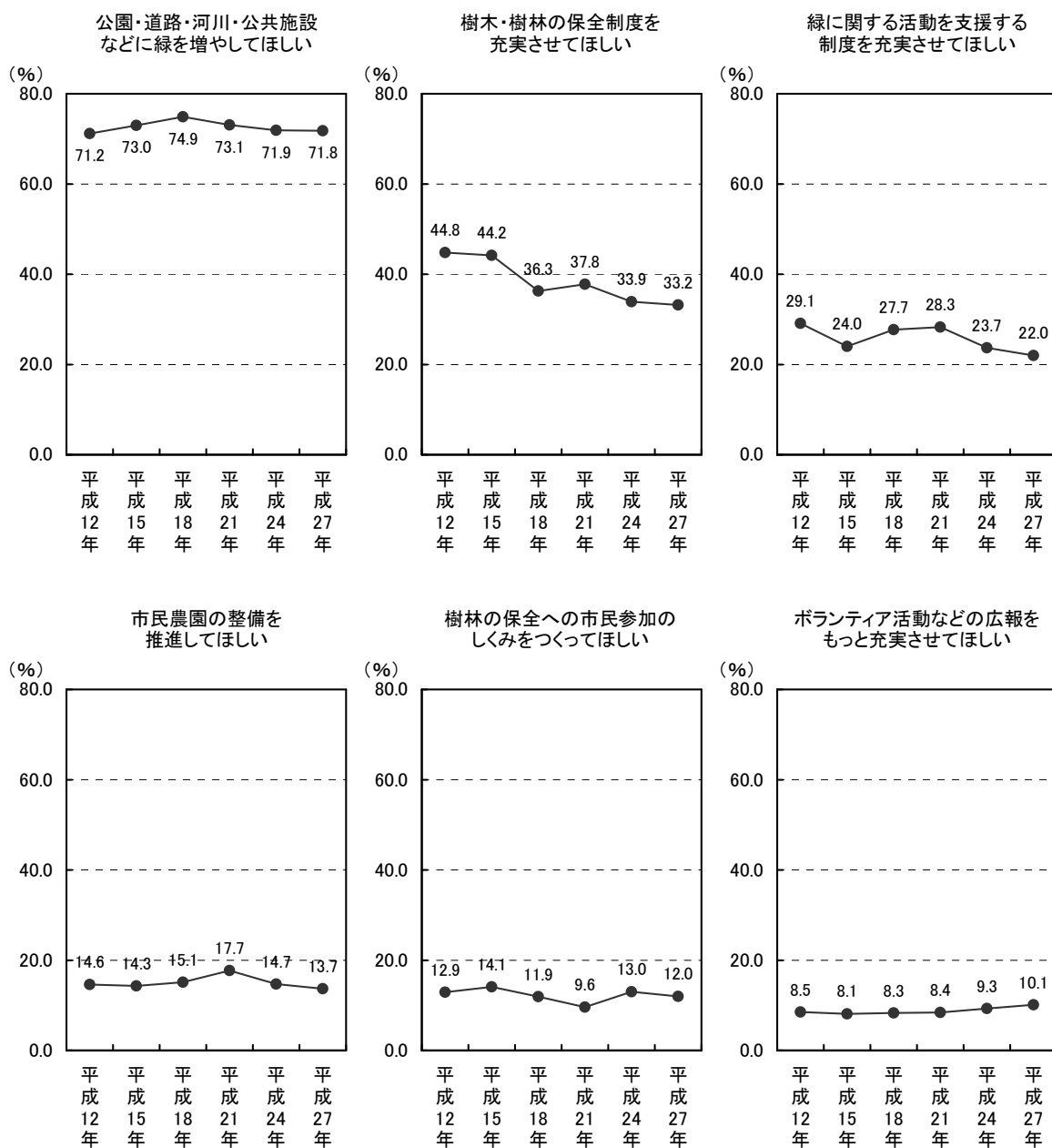
図5-6-1



まちの緑化への施策をたずねたところ、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」(71.8%)が最も多く、70%を超えている。以下、「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」(33.2%)、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」(22.0%)、「市民農園の整備を推進してほしい」(13.7%)などの順となっている。(図5-6-1)

時系列でみると、平成18年以降、各項目ともおおむね横ばいとなっている。(図5-6-2)

図5-6-2 時系列 まちの緑化への施策

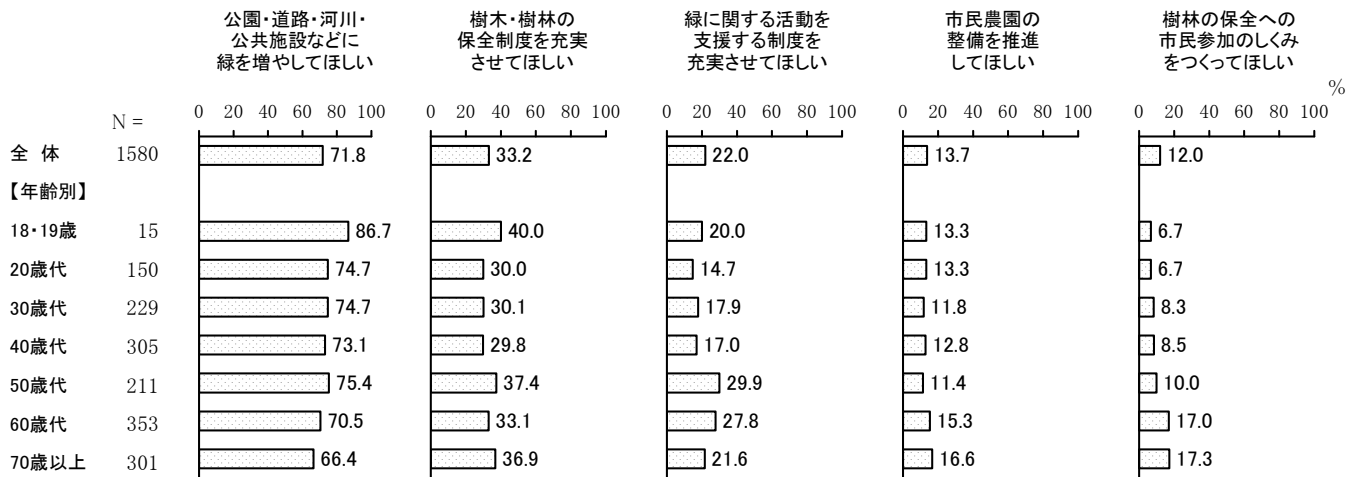




上位5項目を年齢別にみると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は低い年代ほど割合がやや高くなる傾向にある。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は、50歳代、60歳代で30%近くと多くなっている。

(図5-6-3)

図5-6-3 年齢別 まちの緑化への施策



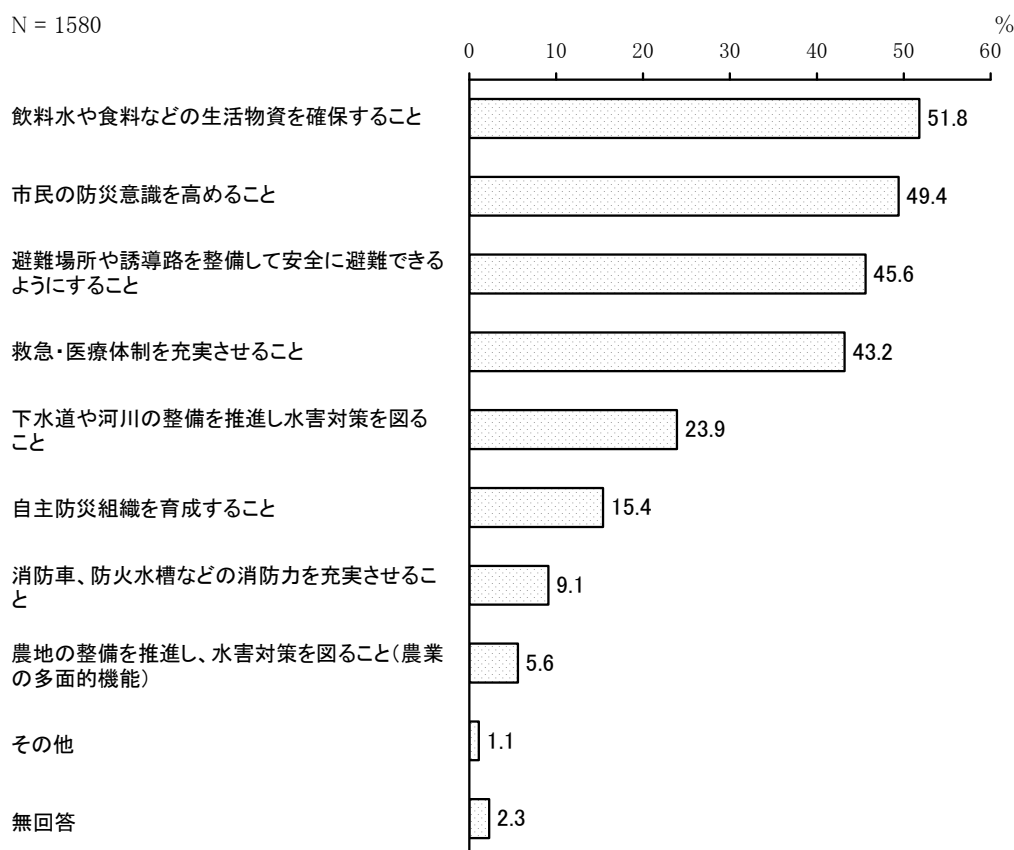
## 6 地域社会と市民生活

### 6-1 防災対策

◇「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」が51.8%

問36 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。(〇は3つ以内)

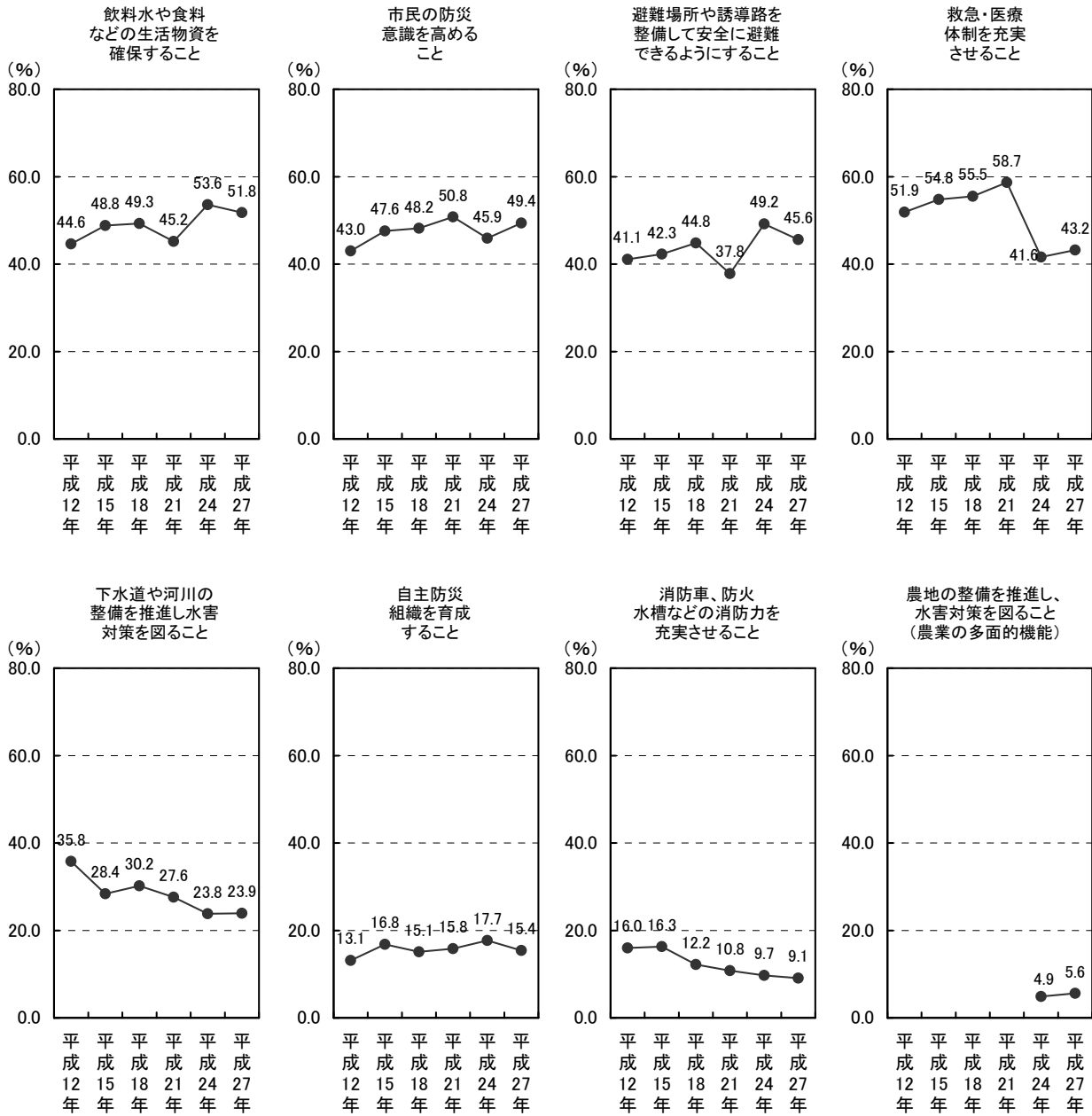
図6-1-1



防災対策として必要な施策をたずねたところ、「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」(51.8%)が最も多く、50%を超えている。以下、「市民の防災意識を高めること」(49.4%)、「避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること」(45.6%)、「救急・医療体制を充実させること」(43.2%)などの順となっている。(図6-1-1)

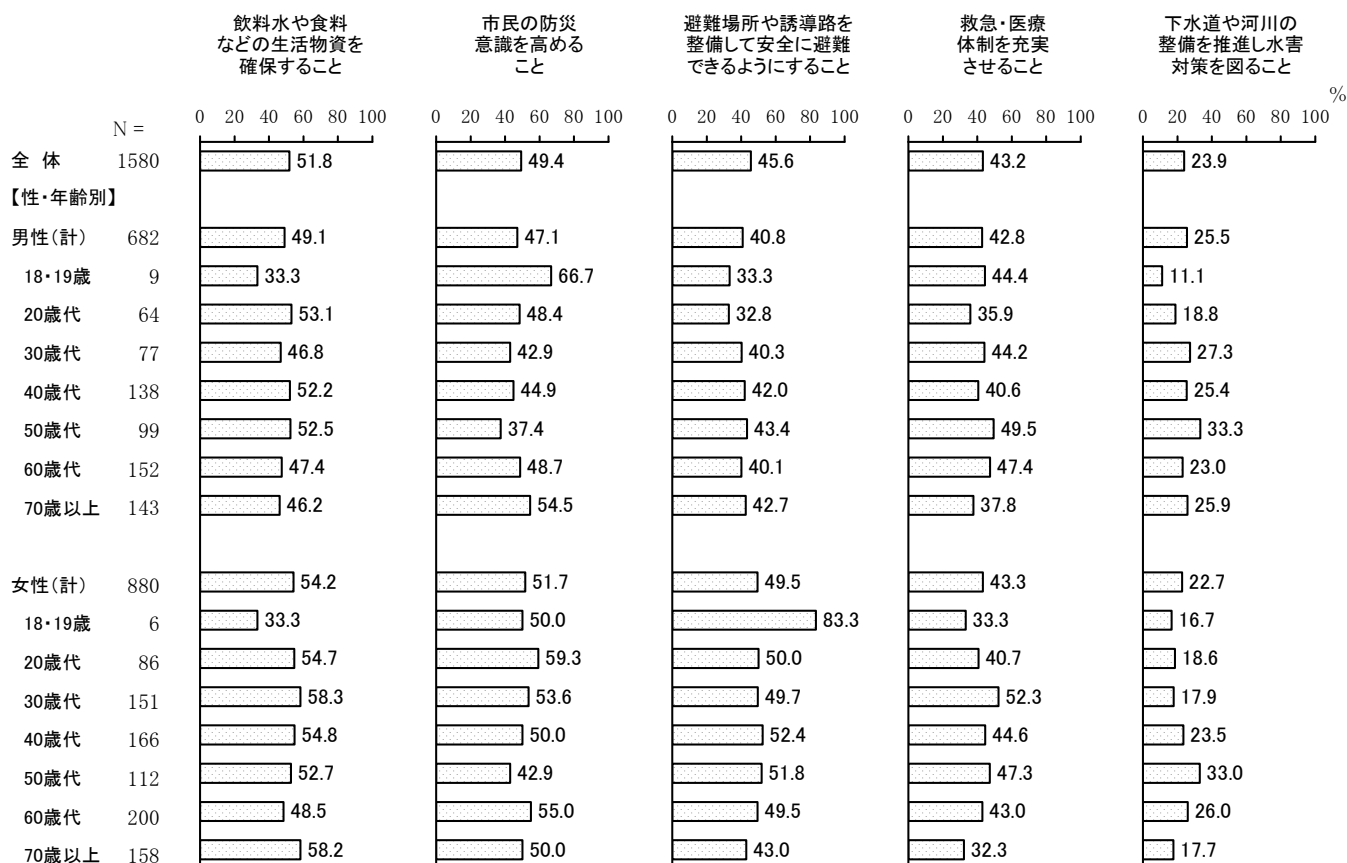
時系列でみると、「避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること」は前回調査と比べて3.6ポイント減少している。(図6-1-2)

図6-1-2 時系列 防災対策



上位5項目を性・年齢別にみると、「市民の防災意識を高めること」は女性20歳代が60%近くで多くなっている。「救急・医療体制を充実させること」は女性30歳代が50%を超えて多くなっている。「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は女性50歳代が30%を超えて多くなっている。(図6-1-3)

図6-1-3 性・年齢別 防災対策

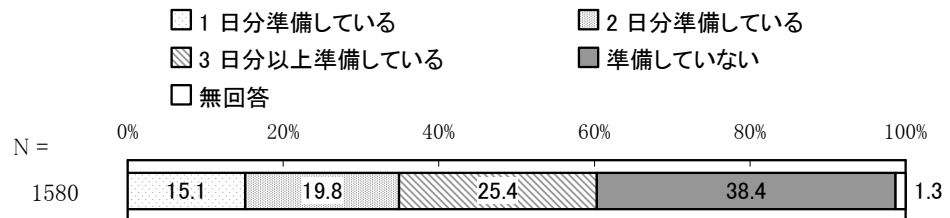


## 6-2 水・食料の備蓄量

◇「3日分以上準備している」は25.4%

問37 東日本大震災以降、個人で3日分以上の水や食料の備蓄が必要といわれていますが、あなたは何日分準備していますか。(○は1つ)

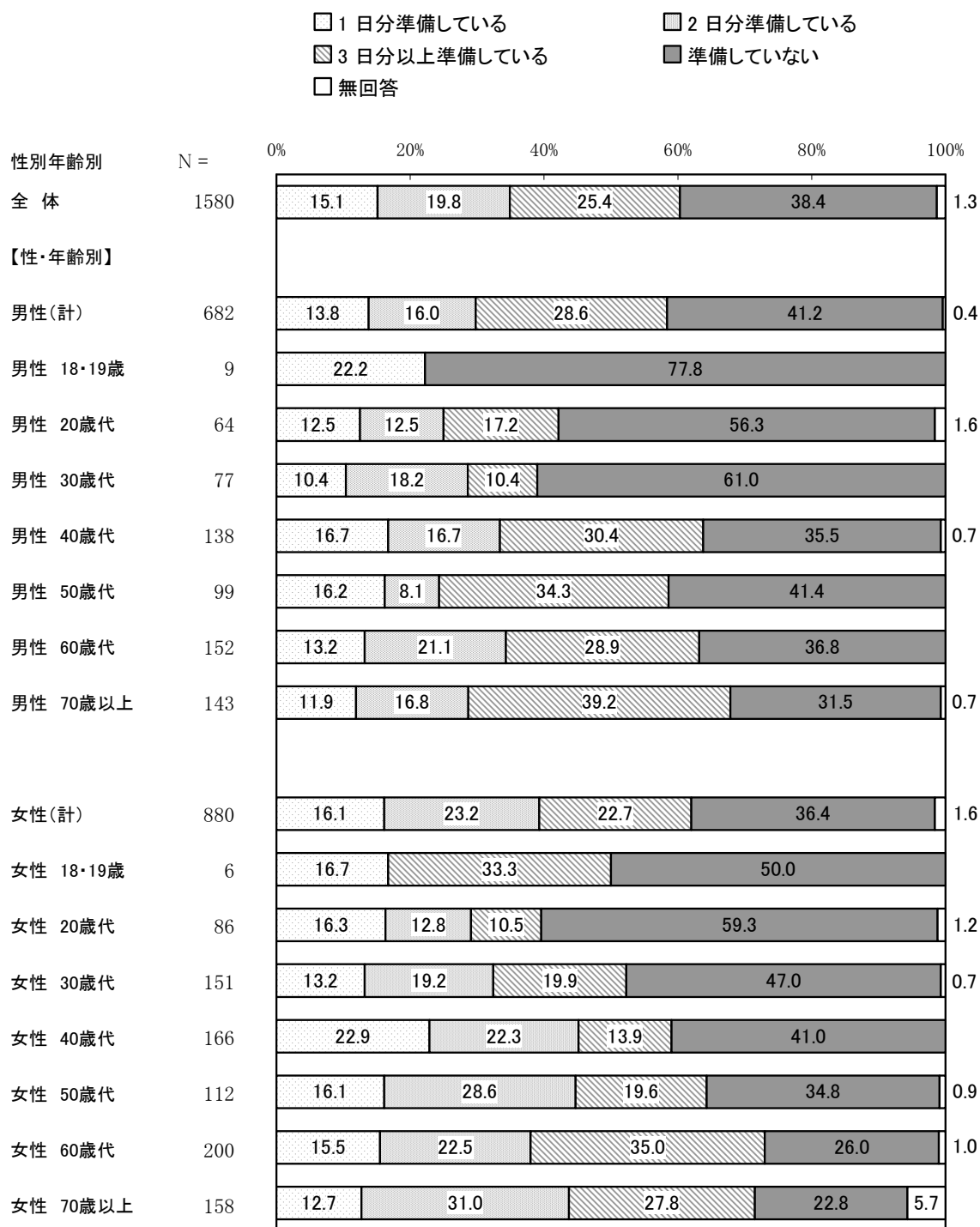
図6-2-1



水・食料の備蓄量をたずねたところ、「3日分以上準備している」(25.4%)が20%を超えており、「2日分準備している」(19.8%)が20%近く、「1日分準備している」(15.1%)が10%半ばとなっている。また、「準備していない」(38.4%)は40%近くとなっている。(図6-2-1)

性・年齢別にみると、「3日分以上準備している」は男性70歳以上が40%近くで多くなっているが、男性20歳代、30歳代と女性の20歳代から50歳代の年代では10%台にとどまっている。「準備していない」は女性20歳代、男性20歳代、30歳代がいずれも60%近くと多くなっている。(図6-2-2)

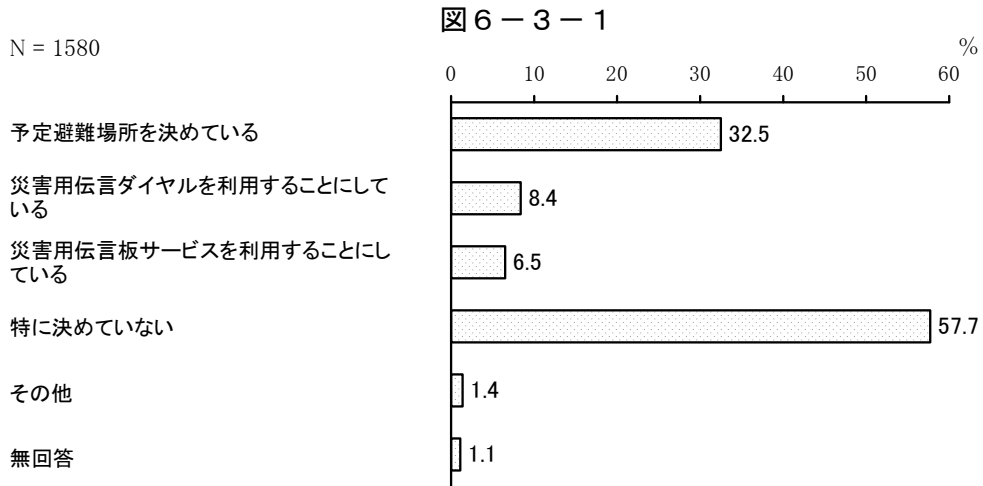
図6-2-2 性・年齢別 水・食料の備蓄量



### 6-3 家族等との安否確認手段

◇「予定避難場所を決めている」が32.5%、「特に決めていない」が57.7%

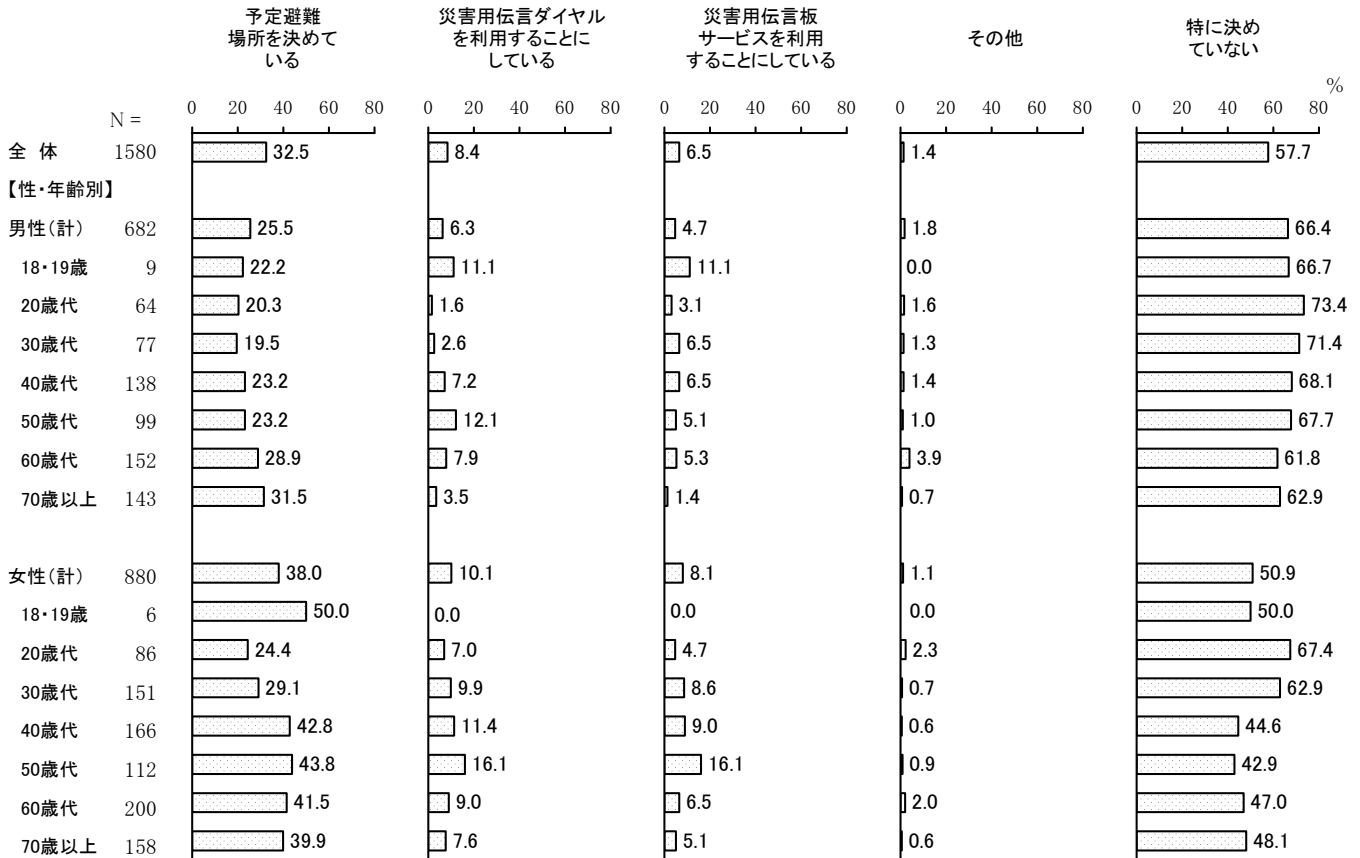
問 38 あなたは、家族等との安否確認手段を決めていますか。(〇はいくつでも)



家族等との安否確認手段を決めているかたずねたところ、「特に決めていない」(57.7%)が最も多く、60%近くとなっている。以下、「予定避難場所を決めている」(32.5%)、「災害用伝言ダイヤルを利用することになっている」(8.4%)、「災害用伝言板サービスを利用することになっている」(6.5%)の順となっている。(図6-3-1)

性・年齢別にみると、「予定避難場所を決めている」は女性（38.0%）が男性（25.5%）より12.5ポイント高くなっており、女性40歳代から60歳代が40%を超えて多くなっている。「特に決めていない」は男性（66.4%）が女性（50.9%）より15.5ポイント高くなっており、特に男性20歳代、30歳代が70%を超えて多くなっている。（図6-3-2）

図6-3-2 性・年齢別 家族等との安否確認手段



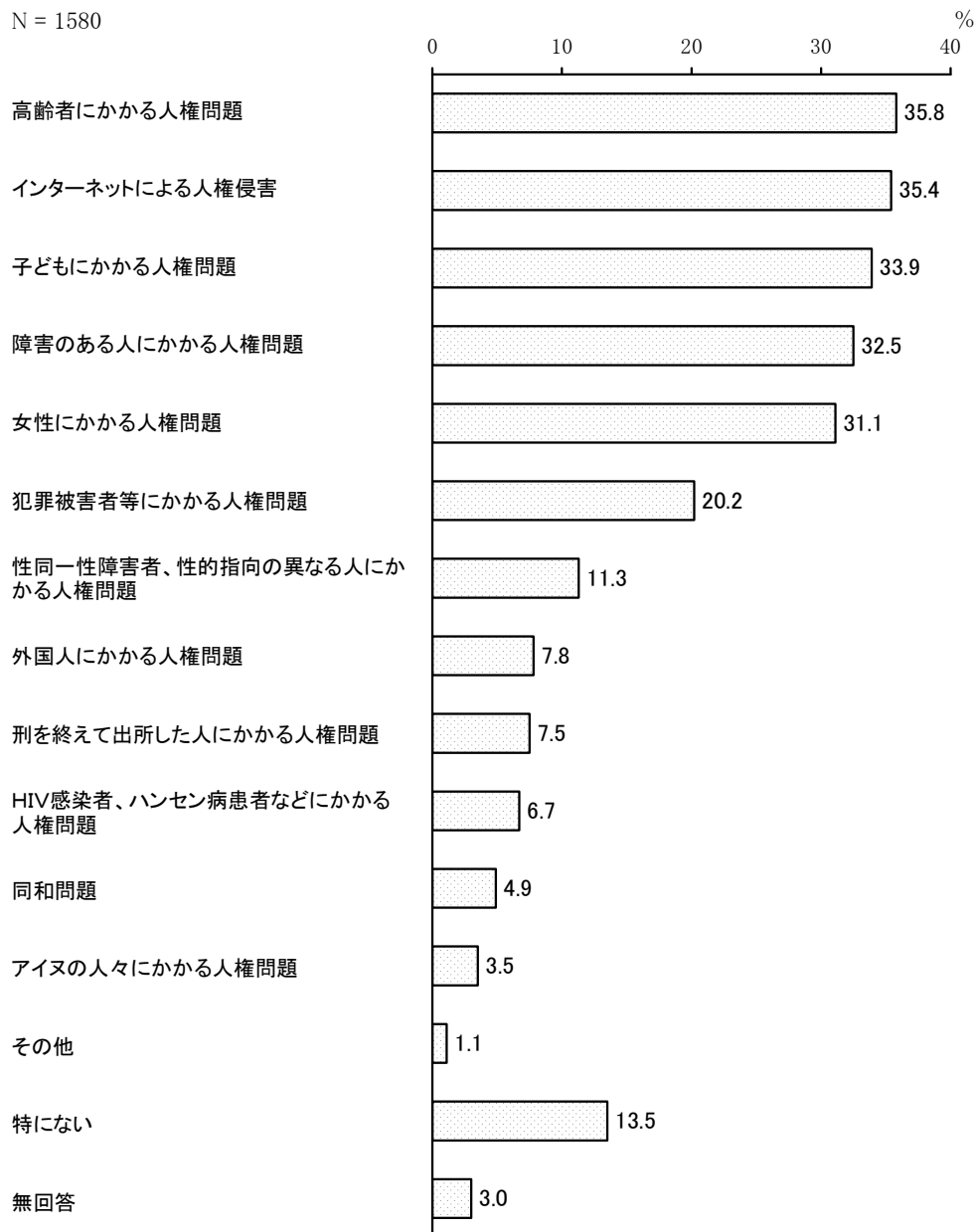


## 6-4 関心のある人権問題

◇「高齢者にかかる人権問題」が35.8%、「インターネットによる人権侵害」が35.4%

問39 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあるものはどのようなものですか。(〇はいくつでも)

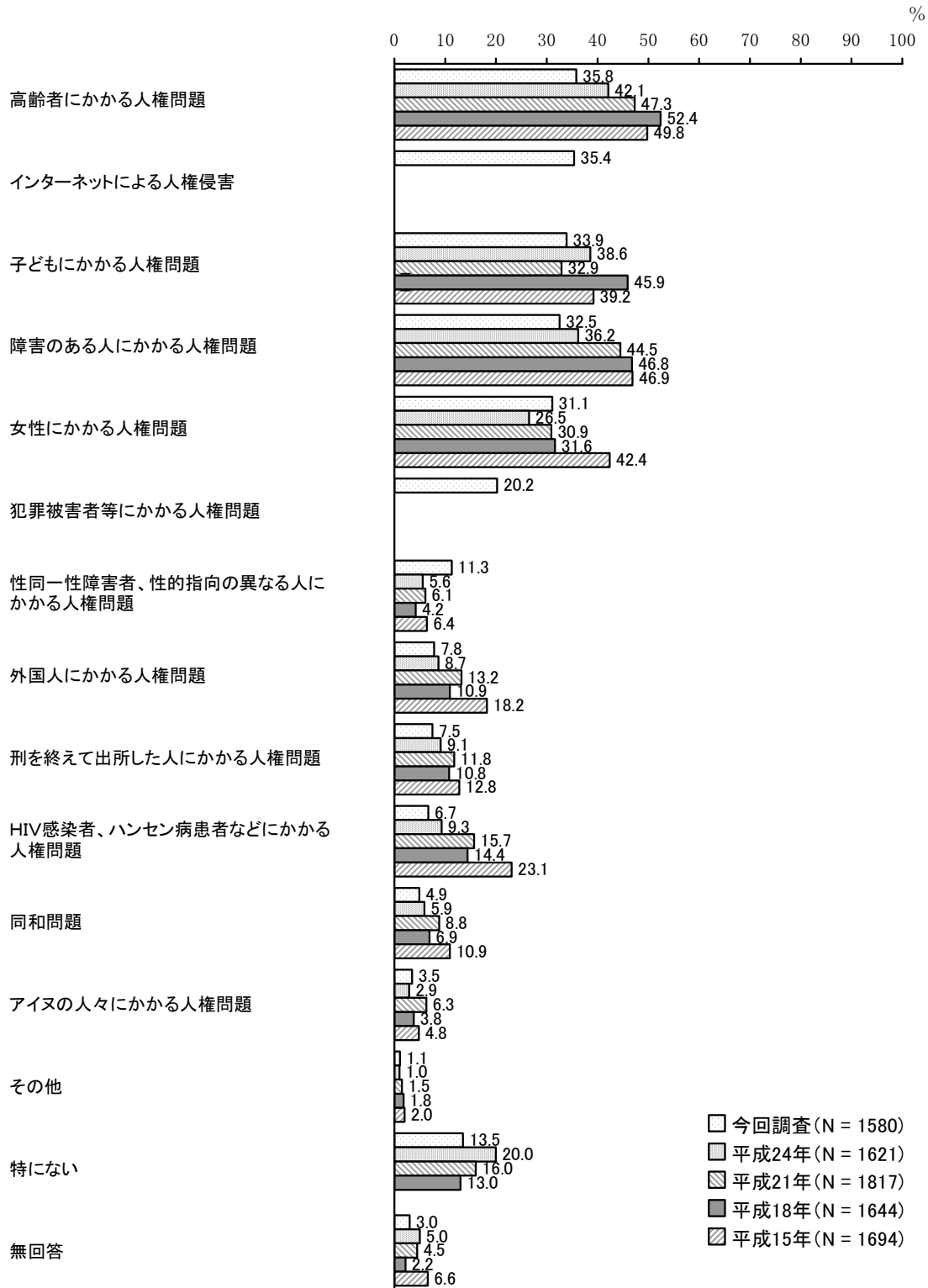
図6-4-1



関心のある人権問題をたずねたところ、「高齢者にかかる人権問題」(35.8%)が最も多く、「インターネットによる人権侵害」(35.4%)、「子どもにかかる人権問題」(33.9%)、「障害のある人にかかる人権問題」(32.5%)、「女性にかかる人権問題」(31.1%)などの順となっている。また、「特になし」は13.5%となっている。(図6-4-1)

時系列でみると、前回調査と比べて、「高齢者にかかる人権問題」は6.3ポイント、「子どもにかかる人権問題」は4.7ポイント、「障害のある人にかかる人権問題」は3.7ポイント減少している。一方、「女性にかかる人権問題」は4.6ポイント、「性同一性障害者、性的指向の異なる人にかかる人権問題」は5.7ポイント増加している。また、「特にない」は6.5ポイント減少している。(図6-4-2)

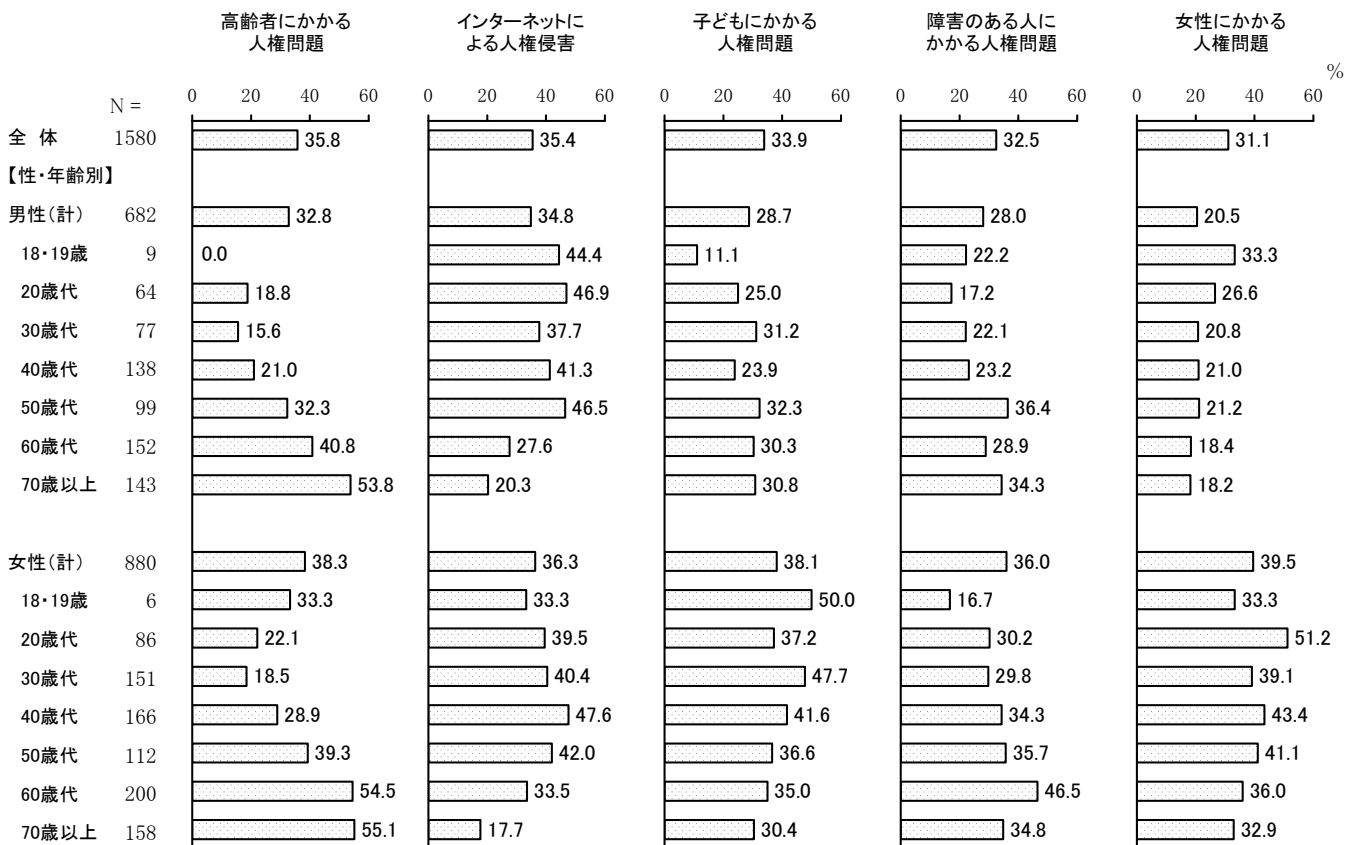
図6-4-2 時系列 関心のある人権問題



上位5項目を性・年齢別にみると、「高齢者にかかる人権問題」は男女ともにおおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向にある。「インターネットによる人権侵害」は、男性20歳代、50歳代、女性40歳代でいずれも50%近くと多くなっている。「子どもにかかる人権問題」は女性30歳代で50%近くと多くなっている。「障害のある人にかかる人権問題」は女性60歳代が40%半ばで多くなっている。「女性にかかる人権問題」は女性20歳代で50%を超えて多くなっている。

(図6-4-3)

図6-4-3 性・年齢別 関心のある人権問題

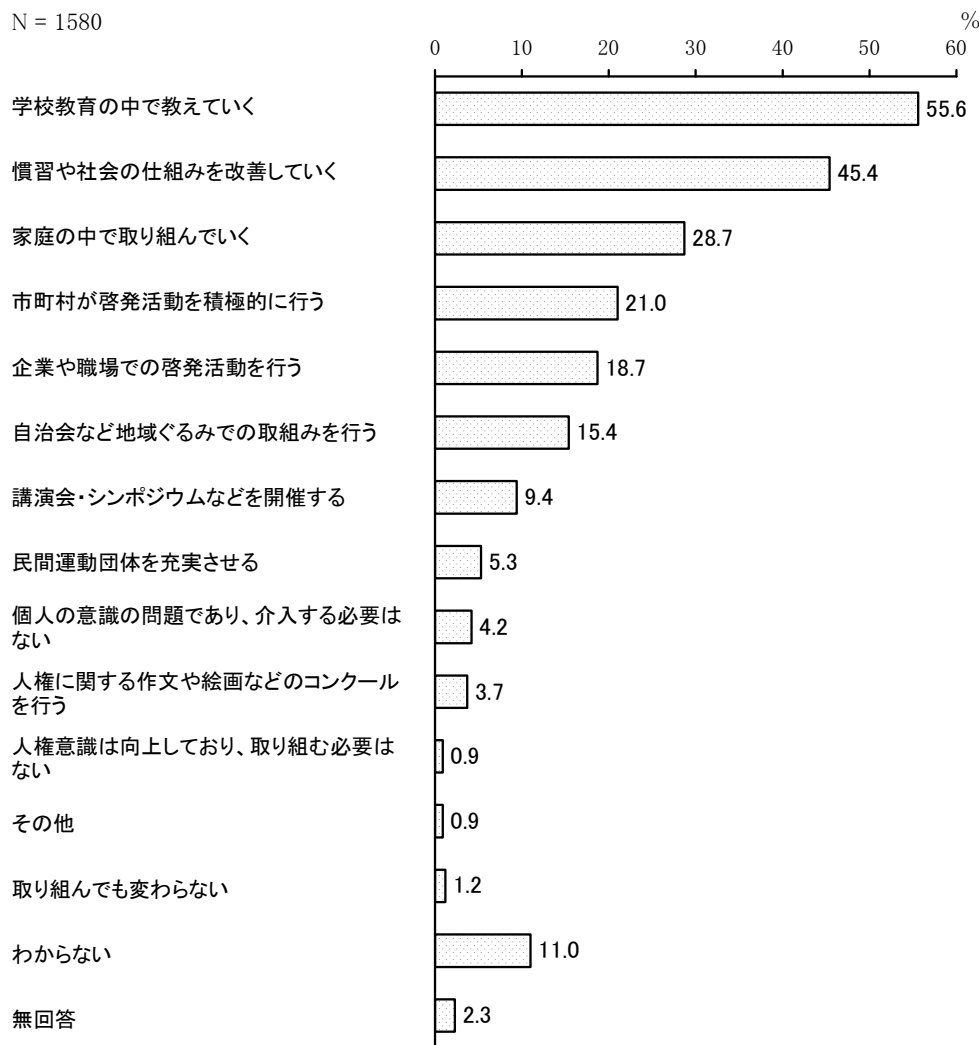


## 6-5 人権意識を高めていくために必要な取組

◇「学校教育の中で教えていく」が55.6%

問40 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取組が必要だとお考えですか。(〇はいくつでも)

図6-5-1

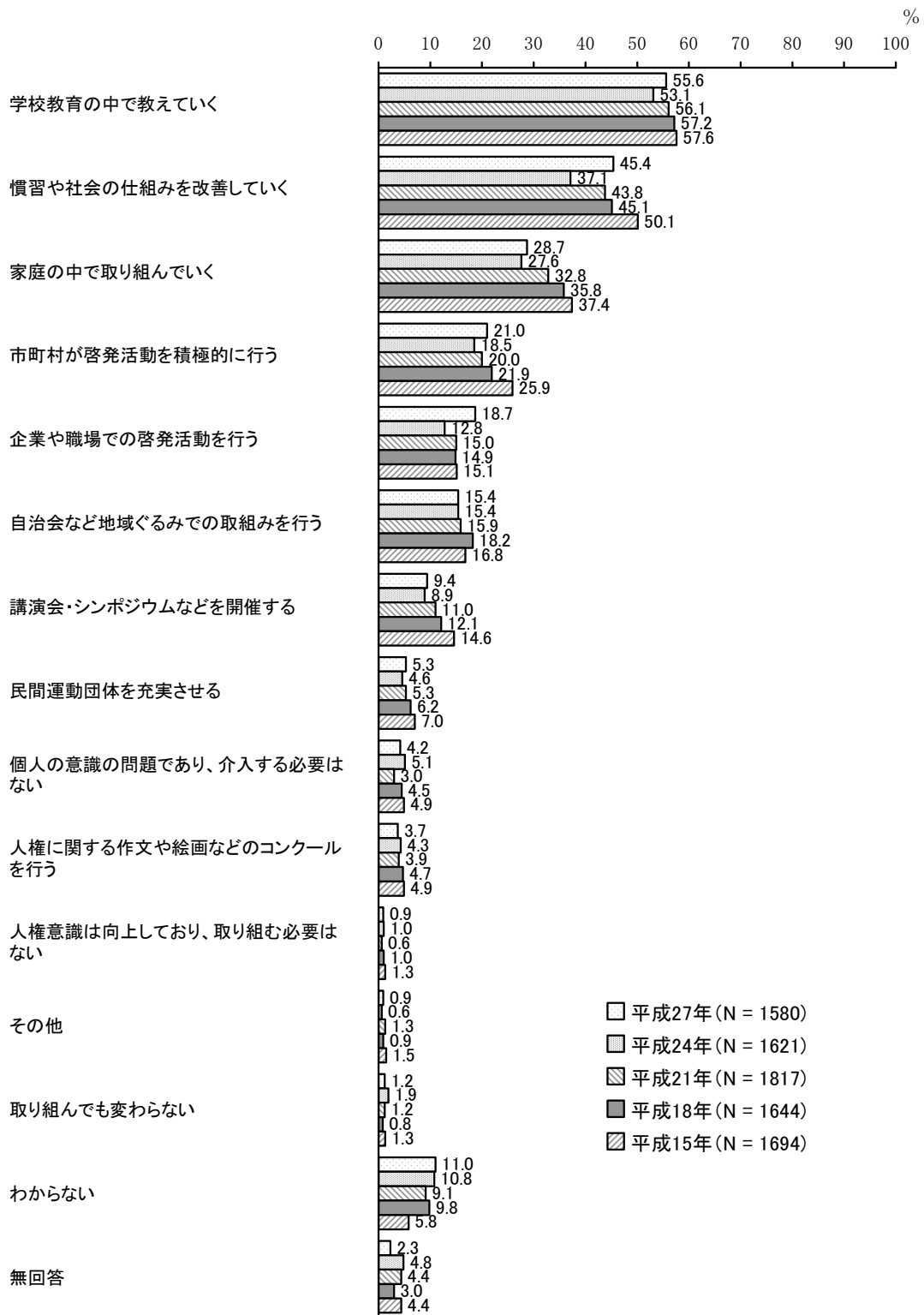


人権意識を高めていくために必要な取組をたずねたところ、「学校教育の中で教えていく」(55.6%)が最も多く、50%半ばとなっている。以下、「慣習や社会の仕組みを改善していく」(45.4%)、「家庭の中で取り組んでいく」(28.7%)、「市町村が啓発活動を積極的に行う」(21.0%)、「企業や職場での啓発活動を行う」(18.7%)、「自治会など地域ぐるみでの取組を行う」(15.4%)などの順となっている。(図6-5-1)

時系列でみると、「慣習や社会の仕組みを改善していく」は8.3ポイント、「企業や職場での啓発活動を行う」は5.9ポイント増加しているが、その他の項目では大きな変動はみられない。

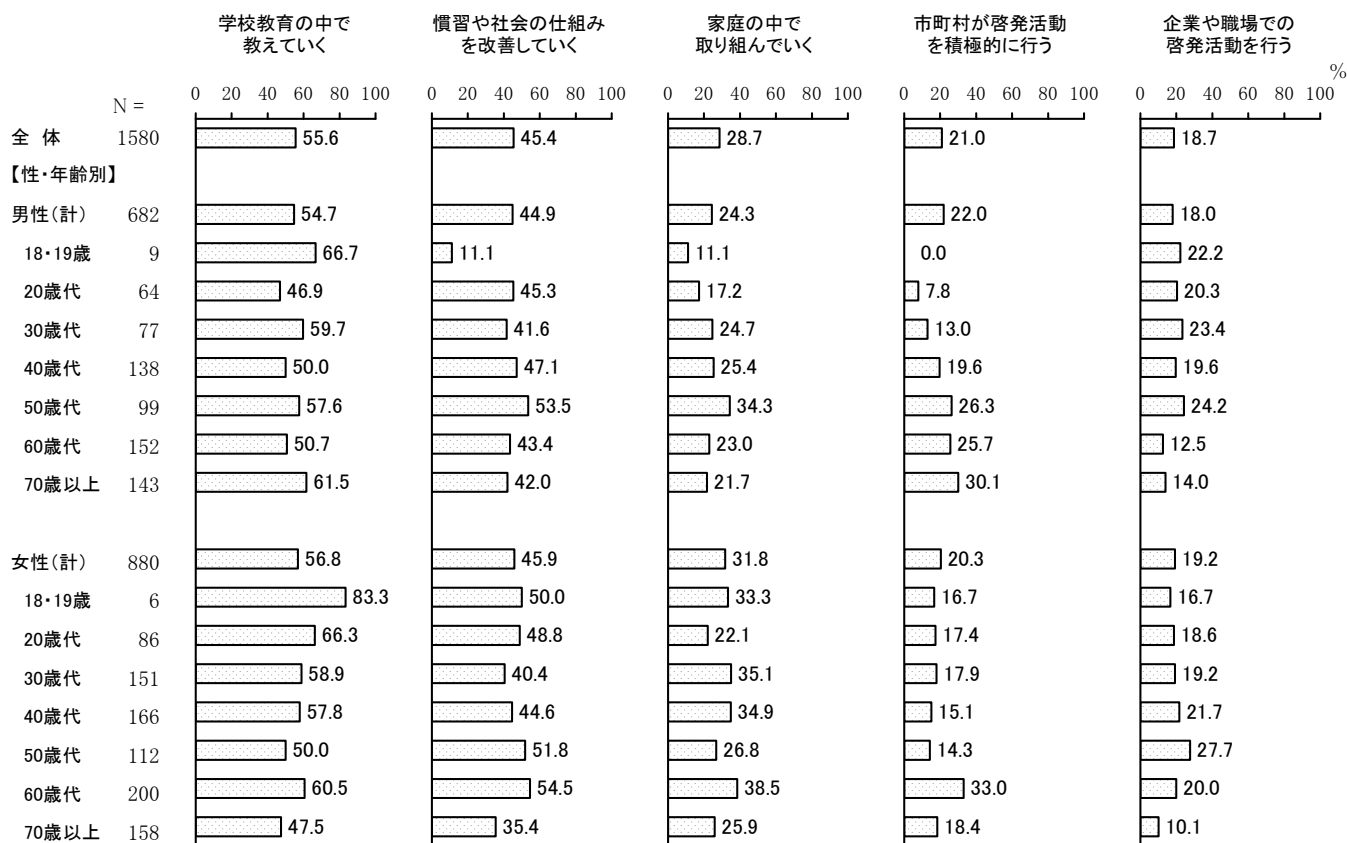
(図6-5-2)

図6-5-2 時系列 人権意識を高めるために必要な取組



上位5項目を性・年齢別にみると、「慣習や社会の仕組みを改善していく」は男性50歳代、女性50歳代、60歳代がいずれの年代も50%を超えて多くなっている。「市町村が啓発活動を積極的に行う」は男性で年代が高くなるほど割合が高くなっている。(図6-5-3)

図6-5-3 性・年齢別 人権意識を高めるために必要な取組

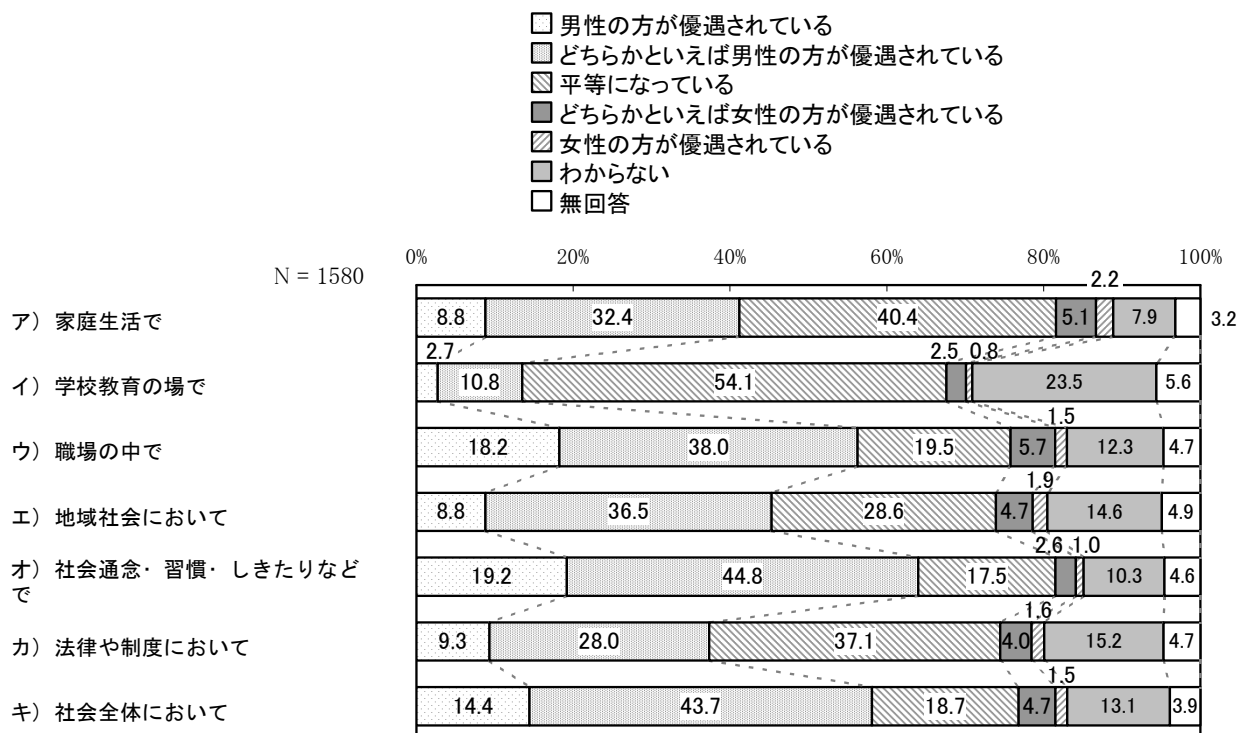


## 6-6 男女平等に関する意識

◇「平等になっている」は『学校教育の場で』が最も多く 54.1%

問41 あなたは、男女の地位が平等になっていると思いますか。各項目ごとに1つだけ選んでください。(〇は1つずつ)

図6-6-1



男女平等に関する意識をたずねたところ、「平等になっている」は『学校教育の場で』(54.1%)が最も多く、50%を超えている。以下、『家庭生活で』(40.4%)、『法律や制度において』(37.1%)などの順となっている。

「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた、<男性優遇>は、『社会通念・習慣・しきたりなどで』(64.0%)が最も多く、60%半ばとなっている。以下、『社会全体において』(58.1%)、『職場の中で』(56.2%)などの順となっている。

「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた、<女性優遇>は、すべての項目で10%未満となっている。(図6-6-1)

時系列でみると、『家庭生活で』では、＜男性優遇＞が減少傾向にある。

『学校教育の場で』では、「平等になっている」が50%前後で推移しており、大きな傾向の違いはみられない。

『職場の中で』では、＜男性優遇＞がおおむね減少傾向にある。

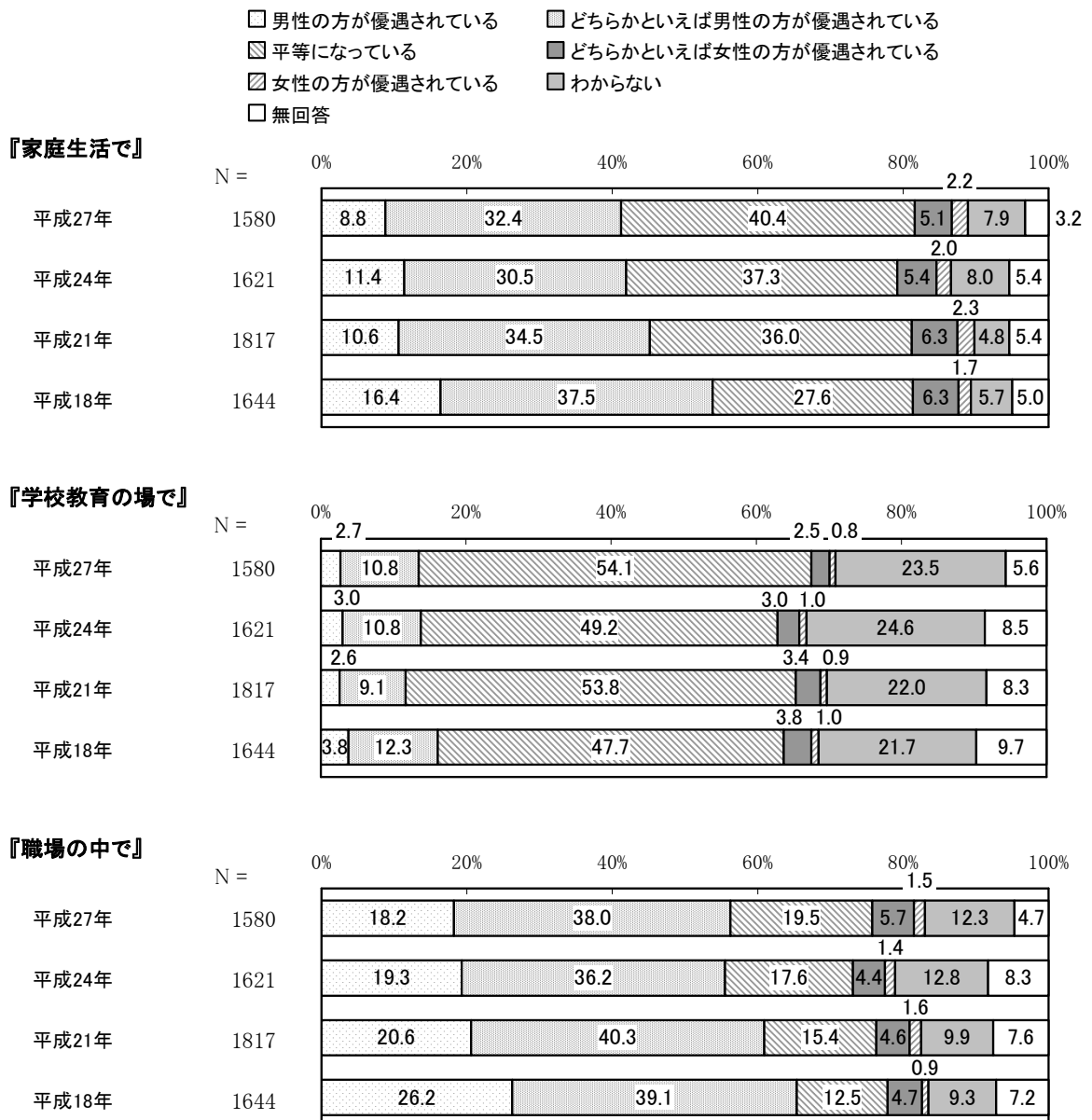
『地域社会において』では、平成21年以降＜男性優遇＞が40%前後で推移しており、大きな傾向の違いはみられない。

『社会通念・習慣・しきたりなどで』では、平成21年以降＜男性優遇＞が60%前後で推移しており、大きな傾向の違いはみられない。

『法律や制度において』では、＜男性優遇＞がやや増加し、前回調査と比べて4.2ポイント増加している。

『社会全体において』では、＜男性優遇＞がやや増加し、前回調査と比べて4.7ポイント増加している。(図6-6-2)

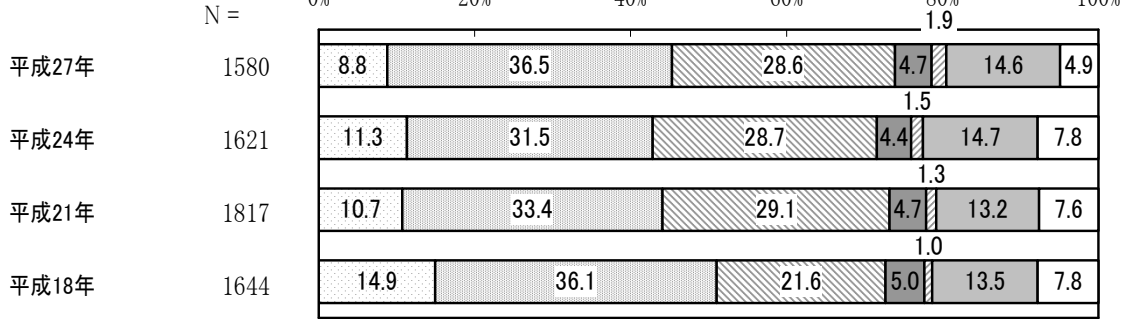
図6-6-2 時系列 男女平等に関する意識



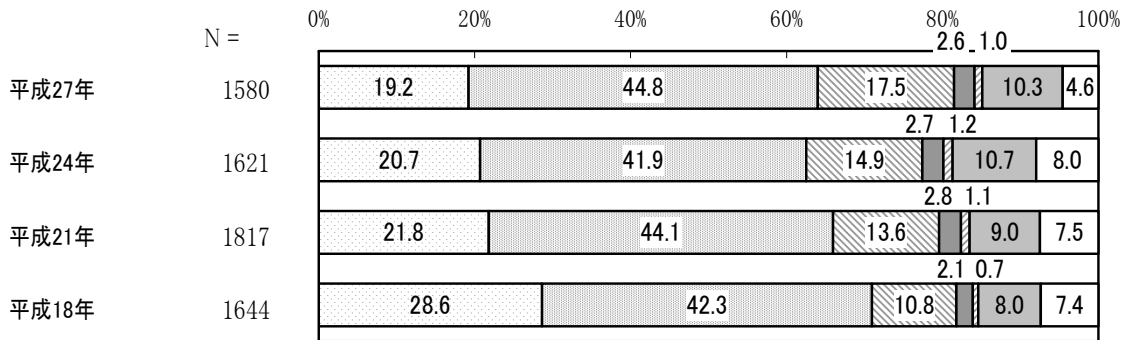


- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

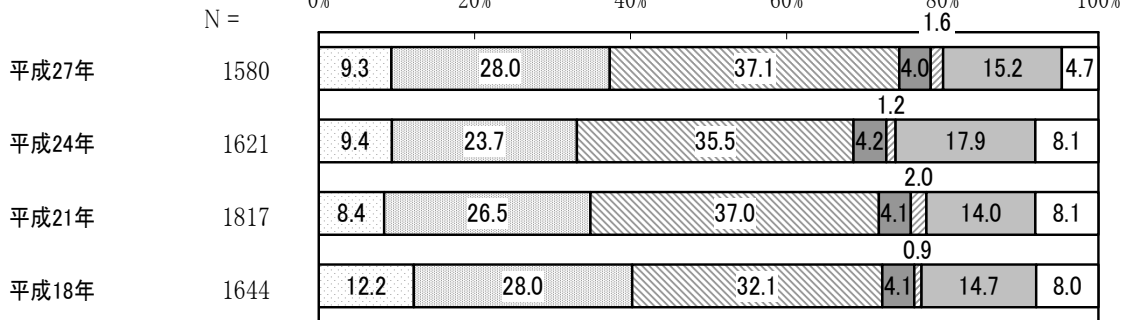
『地域社会において』



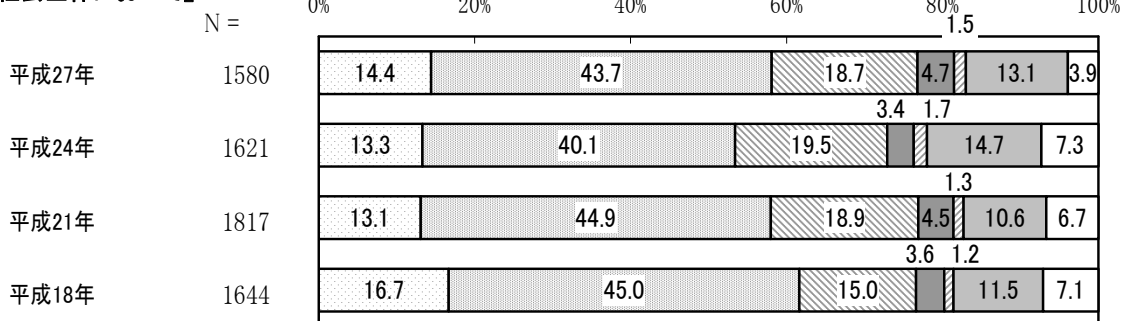
『社会通念・習慣・しきたりなどで』



『法律や制度において』



『社会全体において』



性・年齢別にみると、『家庭生活で』では、＜男性優遇＞は女性（48.5%）が男性（32.1%）より16.4ポイント高く、特に女性40歳代、50歳代がいずれも60%近くと多くなっている。

『学校教育の場で』では、「平等になっている」は男性50歳代と女性20歳代が60%を超えて多くなっている。＜男性優遇＞は女性40歳代が20%を超えている。

『職場の中で』では、＜男性優遇＞は女性（61.4%）が男性（50.2%）より11.2ポイント高く、特に女性50歳代、60歳代がどちらも70%を超えて多くなっている。

『地域社会において』では、＜男性優遇＞は女性（52.2%）が男性（36.6%）より15.6ポイント高く、特に女性50歳代が70%近くと多くなっている。

『社会通念・習慣・しきたりなどで』では、＜男性優遇＞は女性（68.6%）が男性（59.2%）より9.4ポイント高く、特に女性50歳代、60歳代が70%半ばで多くなっている。

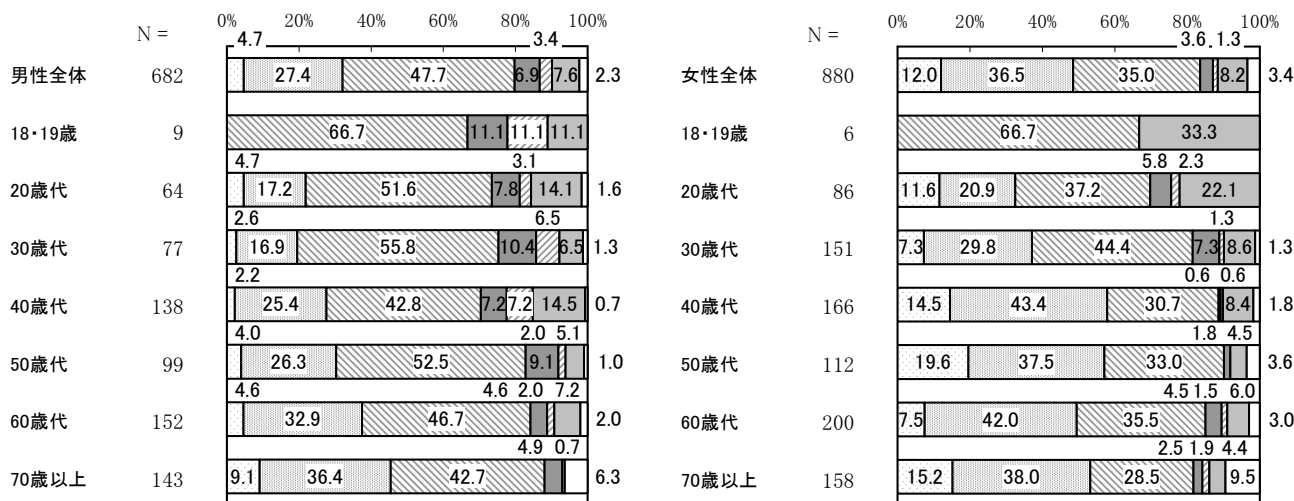
『法律や制度において』では、＜男性優遇＞は女性（45.7%）が男性（27.4%）より18.3ポイント高く、特に女性50歳代が60%近くで多くなっている。

『社会全体において』では、＜男性優遇＞は女性（65.2%）が男性（49.5%）より15.7ポイント高く、特に女性40歳代、50歳代がどちらも70%を超えて多くなっている。（図6-6-3）

図6-6-3 性・年齢別 男女平等に関する意識

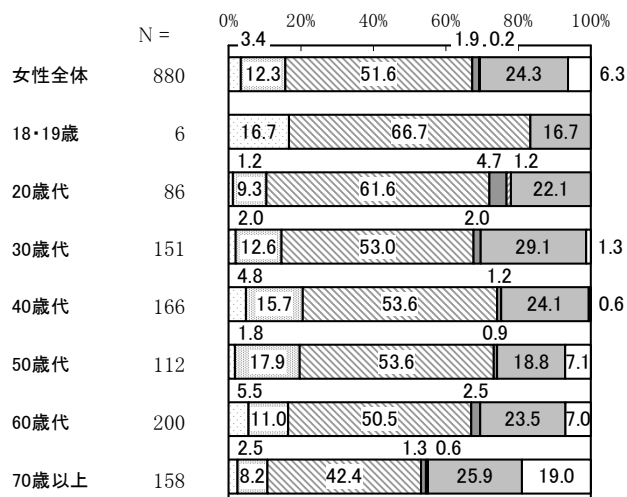
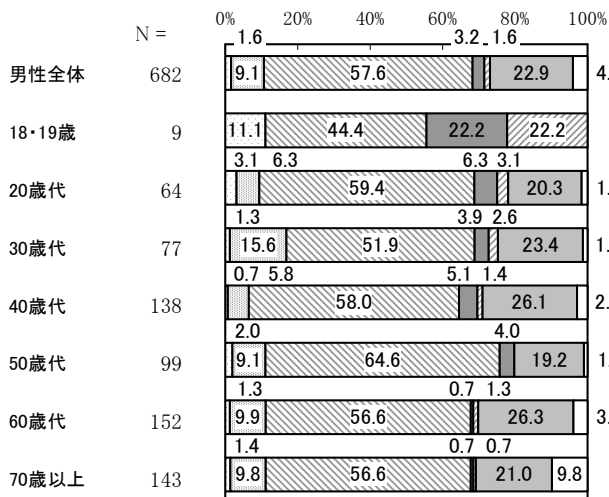
- 男性の方が優遇されている
- ▨ 平等になっている
- ▩ 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▩ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

『家庭生活で』

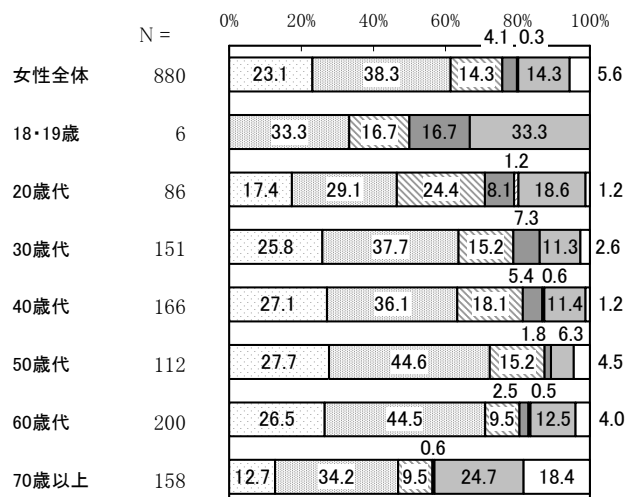
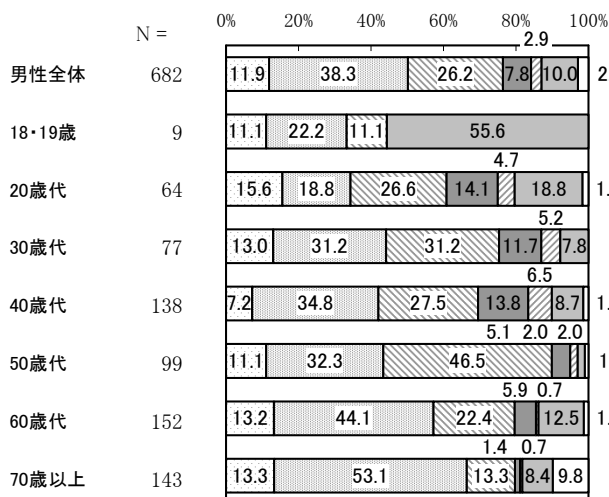


## 『学校教育の場で』

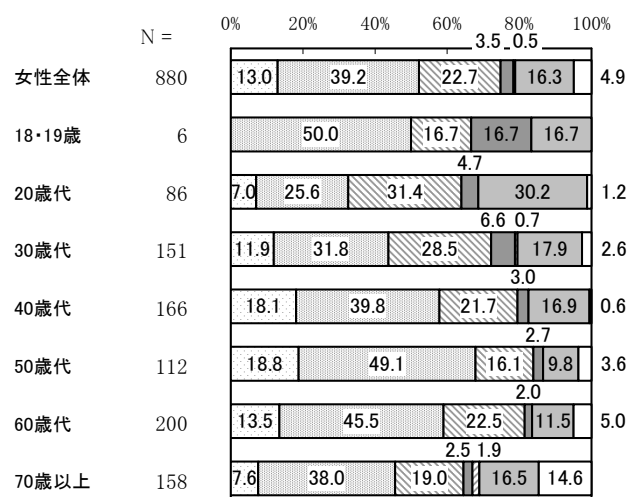
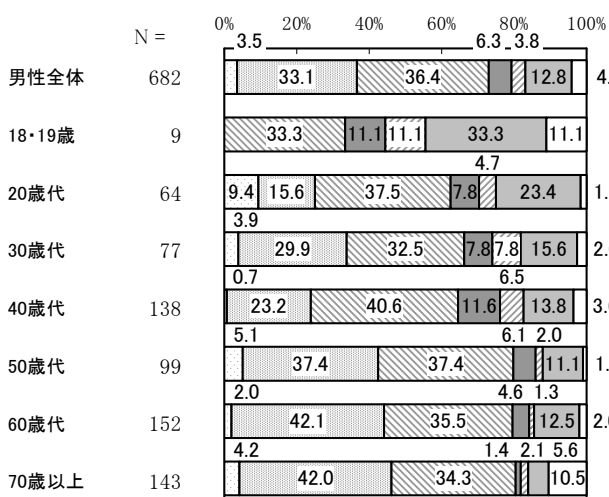
- 男性の方が優遇されている
- ▨ 平等になっている
- ▩ 女性の方が優遇されている
- 無回答
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▩ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない



## 『職場の中で』



## 『地域社会において』





「男は仕事、女は家庭」という考え方（問 42・149 ページ参照）別にみると、『家庭生活で』では、＜男性優遇＞は、“そう思う”（49.5%）が“そう思わない”（42.4%）より 7.1 ポイント高くなっている。

『学校教育の場で』では、＜男性優遇＞は、“そうは思わない”（16.4%）が“そう思う”（11.7%）より 4.7 ポイント高くなっている。

『職場の中で』では、「平等になっている」は、“そうは思わない”（21.4%）が“そう思う”（13.3%）より 8.1 ポイント高くなっている。

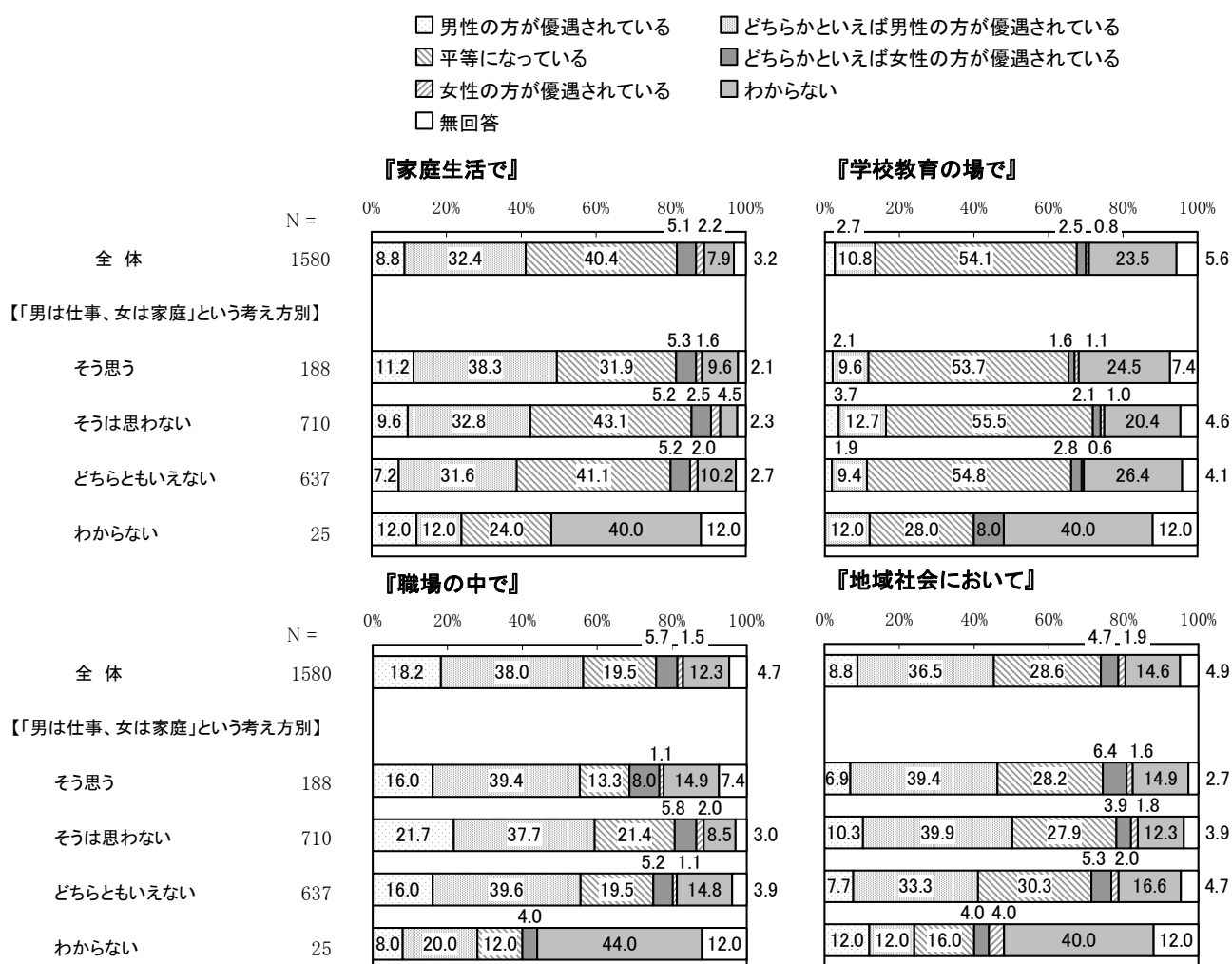
『地域社会において』では、考え方の違いによる大きな傾向の違いはみられない。

『社会通念・習慣・しきたりなどで』では、＜男性優遇＞は、“そうは思わない”（67.9%）が“そう思う”（60.1%）より 7.8 ポイント高くなっている。

『法律や制度において』では、＜男性優遇＞は、“そうは思わない”（42.4%）が“そう思う”（31.4%）より 11.0 ポイント高くなっている。

『社会全体において』では、＜男性優遇＞は、“そうは思わない”（64.0%）が“そう思う”（59.0%）より 5.0 ポイント高くなっている。（図 6-6-4）

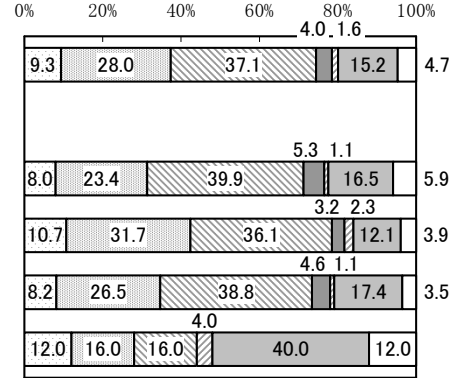
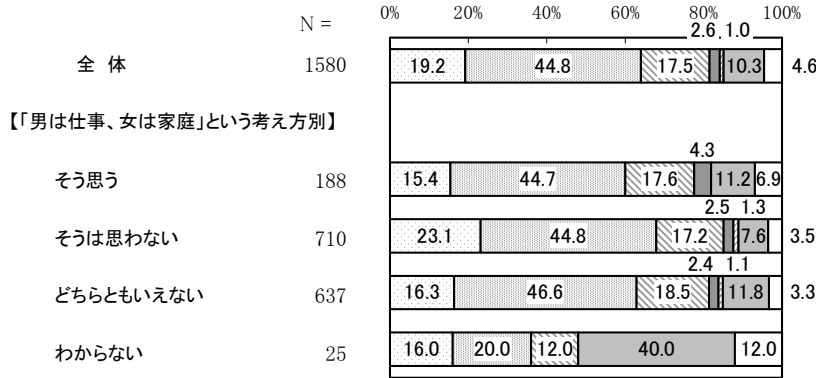
図 6-6-4 「男は仕事、女は家庭」という考え方別 男女平等に関する意識



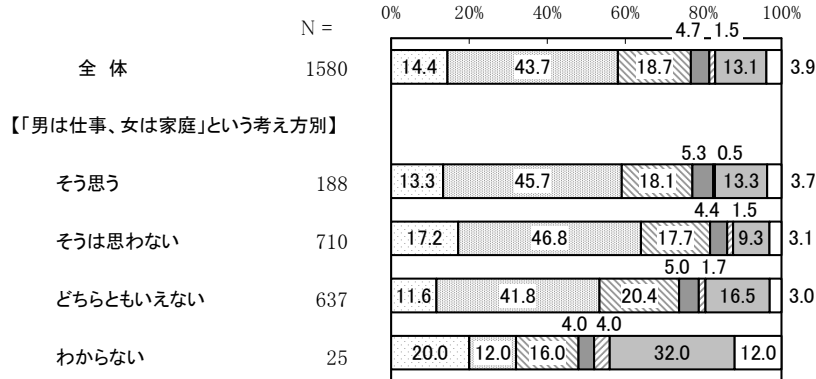
- 男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- 女性の方が優遇されている
- 無回答
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない

『社会通念・習慣・しきたりなどで』

『法律や制度において』



『社会全体において』

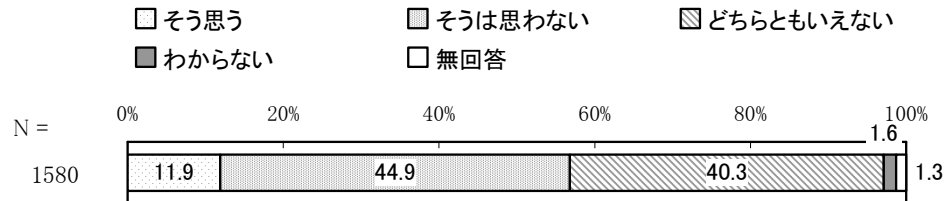


## 6-7 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

◇「そうは思わない」は44.9%、「そう思う」は11.9%

問42 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

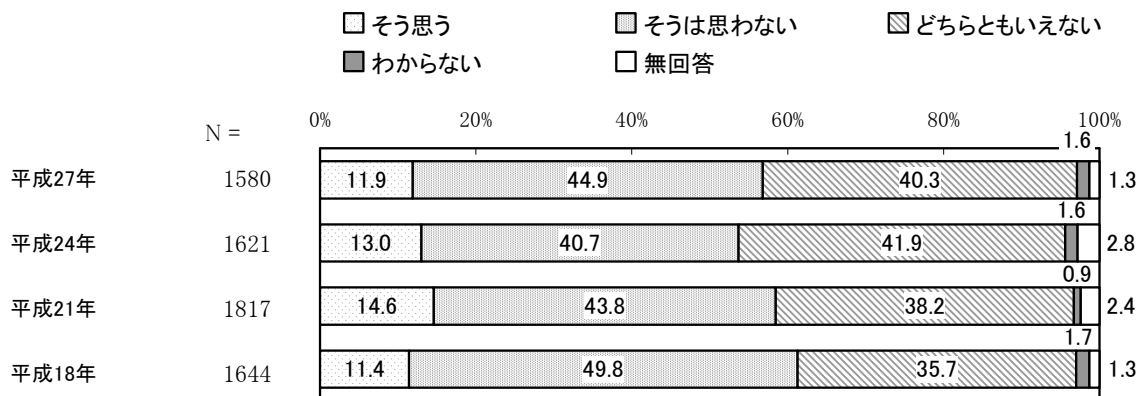
図6-7-1



「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うかたずねたところ、「そうは思わない」(44.9%)と「どちらともいえない」(40.3%)がともに40%を超えている。「そう思う」(11.9%)は10%を超えている。(図6-7-1)

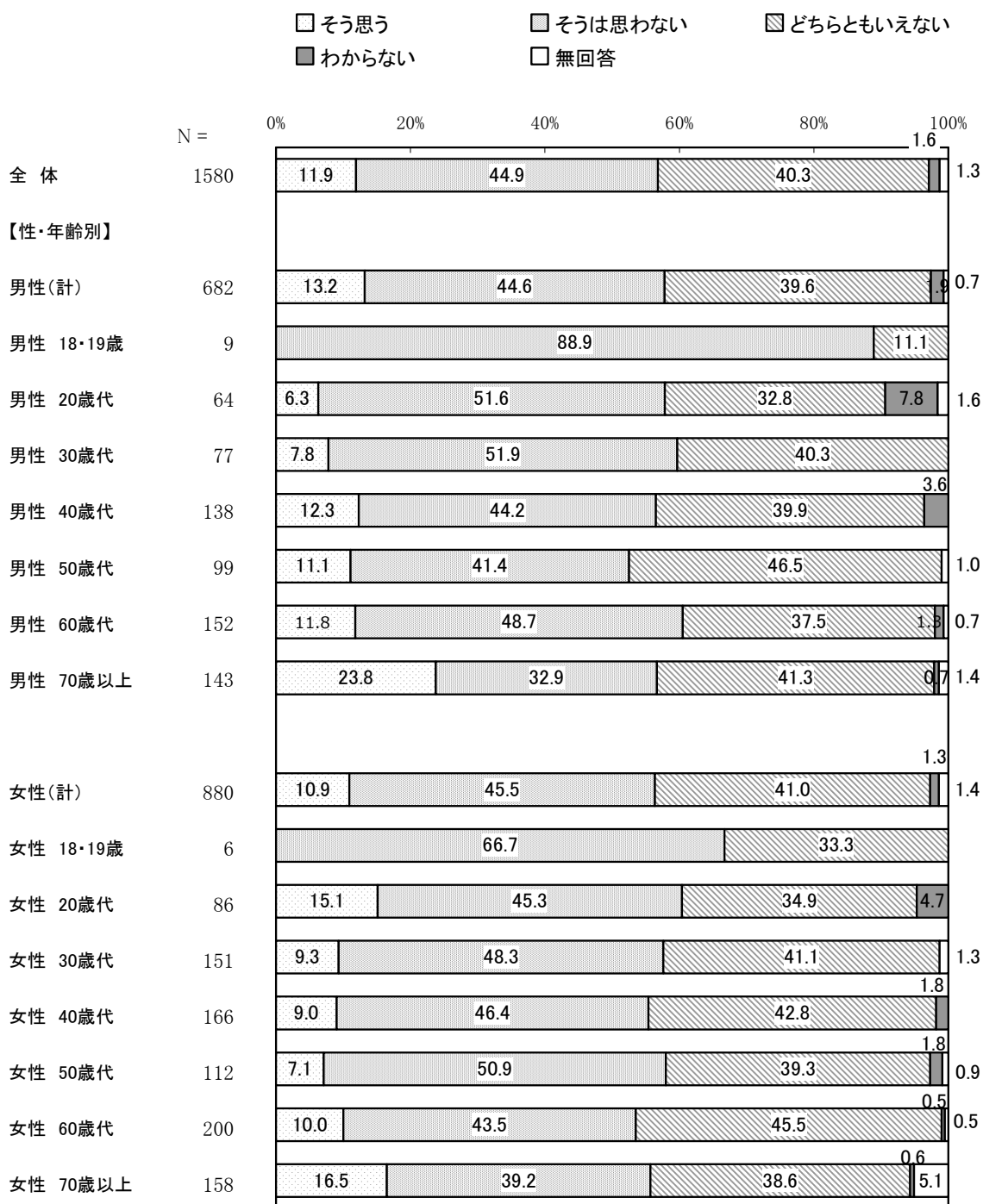
時系列でみると、「そうは思わない」は平成24年から増加し、前回調査から4.2ポイント増加している。(図6-7-2)

図6-7-2 時系列 「男は仕事、女は家庭」という考え方について



性・年齢別にみると、「そうは思わない」は男性 20 歳代、30 歳代がともに 50%を超えて多くなっている。「そう思う」は男性 70 歳以上が 20%を超えて多くなっている。(図 6-7-3)

図 6-7-3 性・年齢別 「男は仕事、女は家庭」という考え方について



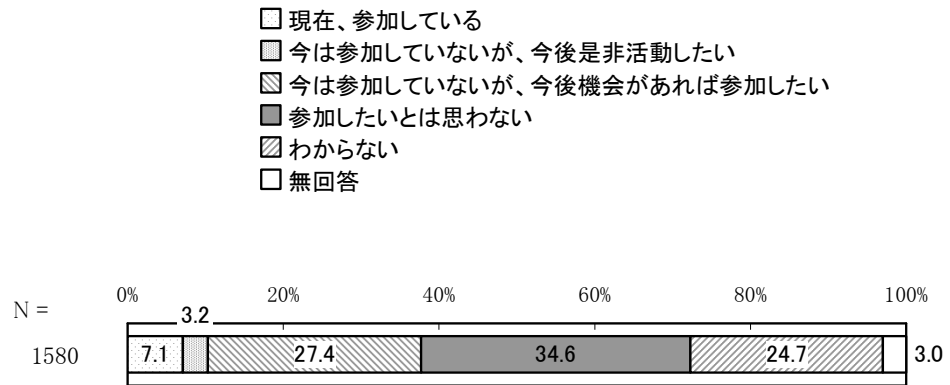


## 6-8 市民活動への参加意向

◇「参加したいとは思わない」が34.6%

問43 ①あなたは、市民活動に参加したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

図6-8-1

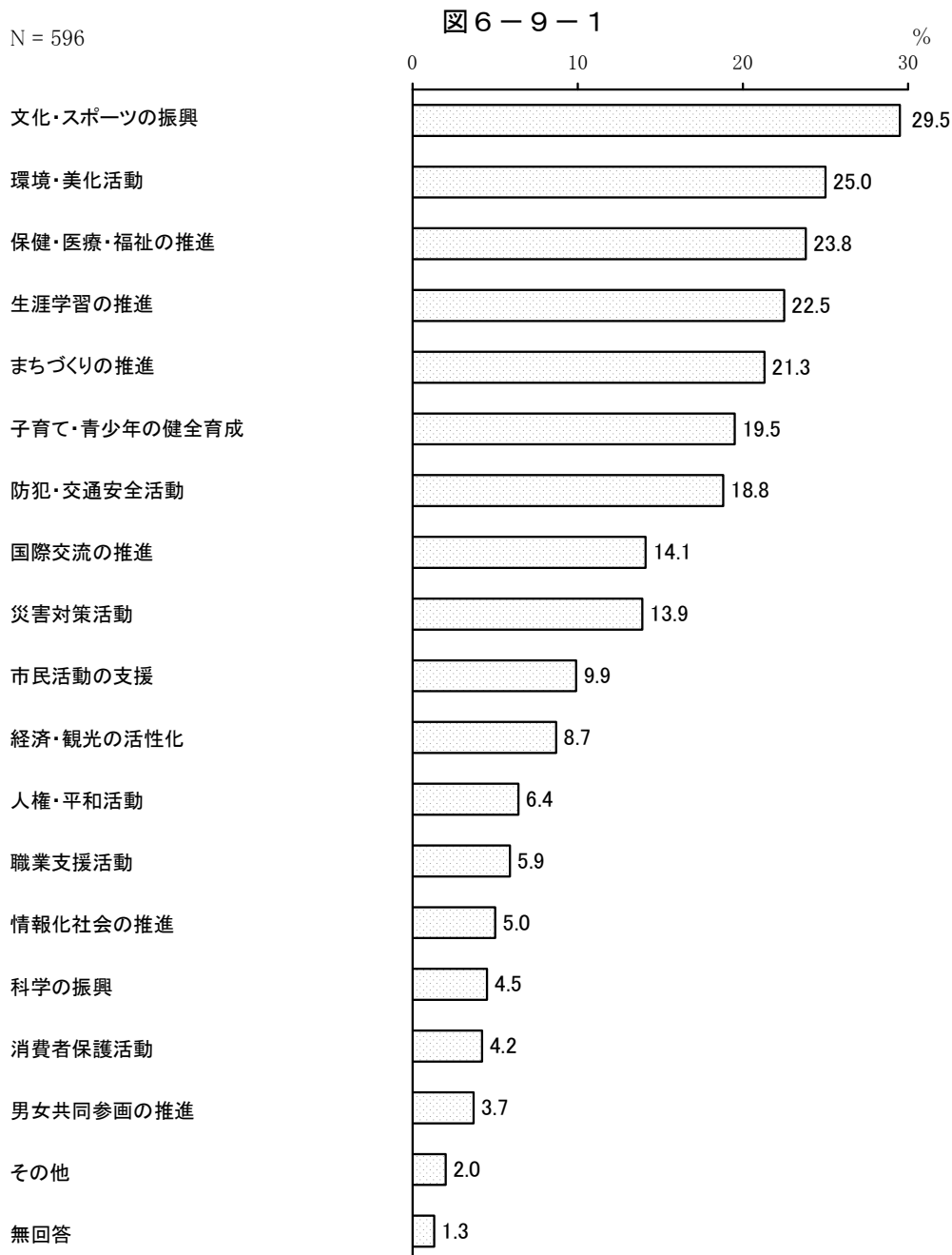


市民活動への参加意向についてたずねたところ、「参加したいとは思わない」(34.6%)が30%半ばと最も多く、以下、「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」(27.4%)、「現在、参加している」(7.1%)、「今は参加していないが、今後是非活動したい」(3.2%)の順となっている。(図6-8-1)

## 6-9 参加したい公益活動の分野

◇「文化・スポーツの振興」が29.5%

② ①で1. ~3. と答えた方におたずねします。あなたが参加している、または参加したいと思う公益活動の分野をお選びください。(〇はいくつでも)



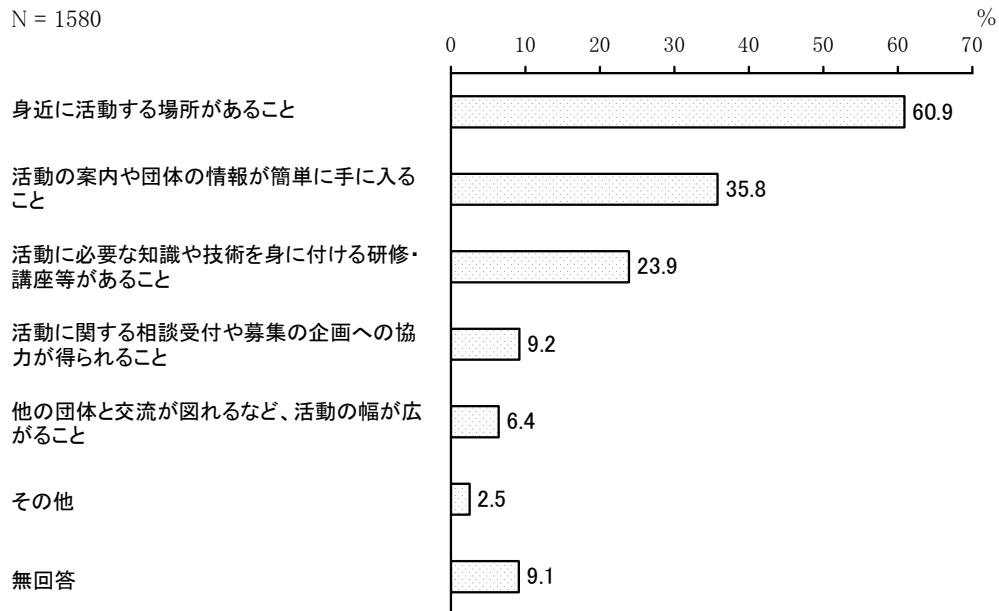
問43①で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後は是非活動したい」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えた人(596人)に参加したい公益活動の分野をたずねたところ、「文化・スポーツの振興」(29.5%)が最も多く30%近くとなっており、以下、「環境・美化活動」(25.0%)、「保健・医療・福祉の推進」(23.8%)、「生涯学習の推進」(22.5%)、「まちづくりの推進」(21.3%)などの順となっている。(図6-9-1)

## 6-10 市民活動のために必要な支援

◇「身近に活動する場所があること」が60.9%

問44 市民活動を行う、または参加する場合、どのような支援があればよいと思いますか。次の中から2つだけ選んでください。(○は2つ以内)

図6-10-1



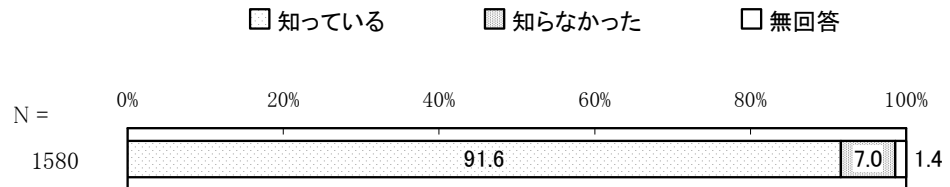
市民活動のために必要な支援をたずねたところ、「身近に活動する場所があること」(60.9%)が最も多く60%を超えており、以下、「活動の案内や団体の情報が簡単に手に入ること」(35.8%)、「活動に必要な知識や技術を身に付ける研修・講座等があること」(23.9%)、「活動に関する相談受付や募集の企画への協力が得られること」(9.2%)、「他の団体と交流が図れるなど、活動の幅が広がること」(6.4%)の順となっている。(図6-10-1)

## 6-11 市民センター・連絡所での手続きの認知度

◇「知っている」が91.6%

問45 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑の登録、また住所変更（転入・転出など）や戸籍の届出（婚姻・出生など）は、市役所本庁舎以外にも、各市民センター（旧出張所）・連絡所でも手続きができることをご存知ですか。

図6-11-1



市民センター・連絡所での手続きの認知度をたずねたところ、「知っている」(91.6%)が90%を超えて多くなっている。「知らなかった」(7.0%)は10%未満となっている。(図6-11-1)

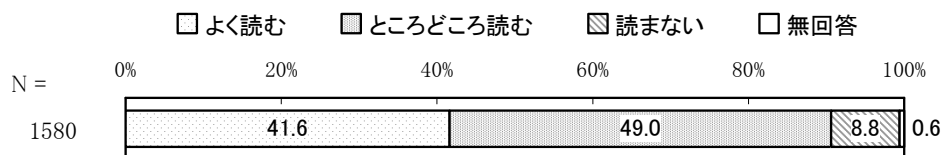
## 7 市政全般

### 7-1 「広報川越」の閲覧状況

◇「読む」は90.6%

問 46 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。(○は1つ)

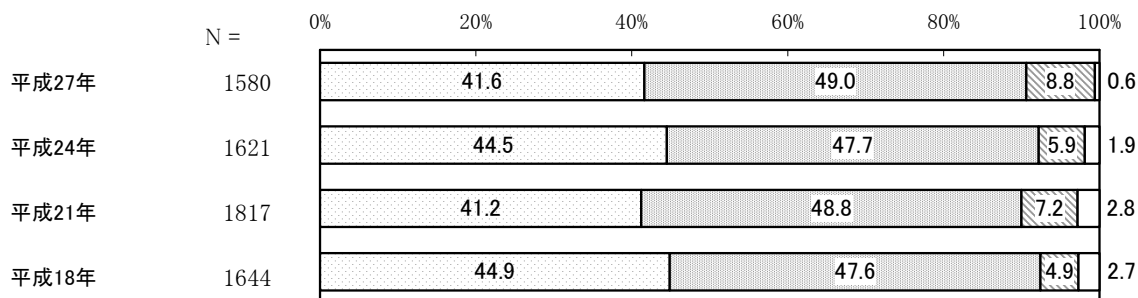
図7-1-1



「広報川越」の閲覧状況をたずねたところ、「よく読む」(41.6%)と「ところどころ読む」(49.0%)を合わせた<読む>(90.6%)は90%を超えている。また、「読まない」は8.8%となっている。(図7-1-1)

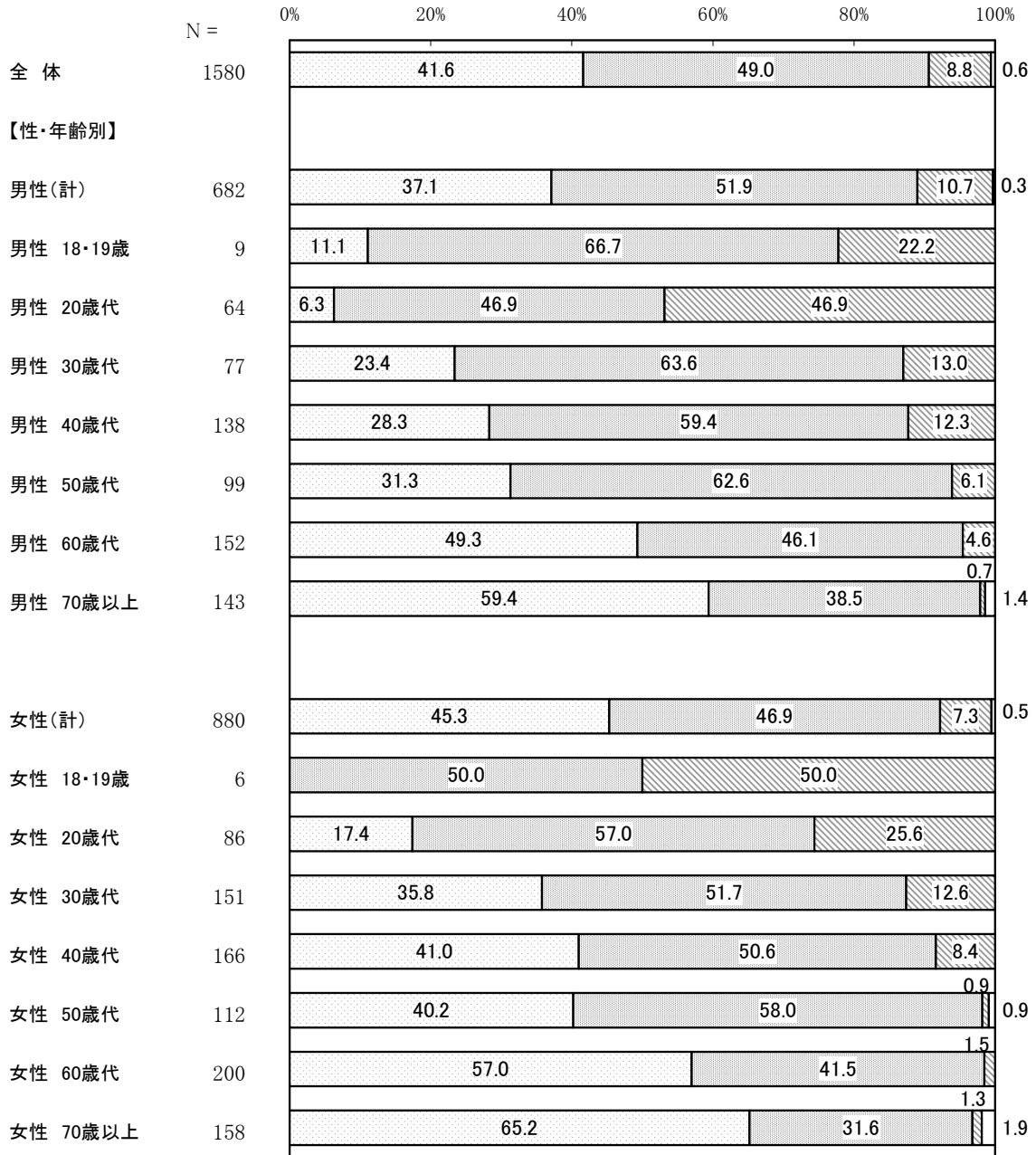
時系列でみると、大きな傾向の違いはみられない。(図7-1-2)

図7-1-2 時系列 「広報川越」の閲覧状況



性・年齢別にみると、「よく読む」は高い年代ほど割合が高くなっており、女性 70 歳以上が 60% 半ば、男性 70 歳以上と女性 60 歳代がともに 60% 近くとなっている。「読まない」は男性 20 歳代が 50% 近くと多くなっている。(図 7-1-3)

図 7-1-3 性・年齢別 「広報川越」の閲覧状況

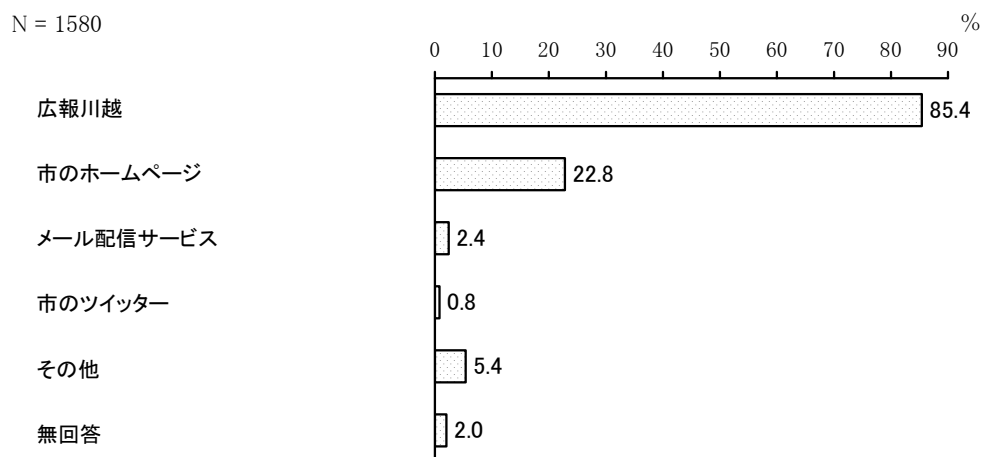


## 7-2 市の情報の入手方法

◇「広報川越」が85.4%

問47 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(〇はいくつでも)

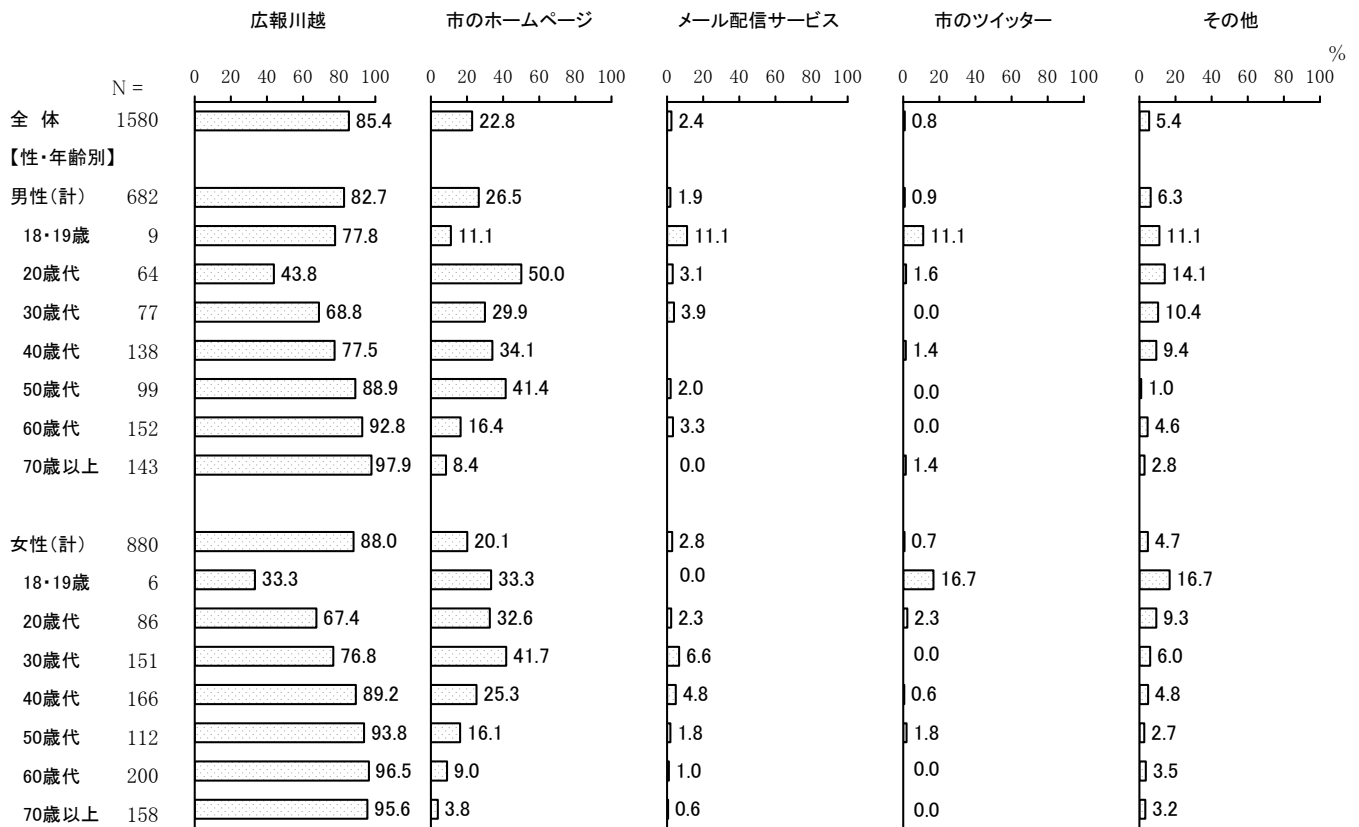
図7-2-1



市の情報の入手方法をたずねたところ、「広報川越」(85.4%)が最も多く、80%半ばとなっている。以下、「市のホームページ」(22.8%)、「メール配信サービス」(2.4%)、「市のツイッター」(0.8%)の順となっている。(図7-2-1)

性・年齢別にみると、「広報川越」は男性の60歳代以上、女性の50歳代以上の年代がいずれも90%台となっている。「市のホームページ」は女性30歳代、男性20歳代と50歳代が40%を超えて多くなっている。(図7-2-2)

図7-2-2



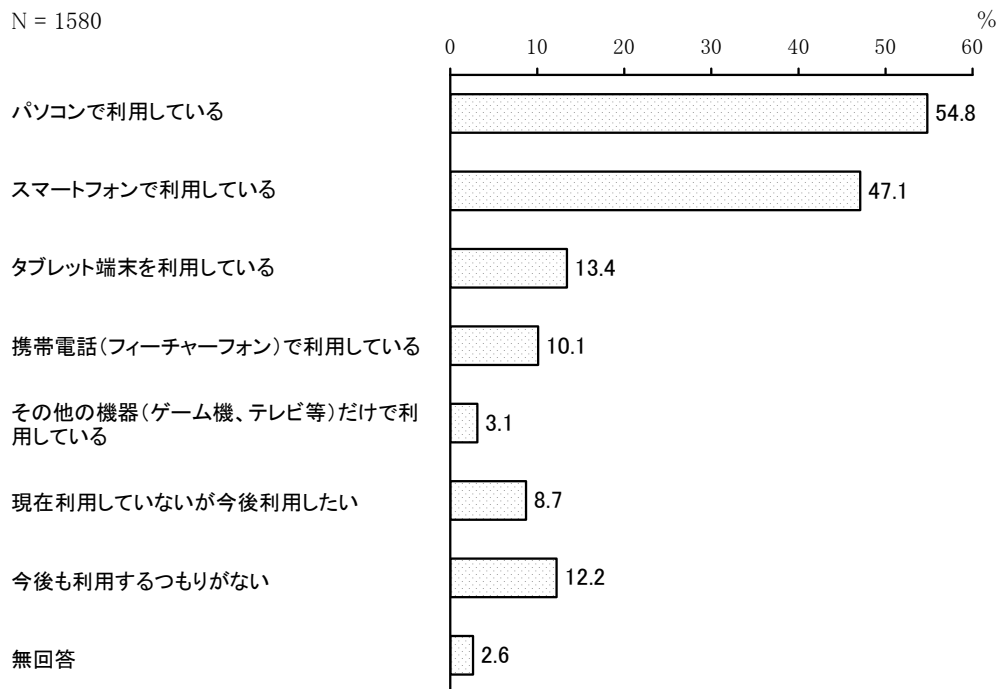


### 7-3 インターネット利用状況

◇<利用している>が76.5%

問48 あなたは、自宅・職場・学校などでインターネットを利用していますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

図7-3-1

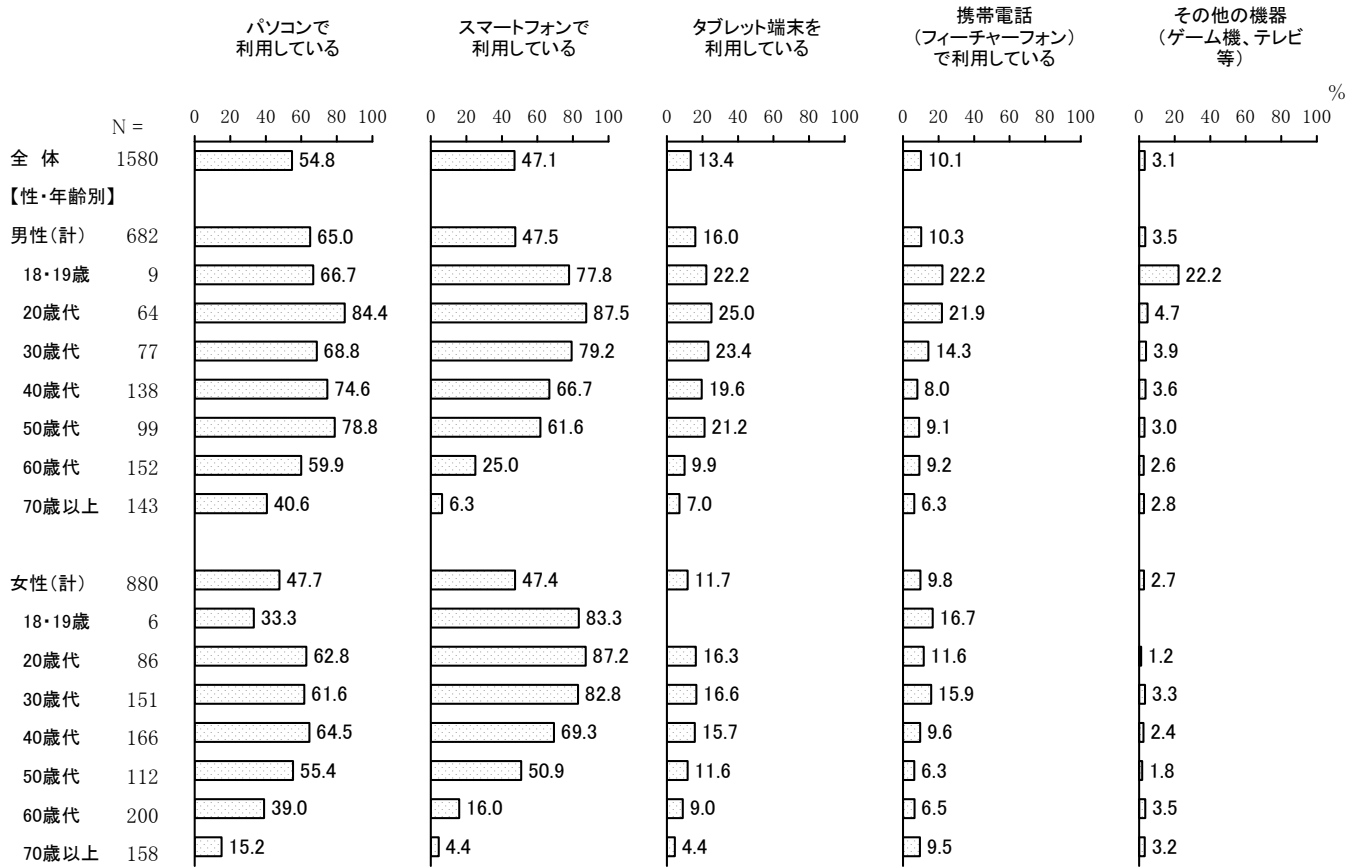


インターネットの利用状況をたずねたところ、「パソコンで利用している」(54.8%)が最も多く、50%半ばとなっている。以下、「スマートフォンで利用している」(47.1%)、「タブレット端末を利用している」(13.4%)、「携帯電話(フィーチャーフォン)で利用している」(10.1%)、「その他の機器(ゲーム機、テレビ等)だけで利用している」(3.1%)の順となっている。「現在利用していないが今後利用したい」と「今後も利用するつもりがない」、無回答を除いた<インターネットを利用している>は76.5%となっている。

また、「今後も利用するつもりがない」(12.2%)は10%を超えており、「現在利用していないが今後利用したい」(8.7%)は10%未満となっている。(図7-3-1)

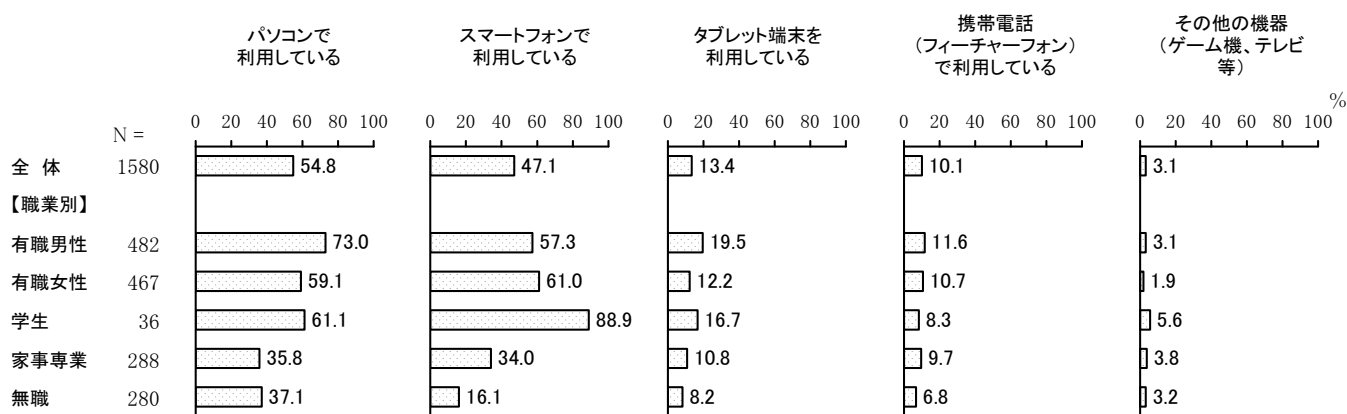
性・年齢別にみると、「スマートフォンで利用している」は年齢が低くなるにつれ利用している割合が高くなっている。「タブレット端末を利用している」は、男性20歳代、30歳代がともに20%を超えて多くなっている。(図7-3-2)

図7-3-2 性・年齢別 インターネット利用状況



職業別にみると、「パソコンで利用している」は有職男性が70%を超えており、「スマートフォンで利用している」は学生が90%近くとなっている。(図7-3-3)

図7-3-3 職業別 インターネット利用状況

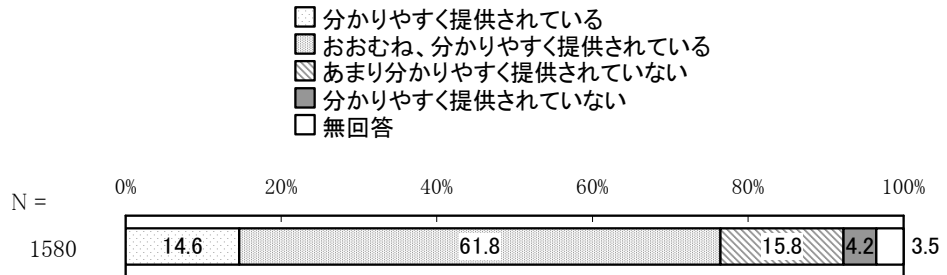


## 7-4 市の情報提供に対する満足度

◇＜分かりやすく提供されている＞が 76.4%

問 49 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)

図 7-4-1



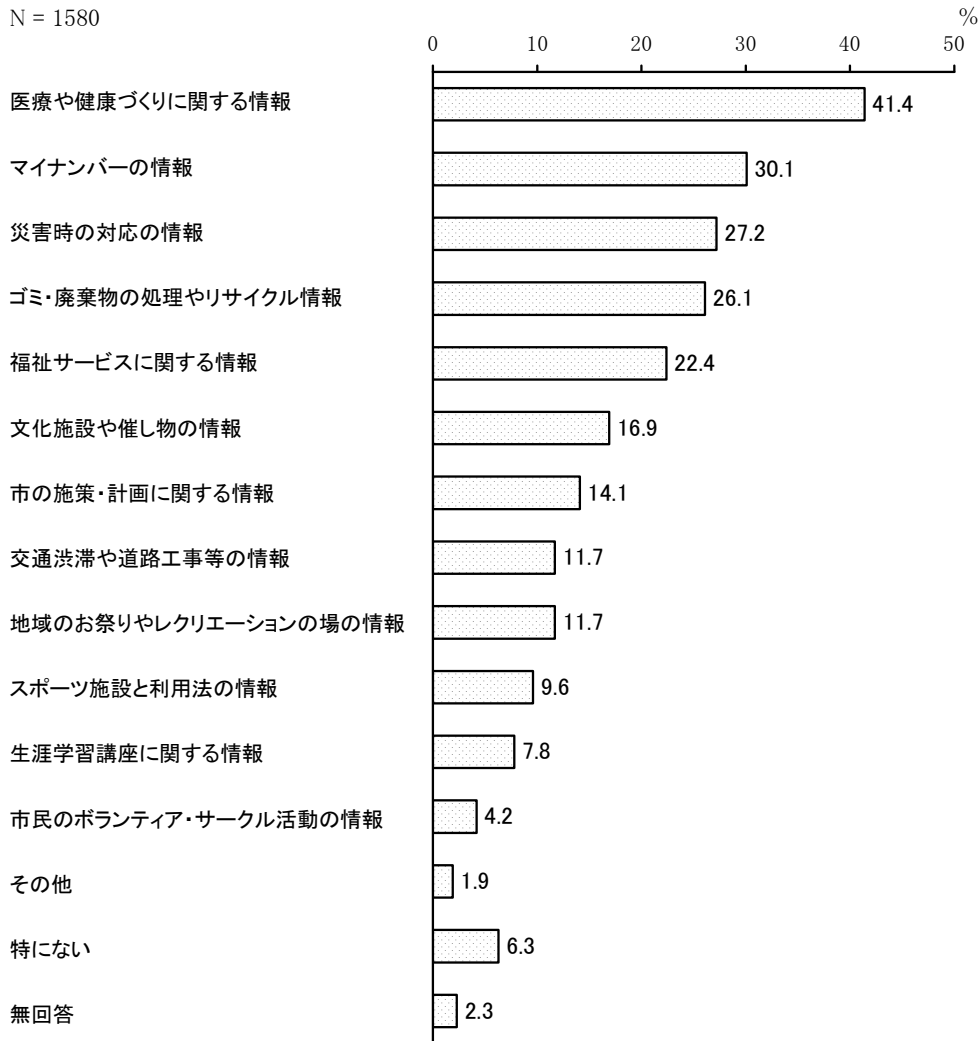
市の情報提供に対する満足度についてたずねたところ、「分かりやすく提供されている」(14.6%)と「おおむね、分かりやすく提供されている」(61.8%)をあわせたく分かりやすく提供されている>(76.4%)が70%半ばとなっている。(図7-4-1)

## 7-5 必要な市の行政情報

◇「医療や健康づくりに関する情報」が41.4%

問50 あなたが今必要としている市からの情報は何か。次の中から3つ以内で選んでください。(〇は3つ以内)

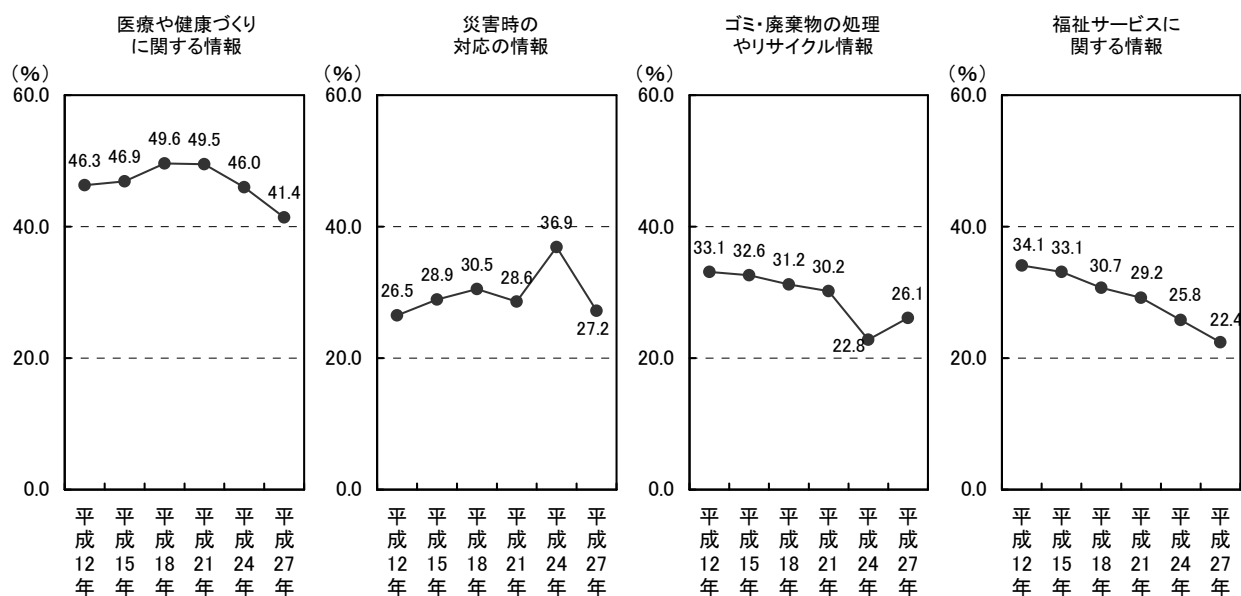
図7-5-1



必要な市の行政情報をたずねたところ、「医療や健康づくりに関する情報」(41.4%)が最も多く、40%を超えている。以下、「マイナンバーの情報」(30.1%)、「災害時の対応の情報」(27.2%)、「ゴミ・廃棄物の処理やリサイクル情報」(26.1%)、「福祉サービスに関する情報」(22.4%)などの順となっている。(図7-5-1)

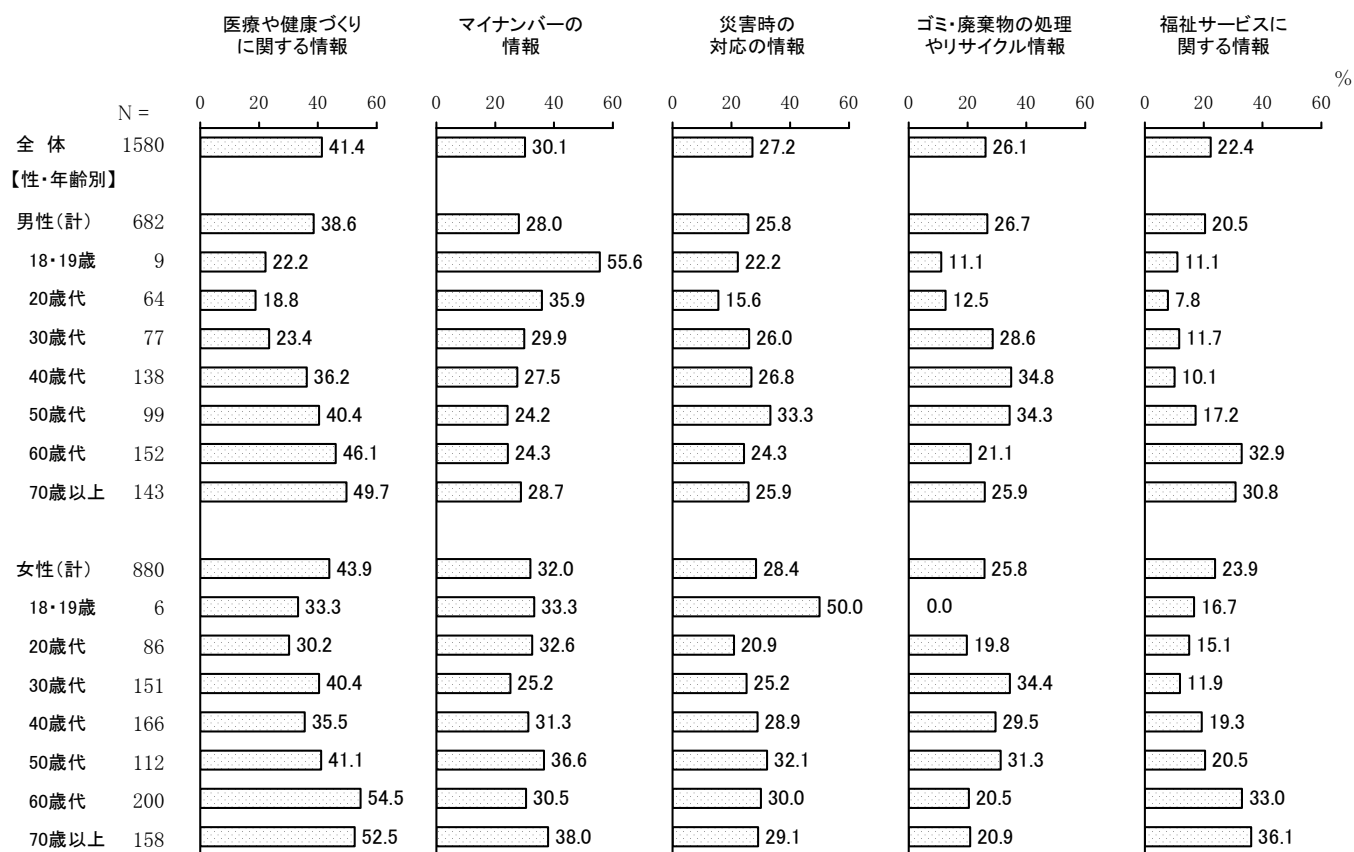
「マイナンバーの情報」を除く上位4項目について時系列でみると、「災害時の対応の情報」は前回調査と比べて9.7ポイント減少している。一方、「ゴミ・廃棄物の処理やリサイクル情報」は前回調査と比べて3.3ポイント増加している。「福祉サービスに関する情報」は減少傾向となっている。(図7-5-2)

図7-5-2 時系列 必要な市の行政情報



上位5項目を性・年齢別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」はおおむね年齢がたかくなるにつれ割合が高くなっている。「福祉サービスに関する情報」は男女とも60歳代と70歳以上が30%を超えて多くなっている。(図7-5-3)

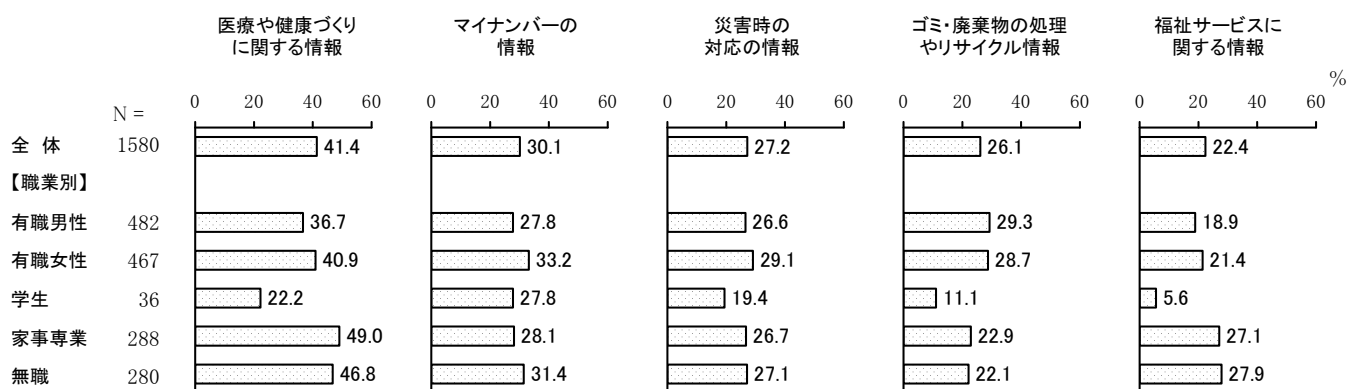
図7-5-3 性・年齢別 必要な市の行政情報



上位5項目を職業別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」は家事専業、無職が50%近くとなっている。「ゴミ・廃棄物の処理やリサイクル情報」は有職男性、有職女性が30%近くとなっている。「福祉サービスに関する情報」は家事専業、無職が30%近くとなっている。

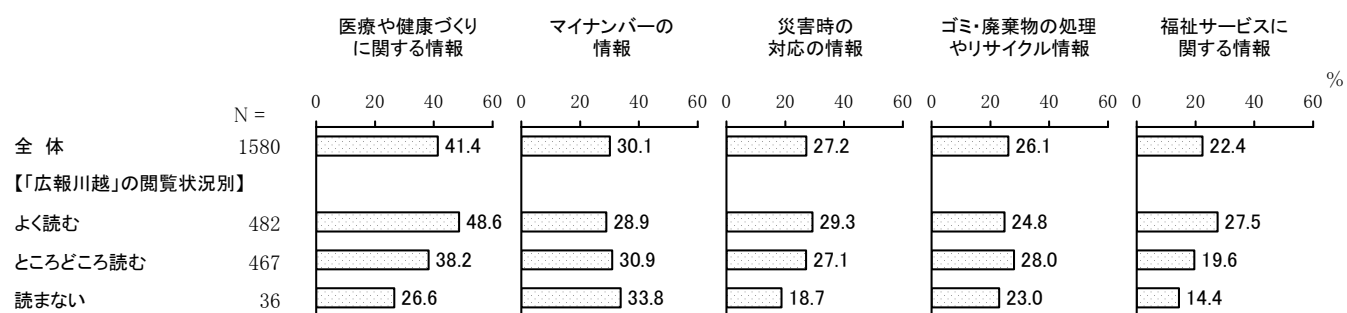
(図7-5-4)

図7-5-4 職業別 必要な市の行政情報



上位5項目を「広報川越」の閲覧状況（問46・155ページ参照）別にみると、「医療や健康づくりに関する情報」、「災害時の対応の情報」、「福祉サービスに関する情報」の各項目は、「広報川越」の閲覧頻度が高い人ほど割合が高くなる傾向にある。また、「マイナンバーの情報」は「広報川越」の閲覧頻度が低い人ほど割合が高くなる傾向にある。（図7-5-5）

図7-5-5 「広報川越」の閲覧状況別 必要な市の行政情報



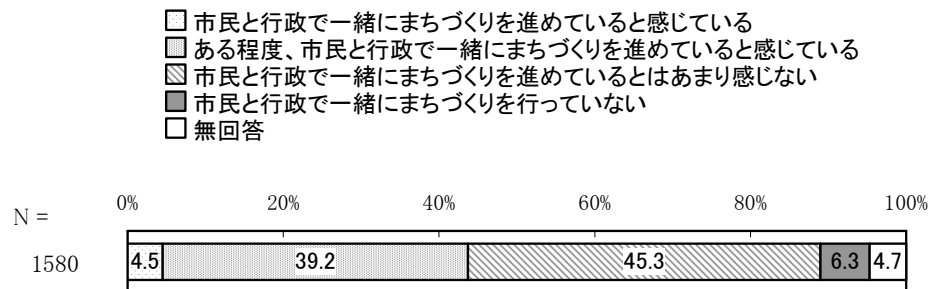


## 7-6 市民・行政が協働したまちづくりの実感

◇「市民と行政と一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない」が45.3%

問51 市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)

図7-6-1



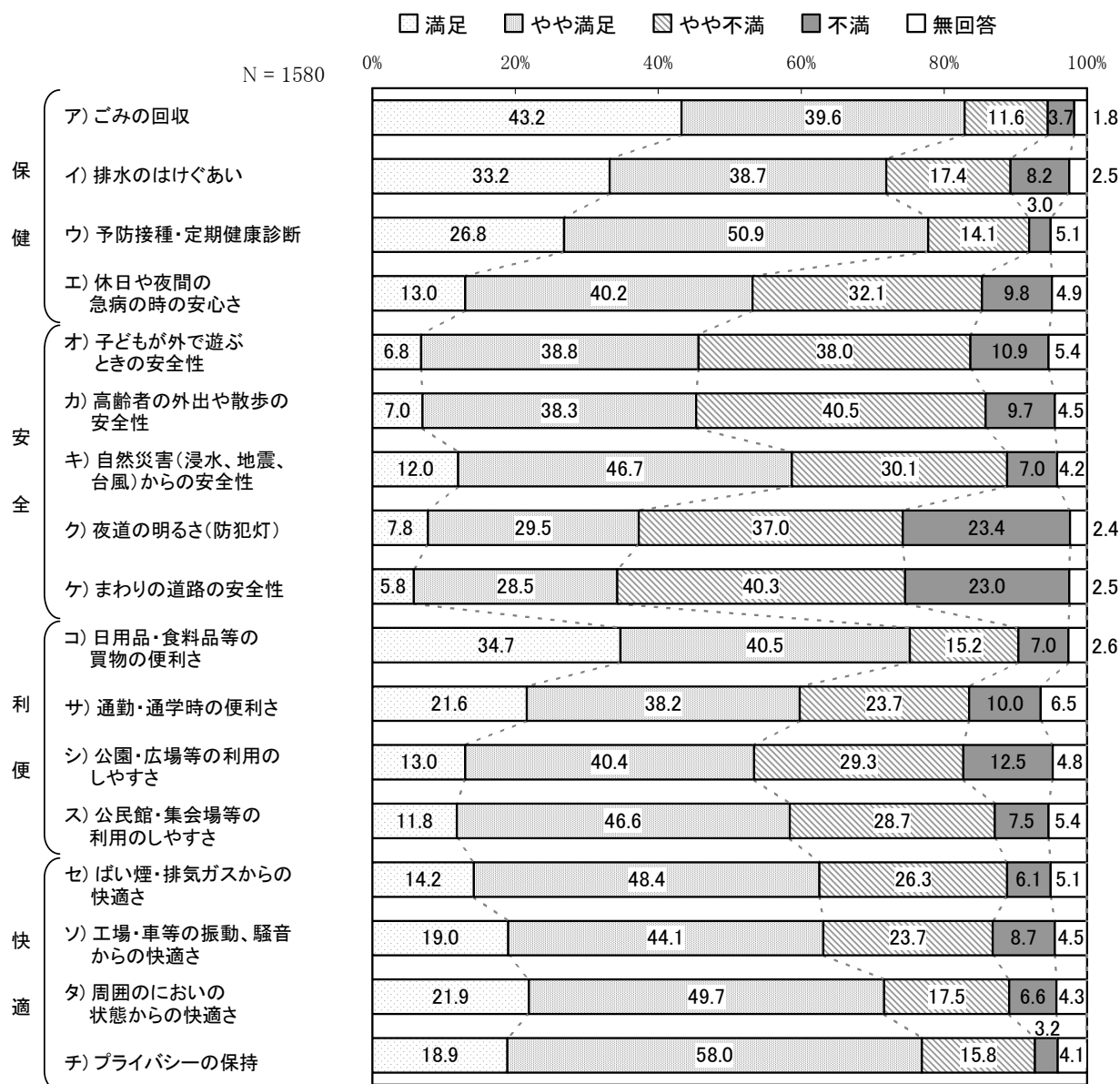
市民・行政が協働したまちづくりの実感をたずねたところ、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」(4.5%)と「ある程度、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」(39.2%)を合わせた<市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている>は43.7%、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない」(45.3%)と「市民と行政と一緒にまちづくりを行っていない」(6.3%)を合わせた<市民と行政と一緒にまちづくりを行っていない>は51.6%となっている。(図7-6-1)

## 7-7 地域の生活環境の満足度

◇17項目中13項目で<満足>が<不満>を上回る

問52 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。ア)～チ)の項目ごとに1つずつ選んでください。(〇は1つずつ)

図7-7-1



地域の生活環境の満足度をたずねたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足>の割合は、〔保健〕の分野では『ごみの回収』(82.8%)が最も多く、80%を超えている。

〔利便〕の分野では、『日用品・食料品等の買物の便利さ』(75.2%)が最も多く、70%を超えている。

〔快適〕の分野では、『プライバシーの保持』(76.9%)が最も多く、70%を超えている。

一方、〔安全〕の分野では、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足>の割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた<不満>の割合を上回るのは、『自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性』(58.7%)のみとなっている。<不満>は、『まわりの道路の安全性』(63.3%)が最も多く、60%を超えている。(図7-7-1)

この質問では、項目間の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}) + \text{「やや不満」} \times (-1 \text{点}) + \text{「不満」} \times (-2 \text{点})}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

この算出方法では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことになる。

評価点を地区別にみると、〔保健〕の分野では、『休日や夜間の急病の時の安心さ』以外の3つの項目では、11地区すべてで評価点が0.00以上となっている。『休日や夜間の急病の時の安心さ』で評価点が0.00未満となっているのは、高階地区、川鶴地区、名細地区である。

〔安全〕の分野では、『子どもが外で遊ぶときの安全性』の評価点が0.00以上となっているのは芳野地区、古谷地区、南古谷地区、大東地区、霞ヶ関地区、川鶴地区である。『高齢者の外出や散歩の安全性』の評価点が0.00以上となっているのは芳野地区、古谷地区、南古谷地区、大東地区、川鶴地区となっている。『自然災害（浸水、地震、台風）からの安全性』は、南古谷地区以外の11地区の評価点が0.00以上となっている。『夜道の明るさ（防犯灯）』はすべての地区が0.00以下となっており、特に芳野地区の評価点は-1.19と低くなっている。『まわりの道路の安全性』でもすべての地区の評価点が0.00以下となっている。

〔利便〕の分野では、『日用品・食料品等の買物の便利さ』は芳野地区以外のすべての地区の評価点が0.00以上となっており、また評価点の最高と最低の差が1.60で、地域差が最も大きい。『通勤・通学時の便利さ』は芳野地区、古谷地区、福原地区以外の9地区の評価点が0.00以上となっており、また評価点の最高と最低の差が1.24で、地域差が大きい。『公園・広場等の利用のしやすさ』は、本庁地区、高階地区、福原地区、名畑地区、山田地区以外の7地区で評価点が0.00以上となっており、また評価点の最高と最低の差が1.28で、地域差が大きい。『公民館・集会場等の利用のしやすさ』は、福原地区以外の11地区の評価点が0.00以上となっている。

〔快適〕の分野では、『ばい煙・排気ガスからの快適さ』、『工場・車等の振動、騒音からの快適さ』はすべての地区の評価点が0.00以上となっている。『周囲のにおいの状態からの快適さ』は芳野地区を除く11地区で評価点が0.00以上となっている。『プライバシーの保持』はすべての地区で評価点が0.00以上となっている。

ア) からチ) までのすべての回答を足し合わせた総合評価点は、すべての地区で評価点が0.00以上となっており、最も評価点が高いのは川鶴地区、霞ヶ関北地区(0.51)となっている。

(表7-7-1)

表 7-7-1

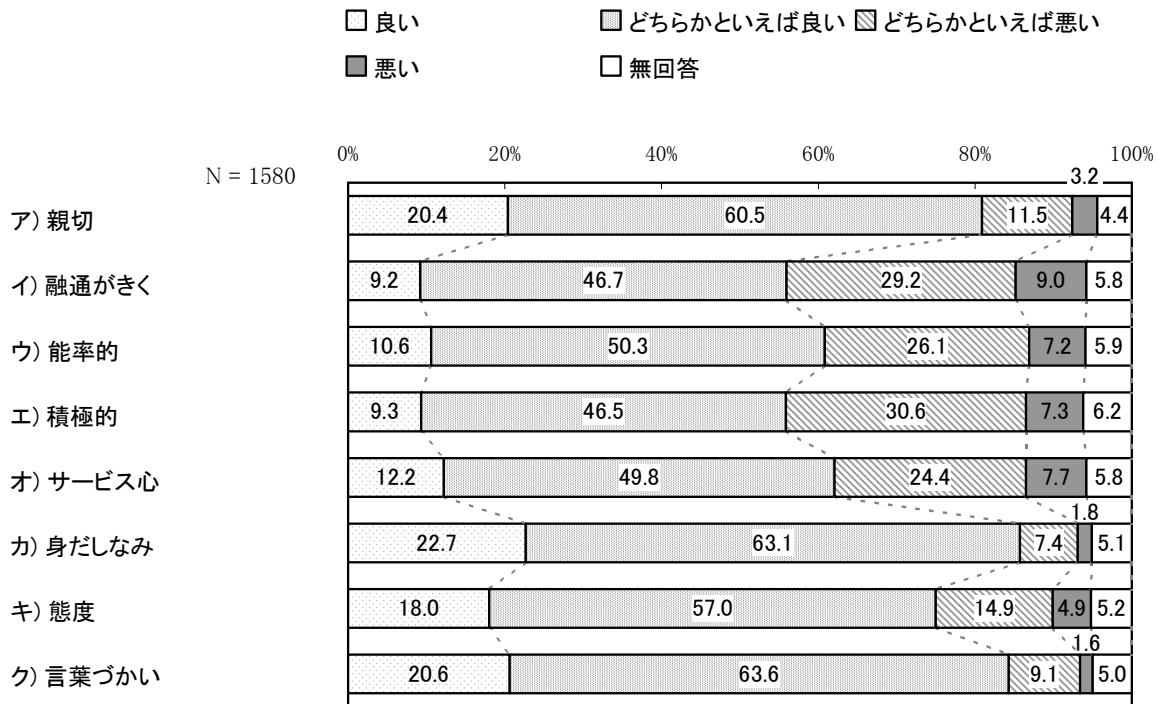
項目		地区												評価点の最高と最低の差	
		市全体	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区		山田地区
保健	ア)ごみの回収	1.09	1.18	0.83	0.89	1.02	1.11	1.12	1.24	1.05	0.89	0.94	1.13	1.16	0.41
	イ)排水のはけぐあい	0.73	0.99	0.38	0.50	0.60	0.35	0.41	0.90	0.96	0.83	1.17	0.49	0.47	0.82
	ウ)予防接種・定期健康診断	0.89	0.97	0.80	0.88	0.84	0.69	0.87	0.96	1.05	1.00	0.71	0.74	0.89	0.36
	エ)休日や夜間の急病の時の安心さ	0.15	0.23	0.38	0.29	0.25	-0.02	0.27	0.22	0.12	-0.04	0.02	-0.06	0.27	0.44
安全	オ)子どもが外で遊ぶときの安全性	-0.08	-0.20	0.36	0.14	0.04	-0.23	-0.06	0.01	0.00	0.23	-0.25	-0.12	-0.21	0.61
	カ)高齢者の外出や散歩の安全性	-0.08	-0.14	0.21	0.07	0.04	-0.19	-0.08	0.02	-0.04	0.02	-0.14	-0.17	-0.17	0.40
	キ)自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	0.28	0.51	0.14	0.11	-0.02	0.09	0.10	0.40	0.56	0.12	0.24	0.15	0.16	0.58
	ク)夜道の明るさ(防犯灯)	-0.40	-0.10	-1.19	-0.48	-0.66	-0.42	-0.70	-0.38	-0.39	-0.15	-0.14	-0.70	-0.69	1.09
	ケ)まわりの道路の安全性	-0.47	-0.36	-0.69	-0.48	-0.48	-0.62	-0.74	-0.51	-0.43	-0.15	-0.22	-0.65	-0.53	0.59
利便	コ)日用品・食料品等の買物の便利さ	0.83	1.30	-0.26	0.31	1.20	0.72	0.19	0.61	0.82	1.07	1.34	0.15	0.77	1.60
	サ)通勤・通学時の便利さ	0.40	0.86	-0.38	-0.15	0.19	0.45	-0.01	0.44	0.27	0.46	0.67	0.21	0.21	1.24
	シ)公園・広場等の利用のしやすさ	0.13	-0.05	0.17	0.05	0.17	-0.06	-0.16	0.44	0.33	0.93	0.65	-0.08	-0.35	1.28
	ス)公民館・集会場等の利用のしやすさ	0.28	0.18	0.55	0.08	0.40	0.33	-0.01	0.34	0.27	0.66	0.59	0.34	0.05	0.67
快適	セ)ばい煙・排気ガスからの快適さ	0.40	0.36	0.43	0.42	0.28	0.55	0.15	0.33	0.63	0.46	0.64	0.47	0.08	0.56
	ソ)工場・車等の振動、騒音からの快適さ	0.43	0.38	0.43	0.41	0.12	0.64	0.32	0.36	0.61	0.66	0.73	0.46	0.08	0.65
	タ)周囲のにおいの状態からの快適さ	0.66	0.83	-0.05	0.35	0.12	0.96	0.20	0.76	0.73	0.87	0.94	0.73	0.22	1.01
	チ)プライバシーの保持	0.77	0.79	0.71	0.71	0.69	0.79	0.51	0.79	0.91	0.83	0.82	0.73	0.72	0.40
総合評価点		0.35	0.46	0.17	0.24	0.29	0.30	0.14	0.41	0.44	0.51	0.51	0.23	0.19	0.37

## 7-8 市職員のイメージについて

◇評価が最も高いのは「身だしなみ」

問 53 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。(〇は1つずつ)

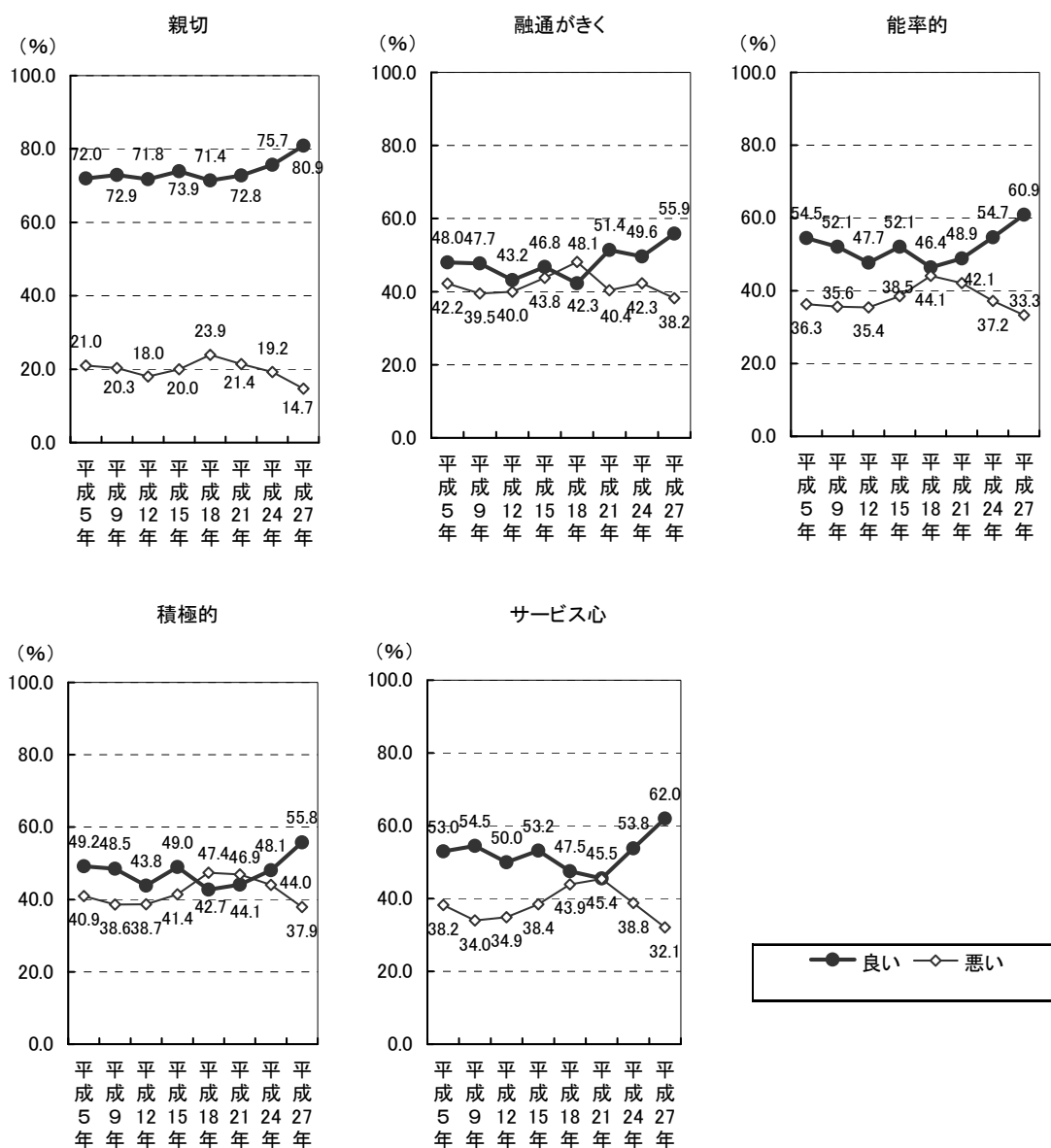
図 7-8-1



市職員のイメージについて、5項目に分けて評価をたずねたところ、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた<良い>の割合は、『身だしなみ』(85.8%)が最も多く、80%半ばとなっている。以下、『言葉づかい』(84.2%)、『親切』(80.9%)、『態度』(75.0%)、『サービス心』(62.0%)、『能率的』(60.9%)、『融通がきく』(55.9%)、『積極的』(55.8%)の順となっている。(図7-8-1)

平成 24 年以前の調査と共通の 5 項目について時系列でみると、＜良い＞の割合はすべての項目が前回調査と比べて増加しており、特に『サービス心』が 8.2 ポイント、『積極的』が 7.7 ポイント、それぞれ増加している。(図 7-8-2)

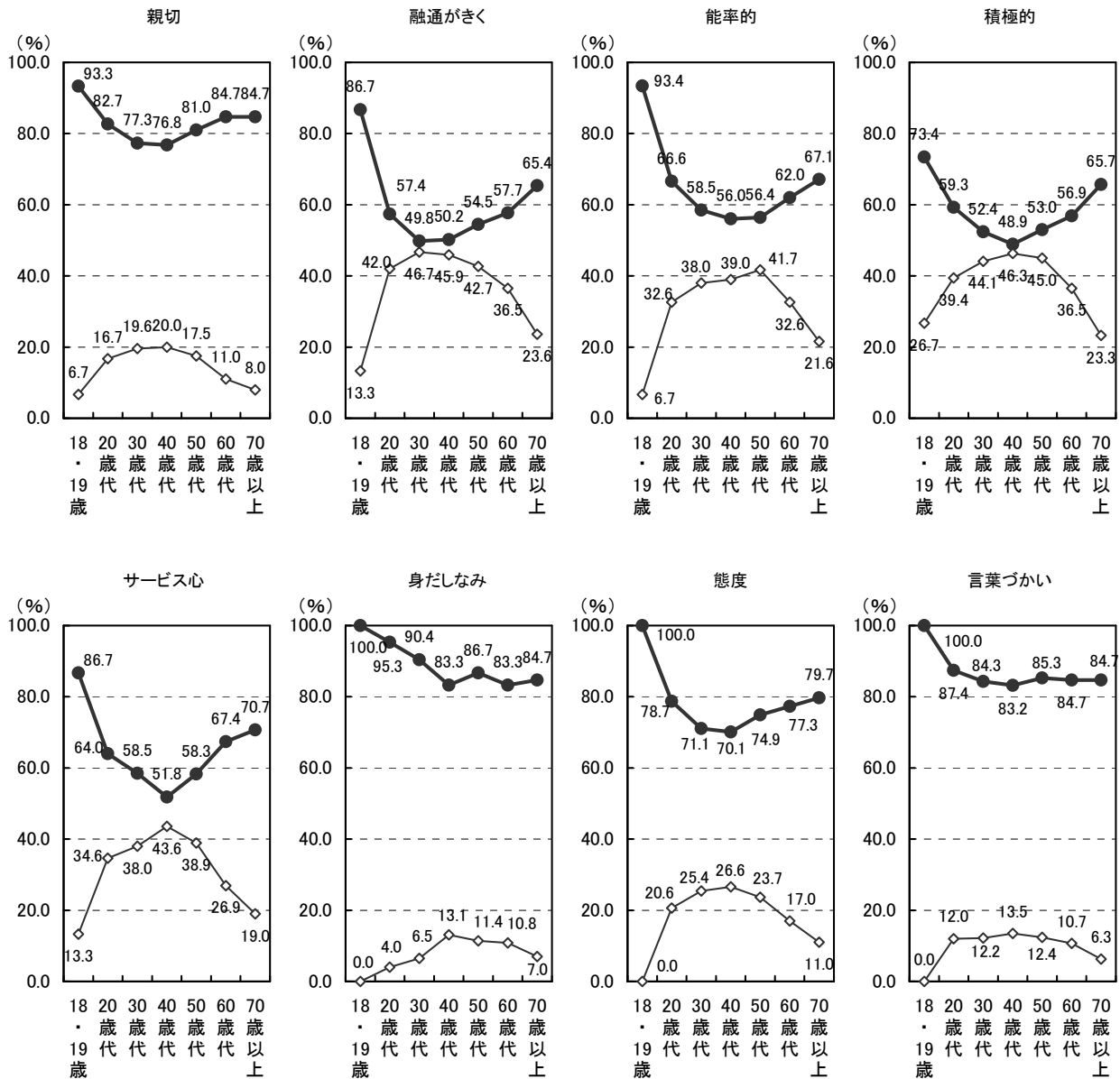
図 7-8-2 時系列 市職員のイメージについて



年齢別にみると、『身だしなみ』を除くすべての項目で、＜良い＞の割合は、40歳代以上の年代で年齢が高くなるにつれ割合が高くなっている。

(図7-8-3)

図7-8-3 年齢別 市職員のイメージについて



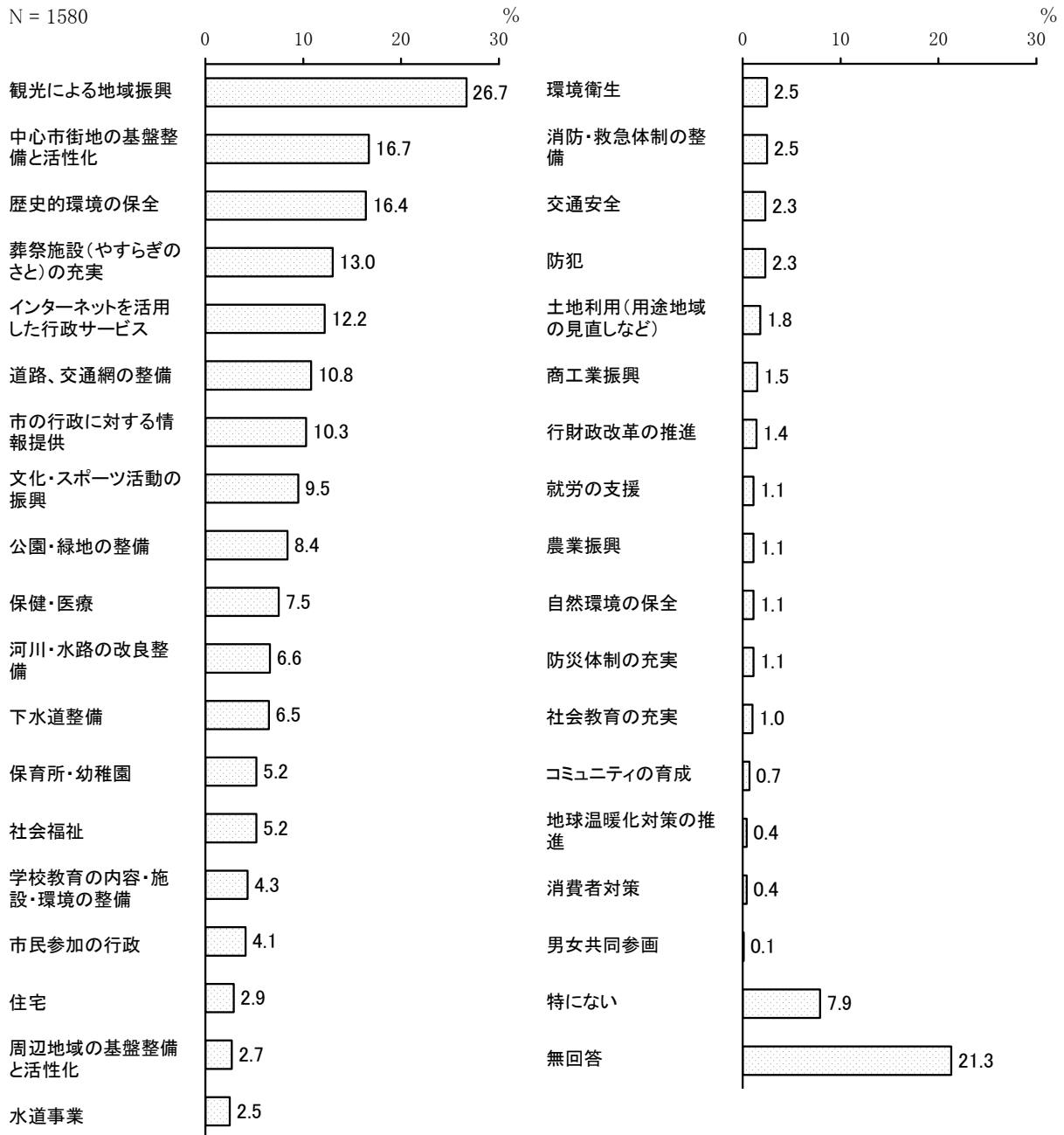
## 7-9 よくなってきた市の施策／力を入れるべき市の施策

### (1) よくなってきた市の施策

◇「観光による地域振興」が26.7%

問54 市政全般について、よくなってきた施策、また、あなたが力を入れてほしい施策をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

図7-9-1

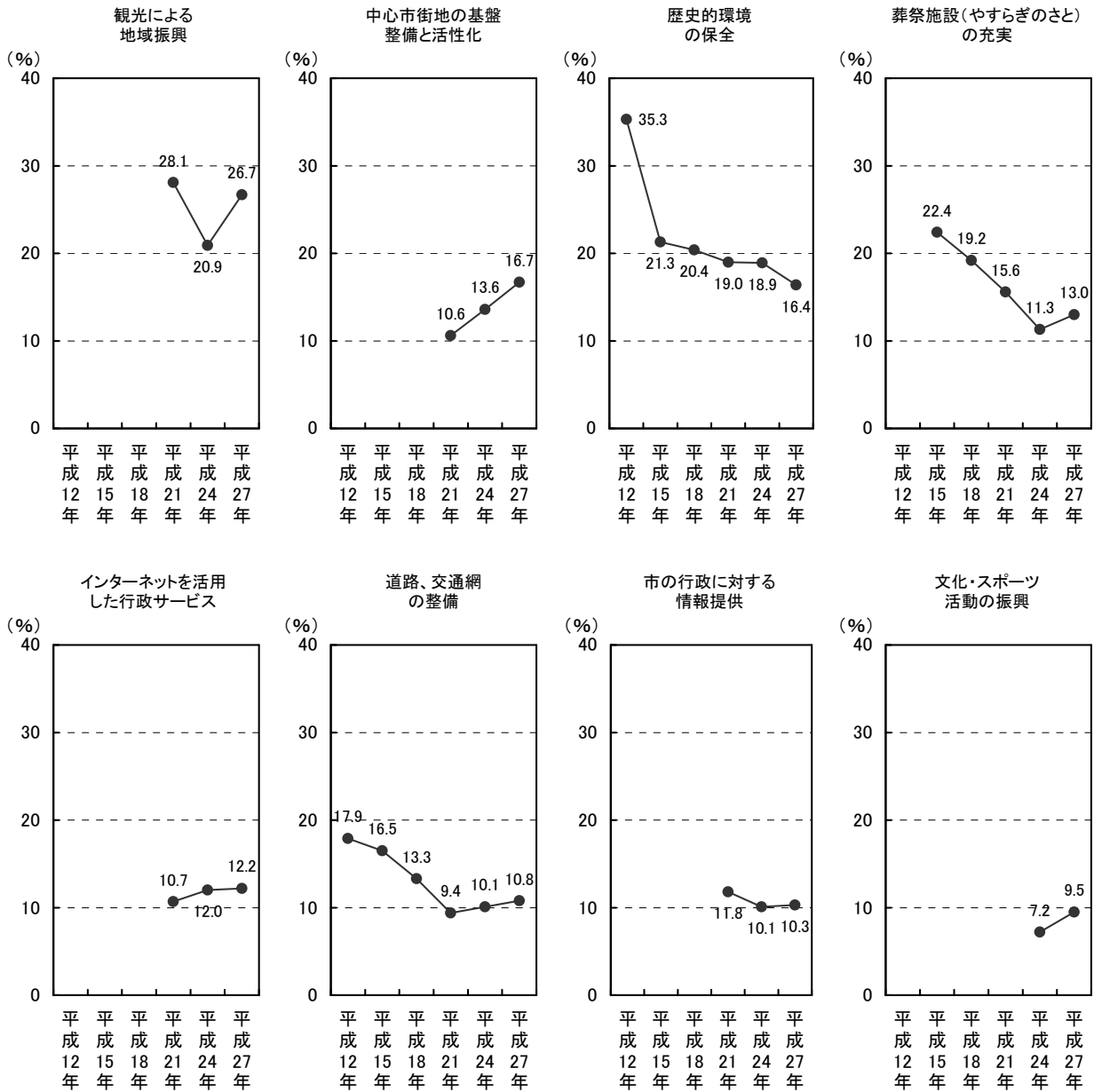


よくなってきた市の施策をたずねたところ、「観光による地域振興」(26.7%)が最も多く、20%半ばとなっている。以下、「中心市街地の基盤整備と活性化」(16.7%)、「歴史的環境の保全」(16.4%)、「葬祭施設(やすらぎのさと)の充実」(13.0%)、「インターネットを活用した行政サービス」(12.2%)などの順となっている。(図7-9-1)



上位8項目について時系列でみると、平成21年調査で選択肢の追加・変更があったため平成18年調査以前との比較は参考にとどまるが、「観光による地域振興」は前回調査と比べて5.8ポイント、「中心市街地の基盤整備と活性化」は3.1ポイント増加している。一方、「歴史的環境の保全」は前回調査と比べて2.5ポイント減少している。(図7-9-2)

図7-9-2 時系列 よくなってきた市の施策



上位5項目を地区別にみると、「観光による地域振興」はすべての地区で第1位となっている。

(表7-9-1)

表7-9-1 地区別 よくなってきた市の施策

属性	順位	N	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1580	観光による地域振興 16.7%	中心市街地の基盤整備と活性化 12.2%	葬祭施設(やすらぎのさと)の充実 13.0%	インターネットを活用した行政サービス 12.2%	道路、交通網の整備 10.8%
【地区別】							
本庁地区		362	観光による地域振興 29.0%	歴史的環境の保全 21.3%	中心市街地の基盤整備と活性化 20.7%	葬祭施設(やすらぎのさと)の充実 14.1%	市の行政に対する情報提供 12.4%
芳野地区		42	観光による地域振興／歴史的環境の保全 21.4%		インターネットを活用した行政サービス／特 にない 14.3%		学校教育の内容・施設・環境の整備 11.9%
古谷地区		66	観光による地域振興 24.2%	葬祭施設(やすらぎのさと)の充実 21.2%	中心市街地の基盤整備と活性化 16.7%	歴史的環境の保全／インターネットを活用した行政サービス 12.1%	
南古谷地区		120	観光による地域振興 32.5%	中心市街地の基盤整備と活性化 17.5%	歴史的環境の保全 15.0%	保健・医療／市の行政に対する情報提供 11.7%	
高階地区		210	観光による地域振興 24.3%	歴史的環境の保全 19.0%	中心市街地の基盤整備と活性化 16.7%	葬祭施設(やすらぎのさと)の充実 15.2%	市の行政に対する情報提供 13.8%
福原地区		81	観光による地域振興 22.2%	中心市街地の基盤整備と活性化 21.0%	道路、交通網の整備 19.8%	葬祭施設(やすらぎのさと)の充実 16.0%	河川・水路の改良整備 12.3%
大東地区		147	観光による地域振興 21.1%	中心市街地の基盤整備と活性化 18.4%	道路、交通網の整備／インターネットを活用した行政サービス 13.6%		公園・緑地の整備 12.2%
霞ヶ関地区		189	観光による地域振興 30.2%	歴史的環境の保全 13.8%	中心市街地の基盤整備と活性化 13.2%	インターネットを活用した行政サービス／文化・スポーツ活動の振興 12.7%	
川鶴地区		85	観光による地域振興 30.6%	インターネットを活用した行政サービス 21.2%	歴史的環境の保全／公園・緑地の整備 17.6%		中心市街地の基盤整備と活性化 15.3%
霞ヶ関北地区		66	観光による地域振興 21.2%	歴史的環境の保全／公園・緑地の整備／文化・スポーツ活動の振興 15.2%			インターネットを活用した行政サービス／中心市街地の基盤整備と活性化／道路、交通網の整備 10.6%
名細地区		96	観光による地域振興 29.2%	中心市街地の基盤整備と活性化 18.8%	歴史的環境の保全 17.7%	インターネットを活用した行政サービス 15.6%	道路、交通網の整備／保健・医療／市の行政に対する情報提供 12.5%
山田地区		76	観光による地域振興 31.6%	歴史的環境の保全／葬祭施設(やすらぎのさと)の充実 21.1%		インターネットを活用した行政サービス／道路、交通網の整備／下水道整備 14.5%	

上位5項目を性別にみると、「歴史的環境の保全」は男性（18.6%・第2位）が女性（14.9%・第3位）より3.7ポイント高くなっている。また、「葬祭施設（やすらぎのさと）の充実」は男性（15.4%・第4位）が女性（11.4%・第5位）より4.0ポイント高くなっている。

上位5項目を性・年齢別にみると、「観光による地域振興」は男性の40歳以上、女性の20歳代から60歳代の年代で第1位となっている。「歴史的環境の保全」は男性30歳代で第1位となっている。「市の行政に対する情報提供」は女性70歳以上で第1位となっている。

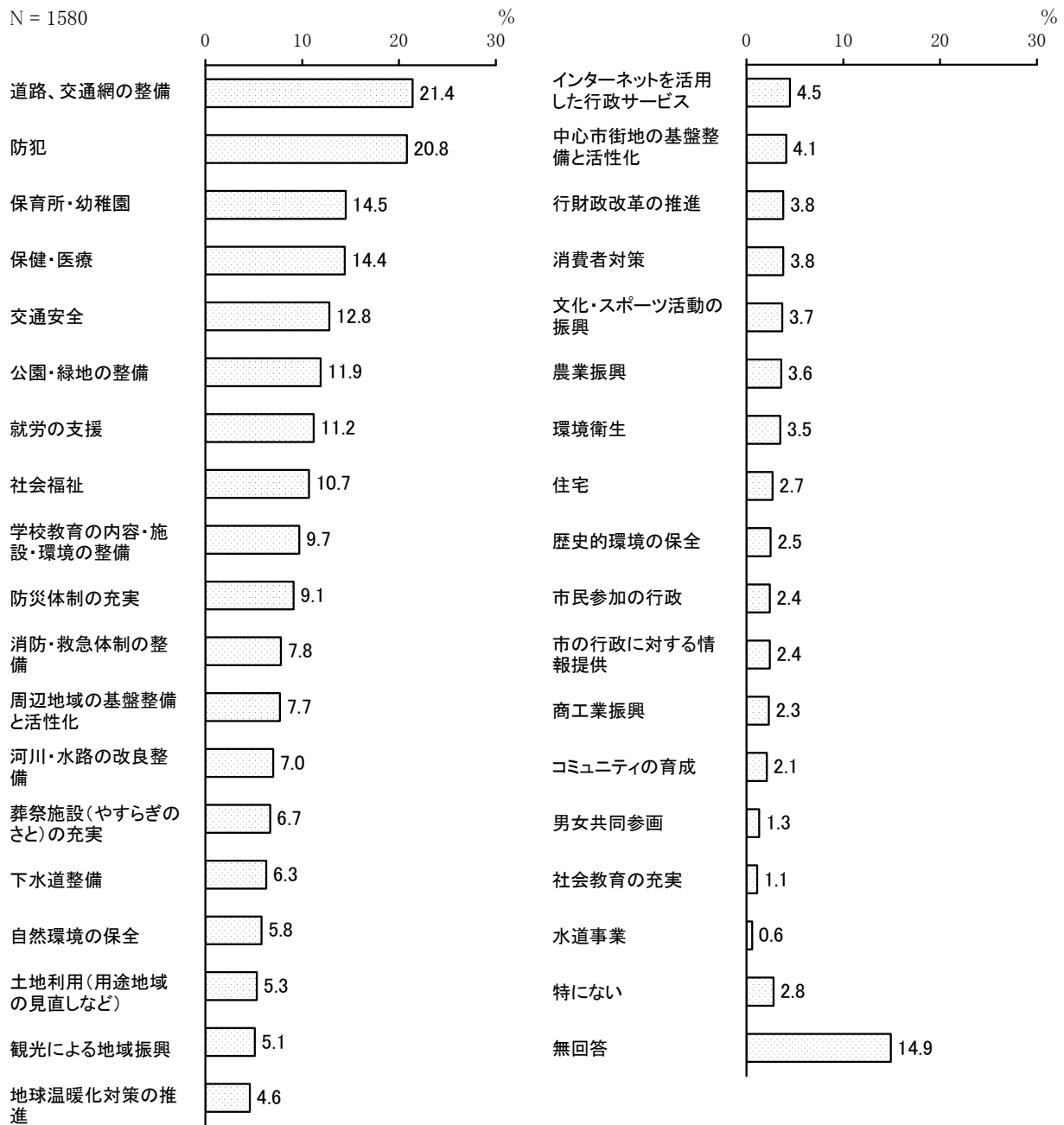
（表7-9-2）

表7-9-2 性・年齢別 よくなってきた市の施策

属性	順位	N	1位	2位	3位	4位	5位	
全体		1580	観光による地域振興 16.7%	中心市街地の基盤整備と活性化 12.2%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 13.0%	インターネットを活用した行政サービス 12.2%	道路、交通網の整備 10.8%	
【性・年齢別】								
男性		682	観光による地域振興 26.1%	歴史的環境の保全 18.6%	中心市街地の基盤整備と活性化 16.3%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 15.4%	道路、交通網の整備 14.8%	
女性		880	観光による地域振興 27.6%	中心市街地の基盤整備と活性化 17.4%	歴史的環境の保全 14.9%	インターネットを活用した行政サービス 11.6%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 11.4%	
男性 18・19歳		9	観光による地域振興 44.4%	インターネットを活用した行政サービス 33.3%	中心市街地の基盤整備と活性化／歴史的環境の保全／公園・緑地の整備／学校教育の内容・施設・環境の整備		22.2%	
20歳代		64	特になし 25.0%	観光による地域振興／インターネットを活用した行政サービス		18.8%	文化・スポーツ活動の振興／葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 12.5%	
30歳代		77	歴史的環境の保全 22.1%	観光による地域振興／道路、交通網の整備 20.8%	中心市街地の基盤整備と活性化 16.9%	特になし 14.3%		
40歳代		138	観光による地域振興 29.7%	中心市街地の基盤整備と活性化 21.7%	歴史的環境の保全 18.1%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 15.2%	インターネットを活用した行政サービス 14.5%	
50歳代		99	観光による地域振興 33.3%	歴史的環境の保全 24.2%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実／インターネットを活用した行政サービス		道路、交通網の整備 17.2%	
60歳代		152	観光による地域振興 26.3%	歴史的環境の保全 21.1%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実／道路、交通網の整備／中心市街地の基盤整備と活性化		18.4%	
70歳以上		143	観光による地域振興 22.4%	市の行政に対する情報提供 16.8%	歴史的環境の保全 14.7%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 14.0%	中心市街地の基盤整備と活性化 13.3%	
女性 18・19歳		6	特になし 33.3%	観光による地域振興／歴史的環境の保全／葬祭施設（やすらぎのさと）の充実／中心市街地の基盤整備と活性化／道路、交通網の整備／文化・スポーツ活動の振興／インターネットを活用した行政サービス／学校教育の内容・施設・環境の整備				16.7%
20歳代		86	観光による地域振興 24.4%	特になし 22.1%	中心市街地の基盤整備と活性化 20.9%	歴史的環境の保全／インターネットを活用した行政サービス		11.6%
30歳代		151	観光による地域振興 34.4%	中心市街地の基盤整備と活性化 17.2%	歴史的環境の保全 13.9%	インターネットを活用した行政サービス／公園・緑地の整備		12.6%
40歳代		166	観光による地域振興 30.7%	インターネットを活用した行政サービス 15.7%	歴史的環境の保全 15.1%	中心市街地の基盤整備と活性化 14.5%	道路、交通網の整備 10.8%	
50歳代		112	観光による地域振興 32.1%	中心市街地の基盤整備と活性化 23.2%	歴史的環境の保全 15.2%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 13.4%	インターネットを活用した行政サービス 12.5%	
60歳代		200	観光による地域振興 30.5%	中心市街地の基盤整備と活性化／歴史的環境の保全 18.5%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 16.0%	市の行政に対する情報提供 14.0%		
70歳以上		158	市の行政に対する情報提供 16.5%	観光による地域振興／中心市街地の基盤整備と活性化 13.3%	歴史的環境の保全 12.7%	保健・医療 12.0%		

(2) 力を入れるべき施策

図 7-9-3

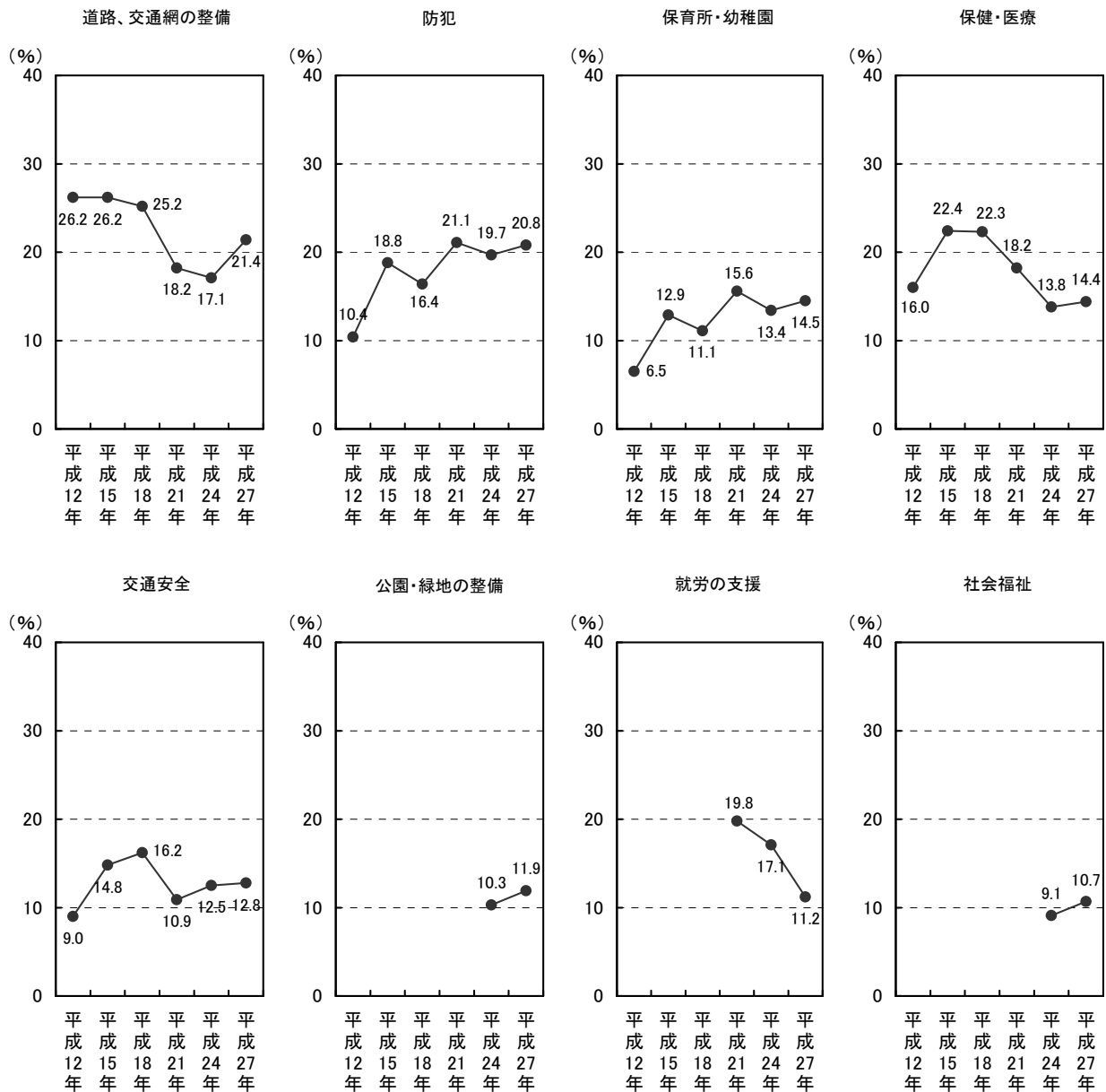


力を入れるべき市の施策をたずねたところ、「道路、交通網の整備」(21.4%)が最も多く、以下、「防犯」(20.8%)、「保育所・幼稚園」(14.5%)、「保健・医療」(14.4%)、「交通安全」(12.8%)などの順となっている。(図 7-9-3)

上位8項目について時系列でみると、平成21年調査で選択肢の追加・変更があったため平成18年調査以前との比較は参考にとどまるが、「道路、交通網の整備」は前回調査と比べて4.3ポイント増加している。一方、「就労の支援」は前回調査と比べて5.9ポイント減少している。

(図7-9-4)

図7-9-4 時系列 力を入れるべき市の施策



上位5項目を地区別にみると、「道路、交通網の整備」は芳野地区、南古谷地区、高階地区、霞ヶ関地区、霞ヶ関北地区、名細地区、山田地区で第1位となっている。「防犯」は本庁地区、福原地区、大東地区で第1位となっている。(表7-9-3)

表7-9-3 地区別 力を入れるべき市の施策

属性	順位	N	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		1580	道路、交通網の整備 21.4%	防犯 20.8%	保育所・幼稚園 14.5%	保健・医療 14.4%	交通安全 12.8%
【地区別】							
本庁地区		362	防犯 22.1%	道路、交通網の整備 21.8%	公園・緑地の整備 17.1%	交通安全 14.4%	保健・医療 13.8%
芳野地区		42	道路、交通網の整備 31.0%	防犯 23.8%	保健・医療／防災体制の充実／インターネットを活用した行政サービス／農業振興／下水道整備		11.9%
古谷地区		66	下水道整備／学校教育の内容・施設・環境の整備 18.2%		保育所・幼稚園 16.7%	保健・医療／交通安全 13.6%	
南古谷地区		120	道路、交通網の整備 23.3%	河川・水路の改良整備 20.8%	防犯 20.0%	保健・医療／社会福祉 17.5%	
高階地区		210	道路、交通網の整備 25.2%	防犯 20.5%	保育所・幼稚園 15.2%	交通安全 13.8%	公園・緑地の整備 13.3%
福原地区		81	防犯 28.4%	道路、交通網の整備 22.2%	保健・医療 17.3%	交通安全／公園・緑地の整備 16.0%	
大東地区		147	防犯 23.8%	交通安全 19.7%	道路、交通網の整備 18.4%	保育所・幼稚園 15.0%	社会福祉 12.9%
霞ヶ関地区		189	道路、交通網の整備 23.3%	防犯 20.1%	保健・医療 16.4%	保育所・幼稚園 13.8%	社会福祉／就労の支援 12.2%
川鶴地区		85	防犯	保健・医療／保育所・幼稚園 20.0%		公園・緑地の整備 10.6%	道路、交通網の整備／周辺地域の基盤整備と活性化／消防・救急体制の整備／交通安全／葬祭施設(やすらぎのさと)の充実／自然環境の保全 9.4%
霞ヶ関北地区		66	道路、交通網の整備 24.2%	防犯 21.2%	保健・医療／就労の支援 19.7%		保育所・幼稚園 15.2%
名細地区		96	道路、交通網の整備 24.0%	保育所・幼稚園 19.8%	防犯 18.8%	交通安全 15.6%	保健・医療／下水道整備 14.6%
山田地区		76	道路、交通網の整備 21.1%	公園・緑地の整備 19.7%	防犯 17.1%	下水道整備 15.8%	保育所・幼稚園／就労の支援 14.5%

上位5項目を性別にみると、「防犯」は女性（22.6%・第1位）が男性（18.8%・第2位）より3.8ポイント高くなっている。また、「保育所・幼稚園」は女性（16.6%・第3位）が男性（12.2%・第5位）より4.4ポイント高くなっている。

上位5項目を性・年齢別にみると、「道路、交通網の整備」は男性の18・19歳、20歳代、40歳代、50歳代、女性の70歳以上の年代で第1位、男性70歳以上で同率第1位となっている。「防犯」は女性40歳代、50歳代、60歳代で第1位、男性70歳以上で同率1位となっている。「保育所・幼稚園」は男性30歳代、女性20歳代、30歳代で第1位となっている。（表7-9-4）

表7-9-4 性・年齢別 力を入れるべき市の施策

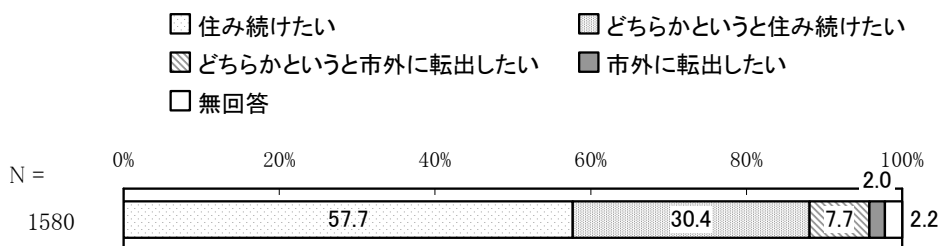
順位 属性	N	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1580	道路、交通網の整備 21.4%	防犯 20.8%	保育所・幼稚園 14.5%	保健・医療 14.4%	交通安全 12.8%
【性・年齢別】						
男性	682	道路、交通網の整備 23.2%	防犯 18.8%	交通安全 14.8%	保健・医療 13.5%	保育所・幼稚園 12.2%
女性	880	防犯 22.6%	道路、交通網の整備 20.3%	保育所・幼稚園 16.6%	保健・医療 15.3%	公園・緑地の整備 13.0%
男性 18・19歳	9	道路、交通網の整備 55.6%	周辺地域の基盤整備と活性化 33.3%	防犯／公園・緑地の整備／就労の支援／交通安全／文化・スポーツ活動の振興 22.2%		
20歳代	64	道路、交通網の整備 29.7%	就労の支援 20.3%	防犯／保育所・幼稚園 18.8%		交通安全 12.5%
30歳代	77	保育所・幼稚園 26.0%	防犯 20.8%	公園・緑地の整備 19.5%	道路、交通網の整備 18.2%	学校教育の内容・施設・環境の整備 14.3%
40歳代	138	道路、交通網の整備 28.3%	防犯 24.6%	交通安全 13.8%	保健・医療 13.0%	公園・緑地の整備／防災体制の充実／インターネットを活用した行政サービス・就労の支援 11.6%
50歳代	99	道路、交通網の整備 33.3%	保健・医療 19.2%	交通安全 18.2%	防犯／就労の支援 15.2%	
60歳代	152	社会福祉 18.4%	交通安全 17.8%	保健・医療／防犯 16.4%		道路、交通網の整備 15.8%
70歳以上	143	防犯／道路、交通網の整備 16.8%		防災体制の充実 13.3%	交通安全 11.9%	社会福祉／保健・医療／周辺地域の基盤整備と活性化 11.2%
女性 18・19歳	6	防犯／保健・医療／特にない 33.3%			防災体制の充実／交通安全／自然環境の保全／公園・緑地の整備／河川・水路の改良整備／保育所・幼稚園／土地利用（用途地域の見直しなど）／住宅 16.7%	
20歳代	86	保育所・幼稚園 26.7%	防犯 24.4%	交通安全／公園・緑地の整備 18.6%		保健・医療／道路、交通網の整備 15.1%
30歳代	151	保育所・幼稚園 33.1%	道路、交通網の整備 29.1%	防犯 23.8%	公園・緑地の整備／学校教育の内容・施設・環境の整備 19.9%	
40歳代	166	防犯 27.7%	道路、交通網の整備 21.7%	学校教育の内容・施設・環境の整備 17.5%	保健・医療 16.9%	就労の支援 15.1%
50歳代	112	防犯 28.6%	道路、交通網の整備 17.0%	就労の支援 17.0%	社会福祉 14.3%	保育所・幼稚園／交通安全 13.4%
60歳代	200	防犯 23.0%	道路、交通網の整備 20.5%	保健・医療 18.0%	就労の支援 15.5%	保育所・幼稚園 14.0%
70歳以上	158	道路、交通網の整備 16.5%	葬祭施設（やすらぎのさと）の充実 12.0%	公園・緑地の整備／河川・水路の改良整備 10.8%	防犯／保健・医療／消防・救急体制の整備 10.1%	

## 7-10 市への定住意向

◇<住み続けたい>が 88.1%

問 55 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)

図 7-10-1

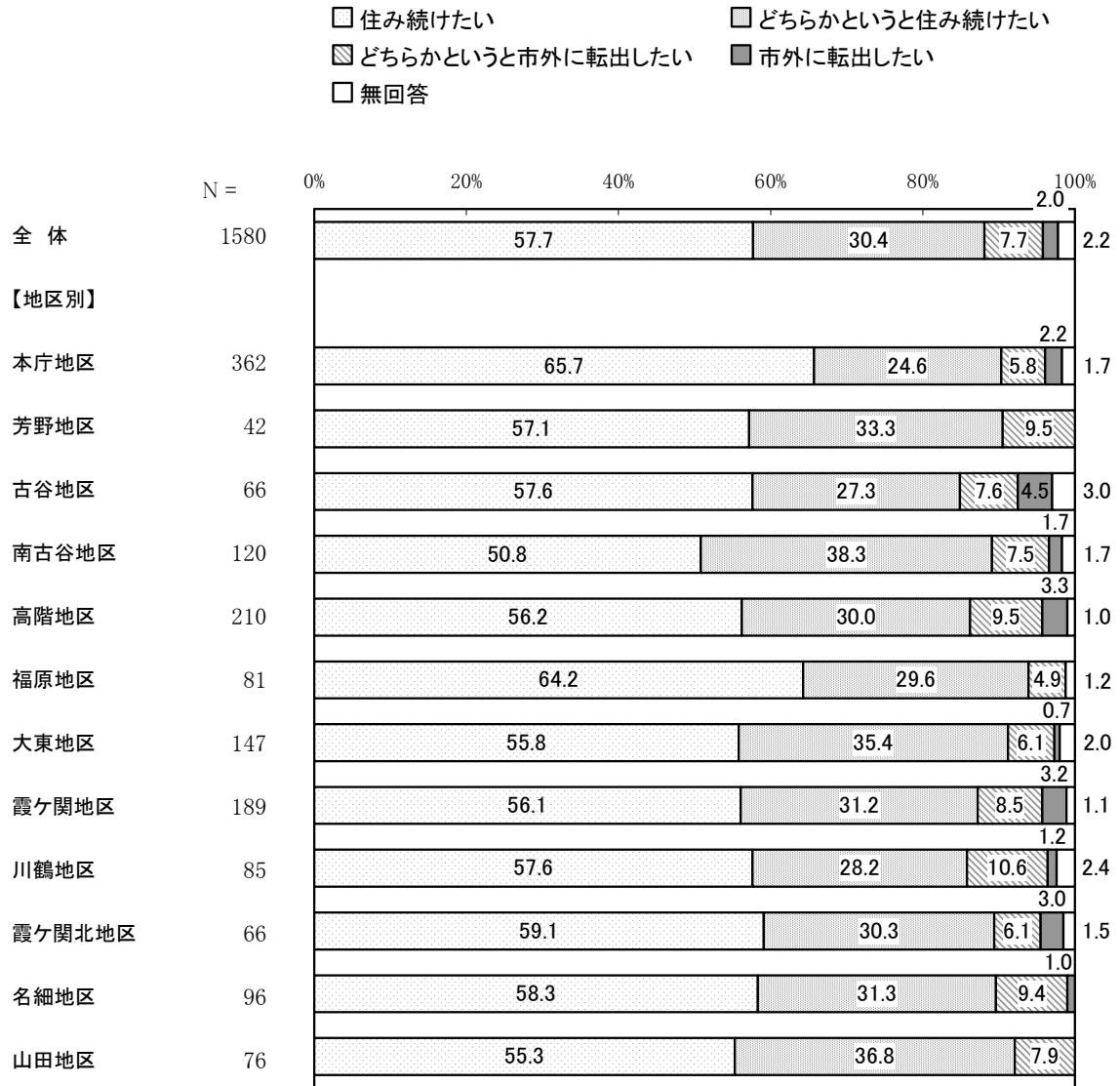


市への定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」(57.7%)と「どちらかというに住み続けたい」(30.4%)を合わせた<住み続けたい>(88.1%)が90%近くとなっている。「どちらかというとし外に転出したい」(7.7%)と「市外に転出したい」(2.0%)を合わせた<転出したい>(9.7%)は10%未満となっている。(図7-10-1)



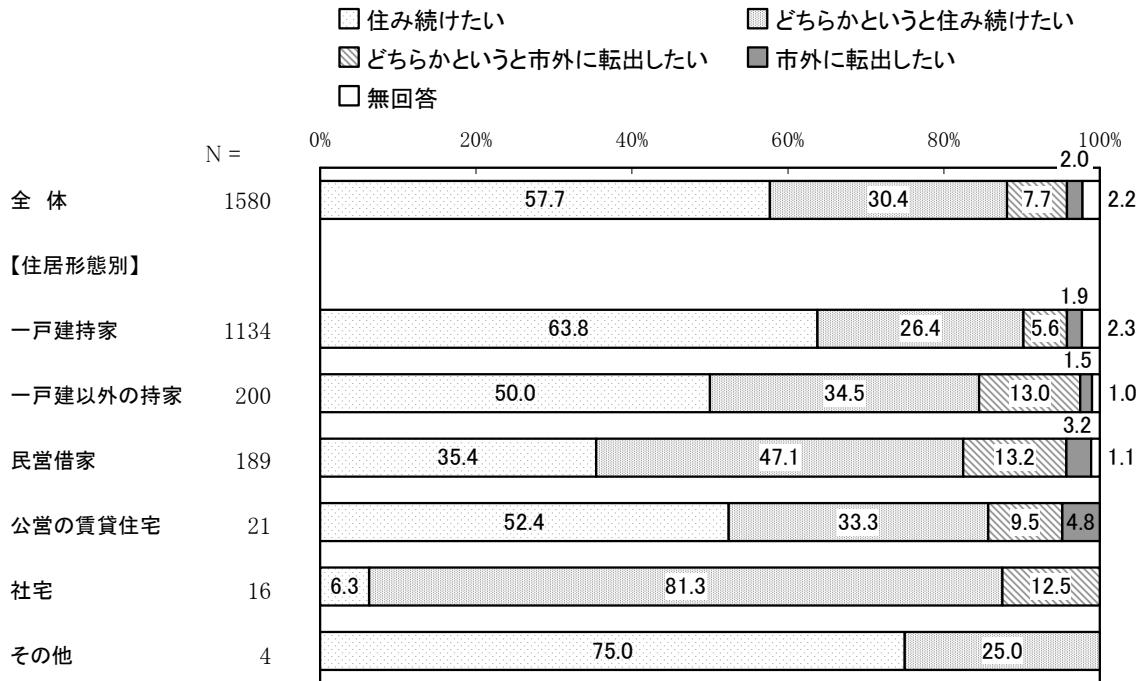
地区別にみると、＜住み続けたい＞はすべての地区で80%を超えており、特に本庁地区、芳野地区、福原地区、大東地区、山田地区で90%を超えている。(図7-10-2)

図7-10-2 地区別 市への定住意向



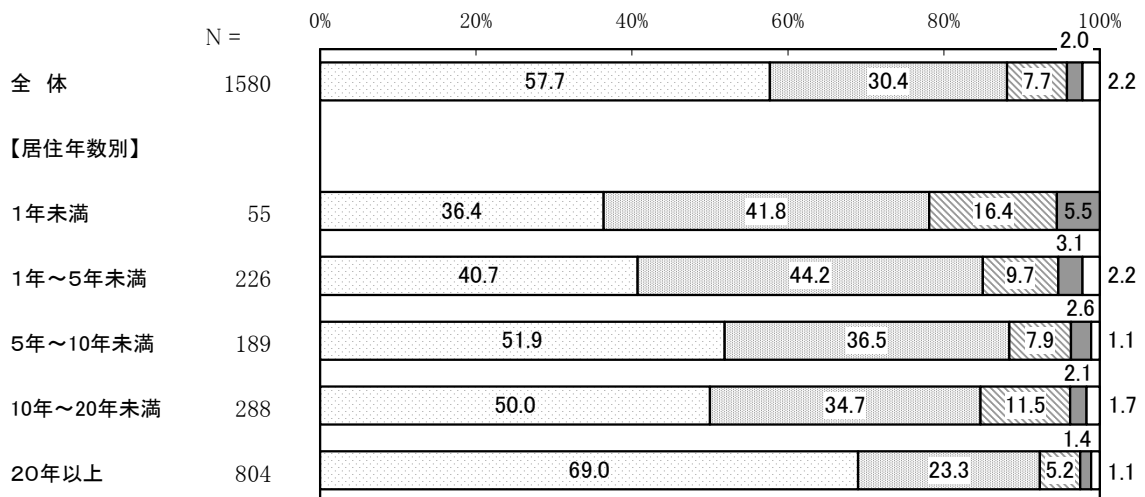
住居形態別にみると、〈住み続けたい〉はすべての居住形態で80%を超えており、特に一戸建持家で90%を超えている。(図7-10-3)

図7-10-3 住居形態別 市への定住意向



居住年数別にみると、〈住み続けたい〉は20年以上居住している人が90%を超えている。また、〈転出したい〉は1年未満が20%を超えている。(図7-10-4)

図7-10-4 住居年数別 市への定住意向

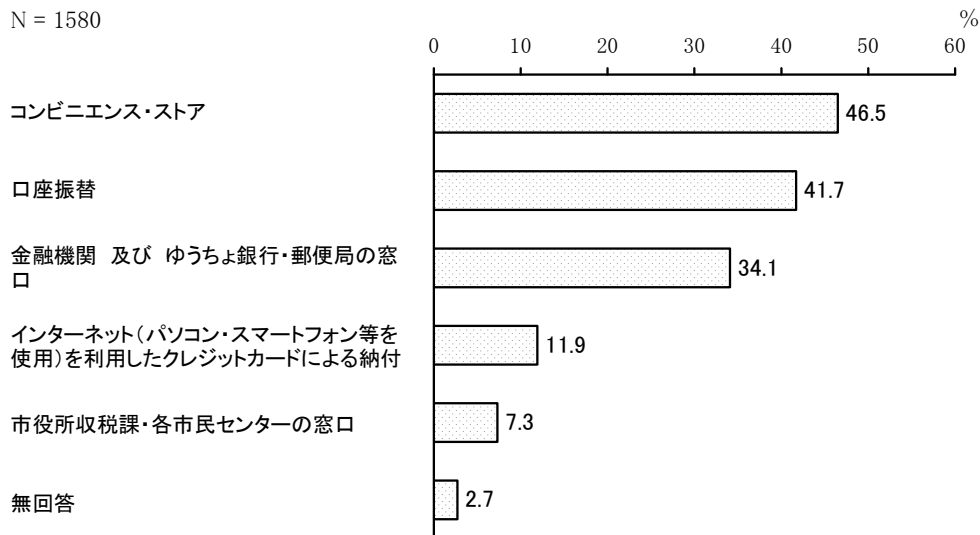


## 7-11 希望する市税納付方法

◇「コンビニエンス・ストア」が46.5%

問56 あなたが市税（国民健康保険税を含む）を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中からあてはまるものを2つ選んでください。（○は2つ以内）

図7-11-1



希望する市税納付方法をたずねたところ、「コンビニエンス・ストア」(46.5%)が最も多く40%半ばとなっている。以下、「口座振替」(41.7%)、「金融機関 及び ゆうちょ銀行・郵便局の窓口」(34.1%)、「インターネット(パソコン・スマートフォン等を使用)を利用したクレジットカードによる納付」(11.9%)、「市役所収税課・各市民センターの窓口」(7.3%)の順となっている。(図7-11-1)

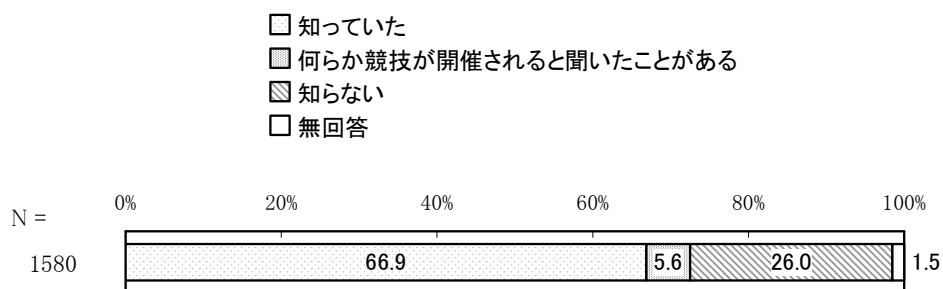
## 7-12 東京オリンピック・パラリンピックのゴルフ競技の認知度

◇「知っていた」が66.9%

問 57 2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(○は1つ)

① あなたは、川越市でゴルフ競技が開催される予定であることを知っていますか。

図 7-12-1



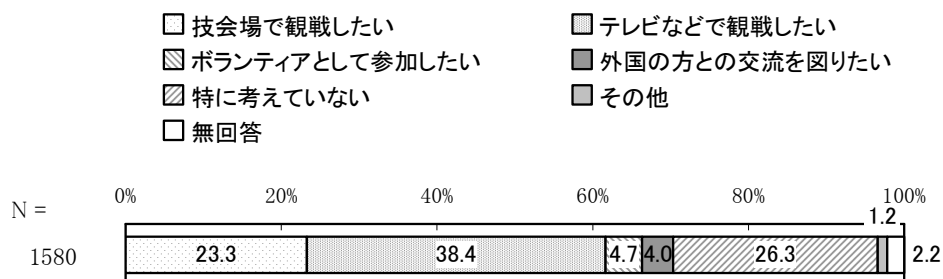
東京オリンピック・パラリンピックのゴルフ競技の認知度をたずねたところ、「知っていた」(66.9%)が60%半ばとなっている。「知らない」(26.0%)は20%半ば、「何らかの競技が開催されると聞いたことがある」(5.6%)は10%未満となっている。(図7-12-1)

## 7-13 東京オリンピック・パラリンピックへの関わり方

◇「テレビなどで観戦したい」が38.4%

② あなたは、東京オリンピックにはどのような形で関わりたいですか。

図7-13-1



東京オリンピック・パラリンピックへの関わり方をたずねたところ、「テレビなどで観戦したい」(38.4%)が最も多く、40%近くとなっている。以下、「特に考えていない」(26.3%)、「技会場で観戦したい」(23.3%)、「ボランティアとして参加したい」(4.7%)、「外国の方との交流を図りたい」(4.0%)の順となっている。(図7-13-1)

## 8 市政運営に対する意見・まちづくりへの要望

最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

「市政運営に対する意見・まちづくりへの要望」欄には、604人（38.2%）の方からの記入があった。その中で、具体的な要望やアイデアを記入していただいたものについて、地区別にその内容を分類し、表にした。

また、複数の記入はそれぞれ1件に数えてあるので、意見要望は合計で624件となっている。

地区別／カテゴリ別 記入状況

	本 庁	芳 野	古 谷	南 古 谷	高 階	福 原	大 東	霞 ヶ 関	川 鶴	霞 ヶ 関 北	名 細	山 田	地 区 不 明	合 計	比 率
<b>全体合計</b>	139	17	30	46	65	36	56	66	35	28	57	36	13	624	100.0%
<b>都市基盤・生活基盤</b>	43	12	9	20	22	12	15	29	6	6	21	11	5	211	33.8%
道路の整備・バリアフリー	6				3	3	2	5	1		2	1	2		
歩道の整備	9	1		2	1		3	1	1	1	2	2			
公園・緑地の整備	12	1	1	2	7	2	2	3		1	2	2			
街路灯の整備		2	2	2		1		4	2		4				
駅前・周辺の整備	4	1	1	2	3	1	2	1		2		1	1		
排水路、下水道の整備	2		2	2		2	1	3		1	2	1	1		
バス路線の便の増加、路線の変更	1	4	1	1	2	3	2	3		1	1	2			
中心部以外の市街地の開発			1					3	1		2	2			
道路の拡幅			1	3	1			1							
道路交通の整備	5	2		3	3		2	2			2				
市内交通網の充実	1	1		2			1	2	1		2				
鉄道関係について	1			1	1			1			2				
河川の整備	1														
市営住宅関連					1										
その他	1												1		
<b>産業・観光</b>	17	1	2	3	4	3	1	3	3	3	7	6	0	53	8.5%
産業全般	3	1			1	1			1	2	1				
観光行政	12		2	2	3	2	1	3	2	1	3	6			
イベント・お祭り関連	2			1							3				
<b>教育・文化・スポーツ</b>	9	0	1	2	7	1	7	4	4	1	1	1	1	39	6.3%
学校教育	2			1	5		2	1	2						
スポーツ関連	4				1		1	2			1		1		
図書館関連	1									1					
青少年教育															
文化施設の建設	2			1		1	1					1			
公民館関連							1	1							
幼児教育					1		1		2						
その他			1				1								

	本 庁	芳 野	古 谷	南 古 谷	高 階	福 原	大 東	霞 ヶ 関	川 鶴	霞 ヶ 関 北	名 細	山 田	地 区 不 明	合 計	比 率
<b>保健・医療・福祉</b>	8	1	4	3	5	4	6	8	2	4	8	0	3	56	9.0%
児童・母子（父子）福祉	1				2	1				1	1				
高齢者福祉	2		1	1	1	1	3	3			2				
医療関連	1		1	1	1	1	3	2		1	2		2		
福祉全般	2		1	1	1	1		2	2				1		
健診（検診）	1	1	1							1	2				
働く女性への支援															
障害者（児）福祉	1							1			1				
介護保険															
その他															
少子化対策										1					
<b>環境</b>	17	0	1	3	3	2	4	3	2	2	2	2	1	42	6.7%
ゴミ収集	9				1		4	2	1	1	1	2			
その他環境について	3			1	1				1	1	1				
たばこ関連															
騒音対策	1														
環境保全	4		1	2	1	2		1					1		
<b>地域社会と市民生活</b>	4	0	1	4	1	1	4	4	0	3	2	2	0	26	4.2%
駐車場・駐輪場に関して	3						1	2			2	1			
防犯に関して	1		1	1	1	1	3	1		1					
防災関係				3				1		2		1			
<b>市政全般</b>	41	3	12	11	23	13	19	15	18	9	16	14	3	197	31.5%
市職員の態度	4						1					1	1		
その他、生活環境に関して	7	1	4	2	1	2	2	4	5		8	3			
市長。市職員に対して	1					1	2		1			2			
行政サービスについて	2			1	1		1		1	1	2	1			
広報関連	2	1	2	1		2	2		1	1	1				
税金関連	6				7	2	2		2	2	1	3			
地域社会に関して	2		1	1	1				1						
市役所に関して	1			2	1	1	3		2						
公共施設関連	3		1		4	1		1		2	1				
市内の地域間格差の是正に関して					2	1	1								
市民のマナー、モラルに関して	2											1			
行政運営に関して		1	1	1	1		3	3	2		1				
計画的・効果的な財政運営に関して	1		1							1					
議員・政治・選挙に関して								1				1			
今回のアンケート調査に関して	9		1	3	5	1	1	6	3	1	1	2	2		
その他	1		1			2	1			1	1				

続いて記入していただいた多くの意見から、各カテゴリー別にいくつかの内容を次に掲載している

## ■ 都市基盤・生活基盤

### <中心部以外の市街地の開発>

○川越でも外で鶴ヶ島近辺の方が動きやすく、イベントなども参加しやすいです。町の中の方だけ環境を良くしないで、隅の方にも目を向けてほしいです。

【女性・60～69歳・名細地区】

### <道路交通の整備>

○障害者、高齢者が増加していく中で、交通事故のニュースもよく見聞きします。川越市は自転車のマナーが悪く、事故も最近増えているので交通安全に力を入れてほしい。裁判所は通学路になっているのに歩行者用の信号がなく、毎年のように事故の情報を聞いている。子どもたちの安全も確保してほしいです。長く住みたいので、よりよい環境になってほしいです。

【女性・40～49歳・本庁地区】

## ■ 産業・観光

### <観光行政>

○外国から来てくださるお客様のために、多言語での案内板、パンフレットなど用意して、楽しく観光できるようにしていただけたらと思います。

【女性・40～49歳・南古谷地区】

### <イベント・お祭り関連>

○川越まつりが市の中心部のみで不満である。名細地区に図書館が欲しい。市街地以外にも、もっともっと目を向けた市政であってほしいです。

【女性・70歳以上・名細地区】



## ■ 教育・文化・スポーツ

### <学校教育>

○小学校の教育内容や設備の向上を希望します。近隣の市、東京の公立小学校では、冷暖房の設備、低学年からの英語教育、夏のサマースクールなど、様々な点で充実している内容を耳にします。これからの将来を担っていく小さな子どもたちのためにも、より良い教育システムが受けられるよう願っております。よろしく願いいたします。

【女性・30～39歳・本庁地区】

### <文化施設の建設>

○南古谷地区は、文化施設（図書館）や公園施設に恵まれていないので、検討をお願いします。

【男性・50～59歳・南古谷地区】

## ■ 保健・医療・福祉

### <児童・母子（父子）福祉>

○公園の遊具は次々と撤去されるし、今どき飲食店で普通に喫煙が行われていて、子育てを支援する気がない市なのだなという印象を持ちます。都内の方が、よほど安心して子どもを連れ歩けます。よその都市をもっと参考になさってはいかがでしょうか。

【女性・40～49歳・本庁地区】

### <医療関連>

○夜間の医療診察の充実をお願いしたいと思います（救急車を呼ぶまでもなく、深夜数多くの病院に診察をお願いする為電話したが、担当医がおらず診ていただけない状況で大変困った経験あり）。

【男性・50～59歳・南古谷地区】

## ■ 環境

### <ゴミ収集>

○家庭ごみの分別の仕方についてですが、配布された冊子を参考に分別していますが、時折どこに該当するのか悩む物もあります。作成が大変かと思いますが、索引を載せて頂けると、よりわかりやすいと思います（以前住んでいたことのある自治体の冊子には索引があり、大変わかりやすかったので）。

【女性・30～39歳・大東地区】

## ■ 地域社会と市民生活

### <防犯に関して>

○防災川越の放送が全然聞こえないので、もっとどこでも聞こえるようにしてほしい。カーブミラーが冬になると凍りついて、何もうつらなくなる。意味がない。住宅地に外灯が無さ過ぎる。全体的に暗い。川越にエレベーター、エスカレーターが少なすぎる。

【女性・40～49歳・霞ヶ関北地区】

## ■ 市政全般

### <行政サービスについて>

○高齢者のみの世帯に多いように感じるのだが、さまざまな行政サービスを受けられることを知らずにいる人、また知っていても相談窓口がどこにあるのかわからずにいる人がおり、周囲で手助けが必要と思っても、それらを案内できる人が少ない。広報などの文面は高齢者にはむずかしく、理解しにくいのではないかと思います。

【女性・40～49歳・山田地区】

### <公共施設関連>

○近所に歩いて行けるようなお店や住民同士集い合える場所が、あちこちにあるとよい（特に高齢者向け）。（農村地域のため買い物など遠くて不便）。

【男性・60～69歳・福原地区】

### <その他>

○多くの友人・知人から、「川越はよいまちだね」と言われ、遊びに来てくれることがあります。これからも、どうぞ宜しくお願い致します。いつもありがとうございます。

【男性・30～39歳・福原地区】

## 第 12 回 川越市市民意識調査

発行日 平成 28 年 3 月

発 行 川越市市民部広聴課

〒350-8601 川越市元町 1 丁目 3 番地 1

☎ 049 (224) 8811 (代表)



時が人を結ぶまち川越